

Aterm[®]

IWX70&RS20

ワイヤレスセット

(PC-IWX70D/RS20)

取扱説明書



はじめに
お読みください

Atermを接続する

Windowsで
簡単に設定する

Macintoshで
簡単に設定する

さまざまな機能

パソコンを
使わないで操作する

お困りのときには

付 録

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどはおこなっておりません。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) Atermは初の停電機能を持たせるなど、災害時に於いてのライフラインと直結した通信手段の確保を意図した設計がされていますが、せつかくの機能も不適切な扱いや不測の事態(例えば落雷や漏電など)により故障してしまつては能力を発揮できません。添付の取扱説明書をよくお読みになり記載されている注意事項を必ずお守りください。

Windows、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

Netscape Navigatorは米国Netscape Communications Corporationの登録商標です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

AmLINK3©AMD

Mac ロゴ、Mac、Macintoshは米国Apple Computer, Inc.の登録商標です。

iMac、Power Macintosh G3は米国Apple Computer, Inc.の商標です。

©NEC Corporation 2000

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などをおこなうことはできません。

はじめに

このたびは、^{エータム}『AtermIWX70&RS20ワイヤレスセット』をお買い上げいただきありがとうございます。

AtermIWX70&RS20ワイヤレスセット(以下ワイヤレスセットと称します)は、NTT東日本・NTT西日本のISDN網「INSネット64」にパソコンや電話機、ファクス、モデムなどを接続するためのターミナルアダプタ『AtermIWX70』(以下IWX70と称します)と、リモートステーション『AtermRS20』(以下RS20と称します)のセットです。

ワイヤレスセットはワイヤレス通信機能を搭載していますので、IWX70をワイヤレス親機、RS20をワイヤレス子機として親機と離れたところから通信が利用できます。

また別売のリモートステーション、マルチモバイルカードなどのワイヤレス子機を増設してワイヤレスネットワークを構築したり、PHS電話機を収容してコードレス電話機として利用することができます。

本書ではワイヤレスセットの設置・接続のしかたからAtermのさまざまな機能の操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、ワイヤレスセットを使いこなすために必要な事項を説明しています。本装置をご使用前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあと大切に保管してください。

目次

はじめに	1
目次	2
安全に正しくお使いいただくために	10
本書の読み方	18
本書の構成	18
セットアップガイドの見かた	20
電子マニュアルの見かた	21
第 1 章 はじめにお読みください	23
1-1 . Aterm のご紹介	24
INS ネット 64 とは	24
Aterm の役割	25
こんな使い方ができます	26
Aterm 機能一覧	33
1-2 . ホームページ『AtermStation』のご紹介	37
1-3 . インターネットプロバイダ『BIGLOBE』のご紹介	38
1-4 . 箱の中身を確認する	40
1-5 . 各部の名前とはたらき	41
IWX70	41
RS20	46
1-6 . Aterm をお使いになる前に	48
INS ネット 64 を利用するには	48
子機を接続するには	53
インターネットを利用するには	54
第 2 章 Aterm を接続する	55
2-1 . Aterm を接続するまでの流れ	56
Aterm の設置場所を決める	57
2-2 . 電話機 / ファクスを接続する	58
アンテナを立てる	58
接続する電話機を確認する	59
IWX70 と電話機を接続する	60
RS20 と電話機を接続する	60
2-3 . INS ネット 64 を接続する	62
2-4 . 電源を接続する	63
アース線と電源を接続する	63
電源を入れる	65
カレンダーを設定する	68
IWX70 に電池をセットする	69

2-5 . 電話が使えるか確認する	71
電話機の使い方	71
2-6 . パソコンを接続する	73
IWX70 とパソコンを接続する	73
RS20 とパソコンを接続する	77
第3章 Windows で簡単に設定する	81
3-1 . 基本設定をするまでの流れ	82
3-2 . らくらくアシスタントをインストールする	83
らくらくアシスタントとは	83
らくらくアシスタントをインストールする	84
3-3 . らくらくアシスタントで簡単に設定する	86
らくらくアシスタントの起動のしかた	86
USB ドライバのインストール	87
アナログ / 無線ポートの簡単設定	89
インターネット接続の設定	93
3-4 . インターネットに接続する	97
接続を確認する	97
ホームページを見る	101
接続を切断する	101
3-5 . らくらくアシスタントの使い方	104
第4章 Macintosh で簡単に設定する	107
4-1 . 基本設定をするまでの流れ	108
4-2 . ユーティリティをインストールする	109
IWX70・RS20 を設定するには	109
ユーティリティをインストールする	110
USB ポートに接続する	111
4-3 . らくらくアシスタントで簡単に設定する	112
らくらくアシスタントの起動のしかた	112
アナログポートの簡単設定	113
インターネット接続の設定	116
4-4 . インターネットに接続する	121
接続を確認する	121
接続を切断する	122
4-5 . らくらくアシスタントの使い方	124
第5章 さまざまな機能	127
5-1 . ワイヤレス通信機能	128
ワイヤレスデータ通信の種類	128
内線データ通信をする	130
ファイルやプリンタを共有する	132
アナログポートにモデムを接続して通信する (デュアルリンクワイヤレス通信)	133

5-2 . 電話機能	134
電話機能一覧	134
設定のしかた	136
Windows での設定方法	138
Macintosh での設定方法	140
電話機での設定方法	142
基本操作	144
フッキング	144
電話機の使い方	146
PHS の使い方	148
基本機能	150
家の中で話す（内線通話）.....	150
内線電話に転送する（内線転送）.....	152
相手の声の音量を調節する（受話音量調節）.....	155
短縮番号で電話をかける（短縮ダイヤル）.....	157
話し中のとき	159
話し中に別の電話を受ける（キャッチホン）.....	159
三人で同時に話す（三者通話）.....	162
電話番号を表示する	167
自分の電話番号を相手に知らせる（発信者番号通知）.....	167
相手に知らせる電話番号を指定する（発信者番号指定）.....	169
着信した電話番号を表示する（INSナンバー・ディスプレイ / INSナンバー・リクエスト）.....	171
話し中にかかってきた電話番号を表示する（キャッチホン・ディスプレイ）.....	174
かけてきた相手の電話番号を見る / かけ直す（着信履歴表示 / 着信履歴先発信）.....	178
電話番号や電話機を使い分ける	180
2つの電話番号を使い分ける（i・ナンバー）.....	180
複数の電話番号を使い分ける（ダイヤルインサービス）.....	183
着信する電話機の優先順位をつける（優先着信ポート指定）.....	188
特定の電話機に着信させる（サブアドレス）.....	190
お出かけ / おやすみのとき	193
電話機の着信音を鳴らさない（おやすみモード）.....	193
別の電話番号に転送する（電話着信転送モード）.....	196
ボイスワープで転送する（ボイスワープ / ボイスワープ・セレクト）.....	198
着信音を鳴らさずに着信を知らせる（フラッシュモード）.....	202
電話を転送する	204
別の電話番号に転送する（着信転送）.....	204
話し中に別の電話番号に転送する（通信中転送）.....	207
特定の相手を対象にする	210
特定の電話だけ着信する（識別着信）.....	210
特定の電話の着信音を変える（識別リングング）.....	213
話し中にかかってきた特定の電話だけを受ける（なりわけ選択キャッチホン）.....	216
受けたくない電話の着信を拒否する（迷惑電話防止）.....	217

特定の電話機だけに着信させる (マイプライベート着信).....	220
特定の電話を別の電話番号に転送する (識別着信転送).....	222
高位レイヤ整合性を設定する (HLC).....	226
電話機でダイヤルインを使う.....	229
着信した電話番号をモデム信号で送出する (モデム・ダイヤルイン).....	229
着信した電話番号をプッシュ信号で送出する (アナログ・ダイヤルイン).....	231
5-3 . Aterm のメール機能.....	233
メール機能とは.....	233
メール機能を利用するには.....	235
5-4 . IWX70・RS20 の設定内容を記録する.....	239
Windows で記録する.....	239
Macintosh で記録する.....	241
5-5 . IWX70・RS20 をバージョンアップする.....	243
らくらくアシスタントのバージョンアップ.....	244
オンラインのバージョンアップ.....	244
『らくらくバージョンアップ』を使用したバージョンアップ (Windows).....	245
『らくらくバージョンアップ』を使用したバージョンアップ (Macintosh).....	247
第 6 章 パソコンを使わないで操作する.....	249
6-1 . ファンクションボタンで IWX70 を操作する.....	250
着信履歴を表示する.....	250
着信履歴先に電話をかける.....	251
履歴先発信する電話機を指定する.....	252
累積料金を表示する.....	252
累積料金を初期化する.....	253
通信速度を切り替える.....	254
ファームウェアのバージョンを表示する.....	255
設定を初期化する.....	255
無線ポートの通信モードを指定する.....	256
6-2 . 電話機で IWX70 を設定する.....	259
IWX70 に接続する機器を設定する.....	259
i・ナンバーを設定する.....	261
ダイヤルインサービスを設定する.....	263
キャッチホンを設定する.....	267
ナンバー・ディスプレイ/ナンバー・リクエストを設定する.....	267
ボイスワープ/ボイスワープ・セレクトを設定する.....	268
設定を初期化する.....	269
IWX70 の液晶ディスプレイのバックライトを設定する.....	269
迷惑電話を登録する.....	270
累積料金を表示する.....	270
その他の機能の設定のしかた.....	272
6-3 . 電話機で RS20 を設定する.....	278
RS20 らくらくテレホン設定.....	278
設定を初期化する.....	279

第7章 お困りのときには	281
7-1. 困ったときのQ&A	282
IWX70・RS20に関するQ&A	282
IWX70とRS20のUSBに関するQ&A	300
7-2. IWX70・RS20を購入したときの状態にもどす	309
IWX70の初期化	309
RS20の初期化	311
7-3. ハイパーターミナルで接続を確認する	313
接続を確認する	313
7-4. 自己診断	315
IWX70	315
RS20	317
第8章 付録	319
8-1. 液晶ディスプレイの表示	320
IWX70の表示	320
RS20の表示	325
8-2. 切断理由/生成源/診断情報の表示	328
切断理由の表示	328
回線を切断した場所の表示(生成源)	330
着信拒否理由の表示(診断情報)	331
8-3. AtermIWX70&RS20 ワイヤレスセット製品仕様	333
IWX70仕様	333
RS20仕様	335
ディップスイッチ	336
D-SUB9ピンインタフェース	338
8-4. ホームテレホン/ビジネスホンとの接続	339
ホームテレホンの接続方法	339
8-5. 別売オプション	340
8-6. ターミナルアダプタの増設(S点ユニット)	341
S点ユニットカバーの取り外しかた	341
ISDN通信機器を増設する場合	342
DSUを切り離す場合	343
8-7. お問い合わせ・アフターサービス	344
インフォメーションサービス	344
ホームページ『AtermStation』	344
PCクリーンスポットの訪問サポート	345
修理と現地調整・保守契約について	348
索引	353

目次

(電子マニュアル)

添付 CD-ROM『AtermIWX70 シリーズユーティリティ集』には、取扱説明書に掲載されていない以下の内容が PDF ファイルで収録されています。必要に応じて参照してください。PDF ファイルについては、P.21 を参照してください。

データ通信ガイド (ファイル名: 通信ガイド.pdf)

1. 手動セットアップ

- 1-1 . USB ドライバの手動インストール (Windows98/Windows95)
- 1-2 . USB ドライバの手動インストール (Windows2000)
- 1-3 . USB ドライバの手動インストール (Macintosh)
- 1-4 . インターネット接続の手動設定 (Windows98/Windows95)
- 1-5 . インターネット接続の手動設定 (Windows2000)
- 1-6 . インターネット接続の手動設定 (Macintosh)
- 1-7 . インターネット接続の手動設定 (WindowsNT4.0)

2. データ通信の状態

- 2-1 . データ通信の機能
 - 非同期 / 同期 PPP 変換
 - 128kbps マルチリンク PPP 通信
 - BOD
 - PIAFS 通信
 - マルチアクセス
 - ITMUX
 - 通信モード指定発信
 - 無通信監視タイマ
 - 強制切断タイマ
 - スティルスコールバック
 - 応答平均化
 - HLC
 - CTI 機能
- 2-2 . Aterm のメール機能

3. USB ネットワーク

- 3-1 . USB ネットワークとは
- 3-2 . Windows98/Windows95 の場合
- 3-3 . Windows2000 の場合
- 3-4 . 外部から着信可能なダイヤルアップサーバ

4. AT コマンド

- 4-1 . AT コマンドとは
- 4-2 . IWX70 用 AT コマンド
- 4-3 . RS20 用 AT コマンド

用語解説 (ファイル名 : 用語解説 .pdf)

安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

-  **危険** : 人が死亡する、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
-  **警告** : 人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** : 人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。
-  **お願い** : 本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

絵表示の例

-  記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
記号の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
-  記号は禁止の行為であることを告げるものです。
記号の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
-  記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
記号の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

安全に正しくお使いいただくために

危険

ニカド電池パック使用時

電池パックを使用する場合は、次のことを必ず守ってください。
電池パックを漏液・発熱・破裂させる原因となります。

- ・充電は、Aterm 以外ではおこなわないでください。
- ・電池パックは、コネクタの向きが決められています。Aterm に接続するときは、コネクタの向きを確かめて正しく差し込んでください。
- ・専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。
- ・火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
- ・直接ハンダ付けをしないでください。
- ・電池パックを分解、改造しないでください。
- ・電池パックを金属製品と一緒に持ち運んだり保管したりしないでください。
- ・電池パックのコードはショートさせないように注意してください。また、プラスとマイナスを針金などの金属類で接続しないでください。



電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で充分洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。



アルカリ乾電池使用時

アルカリ乾電池内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で充分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。



警告

設置場所

風呂、シャワー室への設置禁止

風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。



水のかかる場所への設置禁止

水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。



警告

電源

商用電源以外の使用禁止

AC100Vの家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。

差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。



電源コードの取扱注意

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷んだら、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。



ぬれた手での操作禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



たこ足配線の禁止

本装置の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。



ニカド電池パック使用時

電池パックの外装チューブをはがしたり、キズをつけないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。



電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。



電池パックを水や海水につけたりぬらしたりしないでください。電池パックを発熱させたり、さびの原因となります。



液もれ、変色、変形、その他今までと異なることに気がついたときは、使用しないでください。



警告

アルカリ乾電池使用時

万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合には、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。



電池の(+)と(-)を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液・発熱・破裂させるおそれがあります。



新しい電池と一度使用した古い電池や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液・発熱・破裂させるおそれがあります。



この電池は充電式ではないので、充電すると液漏れ・破損のおそれがあります。



電池のアルカリ液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。



ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱・破裂の原因となります。



電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。電池がショートし、漏液・発熱・破裂するおそれがあります。



こんなときは

発煙した場合

万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



水が装置内部に入った場合

万一、内部に水などがに入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。



警告

こんなときは

異物が装置内部に入った場合

本装置の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電源コードが傷んだ場合

電源コードが傷んだ(芯線の露出・断線など)状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。

破損した場合

万一、落としたり破損した場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

禁止事項

本装置は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム(幹線通信機器や電算機システムなど)では使用しないでください。

分解・改造の禁止

本装置を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

ぬらすことの禁止

本装置に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。

ぬれた手での操作禁止

ぬれた手で本装置を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

本装置の安全性の劣化につながる使用の禁止

ニカド電池コネクタの充電端子を金属でショートさせないでください。火災・故障の原因となります。また、充電端子に水滴がついたまま充電しないでください。火災・故障の原因となります。



警告

その他のご注意

使用禁止区域での注意

航空機内や病院内などの PHS 端末の使用を禁止された区域では、本装置の電源を切ってください。電子機器や医用機器に影響を与え、事故の原因となります。



ペースメーカを装着されている方の注意

植え込み型心臓ペースメーカを装着されている方は、本装置をペースメーカ装着部から 22cm 以上離して使用してください。電波により影響を受ける恐れがあります。



異物を入れないための注意

本装置の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



注意

設置場所

火気のそばへの設置禁止

本装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



温度の高い場所への設置禁止

直射日光の当たるところや、温度の高いところ、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



⚠ 注意

設置場所

通風孔をふさぐことの禁止

本装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。

- ・あお向けや逆さまにする
- ・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・じゅうたんや布団の上に置く
- ・テーブルクロスなどを掛ける

重ね置き禁止

本装置を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

温度変化の激しい場所(クーラーや暖房機のそばなど)に置かないでください。本装置の内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。



電源

プラグの取扱注意

電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

移動させるときの注意

移動させる場合は、本体の電源スイッチを切った後、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上、おこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

アース線の取付

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

長期不在時の注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、停電用電池も取りはずしてください。

電源プラグの清掃

電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的(半年に1回程度)に取り除いてください。火災の原因となることがあります。



ニカド電池パック使用時

電池パックに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

電池パックは乳幼児の手の届かないところに保管してください。



注意

アルカリ乾電池使用時

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えると液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

- ・使用推奨期限の単3 アルカリ乾電池をお使いください。
(アルカリ以外のマンガン電池などでの動作保証はしていません。)
- ・停電がなくても、1年に1度の割合で新しい電池と交換してください。長期間のあいだ電池を装着したままでご使用になると電池が漏液するおそれがあります。
- ・電池を保管する場合および廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁してください。他の電池や金属製のものと混ぜると、漏液、発熱、破裂のおそれがあります。
- ・電池は、直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。電池を漏液させるおそれがあります。また、電池の性能や寿命を低下させることがあります。
- ・電池を入れた電池ホルダ - 側の側面を、発熱する機器の近くや直射日光・高温・高湿の場所に置かないでください。また、通風孔をふさがないでください。漏液・発熱・破裂のおそれがあります。
- ・使い切った電池はすぐに器具から取り出してください。過放電、高温放置による電池の液漏れでの装置の故障については当社は保証いたしかねます。
- ・電池に直接ハンダ付けをしないでください。
- ・電池を取りはずした場合は、小さなお子様が電池をなめたり、あやまって飲むことがないようにしてください。電池は幼児の手の届かないところへ置いてください。
- ・使い切った電池はすぐに機器から取り出してください。使い切った電池を機器に接続したまま長時間放置すると、電池から発生するガスにより、電池を漏液・発熱・破裂させたり、機器を破損させるおそれがあります。



禁止事項

乗ることの禁止

本装置に乗らないでください。特に、小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

本装置のアンテナを誤って目に刺さないようにしてください。



その他のご注意

雷のときの注意

雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

取扱説明書にしたがって接続してください。

間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。



設置場所

本装置を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。

- ・ほこりや振動が多い場所
- ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
- ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
- ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所

本装置を一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与えます。

親機（本装置）と子機（PHS、リモートステーション）間で電波の届く範囲は見通しで約100mです。周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、距離が短くなります。また距離が近すぎると、通話にノイズが入ったりデータ通信でエラーが発生する場合があります。

本装置とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通話やデータ通信が切れる場合があります。また通話にノイズが入ったり、ファクスのデータが正しく送れない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

禁止事項

動作中に接続コード類がはずれたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

日ごろのお手入れ

汚れたら、乾いた柔らかい布でふきとってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふきとってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。

本書の読み方

本書をより活用していただくために、本書の読み方をご紹介します。

本書の構成

本書は以下の構成になっています。

第1章	はじめにお読みください	Atermの機能やインターネット、INSネット64について説明します。またお使いになる前に確認していただきたいことを説明します。
第2章	Atermを接続する	Atermを設置して電話機やパソコンと接続する手順と、電話の使い方を説明します。
第3章	Windowsで簡単に設定する	Windows 2000/Windows 98/Windows 95/Windows NT 4.0を搭載したパソコンとIWX70またはRS20をつないでインターネットに接続したり、電話を使うための設定をします。
第4章	Macintoshで簡単に設定する	MacintoshとIWX70またはRS20をつないでインターネットに接続したり、電話を使うための設定をします。
第5章	さまざまな機能	Atermのワイヤレス通信機能やさまざまな電話の機能、メール機能を説明します。
第6章	パソコンを使わないで操作する	IWX70またはRS20に接続した電話機や、IWX70のファンクションボタンを使ってAtermの機能の操作や設定をする手順を説明します。
第7章	お困りのときには	思いどおりに動作しないときの解決方法やIWX70、RS20を購入時の状態にもどす手順などを説明します。
第8章	付録	アフターサービスや液晶ディスプレイの表示など、IWX70とRS20を使う上で参考にしていただきたいことを掲載しています。

第1章、第2章は最初にお読みください。第3章、第4章はお使いの環境によってお読みください。第3章または第4章まで進むと、電話が使えてインターネットに接続するまでの設定が完了します。第5章～第8章は必要に応じてお読みください。

	Windows搭載のパソコンでインターネットを利用する場合	Macintoshでインターネットを利用する場合	電話機だけを使用する場合
第1章	はじめにお読みください	はじめにお読みください	はじめにお読みください
第2章	Atermを接続する	Atermを接続する	Atermを接続する
第3章	Windowsで簡単に設定する		
第4章		Macintoshで簡単に設定する	
第5章	さまざまな機能	さまざまな機能	さまざまな機能
第6章			パソコンを使わないで操作する
第7章	お困りのときには	お困りのときには	お困りのときには
第8章	付録	付録	付録

まず最初に必ずお読みください。電話を使ったりインターネットに接続するための設定をします。

必要なときにお読みください。

セットアップガイドの見かた

添付CD-ROM『AtermIWX70シリーズユーティリティ集』にはワイヤレスセットを使うために必要なユーティリティのほかに、ワイヤレスセットの使い方をご紹介する「セットアップガイド」が収録されています。ワイヤレスセットをお使いになる前に、ぜひご覧ください。

使い方

- 1 パソコンの電源を入れ、添付CD-ROM『AtermIWX70シリーズユーティリティ集』をセットします。

Windowsの場合は自動的にメニュー画面が表示されます。画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

Macintoshの場合はCD-ROMのウィンドウが開くので、ウィンドウ内の[らくらくセットアップガイド]アイコンをダブルクリックします。

Macintoshの場合でCD-ROMのウィンドウが開かないときは、CD-ROMのアイコンをダブルクリックしてください。

[らくらくセットアップガイド]のメニュー画面が表示され、説明が始まります。

- 2 メニュー画面のボタンをクリックして順番にご覧ください。



画面はWindowsの場合の例です。

電子マニュアルの見かた

添付CD-ROM『AtermIWX70シリーズユーティリティ集』には、PDF形式で電子マニュアルが収録されています。取扱説明書には掲載されていない内容も収録されていますので、必要に応じて参照してください。

PDF ファイルをパソコンで見るには Acrobat Reader 3.0 以上が必要です。Acrobat Reader を持っていない場合は、CD-ROM に収録されている Acrobat Reader をインストールして使ってください。

使い方

- 1 パソコンの電源を入れて、添付CD-ROM『AtermIWX70シリーズユーティリティ集』をセットします。

Windows の場合は自動的にメニュー画面が表示されます。画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

Macintosh の場合はCD-ROM のウィンドウが開くので、ウィンドウ内の[らくらくセットアップガイド]アイコンをダブルクリックします。

Macintosh の場合でCD-ROM のウィンドウが開かないときは、CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。

[らくらくセットアップガイド]のメニュー画面が表示され、説明が始まります。

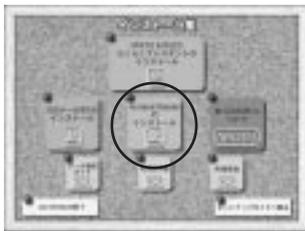
- 2 [セットアップガイドを見ないでインストール]をクリックします。



画面はWindows の場合の例です。

- 3 読みたい電子マニュアルのボタンをクリックします。

AcrobatReader をインストールするときは[AcrobatReader のインストール] ボタンをクリックします。



画面はWindows の場合の例です。

1

はじめにお読みください

Atermの機能やインターネット、INSネット64について説明します。またお使いになる前に確認していただきたいことを説明します。

Atermのご紹介

ホームページ『AtermStation』のご紹介

インターネットプロバイダ『BIGLOBE』のご紹介

箱の中身を確認する

各部の名前とはたらき

Atermをお使いになる前に

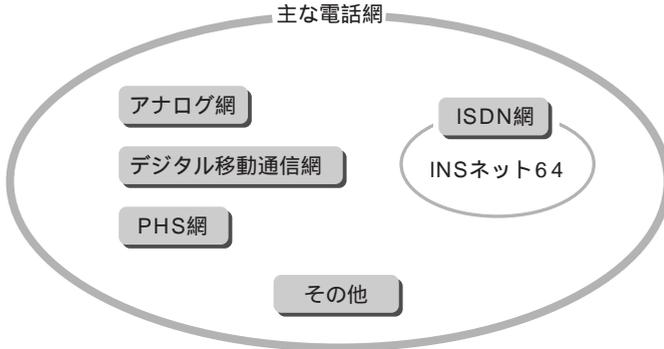
Windows® 2000はMicrosoft® Windows® 2000 operating systemの略です。
Windows® 98はMicrosoft® Windows® 98 operating systemの略です。
Windows® 95はMicrosoft® Windows® 95 operating systemの略です。
WindowsNT® 4.0はMicrosoft® WindowsNT® operating system version 4.0の略です。

1-1 . Aterm のご紹介

Aterm を使うと、どのようなことができるのかをご紹介します。

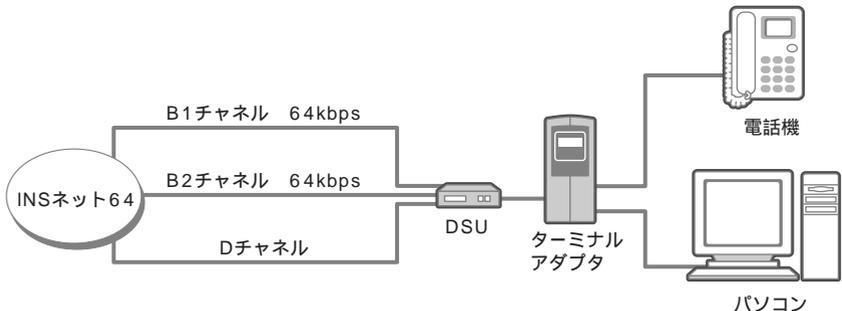
INS ネット 64 とは

インターネットを利用するには、主にパソコンから電話網を通じて接続します。電話網には従来から使われているアナログ網のほか、デジタルでデータを送受信する ISDN 網、携帯電話用のデジタル移動通信網などがあります。



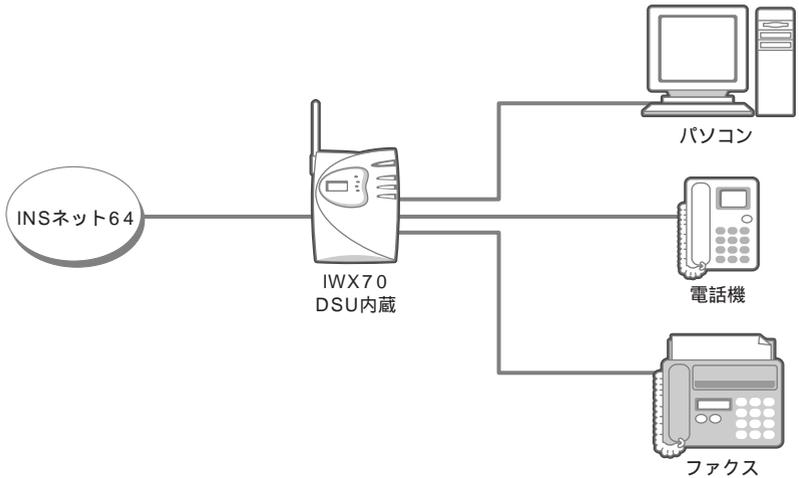
『INS ネット 64』は電話網の中で NTT 東日本・NTT 西日本が提供する ISDN 回線の 1 つです。1 秒間に 64k ビット (64kbps) の速度でデータを送受信を中心におこないます。INS ネット 64 は同時に 2 回線分の通信ができるので、電話とインターネットを同時に利用したり、2 回線をたばねて使うことでアナログ回線よりも高速なデータを送受信が可能です。また 2 本の情報チャンネル (B1 チャンネル、B2 チャンネル) のほかに信号チャンネル (D チャンネル) があり、ユーザ間情報通知サービス (UIU) が利用できます。

INS ネット 64 を利用するには、回線を接続するための「DSU (Digital Service Unit の略)」と電話機やパソコンを接続するための「ターミナルアダプタ (TA)」という装置が必要です。

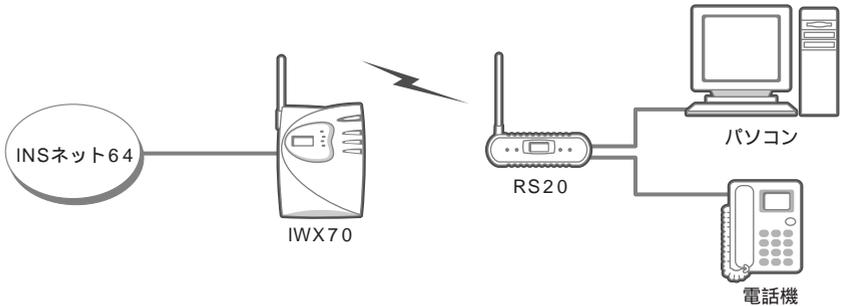


Aterm の役割

IWX70はINSネット64専用のターミナルアダプタで、アナログ電話機やファクス、パソコンなどを接続します。IWX70にはINSネット64と回線を接続するためのDSUが内蔵されているので、別途DSUを用意する必要はありません。

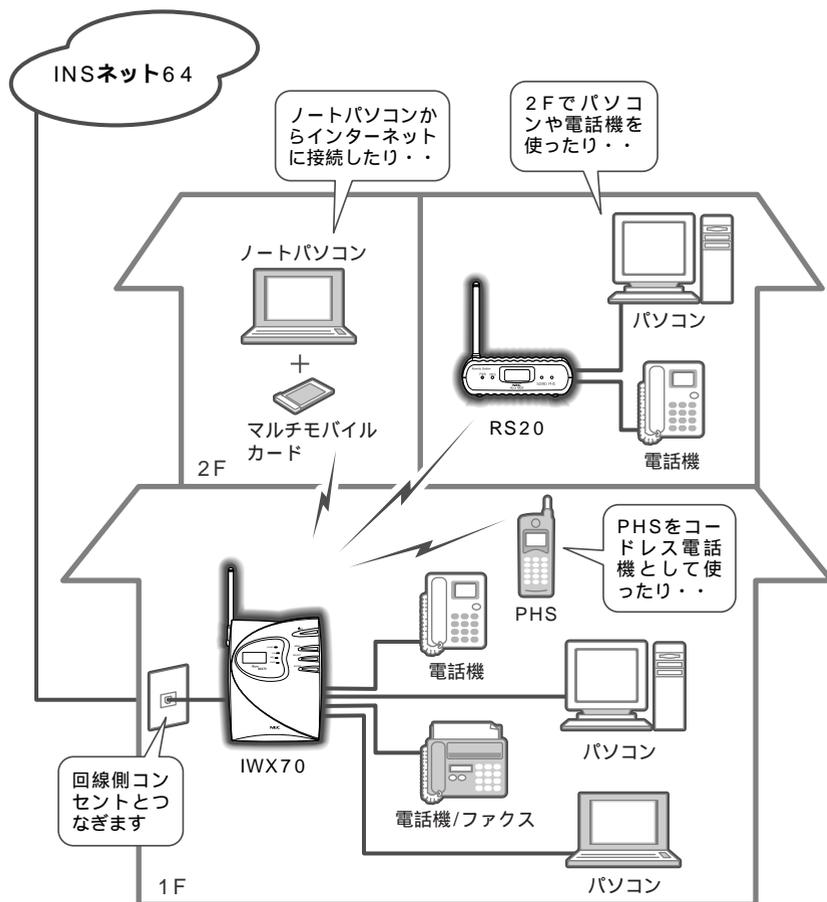


またRS20はアナログ電話機やファクス、パソコンを接続し、親機であるIWX70と無線でデータを送受信する装置です。RS20に接続した機器は回線側コンセント(モジュラコンセント)から離れた場所で利用できます。



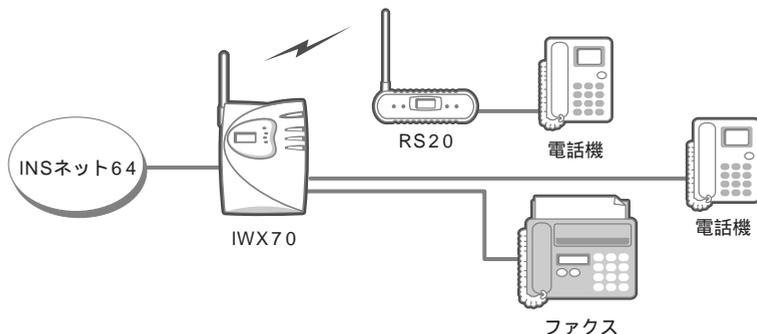
こんな使い方ができます

ワイヤレスセットでは次のような使い方ができます。



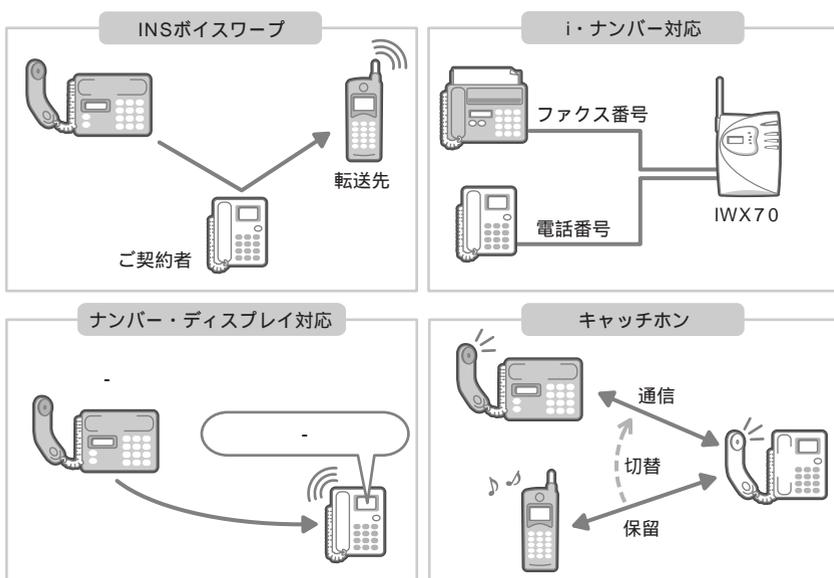
電話機やファクスを利用する

アナログポートに電話機やファクス、モデムなどのアナログ通信機器を接続します。電話機はアナログ電話回線で使用していたものがそのまま使えます。IWX70は2台、RS20には1台のアナログ通信機器が接続できます。接続した電話機やファクスは2台同時に通話することができ、IWX70、RS20に接続された電話機間で内線通話や内線転送ができます。



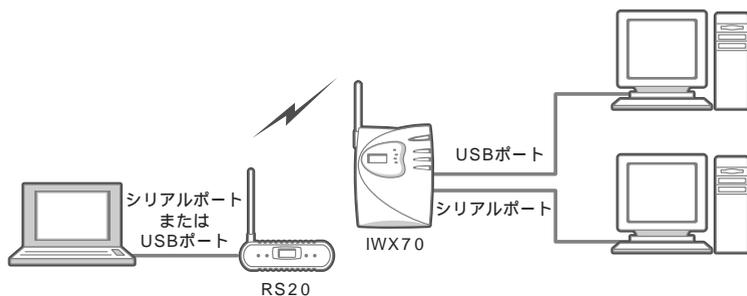
IWX70、RS20はNTT東日本・NTT西日本が提供するINSネット64の付加サービスに対応しているので、INSネット64のさまざまな機能を利用することができます。またINSネット64の付加サービスと同等の機能を実現するAterm独自の疑似機能があり、付加サービスを申し込まなくても利用できる機能があります。(「5-2・電話機能」 P.134)

INS ネット 64 付加サービス例

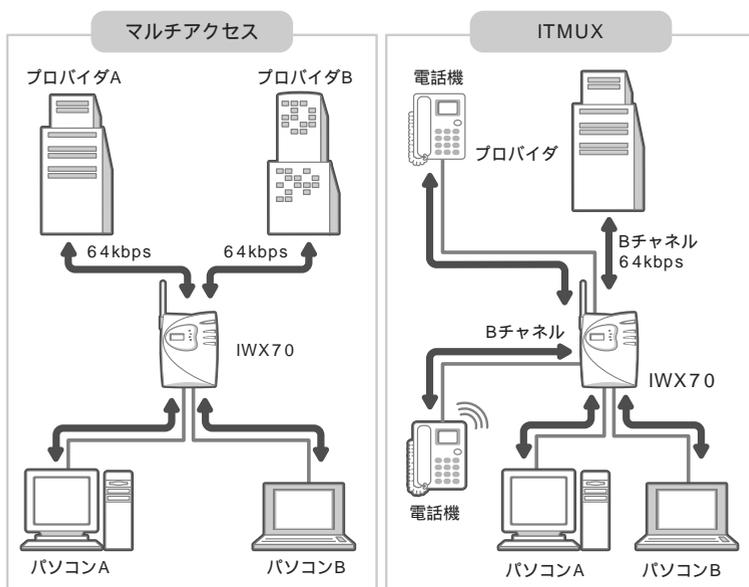


パソコンを利用する

パソコンをシリアルポート (RS-232C) または USB ポートに接続します。IWX70 はシリアルポートと USB ポートの両方にパソコンが接続できます。RS20 にはシリアルポートと USB ポートのどちらかにパソコンが接続できます。



また、IWX70、RS20 に接続したパソコンは 2 台同時に別々のプロバイダに接続したり (マルチアクセス機能)、1 つのユーザ ID で 2 台のパソコンから同じプロバイダに同時に接続する (ITMUX 機能) ことができます。(添付 CD-ROM 「データ通信ガイド」)

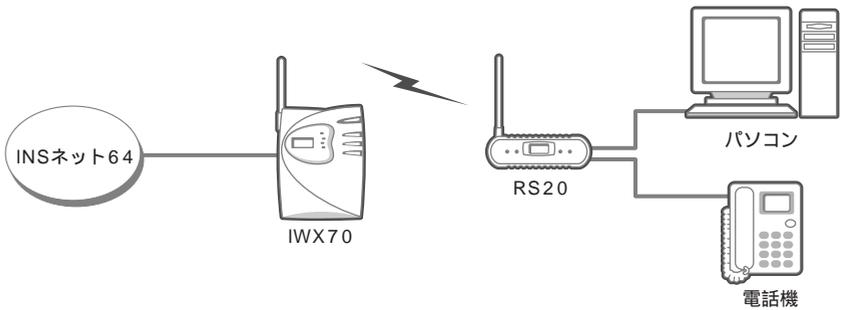


同時にデータ通信ができるパソコンは 2 台までです。

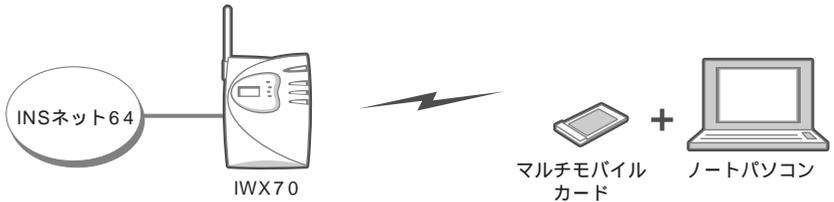
ワイヤレス機能を利用する

ワイヤレスセットに同梱のRS20のほかに、AtermRC35などのマルチモバイルカードやPHS電話機をワイヤレス子機として増設登録すると、IWX70が親機となり回線側コンセントから離れたところから電話をかけたリインターネットに接続することができます。また親・子機間で内線通話をしたり、ファイルを共有するなどのワイヤレスネットワークを利用することもできます。(「5-1.ワイヤレス通信機能」 P.128)

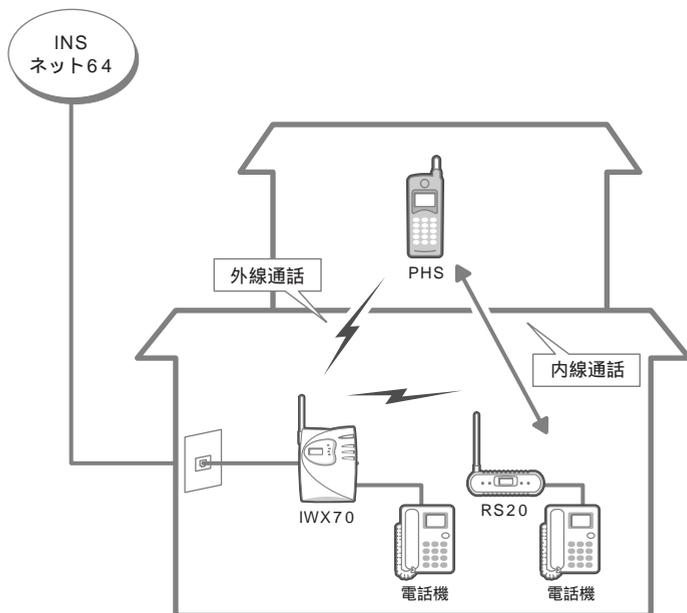
RS20 を利用する



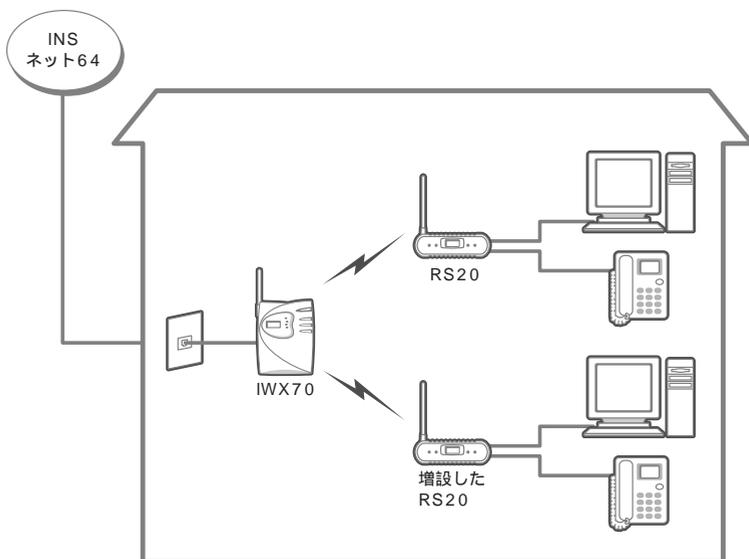
マルチモバイルカードを利用する



PHS を利用する



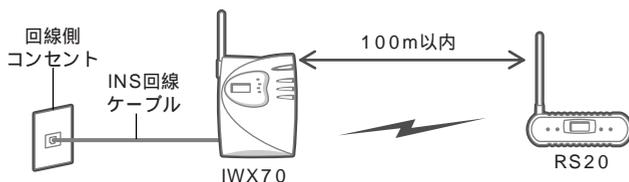
RS20 を増設する



1 台目の RS20 からデュアルリンクワイヤレス通信をしているときは、もう 1 台の RS20 から発信することはできません。



IWX70 から RS20 や PHS 電話機などの子機に電波が届く範囲は、間に障害物が何もない状態で約 100m です。鉄筋壁、防音壁、断熱壁、他の電波を出す機器の有無などの設備環境によっては、100m 以内でも電波が届かない場合があります。



無線電波の状態は RS20 の PHS ランプで確認できます。

PHS ランプ	無線状態
緑色点灯	無線通信が可能のとき
オレンジ色点滅	電波が弱いとき
消灯	電波の状態が悪くて無線通信ができないとき または他の増設した子機が無線ポートを使用しているとき



リモートステーション、マルチモバイルカード、PHS 電話機を IWX70 の子機として使用するには増設登録 (ID 登録) が必要です。増設登録はお近くの NEC 保守サービス受付拠点 (P.350) または PC クリーンスポット (P.345) お買い上げいただいた販売店で有料にて承りますのでお問い合わせください。

なおワイヤレスセットに同梱の RS20 は、出荷時に IWX70 の無線 A ポート (内線番号 91) に増設登録がしてあります。あらためて増設登録をする必要はありません。

リモートステーション、マルチモバイルカード、PHS 電話機の詳しい機能や設定については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

らくらくアシスタントで簡単設定

添付のユーティリティ『らくらくアシスタント』を使うと、インターネットに接続するための設定や各機能の設定がパソコンで簡単にできます。また電話機のプッシュボタンを使って設定することもできます。

- 「3. Windows で簡単に設定する」P.81
- 「4. Macintosh で簡単に設定する」P.107
- 「6. パソコンを使わないで操作する」P.249

添付ユーティリティのご紹介

添付 CD-ROM 『AtermIWX70 シリーズユーティリティ集』には、IWX70 と RS20 を設定するためのユーティリティソフトが収録されています。各 OS、機器で使用できるユーティリティは次のとおりです。

ユーティリティ 種類	機能	対応機器/OS			
		Windows 2000 Windows 98 Windows 95	Windows NT 4.0	Macintosh	電話機
IWX70&RS20 らくらくアシスタント	パソコンでアナログポートや無線ポート、データポートの設定と、インターネットの接続の設定をします。		(一部を除く)	(IWX70らくらくアシスタント)*	-
RS20らくらくユーティリティ	RS20に接続されたパソコンでアナログポートやデータポートの設定をします。	-	-		-
IWX70らくらくバージョンアップ	IWX70本体のメモリに記憶されているファームウェアをバージョンアップし、IWX70に新しい機能を追加します。				-
RS20らくらくバージョンアップ	RS20本体のメモリに記憶されているファームウェアをバージョンアップし、RS20に新しい機能を追加します。				-
UUIメールEX	電子メール着信通知、遊遊メール、UUIメールを利用するときに、パソコンでメールの着信を確認したり、アドレス帳の登録などをします。				-
らくらくテレホン設定	電話機のプッシュボタンでアナログポートと無線ポートの設定をします。	-	-	-	

* Macintosh は『IWX70 らくらくアシスタント』になります。



RS20 を接続したパソコンから『らくらくアシスタント』を使って無線で IWX70 の設定ができます。
IWX70 に接続したパソコンから RS20 の設定をすることはできません。
パソコンの環境によっては『らくらくアシスタント』が利用できない場合があります。詳細は「7-1. 困ったときの Q&A」(P.290) を参照してください。
『らくらくテレホン設定』は電話機を使って操作するので、ユーティリティソフトのインストールは必要ありません。

Aterm 機能一覧

IWX70、RS20 が対応している機能の一覧です。

= 対応しています x = 対応していません

機能	内容	INSネット64 付加サービスの契約	IWX70	RS20
でかけるボタン	外出のときにボタンを押すだけで、電話の転送など、お出かけ設定しておいた動作を開始します。	-		x
MSG (メッセージ) ランプ (BIGLOBEとの契約が必要)	電子メールがBIGLOBEに到着すると、MSGランプが点滅してメールの着信をお知らせします。	-		
S点ユニット	オプションのS点ユニットを取り付けて、TAを増設したりISDN機器を接続できます。	-		x
バックライト液晶ディスプレイ	通信状況や設定内容などを絵文字とカナ・英数字で表示します。	-		バックライトなし
カレンダー表示	液晶ディスプレイに日付と時刻を表示します。	-		x
ファンクションボタン	前面のボタンで着信転送を設定したり、着信履歴や履歴先発信、累積料金を液晶ディスプレイに表示します。	-		x
停電モード	電池をセットしておくときでも、電話やデータ通信ができます。	-		x
ニカド充電電池対応	別売の充電式ニカド電池パックに対応しています。	-		x
フラッシュROM (不揮発性メモリ)	IWX70、RS20を動かすファームウェアが記憶されています。AtermStationから最新のファームウェアをダウンロードしてファームウェアを書き換えることにより、新機能・新サービスに対応できます。	-		
ワイヤレスデータ通信	RS20などのリモートステーションやマルチモバイルカードを子機として増設登録すると、離れたところから電話をかけたたりインターネットに接続することができます。	-		
デュアルリンクワイヤレス通信	NEC独自の通信方式です。リモートステーションのデータポートに接続されたパソコンから無線2チャンネルを使って、最大64kbpsの高速データ通信が可能です。	-		
128kbpsマルチリンクPPP通信	高速データ通信をするためのプロトコルです。2本のBチャンネルを利用して高速にデータの送受信ができます。	-		x
スループットBOD / リソースBOD	電話やデータ通信の状況に応じて、64kbpsと128kbpsのデータ通信を切り替えます。	通信中着信通知		
マニュアルBOD	ファンクションボタンを使って、通信速度を128kbps / 64kbpsに切り替えます。	-		x
同期64kbpsインターネット通信	非同期通信に対応したパソコンから、同期アクセスポイントに接続できます。	-		x
非同期57.6kbps通信	非同期アクセスポイントに接続できます。	-		x
無通信監視タイマ	回線に接続したまま通信しない状態が設定した時間を超えた場合に、回線を自動的に切断します。切断忘れを防ぎます。	-		
強制切断タイマ	設定した時間通信をおこなうと、強制的に回線を切断します。	-		

機能	内容	INSネット64 付加サービスの契約	IWX70	RS20
スティルスコールバック	Aterm間のネットワークでクライアント側から接続したときに、サーバ側が発信を自動的に切断して、接続し直します。クライアント側に通信料金がかかりません。	-		
応答平均化機能	1本の回線に複数のAtermが接続されている場合に、各Atermへの着信応答を平均化します。	-		×
PIAFS2.0 / PIAFS2.1 対応	PHSのデータ通信の標準規格に対応しており、PHSからAtermへリモートアクセスが可能です。	-		
V.42bis圧縮	PHSとデータ通信するとき、データを圧縮して通信時間を短縮します。	-		
CTI機能	発信者の電話番号などの情報をリザルトコードでパソコンに通知します。	-		
ITMUX	1つのユーザIDで2台のパソコンから同じプロバイダに同時に接続できます。1本分の通信費で接続でき、あいているもう1本のBチャンネルで電話やファクスが使えます。	-		
マルチアクセス	Atermにつないだ2台のパソコンから別々のプロバイダに同時にアクセスできます。	-		
USBポート	最新のパソコンインタフェースに対応し、簡単接続、高速通信を実現します。	-		
USBネットワーク	Atermにつないだパソコン間で、ファイルやプリンタの共有が可能です。	-		×
内線データ通信	IWX70とRS20などとの親・子機間でデータのやりとりができます。	-		
高性能アナログポート	電話機やファクスなどのアナログ通信機器を接続し、さまざまな電話のサービスが利用できます。	-		
アナログ端末ブランチ接続	1つのアナログポートに最大3台までの電話機が接続できます。	-		
発信者番号通知選択	INSネット64の「発信者番号通知サービス」に対応しています。自分の電話番号を相手に通知する／しないをポートごとに選択できます。	-		
内線通話	アナログポートに接続した電話機どうしで、内線通話ができます。	-		
内線転送	外線がかかってきた電話をアナログポートに接続した電話機に内線で転送ができます。	-		
優先着信ポート指定	2台の電話機のうち、どちらか1台の電話機に優先的に着信させることができます。	-		×
短縮ダイヤル発信	あらかじめ相手の電話番号を登録しておく、短縮番号で電話がかけられます。	-		
サブアドレスなし着信選択	サブアドレスを設定している場合でも、サブアドレスの指定がない相手にも着信できます。	-		
ダイヤル桁間タイム設定	ダイヤルしてから発信するまでの時間を設定できます。	-		

機能	内容	INSネット64 付加サービスの契約	IWX70	RS20
保留音送出	疑似キャッチホンを利用しているときでも相手に保留音を流すことができます。	-		
お出かけ設定	電話着信転送モード/ボイスワープ転送モード/ボイスワープ・セレクト/フラッシュモードがあります。でかけるボタンを押すと、設定した内容で動作を開始します。外出するときやおやすみになるときに、呼出音を鳴らさずに、ピクトグラムで知らせたり、別の電話番号に転送することができます。	ボイスワープ転送モード利用の場合「INSボイスワープ」、ボイスワープ・セレクトの場合「INSボイスワープ・セレクト」		×
フレックスホン対応	INSキャッチホン/着信転送/三者通話/通信中転送のうち、契約したサービスが利用できます。	INSキャッチホン/着信転送/三者通話/通信中転送		×
INSボイスワープ/INSボイスワープ・セレクト対応	INSネット64のINSボイスワープ/INSボイスワープ・セレクトに対応しています。かかってきた電話を別の電話番号に転送します。	INSボイスワープ/INSボイスワープ・セレクト		×
INSなりわけサービス対応	INSネット64のINSなりわけサービスに対応しています。特定の相手から着信したときだけ、異なる着信音を鳴らしたり(識別リングング)、キャッチホンを動作させたり(選択キャッチホン)、着信したり(識別着信)できます。	INSなりわけサービス		×
i・ナンバー対応	INSネット64のi・ナンバーに対応しています。設定したポートを2つの電話番号で別々に呼び出すことができます。	i・ナンバー		
ダイヤルインサービス対応	INSネット64のダイヤルインサービスに対応しています。契約者回線番号やダイヤルイン番号で設定したポートを呼び出すことができます。	ダイヤルインサービス		
アナログ・ダイヤルイン対応	着信した電話番号をプッシュボタン信号としてアナログ通信機器に送出します。アナログ通信機器のダイヤルインに対応します。	i・ナンバーまたはダイヤルインサービス		×
モデム・ダイヤルイン対応	着信した電話番号をモデム信号としてアナログ通信機器に送出します。アナログ通信機器のダイヤルインに対応します。	i・ナンバーまたはダイヤルインサービス		×
着信ダイヤルイン複数選択	1台の電話機に複数の電話番号を割り当てて着信ができます。	ダイヤルインサービス		×
発信者電話番号指定	アナログポートごとに発信する電話番号を指定できます。	-		×
INSナンバー・ディスプレイ対応	INSネット64のINSナンバー・ディスプレイに対応しています。相手の電話番号をナンバー・ディスプレイ対応の電話機に表示します。	INSナンバー・ディスプレイ		
着信履歴表示	着信した相手の電話番号や着信日時などを50件まで記憶できます。	INSナンバー・ディスプレイ		×
着信履歴先発信	着信を記憶した相手に、簡単な操作で電話がかけられます。	INSナンバー・ディスプレイ		×
迷惑電話防止	いたずらなどの迷惑な電話を登録して次回から着信を拒否します。	INSナンバー・ディスプレイ		×

機能	内容	INSネット64 付加サービスの契約	IWX70	RS20
マイプライベート着信	電話帳に登録した相手から着信があると、特定の電話機を呼び出します。	INSナンバー・ディスプレイ		×
疑似着信なりわけ	「INSなりわけサービス」の識別リングングと同等のサービスを実現します。	INSナンバー・ディスプレイ		×
疑似選択キャッチホン	「INSなりわけサービス」の選択キャッチホンと同等のサービスを実現します。通話中でも登録した相手からの電話だけを割り込み音で知らせます。	INSナンバー・ディスプレイ		×
識別着信転送	「INSなりわけサービス」のセキュリティ(識別着信)機能を利用して、登録した相手からの着信だけを設定した別の電話番号に転送します。	INSなりわけサービス		×
疑似キャッチホン	フレックスホンの「INSキャッチホン」と同等のサービスを実現します。	-		
疑似三者通話	フレックスホンの三者通話と同等のサービスを実現します。通話中に外線でもう一人を呼び出し、三人で通話できます。	-		
疑似着信転送	フレックスホンの着信転送と同等のサービスを実現します。かかってきた電話に応答せずに、設定した別の電話番号へ転送します。	-		×
電子メール着信通知 (BIGLOBEとの契約が必要)	BIGLOBEに電子メールが到着したことを、アクセスせずにMSGランプの点滅でお知らせします。	-		
UUIメール	Aterm間で100byteまでのショートメールを1回0.4円で送受信できます。	-		
テレホンUUIメール	Aterm間のUUIメールを電話機から1回0.4円で送受信できます。	通信中着信通知		×
遊遊メール (BIGLOBEとの契約が必要)	パソコン/携帯情報端末/デジタル携帯電話/PHSへショートメッセージを1回0.4円で送信できます。	-		
テレホン遊遊メール	電話機からパソコン/携帯情報端末/デジタル携帯電話/PHSへUUIメールが送信できます。	-		×
らくらくアシスタント (らくらくクーティリティ)	電話機やインターネットを利用するための設定が、パソコン画面の案内にしたがって簡単にできます。	-		
らくらくテレホン設定	電話機やファクスを利用するための設定が電話機でできます。	-		
UUIメールEXクーティリティ	UUIメール/電子メール着信通知/遊遊メールをパソコンで利用するためのクーティリティです。	-		
累積通信料金表示	アナログポート/無線ポート/データポートの通信料金を表示します。	-		×

1-2 . ホームページ『AtermStation』のご紹介

Atermシリーズのオンライン情報サービスとして、インターネットでホームページ『AtermStation』を開設しています。

AtermStation ホームページアドレス
<http://aterm.cplaza.ne.jp/>



(AtermStationのアドレス、および画面は平成12年6月現在のものです)

『AtermStation』の主なメニュー

『AtermStation』ではAtermをお使いのお客様に役立つ、さまざまな情報を掲載しています。内容は随時更新していますので、定期的にアクセスしてください。
ここでは主な内容をご紹介します。

Atermシリーズユーザ登録受け付け

Atermをご購入いただいたお客様にユーザ登録をお願いしています。ご登録いただいたお客様には電子メールによる新製品情報やバージョンアップ情報、キャンペーン、イベントなどの特典やサービスをご提供しています。ぜひご登録ください。
ご登録の際には次のものをご用意ください。

機種名「IWX70」「RS20」

製造番号（背面の品名ラベルに記載されています）

電子メールアドレス

Atermを使用するINSネット64の契約者回線番号

Atermシリーズ最新ラインアップ情報

Aterm製品のラインアップや新商品のご紹介、製品仕様を掲載しています。

最新ユーティリティやファームウェアのダウンロード

各Aterm用の最新のユーティリティソフトや、Aterm本体に記憶されているファームウェアをダウンロードすることができます。最新のユーティリティやファームウェアを使用すると、ご使用のAtermに新しい機能を追加することができます。

IWX70対応ワイヤレス子機リスト

IWX70の子機として増設登録が可能なワイヤレス子機(PHS電話機)のリストを掲載しています。接続の確認ができた機種から随時掲載しています。ワイヤレス子機を増設する前にご確認ください。

役に立つ特集

新しい機能のご紹介やAtermの活用方法などをご紹介します。

1-3 . インターネットプロバイダ『BIGLOBE』のご紹介

『BIGLOBE』は NEC が運営するインターネットプロバイダです。

BIGLOBE ホームページ

BIGLOBEのホームページではニュース速報や占いなど、生活に役立つさまざまな情報を掲載しています。BIGLOBE会員でない方が利用できるサービスもたくさんありますので、ぜひアクセスしてください。

BIGLOBE ホームページアドレス

<http://www.biglobe.ne.jp/>



(BIGLOBE のアドレス、および画面は平成 12 年 6 月現在のものです)

BIGLOBEでは会員の皆様に、さまざまなサービスを提供しています。主なサービスをご紹介します。

全国に広がるアクセスポイント

ISDN 専用アクセスポイントのほか、128kbps マルチリンク PPP 接続や PIAFS 接続にも対応しています。

電子メール

電子メールアドレスを持つことができます。1件あたり5MBまで、最大999件のメールをサーバに保管できます。

ホームページ公開サービス

個人で作ったホームページをインターネットに公開します。ホームページの合計容量が5MBまでは無料で掲載できます。

Aterm のメール機能

BIGLOBE と Aterm を組み合わせると、Aterm のメール機能「電子メール着信通知」「遊遊メール」が利用できます。

「電子メール着信通知」はBIGLOBEのメールアドレスにメールが着信すると、メールが着信したことを Aterm の MSG ランプで知らせます。

「遊遊メール」は Aterm が送信した UII メールを電子メールとして送信したり、携帯情報端末やデジタル携帯電話、PHSなどのショートメッセージとして送信することができます。

BIGLOBE の加入とそれぞれのオプション契約、設定が必要です。

サポート

BIGLOBE カスタマーサポートでは、インターネットに関する操作方法や環境設定などのサポートを実施しています。

BIGLOBE インフォメーションデスク

ご注意

申し込み方法やサービスの詳細などは下記にお問い合わせください。

BIGLOBEのお問い合わせにつきましては、BIGLOBEのホームページをご覧ください。

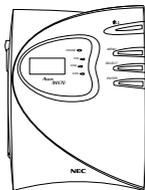


「電子メール着信通知」など Aterm でさらにインターネットを便利に使いたい方や、プロバイダとの契約がお済みでない方は、この機会に BIGLOBE へのご入会をご検討ください。加入方法として『らくらくアシスタント』を使って BIGLOBE にオンライン・サインアップで入会申し込みができます。ぜひご利用ください。

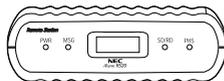
1-4 . 箱の中身を確認する

ワイヤレスセットの箱を開けたら次のものがそろっているか確認してください。不足しているものがありましたら、お買い上げいただいた販売店にご連絡ください。

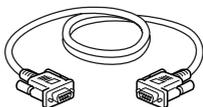
IWX70 本体



RS20 本体



RS-232C ケーブル
(9ピン)



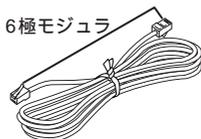
1本添付
シリアルポートと接続時に使用

USB ケーブル



1本添付
USBポートと接続時に使用

INS 回線ケーブル (3m)

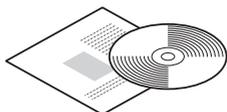


1本添付
INS ネット64と接続時に使用

取扱説明書 (本書)

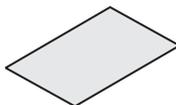


CD-ROM 「Aterm IWX70
シリーズユーティリティ集」



パソコンで設定するためのソフトウェア
やPDFファイルなどを収録

保証書

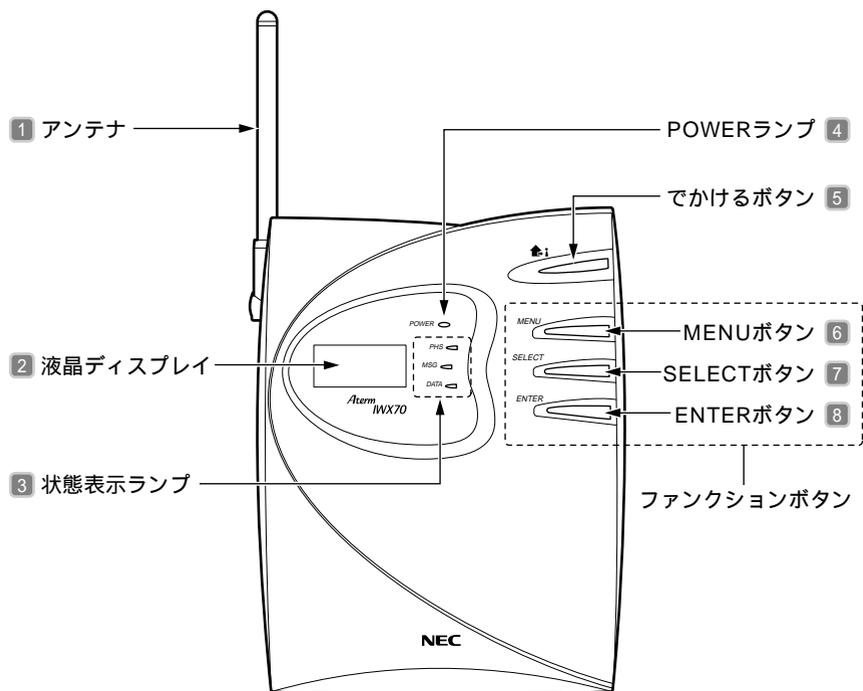


1-5 . 各部の名前とはたらき

IWX70 と RS20 の各部の名前は次のとおりです。

IWX70

IWX70 前面



1 アンテナ

RS20 などの子機に対して無線電波の受発信をします。

2 液晶ディスプレイ

日時や回線・通信機器の使用状況、設定内容などを絵文字(ピクトグラム)とメッセージで表示します。(P.320)



↑ 着信転送が設定してあるときに表示されます。

☎☎ 電話Aポートまたは電話Bポートに接続されている通信機器の受話器を上げているときに表示されます。

➡ データ通信をしているときに表示されます。

➡ Bチャンネル1つ(64kbps)で通信中

➡ Bチャンネル2つ(128kbps)で通信中

B1 B2 B1またはB2チャンネルを使用しているときに表示されます。

RDY シリアルポートまたはUSBポートに接続されたパソコンのER(Equipment Ready)信号がONのときに表示されます。

3 状態表示ランプ

PHS(無線状態表示)ランプ

緑色点灯: 無線通信が可能なとき

赤色点灯: 子機が増設登録されていないとき

緑色点滅: 無線回線を1チャンネル使用しているとき

赤色点滅: 無線回線を2チャンネル使用しているとき

消灯: 電波の状態が悪いとき

MSG(メッセージ)ランプ

BIGLOBEに電子メールまたはUIメールが到着するとオレンジ色に点滅します。

(P.255)

DATA(送信/受信データ表示)ランプ

緑色点灯: シリアルポートに接続したパソコンでデータを送受信しているとき

赤色点灯: USBポートに接続したパソコンでデータを送受信しているとき

4 POWERランプ

緑色点灯: 電源が入っているとき

緑色点滅(1秒間に2回):

電池で動作しているとき

緑色点滅(1秒間に1回):

電池の残量が少ないとき

5 でかけるボタン

お出かけ設定(P.193)をするときに押します(本文中は で表します)。

点灯: お出かけ設定にしているとき

消灯: お出かけ設定を解除しているとき

点滅: お出かけ設定をセット中に電話がかかってきたとき

おやすみモードのとき: 着信があったあと、ランプは点滅した状態になります。

フラッシュモードのとき: 着信があったときだけ、ランプが点滅します。

6 MENUボタン

各種の設定を開始・終了するときに押します。設定中に押すと、設定はキャンセル(解除)されます(本文中は で表します)。

7 SELECTボタン

設定項目を選択するときに押します。ボタンを押すごとに設定項目が切り替わります(本文中は で表します)。

8 ENTERボタン

設定項目を決定するときに押します(本文中は で表します)。

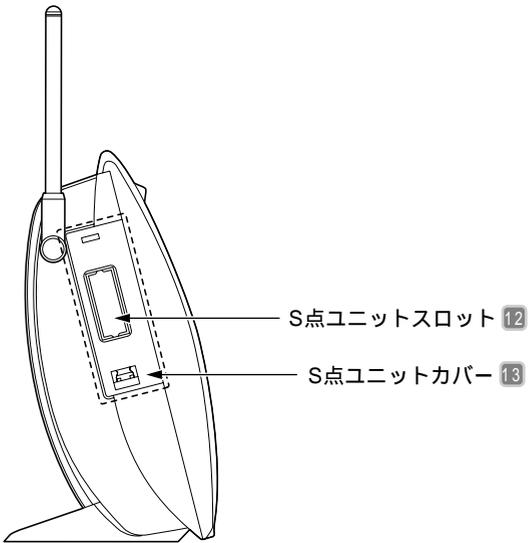
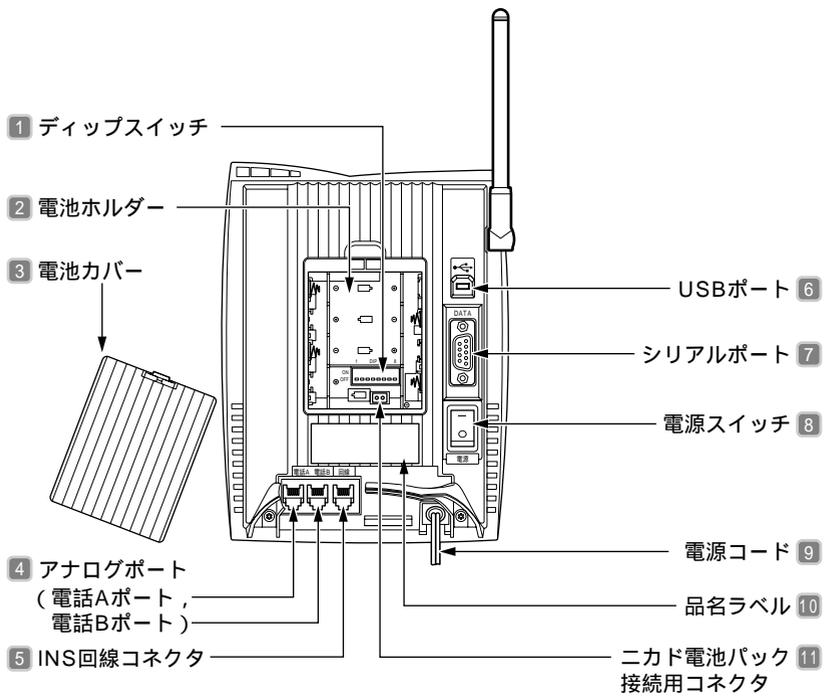


MSG(メッセージ)ランプはBIGLOBEへ電子メールが到着したとき、またはAtermに直接UIメールが到着したときにオレンジ色に点滅してお知らせします。電子メール着信通知をご利用になるには、BIGLOBEの加入とメールサービスの申し込みが必要です。

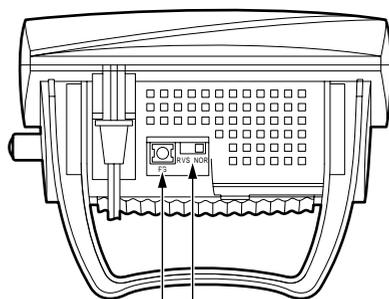
IWX70 背面 / 側面

はじめに
お読みください

1-5 各部の名前とはたらき



- 1 ディップスイッチ
強制ダウンロードモード（ P.336 ）など
を実行するときに使用します。
- 2 電池ホルダー
停電モード時に使用する電池を入れます。市
販の単3アルカリ乾電池4本、または別売の
ニカド電池パック（ PC-IT/B02 ）をセット
します。（「8-5.別売オプション」 P.340 ）
- 3 電池カバー
電池ホルダーに電池をセットするときに外し
ます。ツメの部分を押しながらカバーを
持ち上げるようにすると、本体から外れます。
- 4 アナログポート（ 電話 A ポート , 電話 B
ポート ）
電話機、ファクス、モデムなどのアナログ通
信機器を接続します。
- 5 INS 回線コネクタ
添付の INS 回線ケーブルを使用して INS
ネット 64 と接続します。
- 6 USB ポート
USB ケーブルを使用してパソコンを接続し
ます。シリアルポートと合わせてデータポ
ートとも呼びます。
- 7 シリアルポート
RS-232C ケーブルを使用してパソコンを接
続します。USBポートと合わせてデータポ
ートとも呼びます。
- 8 電源スイッチ
電源の ON/OFF を切り替えます。ON にす
るときは「 - 」側を押します。
- 9 電源コード
AC100Vの家庭用電源コンセントに接続し
ます。
- 10 品名ラベル
認証番号、製造番号、無線端末識別用 ID 番
号などが記載されています。
- 11 ニカド電池パック接続用コネクタ
電池ホルダーにニカド電池パック（ PC-IT/
B02 ）をセットするときに接続します。
- 12 S 点ユニットスロット
別売の S 点ユニット（ PC-IT/U03 ）を増設
するための拡張スロットです。（「8-5. 別売
オプション」 P.340 ）
- 13 S 点ユニットカバー
別売の S 点ユニット（ PC-IT/U03 ）を取り
付けるときに外します。



1 アース線接続端子 ————— INS回線リバーススイッチ 2

1 アース線接続端子

市販のアース線を取り付けます(アース線は添付されていません)。

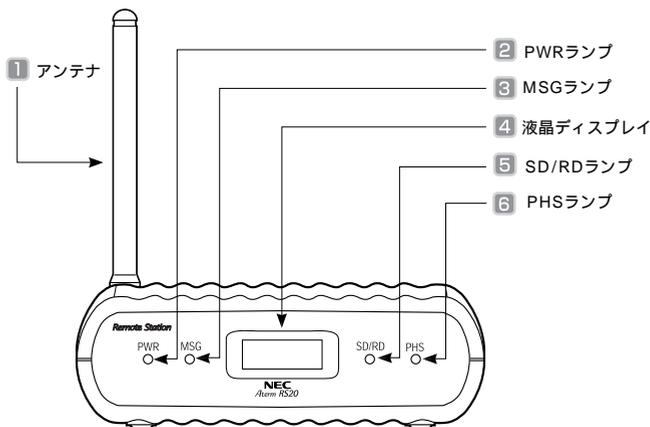
2 INS 回線リバーススイッチ

INSネット64の配線が逆転しているとき(同期がとれないとき)に切り替えます。切り替えるときはボールペンの先など細くて硬いものを使います。(P.66)



液晶ディスプレイには表面を保護するための保護シート(ポリエチレンフィルム)が貼ってあります。ご使用の際には保護シートをはがしてからお使いください。本装置のプラスチック部品の一部に、光の具合によってはキズに見える部分があります。プラスチック部品の製作過程で生じることがあるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

RS20 前面



1 アンテナ

IWX70などの親機に対して無線電波の受信をします。

2 PWR (電源) ランプ

電源が入っていると緑色に点灯します。

3 MSG (メッセージ) ランプ

BIGLOBEに電子メールまたはUIメールが到着するとオレンジ色に点滅します。(P.255)

4 液晶ディスプレイ

日時や回線・通信機器の使用状況、設定内容などを絵文字(ピクトグラム)とメッセージで表示します。(P.320)
出荷時は表面に保護シート(ポリエチレンフィルム)が貼ってあります。



🔊 アナログポートに接続されている通信機器の受話器を上げているときに表示されます。

➡ データ通信をしているときに表示されます。

➡ 無線チャンネル1つ(32kbps)で通信中

➡ 無線チャンネル2つ(64kbps)で通信中

RDY シリアルポートまたはUSBポートに接続されたパソコンのER(Equipment Ready)信号がONのときに表示されます。

5 SD/RD (送信/受信データ表示) ランプ

緑色点滅: パソコンからRS20にデータが送られているとき

赤色点滅: RS20からパソコンにデータを送っているとき

USBポートを使用してデータ通信をおこなっているときは点滅しません。

6 PHS (無線状態表示) ランプ

緑色点灯: 無線通信が可能のとき

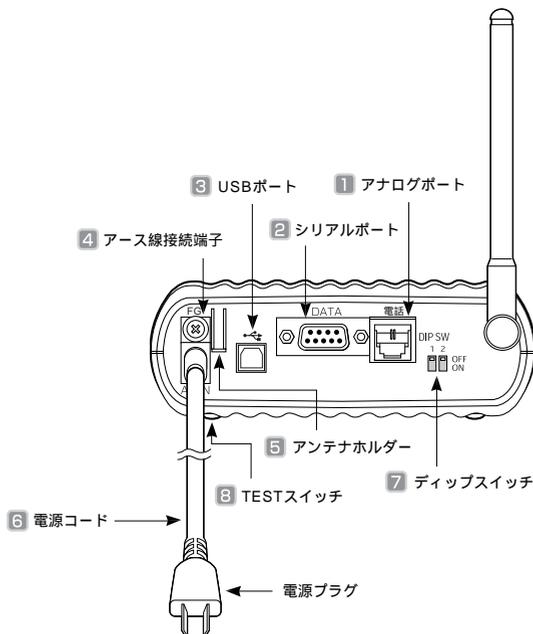
赤色点灯: RS20が増設登録されていないとき

緑色点滅: 無線回線を1チャンネル使用しているとき

赤色点滅: 無線回線を2チャンネル使用しているとき

オレンジ色点滅: 電波が弱いとき

消灯: 電波の状態が悪くて、無線通信できないとき

**1** アナログポート

電話機、ファクス、モデムなどのアナログ通信機器を接続します。

2 シリアルポート

RS-232Cケーブルを使用してパソコンを接続します。USBポートと合わせてデータポートとも呼びます。

3 USBポート

USBケーブルを使用してパソコンを接続します。シリアルポートと合わせてデータポートとも呼びます。

4 アース線接続端子

市販のアース線を取り付けます（アース線は添付されていません）。

5 アンテナホルダー

アンテナを倒したときにアンテナをセットして保護します。

6 電源コード

AC100Vの家庭用電源コンセントに接続します。

7 ディップスイッチ

設定値を初期化したり、自己診断を実行するときに使用します。（ P.336 ）

8 TESTスイッチ（底面）

自己診断などを実行するときに使用します。



お知らせ

MSG（メッセージ）ランプはBIGLOBEへ電子メールが到着したとき、またはAtermに直接UIメールが到着したときにオレンジ色に点滅してお知らせします。電子メール着信通知をご利用になるには、BIGLOBEの加入とメールサービスの申し込みが必要です。

1-6 . Aterm をお使いになる前に

Aterm をお使いになる前に以下の点を確認してください。

INS ネット 64 を利用するには

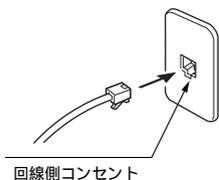
電話回線はINS ネット 64 ですか？

IWX70 をアナログ電話回線に接続しても使用できません。電話回線を「INS ネット 64 (または「INS ネット 64 ・ライト)」に変更してからご使用ください。(P.49)

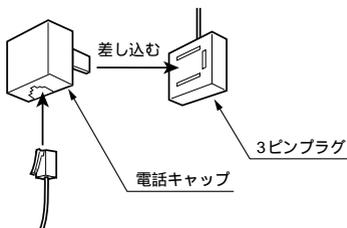
回線側コンセントはモジュラタイプですか？

壁に設置された回線側コンセント(モジュラコンセント)の形状によって、そのままではINS 回線ケーブルを接続できない場合があります。コンセントの形状を確認してください。

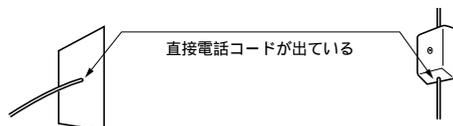
そのまま接続できます



電話キャップを別途購入する必要があります



NTT東日本・NTT西日本に工事を依頼する必要があります



INS ネット 64 の契約が済んでいない場合

最寄りのNTT 東日本またはNTT 西日本で、INS ネット 64 またはINS ネット 64 ・ ライトの加入手続きをしてください。手続きの詳細については、NTT 東日本またはNTT 西日本にお問い合わせください。

申し込みが必要な項目

Aterm をお使いいただくために、申し込みが必要な項目は次のとおりです。

項目		選択・記入内容	備考
必須項目	インタフェース形態及びレイヤ1 起動種別	P-MP常時	-
	発信者番号通知サービス	通常通知 (通話ごと非通知) [推奨]	Atermの初期状態は「INSネット64の申し込み通り」に設定されているため、発信者番号が通知されます。通知したくない場合は、『らくらくアシスタント』またはATコマンドで「番号通知を行わない」に設定します。
	ユーザ間情報通知サービス	着信許可	電子メール着信通知、UIメールなどのユーザ間情報通知を利用する場合に選択します。
	通信中着信通知サービス (無料)		リソースBODの着信、電子メール着信通知、UIメールの着信、フレックスホンのINSキャッチホンを利用する場合に選択します。
付加機能	i・ナンバー (有料)		電話番号を2つ使いたい場合に契約します。「住宅」をチェックし、追加番号を記入します。
	ダイヤルインサービス (有料)		Atermのグローバル着信機能を利用してアナログポートを呼び分けるときに契約します。グローバル着信の「住宅用」を選択し、ダイヤルインサービス追加番号を記入します。
	配線・DSU等		
	DSU	PC-IWX70D	-
	TA	他社 (DSU内蔵)	-
	数量	1台	INSネット64の1回線につき、1台のIWX70を接続できます。
	機器工事	お客さま	-

* 有料の付加機能はお客様の必要に応じて申し込んでください。



「電子メール着信通知」をご利用になるには、「ユーザ間情報通知サービス」以外に、BIGLOBE への加入とメールサービスの申し込みが必要です。

INS ネット 64 の付加サービスの申し込み

お使いになりたい機能によって、必要なINS ネット64の付加サービスを申し込んでください。例えば、2つの電話番号で電話機とファクスを呼び分けたい場合は「i・ナンバー」または「ダイヤルインサービス」を申し込みます。i・ナンバーを利用すると、2つの電話番号で電話機を呼び分けることができます。3つ以上の電話番号で呼び分けたい場合は、ダイヤルインサービスを申し込みます。ダイヤルインサービスのオプション項目を「グローバル着信有」にします。

また、かかってきた相手の電話番号を確認する「INS ナンバー・ディスプレイ」や指定した電話番号に転送する「INS ボイスワープ」などのさまざまなINS ネット64の付加サービスがあります。

INS ネット64の付加サービスの詳細はNTT東日本またはNTT西日本にお問い合わせください。



IWX70とRS20が対応するINS ネット64の付加サービスと設定方法については「5-2. 電話機能」(P.134)を参照してください。

「INS ネット 64 / INS ネット 64・ライトお申込票」例

(お客様控え)

【東京支社版】

ご本人のお名前へ

INS ネット 64・64 ライトお申込票

ページ番号 / 総ページ数

お申し込みの目的
 利用中の機器の増設
 利用中の機器の更新
 新規にお申し込み
 変更のお申し込み
 解約のお申し込み

お申し込みの理由
 業務の拡大
 業務の効率化
 業務の自動化
 業務の柔軟化
 業務の多様化
 業務の高度化
 業務の多岐化
 業務の多岐化
 業務の多岐化

お申し込みの時期
 希望開始年月日 平成 年 月 日 至 平成 年 月 日
 希望終了年月日 平成 年 月 日
 希望開始時刻 午前 午後 夜間
 希望開始曜日 月 火 水 木 金 土 日 祭日

お申し込みの場所
 希望開始場所 東京都 区 丁目 番 号
 希望終了場所 東京都 区 丁目 番 号
 希望開始階数 階
 希望終了階数 階

お申し込みの機器
 希望開始機器 機種名 型番
 希望終了機器 機種名 型番
 希望開始台数 台
 希望終了台数 台

お申し込みの料金
 希望開始料金 月額 円
 希望終了料金 月額 円
 希望開始期間 年 月
 希望終了期間 年 月

お申し込みの保証
 希望開始保証 保証内容
 希望終了保証 保証内容
 希望開始保証料 円
 希望終了保証料 円

お申し込みの備考
 希望開始備考
 希望終了備考

お申し込みの署名
 希望開始署名
 希望終了署名

お申し込みの捺印
 希望開始捺印
 希望終了捺印

お申し込みの印鑑
 希望開始印鑑
 希望終了印鑑

お申し込みの住所
 希望開始住所 東京都 区 丁目 番 号
 希望終了住所 東京都 区 丁目 番 号
 希望開始階数 階
 希望終了階数 階

お申し込みの会社
 希望開始会社名
 希望終了会社名

お申し込みの担当
 希望開始担当者
 希望終了担当者

お申し込みの連絡
 希望開始連絡先
 希望終了連絡先

お申し込みの備考
 希望開始備考
 希望終了備考

お申し込みの署名
 希望開始署名
 希望終了署名

お申し込みの捺印
 希望開始捺印
 希望終了捺印

お申し込みの印鑑
 希望開始印鑑
 希望終了印鑑

お申し込みの備考
 希望開始備考
 希望終了備考

お申し込みの署名
 希望開始署名
 希望終了署名

お申し込みの住所
 希望開始住所 東京都 区 丁目 番 号
 希望終了住所 東京都 区 丁目 番 号
 希望開始階数 階
 希望終了階数 階

お申し込みの会社
 希望開始会社名
 希望終了会社名

お申し込みの担当
 希望開始担当者
 希望終了担当者

お申し込みの連絡
 希望開始連絡先
 希望終了連絡先

お申し込みの備考
 希望開始備考
 希望終了備考

お申し込みの署名
 希望開始署名
 希望終了署名

お申し込みの捺印
 希望開始捺印
 希望終了捺印

お申し込みの印鑑
 希望開始印鑑
 希望終了印鑑

お申し込みの備考
 希望開始備考
 希望終了備考

お申し込みの署名
 希望開始署名
 希望終了署名

お申し込みの住所
 希望開始住所 東京都 区 丁目 番 号
 希望終了住所 東京都 区 丁目 番 号
 希望開始階数 階
 希望終了階数 階

お申し込みの会社
 希望開始会社名
 希望終了会社名

お申し込みの担当
 希望開始担当者
 希望終了担当者

お申し込みの連絡
 希望開始連絡先
 希望終了連絡先

お申し込みの備考
 希望開始備考
 希望終了備考

お申し込みの署名
 希望開始署名
 希望終了署名

お申し込みの捺印
 希望開始捺印
 希望終了捺印

お申し込みの印鑑
 希望開始印鑑
 希望終了印鑑

お申し込みの備考
 希望開始備考
 希望終了備考

お申し込みの署名
 希望開始署名
 希望終了署名

お申し込みの住所
 希望開始住所 東京都 区 丁目 番 号
 希望終了住所 東京都 区 丁目 番 号
 希望開始階数 階
 希望終了階数 階

お申し込みの会社
 希望開始会社名
 希望終了会社名

お申し込みの担当
 希望開始担当者
 希望終了担当者

お申し込みの連絡
 希望開始連絡先
 希望終了連絡先

お申し込みの備考
 希望開始備考
 希望終了備考

お申し込みの署名
 希望開始署名
 希望終了署名

お申し込みの捺印
 希望開始捺印
 希望終了捺印

お申し込みの印鑑
 希望開始印鑑
 希望終了印鑑

お申し込みの備考
 希望開始備考
 希望終了備考

お申し込みの署名
 希望開始署名
 希望終了署名

お申し込みの住所
 希望開始住所 東京都 区 丁目 番 号
 希望終了住所 東京都 区 丁目 番 号
 希望開始階数 階
 希望終了階数 階

お申し込みの会社
 希望開始会社名
 希望終了会社名

お申し込みの担当
 希望開始担当者
 希望終了担当者

お申し込みの連絡
 希望開始連絡先
 希望終了連絡先

お申し込みの備考
 希望開始備考
 希望終了備考

お申し込みの署名
 希望開始署名
 希望終了署名

お申し込みの捺印
 希望開始捺印
 希望終了捺印

お申し込みの印鑑
 希望開始印鑑
 希望終了印鑑

お申し込みの備考
 希望開始備考
 希望終了備考

お申し込みの署名
 希望開始署名
 希望終了署名

「INS ネット 64・64 ライトお申込票」の記入のしかた

お申込年月日

お申込票を提出する日を記入します。

ご記入者

お申込者のお名前を記入します。

お申込回線数

申し込む回線数を記入します。

ご利用開始希望日

工事を希望する年月日を記入します。

お申込電話種類

電話の種類をINS ネット 64 またはINS ネット 64・ライトから選択します。

お申込者名

住民票または登記簿上のお名前を記入します。

INS ネットをご利用になる場所

INS ネット 64 を利用する場所を記入します。

ご住所

住民票または登記簿上の住所を記入します。

お取付工事

お取付工事内容を選択します。

ご連絡先

各ご連絡を担当される方の名前と電話番号を記入します。

パケット通信の有無

パケット通信のご利用の有無を選択します。

毎月の請求書（基本料・通信料）の送付先

請求書の送付先を基本料または通信料から選択、または記入します。

契約料・施設設置負担金

契約料・施設設置負担金のお支払方法を選択、または記入します。

工事料金

工事料金のお支払方法を選択、または記入します。

通信機器代金（コネクタ代金含む）

通信機器を購入するときに、代金のお支払い方法を選択、または記入します。

電話帳掲載

電話帳へ掲載するかしないかを選択します。掲載する場合は掲載名を記入します。

「104」の番号案内も掲載名でおこなわれます。

子機を接続するには

子機は増設登録されていますか？

IWX70の子機としてリモートステーションやマルチモバイルカード、PHS電話機を使うには、親機と子機の両方に増設登録(ID登録)が必要です。増設登録はお近くのNEC保守サービス受付拠点(P.350)またはPCクリーンスポット(P.345) お買い上げいただいた販売店で有料にて承りますのでお問い合わせください。販売店によっては受け付けていない場合がありますので、あらかじめご確認ください。

なお、ワイヤレスセットに同梱のRS20は、出荷時にIWX70の無線Aポート(内線番号91)に増設登録がしてあります。お客様があらためて増設登録をする必要はありません。

PHSはIWX70に対応していますか？

IWX70の子機として使用するPHS電話機の機種を確認してください。接続ができる機種についてはAtermStationをご覧ください。

ホームページ『AtermStation』 <http://aterm.cplaza.ne.jp/> (平成12年6月現在)



IWX70の子機として増設登録できるのは合計6台までで、機器によって次のようになります。

PHS電話機	最大6台(内線番号:91・92・93・94・95・96)
AtermRS20	最大6台(内線番号:91・92・93・94・95・96)
AtermRS10	最大3台(内線番号:91・93・95)
AtermRC45	最大6台(内線番号:91・92・93・94・95・96)
AtermRC35	最大6台(内線番号:91・92・93・94・95・96)
AtermRC25	最大6台(内線番号:91・92・93・94・95・96)

AtermRS20、AtermRS10は「リモートステーション」です。

AtermRC45、AtermRC35、AtermRC25は「マルチモバイルカード」です。増設登録された子機は内線番号の順にIWX70の無線A～無線Fポートに割り当てられます。

IWX70の無線ポートに増設登録された子機は、IWX70で設定をおこなうことによって、電話やインターネットが利用できるようになります。

インターネットを利用するには

インターネットを利用するには、以下の契約とソフトウェアが必要です。

プロバイダとの契約

インターネットに接続するには、インターネット接続業者(プロバイダ)との契約が必要です。申し込み方法などの詳細は、プロバイダにお問い合わせください。

ホームページを表示するソフトウェア

ホームページを見るには『Internet Explorer (インターネット・エクスプローラ)』や『Netscape Navigator (ネットスケープ・ナビゲータ)』などのブラウザソフトが必要です。ブラウザソフトは、ほとんどのパソコンにいずれかのソフトが添付されています。詳細はパソコンの取扱説明書、またはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

電子メールを送受信するソフトウェア

電子メールを送受信するには『Outlook Express (アウトルック・エクスプレス)』などの電子メールソフトが必要です。電子メールソフトはパソコンに添付されている場合もありますので、確認してください。詳細はパソコンの取扱説明書、またはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。



プロバイダの契約がお済みでない場合は『らくらくアシスタント』で、NECが運営するインターネットプロバイダ『BIGLOBE』にオンラインサインアップで入会申し込みができます。ぜひご利用ください。

2

Atermを接続する

Atermを設置して電話機やパソコンと接続する手順と、電話の使い方を説明します。

電話機 / ファクスを接続する



INSネット64を接続する



電源を接続する



電話が使えるか確認する



パソコンを接続する

Windows® 2000はMicrosoft® Windows® 2000 operating systemの略です。
Windows® 98はMicrosoft® Windows® 98 operating systemの略です。
Windows® 95はMicrosoft® Windows® 95 operating systemの略です。
WindowsNT® 4.0はMicrosoft® WindowsNT® operating system version 4.0の略です。

2-1 . Aterm を接続するまでの流れ

次の手順で Aterm と電話機、パソコンを接続します。



インターネットを利用する場合はIWX70またはRS20とパソコンを接続してください。

Aterm の設置場所を決める

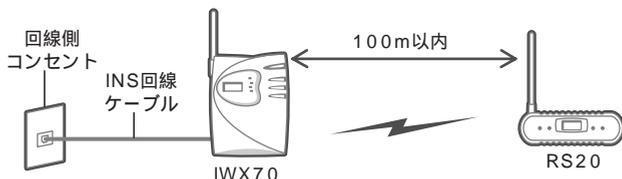
電話機やパソコンを設置したい場所に合わせてIWX70、RS20を設置します。その際、次の点を確認してください。

IWX70

壁に設置された回線側コンセント（モジュラコンセント）と、添付のINS回線ケーブルで接続できる場所に置きます。

RS20

IWX70 から無線で電波が届く場所に設置します。電波が届くのは、間に障害物が何もない状態で約100mです。鉄筋壁、防音壁、断熱壁、電波を出す他の機器の有無などの設備環境によっては、100m以内でも電波が届かないことがあります。その場合はIWX70に近づけて設置してください。



IWX70とRS20の無線電波の状態はRS20前面のPHSランプで確認できます。

PHSランプ	無線状態
緑色点灯	無線通信が可能なとき
オレンジ色点滅	電波が弱いとき
消灯	電波の状態が悪くて無線通信ができないとき または他の増設した子機が無線ポートを使用しているとき

2-2 . 電話機 / ファクスを接続する

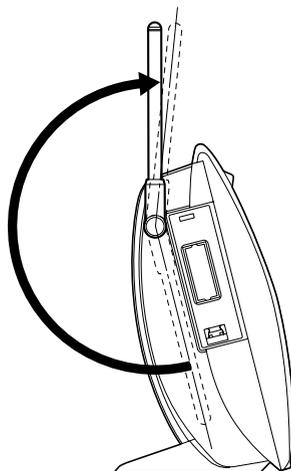
電話機やファクス、モデムを電話機接続コードでIWX70、RS20のアナログポート(電話Aポート、電話Bポート)に接続します。電話機接続コードは市販のもの、または電話機やファクスに添付されているものを使用してください。

アンテナを立てる

IWX70、RS20のアンテナを立てます。

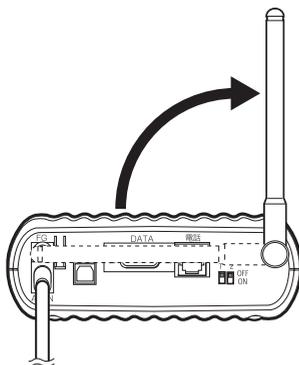
IWX70

IWX70背面のアンテナを前方向に回転させて垂直に立てます。



RS20

RS20背面のアンテナを横方向に回転させて垂直に立てます。



お願い

アンテナを目などにささないように注意してください。

接続する電話機を確認する

アナログ電話回線で使用していた電話機がそのまま使えます。ただし、IWX70、RS20に接続できるアナログ通信機器は次のとおりです。使用する電話機、ファクスを確認してください。

端末審査協会の適合マーク「㊟」または「㊞」が付いている電話機、G3ファクス、モデムなど

ダイヤル方式が「トーン」(または「PB」)のアナログ通信機器



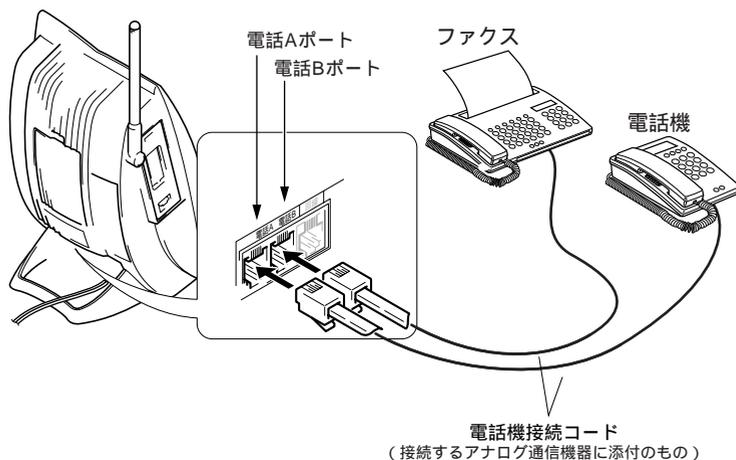
お使いになっていたアナログ電話回線がプッシュホン契約でなかった場合は、電話機のダイヤル方式を「トーン」(または「PB」)に切り替えてからお使いください。IWX70、RS20は無線電波を使用する機器なので、コードレス電話機などの電波を出す機器に影響を与えることがあります。ノイズなどが発生する場合は、これらの機器からIWX70、RS20を離して使用してください。



IWX70、RS20のアナログポートは疑似的にアナログ電話回線と同等の環境を作っています。実際のアナログ電話回線とは異なるので、通信機器によっては使用できない場合があります。

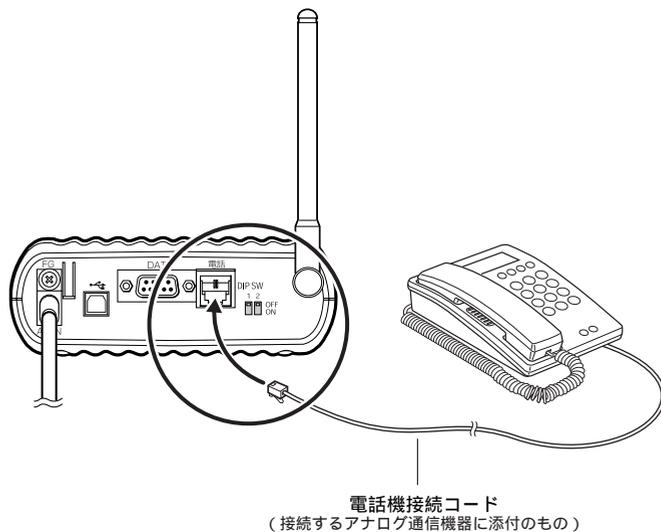
IWX70 と電話機を接続する

IWX70 背面の電話 A ポート、電話 B ポートに電話機やファクス、モデムを接続します。市販のもの、または電話機やファクスに添付されている電話機接続コードを使用してください。停電したときでも使いたい電話機などは電話 A ポートに接続してください。



RS20 と電話機を接続する

RS20 背面のアナログポートには、電話機やファクスを 1 台接続できます。市販のもの、または電話機やファクスに添付されている電話機接続コードを使用してください。

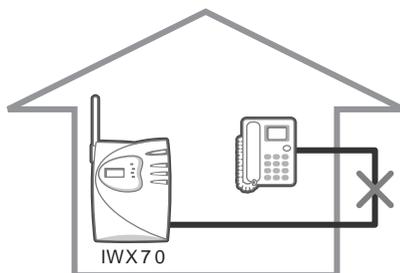




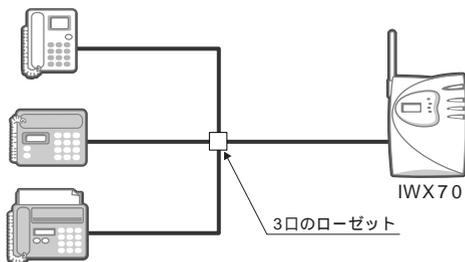
電話機接続コードの太さは直径0.5mm以内、長さは200m以内でご使用ください。なお接続するアナログ通信機器の種類によっては、それよりもコードの長さを短くしないと使用できない場合があります。



電話機接続コードは絶対に屋外を通さないでください。雷などによる傷害の原因となります。



1つのアナログポートに電話機を複数台接続する場合は、3台までブランチ接続ができます。接続できる電話機はアナログ網でブランチ接続が可能な装置です。

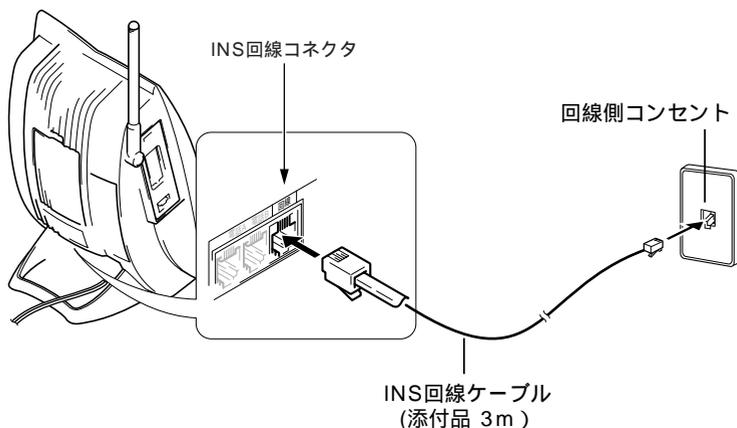


通話できるのは1台のみです。
ブランチ接続する装置の合計容量は3 μ F以下、インピーダンスは2k Ω 以下です。
ブランチ接続した場合は、INSナンバー・ディスプレイなどの番号を電話機に表示することはできません。

2-3 . INS ネット 64 を接続する

添付のINS回線ケーブルでIWX70をINSネット64と接続します。

IWX70とINSネット64を接続する



- 1 IWX70 背面のINS回線コネクタに、添付のINS回線ケーブルを接続します。
- 2 INS回線ケーブルのもう一方を、壁に設置された回線側コンセント(モジュラコンセント)と接続します。



RS20はINSネット64とケーブルで接続する必要はありません。
電話回線や電源コードから入り込む雷などのノイズから装置を保護するため、アース線の接続(次ページ)と別売の落雷プロテクタ(PC-IT/SP01 P.340)のご使用をおすすめします。



INS回線ケーブルを電話Aポートまたは電話Bポートに誤って差し込まないようにしてください。誤って差し込んだ場合、接続機器や回線設備が故障することがあります。

落雷プロテクタを使用している場合でも、落雷の程度によっては二次災害を防止するため装置内の一部分が破壊されることがあります。落雷などの天災地変による故障の場合は、保証期間内でも有料修理となりますのであらかじめご了承ください。

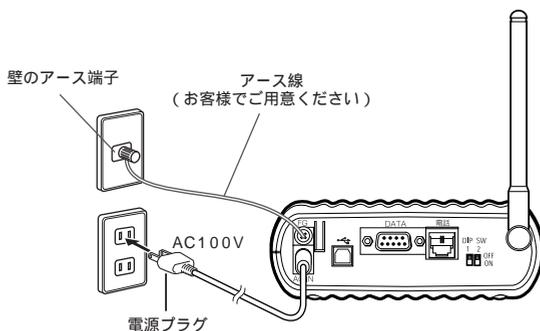
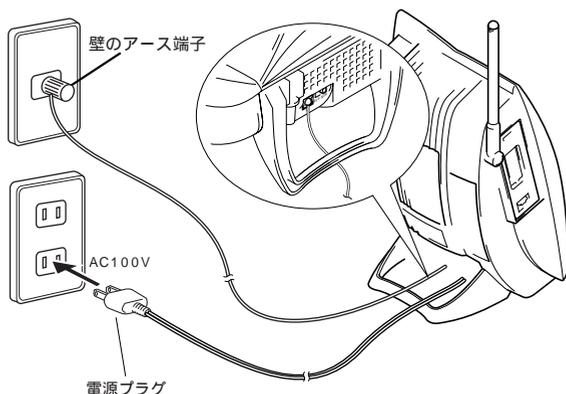
2-4 . 電源を接続する

IWX70、RS20 を電源コンセントと接続します。

アース線と電源を接続する

落雷などの電撃事故による人身への傷害や機器の損傷を防ぐため、アース線を接続することをおすすめします。市販のアース線を用意してください。

- 1 IWX70、RS20 のアナログポートに接続した電話機の手話機が置いてあることを確認します。
- 2 IWX70 底面、RS20 背面のアース線接続端子にアース線を接続します。
- 3 アース線のもう一方を壁のアース端子に接続します。
- 4 電源プラグを家庭用電源 (AC100V) のコンセントに差し込みます。



RS20の電源プラグをコンセントに差し込むと、RS20に電源が入り、前面のPWRランプが緑色に点灯します。

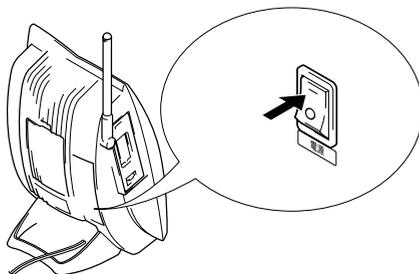


電源コードはパソコンのスイッチと連動しているコンセント(サービスコンセント)には接続しないでください。サービスコンセントに接続していた場合にパソコンの電源を切ると、IWX70、RS20の電源が切れます。IWX70に停電対策用の電池がセットされている場合は、IWX70は停電モードになり電池が消耗します。RS20は電源スイッチがないので、長期間ご使用にならない場合は安全のためコンセントから電源プラグを抜いてください。

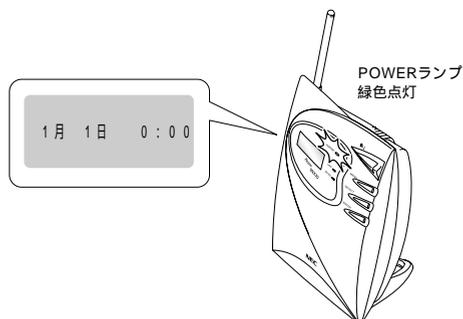
電源を入れる

IWX70 に電源を入れ、正しく接続できたか確認します。

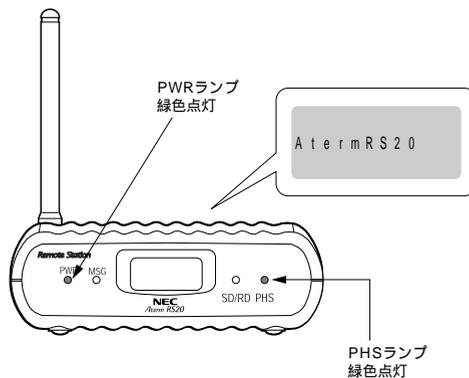
- 1 IWX70 のアナログポートに接続した電話機の受話器を置いた状態にしておきます。
- 2 IWX70 背面の電源スイッチの「-」側を押し、電源を ON にします。



- 3 IWX70 前面の POWER ランプが点灯し、液晶ディスプレイに日付と時刻が表示されることを確認します。



RS20 を接続している場合は RS20 前面の PWR ランプと PHS ランプが緑色に点灯し、液晶ディスプレイに「AtermRS20」と表示されることを確認します。



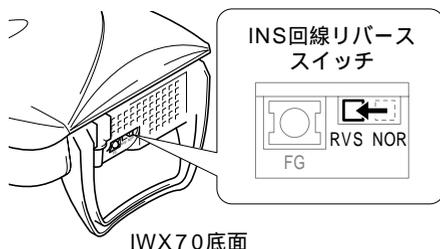
IWX70の液晶ディスプレイに「カイセンショウガイ」と表示されたとき

IWX70の液晶ディスプレイに次の表示が出たときは、INSネット64と正しく接続されていないか、またはINSネット64の配線が逆転している（同期がとれていない）状態です。

カイセンショウガイ
レイヤ1ダウン

以下の手順で接続の確認をしてください。

- ① INS 回線ケーブルが確実に接続されているか確認します。
- ② ボールペンの先など細くて硬いものを使って、IWX70 底面のINS回線リパーススイッチを「RVS」側に切り替えます。



- ③ IWX70の液晶ディスプレイに時刻が表示されたか確認します。
表示されればINSネット64と正常に接続されています。

時刻表示にならない場合はINS回線リパーススイッチを「NOR」側にもどし、INSネット64への切り替えが完了しているか、NTT東日本またはNTT西日本に確認してください。



お願い

アナログ電話回線からINSネット64に契約を変更した場合、電話回線にガスの自動検針器が接続されたままになっていて「カイセンショウガイ レイヤ1ダウン」または「カイセンショウガイ レイヤ2ダウン」と表示されることがあります。その場合はガス供給業者にお問い合わせの上、撤去を依頼してください。

RS20のPHSランプが点灯しないとき

RS20の電源プラグをコンセントに差し込んでもRS20前面のPHSランプが緑色に点灯しないときは、次の点を確認してください。

IWX70の電源が入っていない

IWX70の電源スイッチがONになっていないと、PHSランプは点灯しません。IWX70の電源が入っているか確認してください。

無線電波の状態が悪い

無線電波の状態が悪いときや、IWX70とRS20の距離が離れすぎている場合はPHSランプは点灯しません。無線電波が届くのは、間に障害物が何もない状態で約100mです。鉄筋壁、防音壁、断熱壁、電波を出す他の機器の有無などの設備環境によっては、100m以内でも電波が届かないことがあります。無線電波の状態はRS20のPHSランプで確認できます。

PHSランプ	無線状態
緑色点灯	無線通信が可能のとき
オレンジ色点滅	電波が弱いとき
消灯	電波の状態が悪くて無線通信ができないとき または他の増設した子機が無線ポートを使用しているとき

増設登録されていない

RS20がIWX70の子機として増設登録（ID登録）されていない場合はPHSランプは点灯しません。増設登録はお近くのNEC保守サービス受付拠点（P.350）またはPCクリーンスポット（P.345）お買い上げいただいた販売店で有料にて承りますのでお問い合わせください。なおワイヤレスセットに同梱のRS20は、出荷時にIWX70の無線Aポート（内線番号91）に増設登録がしてありますので、あらためて増設登録をする必要はありません。

カレンダーを設定する

IWX70の液晶ディスプレイに表示される日付と時刻を設定します。

IWX70の液晶ディスプレイを見ながら、IWX70のアナログポートに接続した電話機で操作します。

- ① IWX70のアナログポートに接続した電話機の手話器を上げます。

例 電話Aポートに接続した電話機の手話器を上げた場合

[IWX70液晶ディスプレイ]

A
6月 15日 22:10

- ② 電話機の手話器ボタンを[*][*][1][*]と押します。

A
セッテイホートセンタク

アナログポートの設定になります。

- ③ [9]を押します。

A
シ'コク セッテイ

- ④ [*]を押します。

A
00年01月01日
00:00

- ⑤ 年・月・日・時・分の順に手話器ボタンを押します。

例 2000年6月15日午後10時10分の場合

00006152210

[*]を押すと液晶ディスプレイの入力位置が右に1つ移動します。

- ⑥ [#]を押します。

A
00年06月15日
22:10
5秒後

6月15日 22:10

- ⑦ 手話器を置きます。



設定の途中で手話器を置くと設定はキャンセルされます。はじめからやり直してください。日付・時刻表示のかわりに機種名を表示することもできます。

日付・時刻表示

手話器を上げて[*][*][8][1]と押します。

A
アイト'ルヒョウシ'
1:トケイ

6月15日 22:10

機種名表示

手話器を上げて[*][*][8][0]と押します。

A
アイト'ルヒョウシ'
0:Aterm

AtermIWX70

Windowsをお使いの場合は、『らくらくアシスタント』の[アナログ/無線ポート共通設定]でカレンダーを設定することもできます。

IWX70に電池をセットする

IWX70に電池をセットしておくこと、停電したときに次の機器や機能を使用することができます。

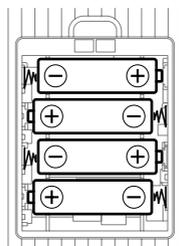
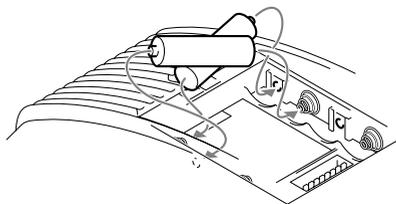
IWX70の電話Aポートに接続されている電話機などの機器と、シリアルポートまたはUSBポートに接続されたパソコン（停電時動作可能な機器の場合）

電子メール着信通知や遊遊メール、UIメール

IWX70 S点ユニットのS/T点

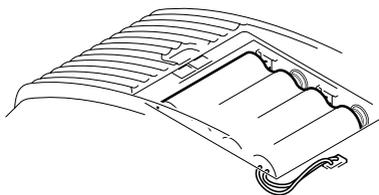
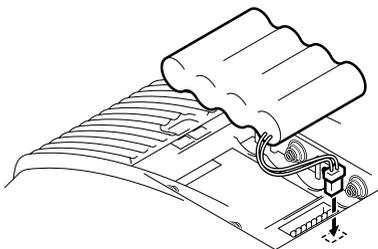
IWX70の電源スイッチがOFFの状態ですべての電池をセットします。

- 1 IWX70背面の電池カバーを取り外します。
ツメの部分を押し下げながらカバーを持ち上げるようにすると外れます。
- 2 電池ホルダーに次のどちらかの電池をセットします。
市販の単3アルカリ乾電池 4本
電池の+・-に注意してセットします。



別売のニカド電池パック「AtermITX用Ni-cd/バッテリーパック」(PC-IT/B02)
1セット(P.340)

コードをコネクタに差し込んでから電池をセットします。



- 3 電池カバーをもとにもどします。



電池を入れて使用する場合は、直射日光や高温多湿の場所を避けてIWX70を設置してください。

電池を入れて使用する場合は、IWX70 上部と底面の通風孔をふさがないようにしてください。また発熱する機器の近くに置かないようにしてください。

電池をセットするとき、および電池をセットしてから3ヶ月に1回程度、電池カバーを外して電池の外観の点検をしてください。

アルカリ乾電池は1年に1回の割合で交換してください。なお、交換忘れを防ぐため、アルカリ乾電池は停電になってからセットすることをおすすめします。

ニカド電池パックは停電になると電池を消耗しますが、停電復旧後は自動的に充電されます。IWX70 にセットしたままお使いください。

ニカド電池パックを充電してあっても、停電時に機器の動作が不安定になったときは電池の寿命です。新しい電池パックと交換してください。

ニカド電池パックの寿命は約2年間です。停電対策用のものですので、早めに交換するようにしてください。

電池の使用上の注意を守ってお使いください。



IWX70の電話Aポートで電池を使用した場合の連続動作可能時間の目安は次のとおりです。

	連続待ち受け時間	連続通話時間
新しい単3アルカリ乾電池	約4時間	約2時間
ニカド電池パック（満充電時）	約1時間	約30分

IWX70の電話Bポートに接続した電話機の手話器を上げると動作可能時間が短くなります。停電時は電話Bポートの電話機の手話器は置いたままにしてください。

シリアルポート、USBポート、S点ユニットに接続された機器によっては動作可能時間が短くなります。停電時には必要な機器以外はIWX70 から外してください。

ニカド電池パックはご購入時には充電されていません。IWX70 にセットして電源を入れると、約5日間で充電が完了します。充電が完了するまでの間に停電になると、動作可能時間が短くなったり機器が使用できないことがあります。

使用済みのニカド電池パックについて

Atermを破棄する場合は、本体からニカド電池パックを取り出してください。

不要になったニカド電池パックは、IWX70またはニカド電池パックをお買い上げいただいた販売店、もしくはお近くのニカド電池リサイクル協力店にお持ちください。

（電池仕様：PC-IT/B02, 4.8V, 250mAh NEC）



Ni-Cd

2-5 . 電話が使えるか確認する

IWX70、RS20のアナログポートに接続した電話機が使えることを確認します。

電話機の使い方

IWX70、RS20のアナログポートに接続した電話機で電話をかけます。

電話をかける

- ① アナログポートに接続した電話機の受話器を上げます。

IWX70に接続されている電話機の受話器を上げたとき

受話器から「ツー」という発音音が流れ、IWX70の液晶ディスプレイに電話機が接続されているアナログポート名「A」または「B」が表示されます。

例 電話 A ポートに接続した電話機の受話器を上げた場合

[IWX70 液晶ディスプレイ]

A
6月 15日 22:10

RS20に接続されている電話機の受話器を上げたとき

受話器から「ツー」という発音音が流れ、RS20の液晶ディスプレイには「A」が表示されます。

[RS20 液晶ディスプレイ]

A
A term RS20

- ② 発信する相手の電話番号をダイヤルします。

例 ① ① ⑦ (時報)

A
アナログ A ハッシン
117

- ③ つながったか確認します。

- ④ 受話器を置きます。

[IWX70 液晶ディスプレイ]

アナログ セッタ'ン
016 10円

切断理由 通話料金
(016は正常終了 P.328)

[RS20 液晶ディスプレイ]

アナログ セッタ'ン
¥10 016

通話料金 切断理由
(016は正常終了 P.328)

5秒間表示されたあと、通常の表示にもどります。



受話器を上げたときにIWX70、RS20の液晶ディスプレイにAまたはBが表示されない場合は、IWX70、RS20と電話機が正しく接続されているか確認してください。

ダイヤルしたときIWX70、RS20の液晶ディスプレイに「アナログ ハッシン」と表示されない場合は、電話機のダイヤル種別が「トーン」(または「PB」)になっているか確認してください。

IWX70、RS20を電話機のすぐ近くで使用すると、通話時にノイズが発生する場合があります。そのときはIWX70、RS20と電話機を少し離して設置してください。



電話番号をダイヤルするとダイヤル桁間タイマが働き、5秒後(初期値)に電話がかかります。ダイヤル桁間タイマの時間の設定は「5-2.電話機能」(P.146)を参照してください。ダイヤルしたあとすぐに発信するときは、電話番号を押したあとに **[#]** を押します。

電話を受ける

1 どなたかに電話をかけてもらいます。

2 電話機の着信音が鳴ります。

[IWX70、RS20液晶ディスプレイ]

```
アナログ*   チャクシン  
0 3 1 2 3 4 5 6 7 8
```

3 着信音が鳴っている電話機の受話器を上げて通話します。

例 IWX70の電話AポートまたはRS20のアナログポートに接続した電話機の受話器を上げた場合

```
A  
ツウシンチュウ  
0 3 1 2 3 4 5 6 7 8
```

4 通話が終わったら受話器を置きます。

[IWX70液晶ディスプレイ]

```
アナログ*   セッタ*ン  
0 1 6
```

切断理由
(016は正常終了
P.328)

[RS20液晶ディスプレイ]

```
アナログ*   セッタ*ン  
0 1 6
```

切断理由
(016は正常終了
P.328)

5秒間表示されたあと、通常の表示にもどります。

2-6 . パソコンを接続する

IWX70、RS20 とパソコンを接続します。

回線側コンセントから離れた場所でパソコンを使いたい場合は、RS20 にパソコンを接続してください。回線側コンセントの近くにパソコンを置く場合や、2台以上のパソコンを接続する場合はIWX70 にパソコンを接続してください。

なお、1台のパソコンにIWX70 とRS20 の両方を接続することはできません。RS20 にパソコンを接続すると、無線でIWX70 の設定もできます。

IWX70 とパソコンを接続する

IWX70 のシリアルポートまたはUSB ポートにパソコンを接続します。

USBポートに接続する

USB ポートを持つパソコンとIWX70 を添付のUSB ケーブルで接続します。

らくらくアシスタントの画面に指示が出るまでパソコンと接続しないでください。

USBケーブルでIWX70と接続する場合は、パソコンにUSBドライバをインストールする必要があります。『らくらくアシスタント』の設定の中でUSBドライバのインストールができます。



コネクタの形状

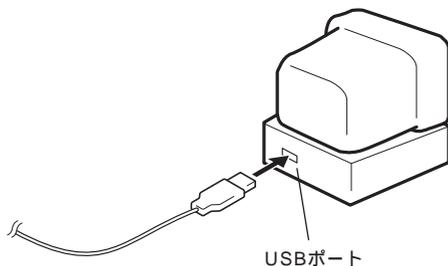


ItermのUSBポート
に差し込みます

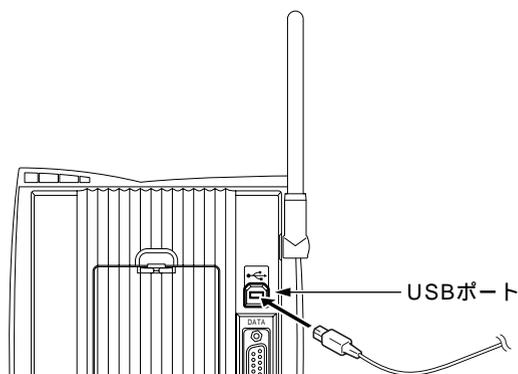


パソコンのUSBポート
に差し込みます

- ① USBケーブルのコネクタが平らな形の方をパソコンのUSBポートに差し込みます。



- ② USBケーブルのもう一方をIWX70背面のUSBポートに接続します。



Windows® 98の場合に、『らくらくアシスタント』でUSBドライバのインストールをする前にUSBケーブルをパソコンに接続すると、「新しいハードウェアウィザード」が起動します。その場合は「新しいハードウェアウィザード」をキャンセルし、USBケーブルをパソコンから抜いてください。

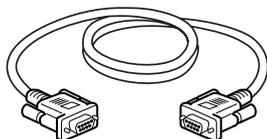
Windows® 2000の場合に、『らくらくアシスタント』でUSBドライバのインストールをする前にUSBケーブルをパソコンに接続すると、「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」が表示されます。その場合は「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」をキャンセルし、USBケーブルをパソコンから抜いてください。IWX70とUSBケーブルで接続できるWindows搭載のパソコンは、Windows® 95のOEM Service Release 2.1 (OSR2.1)以降のバージョン、またはWindows 98がインストールされたパソコンです。詳細は「7-1. 困ったときのQ&A」(P.300)を参照してください。



1台のパソコンのシリアルコネクタ (COMポート) とUSBポートの両方にIWX70を接続することはできません。どちらかのポートを使用してください。USBケーブルを延長してIWX70を接続することはできません。添付のケーブルまたは別売のケーブル (「8-5 . 別売オプション」 P.340) を使用してください。USBケーブルで接続する場合はパソコンにUSBドライバをインストールする必要があります。『らくらくアシスタント』の設定の中でUSBドライバのインストールができますので、らくらくアシスタントの画面に指示が出るまでパソコンと接続しないでください。らくらくアシスタントの設定よりも前にUSBケーブルが接続されていると、不要なUSBドライバがセットアップされることがあります。『らくらくアシスタント』を使用せずにUSBドライバを手動でインストールする場合は、USBケーブルをパソコンに接続する前にUSBドライバをインストールしてください。(添付 CD-ROM 「データ通信ガイド」)

シリアルポートに接続する

添付のRS-232CケーブルでIWX70のシリアルポートにパソコンを接続します。

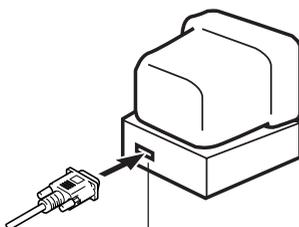


- 1 RS-232Cケーブルをパソコンに接続します。

次のいずれかの方法で接続します。

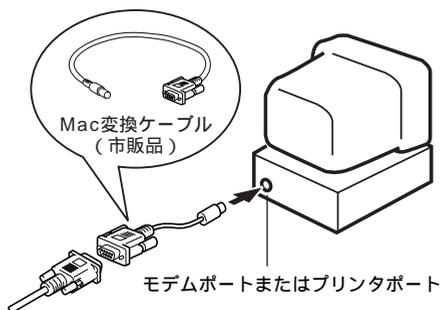
9ピンのシリアルコネクタ (COMポート) に接続する場合

RS-232Cケーブルをそのまま接続します。コネクタのネジをしめて外れないようにします。

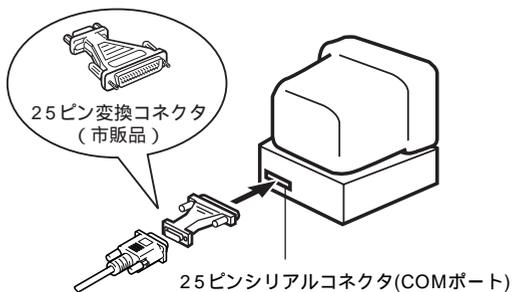


9ピンシリアルコネクタ (COMポート)

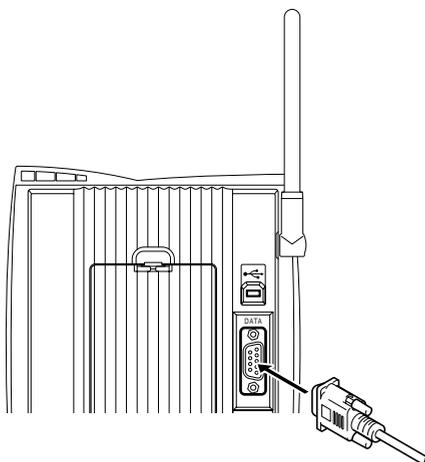
Macintoshのモデムポートまたはプリンタポートに接続する場合
RS-232Cケーブルと市販のMac変換ケーブルをつないでから、Mac変換ケーブルをつないだ方のコネクタをMacintoshに接続します。



添付のRS-232CケーブルのコネクタとパソコンのCOMポートの形状が合わない場合
お使いのパソコンに合った変換コネクタを別途用意して、RS-232Cケーブルとつないでください。



- 2** RS-232Cケーブルのもう一方をIWX70背面のシリアルポートに接続し、コネクタのネジをしめます。



RS20とパソコンを接続する

RS20のシリアルポートまたはUSBポートにパソコンを接続します。RS20のシリアルポートとUSBポートを同時に使用することはできません。どちらかのポートにパソコンを接続してください。

USBポートに接続する

USBポートを持つパソコンとRS20を添付のUSBケーブルで接続します。

らくらくアシスタントの画面に指示が出るまでパソコンと接続しないでください。

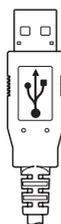
USBケーブルでRS20と接続する場合は、パソコンにUSBドライバをインストールする必要があります。『らくらくアシスタント』の設定の中でUSBドライバのインストールができます。



コネクタの形状

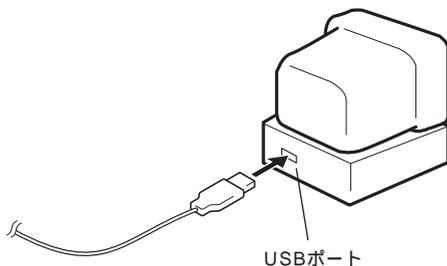


AtermのUSBポート
に差し込みます

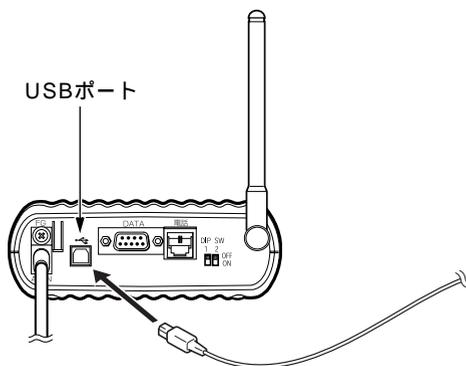


パソコンのUSBポート
に差し込みます

- ① USBケーブルのコネクタが平らな形の方をパソコンのUSBポートに差し込みます。



- ② USBケーブルのもう一方をRS20 背面のUSBポートに接続します。



RS20のUSBポートにMacintoshを接続する場合は、背面のディップスイッチの変更が必要です。ディップスイッチの「1」をON、「2」をOFFにして、電源プラグをコンセントからいったん抜いて再度差し込みます。



Windows98の場合に、『らくらくアシスタント』でUSBドライバのインストールをする前にUSBケーブルをパソコンに接続すると、「新しいハードウェアウィザード」が起動します。その場合は「新しいハードウェアウィザード」をキャンセルし、USBケーブルをパソコンから抜いてください。

Windows2000の場合に、『らくらくアシスタント』でUSBドライバのインストールをする前にUSBケーブルをパソコンに接続すると、「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」が表示されます。その場合は「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」をキャンセルし、USBケーブルをパソコンから抜いてください。

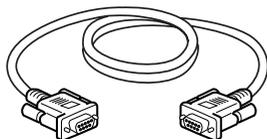
RS20とUSBケーブルで接続できるWindows搭載のパソコンは、Windows95のOEM Service Release2.1(OSR2.1)以降のバージョン、またはWindows98がインストールされたパソコンです。詳細は「7-1. 困ったときのQ&A」(P.300)を参照してください。



1台のパソコンのシリアルコネクタ(COMポート)とUSBポートの両方にRS20を接続することはできません。どちらかのポートを使用してください。USBケーブルを延長してRS20を接続することはできません。添付のケーブルまたは別売のケーブル(「8-5. 別売オプション」 P.340)を使用してください。USBケーブルで接続する場合はパソコンにUSBドライバをインストールする必要があります。『らくらくアシスタント』の設定の中でUSBドライバのインストールができますので、らくらくアシスタントの画面に指示が出るまでパソコンと接続しないでください。らくらくアシスタントの設定よりも前にUSBケーブルが接続されていると、不要なUSBドライバがセットアップされることがあります。RS20のUSBポートにMacintoshを接続する場合は、ディップスイッチの変更が必要です。「8-3. AtermIW70 & RS20 ワイヤレスセット製品仕様」(P.333)を参照してください。『らくらくアシスタント』を使用せずにUSBドライバを手動でインストールする場合は、USBケーブルをパソコンに接続する前にUSBドライバをインストールしてください。(添付CD-ROM「データ通信ガイド」)

シリアルポートに接続する

添付のRS-232CケーブルでRS20のシリアルポートにパソコンを接続します。

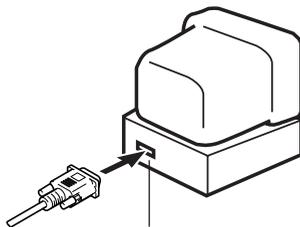


1 RS-232Cケーブルをパソコンに接続します。

次のいずれかの方法で接続します。

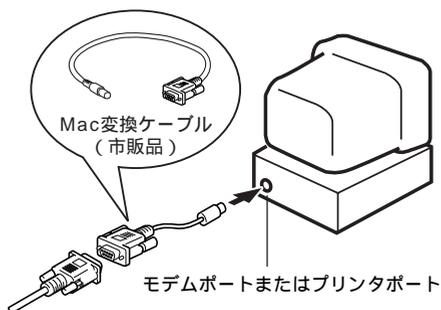
9ピンのシリアルコネクタ(COMポート)に接続する場合

RS-232Cケーブルをそのまま接続します。コネクタのネジをしめて外れないようにします。

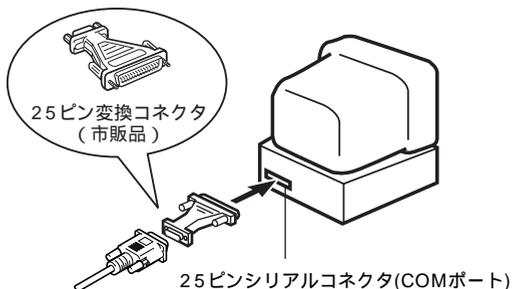


9ピンシリアルコネクタ(COMポート)

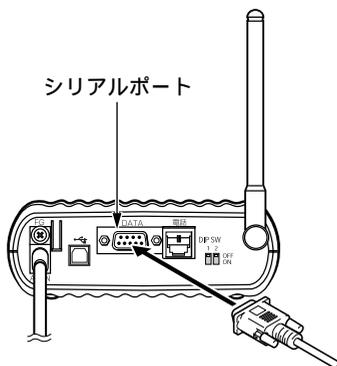
Macintoshのモデムポートまたはプリンタポートに接続する場合
RS-232Cケーブルと市販のMac変換ケーブルをつないでから、Mac変換ケーブルをつないだ方のコネクタをMacintoshに接続します。



添付のRS-232CケーブルのコネクタとパソコンのCOMポートの形状が合わない場合
お使いのパソコンに合った変換コネクタを別途用意し、RS-232Cケーブルとつないでください。



- ② RS-232Cケーブルのもう一方をRS20背面のシリアルポートに接続し、コネクタのネジをしめます。



3

Windowsで簡単に設定する

Windows2000/Windows98/Windows95/WindowsNT4.0を搭載したパソコンとIWX70またはRS20をつないでインターネットに接続したり、電話を使うための設定をします。

らくらくアシスタントをインストールする



らくらくアシスタントで設定する

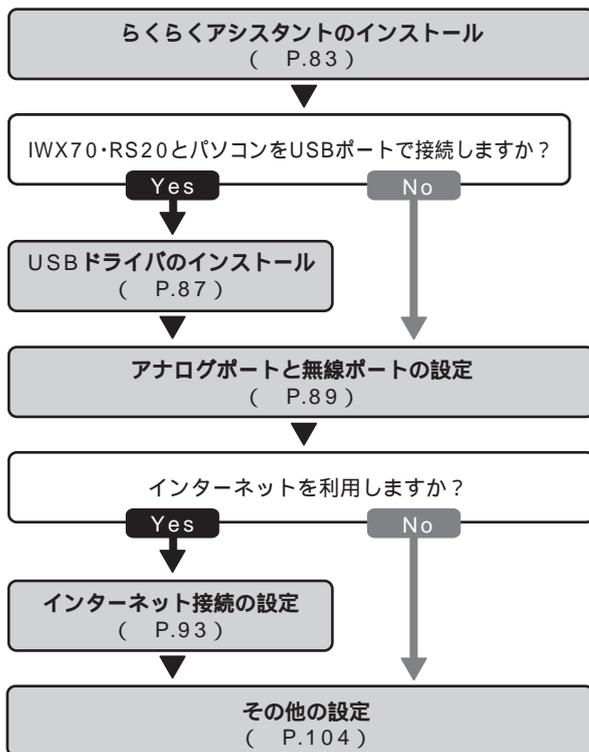


インターネットに接続する

Windows® 2000はMicrosoft® Windows® 2000 operating systemの略です。
Windows® 98はMicrosoft® Windows® 98 operating systemの略です。
Windows® 95はMicrosoft® Windows® 95 operating systemの略です。
WindowsNT® 4.0はMicrosoft® WindowsNT® operating system version 4.0の略です。

3-1 . 基本設定をするまでの流れ

IWX70 と RS20 で電話を使ったりインターネットに接続するには設定が必要です。Windowsを搭載したパソコンでIWX70またはRS20の設定をする手順を説明します。設定の流れは次のとおりです。



お知らせ

WindowsNT® 4.0 搭載のパソコンとIWX70、RS20をUSBポートで接続することはできません。シリアルポート（COMポート）で接続してください。

3-2 . らくらくアシスタントをインストールする

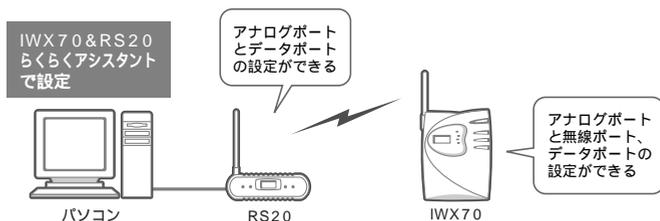
らくらくアシスタントとは

『らくらくアシスタント』では電話の設定やインターネットに接続するための設定が、画面に表示される案内にそって簡単に設定できます。

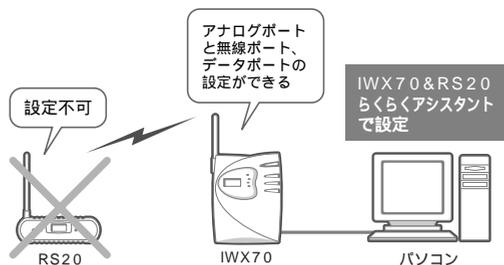
『らくらくアシスタント』は添付CD-ROM『AtemIWX70シリーズユーティリティ集』に収録されているので、パソコンにインストールして使います。

IWX70 とRS20 を設定するには

RS20にパソコンを接続している場合は『IWX70&RS20らくらくアシスタント』を使ってIWX70とRS20の両方の設定ができます。IWX70はRS20から無線で設定されます。



IWX70にパソコンを接続している場合は『IWX70&RS20らくらくアシスタント』でIWX70の設定ができます。IWX70を接続したパソコンからRS20の設定はできません。



WindowsNT4.0では一部使用できない機能があります。
Windows® 2000で『らくらくアシスタント』の設定をするときは、Administratorの権限が必要です。[コントロールパネル]の[ユーザーとパスワード]の設定を変更している場合は、「7-1. 困ったときのQ&A」(P.291)を参照してください。
ご使用のパソコン環境によっては、『らくらくアシスタント』がご利用になれない場合があります。詳細は「7-1. 困ったときのQ&A」(P.290)を参照してください。
『らくらくアシスタント』を使用しないでインターネット接続の設定をする場合は、手動で設定をおこないます。添付CD-ROMに収録されている「データ通信ガイド」を参照してください。

らくらくアシスタントをインストールする

1

IWX70とRS20用の『らくらくアシスタント』をパソコンのハードディスクにインストールします。

パソコンを起動しておきます。

ほかのアプリケーションソフトを使用しているときは、そのアプリケーションを終了します。

2

添付CD-ROM『AtermIWX70シリーズユーティリティ集』をパソコンにセットします。

[らくらくセットアップガイド]のメニュー画面が表示されます。

すでにCD-ROMがセットされていた場合は、いったんCD-ROMを取り出してから再度セットしてください。

CD-ROMをセットしてもメニュー画面が表示されないときは「メニュー画面が表示されないとき」(P.85)を参照してください。

3

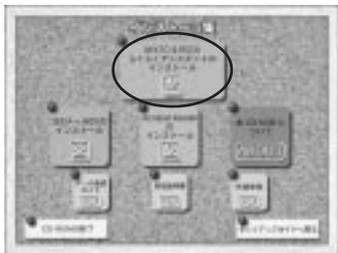
[セットアップガイドを見ないでインストール]をクリックします。



[インストーラ集]画面が表示されます。

4

[IWX70&RS20のらくらくアシスタントのインストール]をクリックします。



5

画面に表示される内容にしたがって操作を進めます。

『らくらくアシスタント』がインストールされます。



[らくらくセットアップガイド]のメニューの1~4をご覧になって、その中でインストールすることもできます。

メニュー画面が表示されないとき

添付 CD-ROM 『AtermIWX70 シリーズユーティリティ集』はパソコンにセットすると、自動的にメニュー画面が表示されるようになっていました。パソコンに CD-ROM をセットしてもメニュー画面が表示されないときは、ファイル名を指定して実行します。

- ① **実行** [ファイル名を指定して実行] を選択します。

[ファイル名を指定して実行] 画面が表示されます。

- ② 「名前」に半角文字で次のように入力します。

Q:¥MENU.EXE

(Q は CD-ROM ドライブ名)



- ③ **OK** ボタンをクリックします。
メニュー画面が表示されます。



CD-ROM のドライブ名はパソコンによって異なります。ドライブ名がわからないときは、次の操作で CD-ROM ドライブを確認します。

[ファイル名を指定して実行] 画面で **参照** ボタンをクリックします。

[ファイルの参照] 画面が表示されます。

「ファイルの場所」の ▾ をクリックし、CD-ROM ドライブを選択します。



ドライブ名を確認し、**キャンセル** ボタンをクリックします。

らくらくアシスタントをアンインストールする

らくらくアシスタントが不要になった場合は、ハードディスクから削除します。

- ① **実行** [プログラム] [AtermIWX70 & RS20 ユーティリティ] [ユーティリティのアンインストール] を選択します。
[ユーティリティアンインストーラ] が起動し、確認画面が表示されます。

- ② **はい** ボタンをクリックします。



アンインストールが実行されます。

- ③ **OK** ボタンをクリックします。



インストールしてあった『らくらくアシスタント』『らくらくバージョンアップ』『詳細設定ヘルプ』『ユーティリティのアンインストール』が、パソコンのハードディスクから削除されます。

3-3 . らくらくアシスタントで簡単に設定する

インストールした『らくらくアシスタント』を使って、電話を使ったりインターネットに接続するための基本的な設定をします。

以下の手順はWindows® 98搭載のパソコンにRS20を接続した場合を例に説明します。お使いの環境によっては手順や画面が異なることがあります。また、IWX70、RS20のどちらをパソコンに接続しているかによって画面の内容が一部異なったり、使用できない項目があります。

らくらくアシスタントの起動のしかた

『IWX70&RS20らくらくアシスタント』を起動します。

① ほかのアプリケーションソフトを使用しているときは、そのアプリケーションを終了します。

② **スタート** [プログラム] [Aterm IWX70&RS20ユーティリティ] [IWX70&RS20らくらくアシスタント]を選択します。

『らくらくアシスタント』がIWX70、RS20の接続されているCOMポートを検索します。

[IWX70&RS20らくらくアシスタント]による[画面]に、らくらくアシスタントの機能の説明が表示されます。

③ 内容を確認し、**次へ** ボタンをクリックします。



「次回以降はこの画面を表示しない」をクリックして にすると、次回起動したときからこの画面は表示されません。

[らくらくアシスタントメニュー]が表示され、画面左下にIWX70とRS20の接続状況が表示されます。

IWX70またはRS20のシリアルポートにパソコンを接続している場合に「見つかりません」と表示されたときは、『らくらくアシスタント』がIWX70とRS20を認識していません。パソコンが正しく接続できているか確認してください。それでもIWX70、RS20が認識されない場合は、「7-1. 困ったときのQ&A」(P.290)を参照してください。

IWX70 または RS20 の USB ポートにパソコンを接続している場合は、USBドライバのアップデートが終了するまでIWX70、RS20を接続しないので、「見つかりません」と表示されますが、問題ありません。

[らくらくアシスタントメニュー] から設定する項目をクリックして選択し、設定をおこないます。



各項目の設定が終わると[らくらくアシスタントメニュー]にもどります。

設定が終了したときなど、らくらくアシスタントを終了するときは「アシスタント終了」ボタンをクリックします。「IWX70&RS20らくらくアシスタントの実行を終了します。」と表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。



1台のパソコンにはIWX70またはRS20のどちらか1台を接続してください。
RS20だけをパソコンに接続している場合でも、IWX70の電源をONにしておいてください。RS20に接続したパソコンから無線でIWX70の設定ができます。

USB ドライバのインストール

IWX70またはRS20のUSBポートにパソコンを接続する場合は、USBポートを使用するためのUSBドライバが必要です。インターネット接続の設定をおこなう前にIWX70、RS20に対応したUSBドライバをパソコンにインストールします。

IWX70、RS20のシリアルポートにパソコンを接続する場合はこの操作は不要です。「アナログ/無線ポートの簡単設定」(P.89)に進みます。

USBドライバをインストールする前にパソコンにUSBケーブルを差し込むと、「ハードウェアウィザード」などが起動します。その場合は「キャンセル」ボタンをクリックし、USBケーブルをパソコンから抜いてください。

以下の手順はWindows98搭載のパソコンにRS20を接続した場合を例に説明します。お使いの環境によっては手順や画面が異なることがあります。IWX70を接続した場合も手順は同様です。

IWX70、RS20とUSBケーブルで接続できるWindows搭載のパソコンは、Windows95のOEM Service Release 2.1 (OSR 2.1)以降のバージョン、またはWindows 2000/Windows98がインストールされたパソコンです。詳細は「7-1. 困ったときのQ&A」(P.300)を参照してください。

- 1 「らくらくアシスタントの起動のしかた」(P.86) の ④ の [らくらくアシスタントメニュー] で [USBドライバのインストール] を選択します。



IWX70、RS20用のUSBドライバがすでにインストールされている場合、メニューには [USBドライバのアップデート] と表示されます。

[USBドライバのインストール] 画面が表示されます。

- 2 画面に表示されている内容を読んでから [次へ] ボタンをクリックします。



- 3 お使いのパソコンにインストールされている現在のUSBドライバの情報が表示されるので、確認して [次へ] ボタンをクリックします。



- 4 画面に表示されている内容を読んでから [実行] ボタンをクリックします。



実行中はさまざまな設定の登録が自動的におこなわれます。特に指示がない限り、キーボードやマウスを操作しないでください。

COMポートの追加などがおこなわれたあと、[USBケーブルの接続待ち]画面が表示されます。

- 5 画面に表示されている内容を読んでから、IWX70またはRS20に接続したUSBケーブルをパソコンのUSBポートに接続します。



IWX70またはRS20のUSBポートとパソコンを接続する手順は、「2-6. パソコンを接続する」(P.73) を参照してください。

ハードウェアウィザードが起動してUSBポートが検出され、USBドライバがインストールされます。

[USBドライバ処理終了]画面が表示されます。

- 6 [再起動] ボタンをクリックします。



Windows が再起動します。

IWX70&RS20らくらくアシスタントが起動し、[らくらくアシスタントメニュー]が表示されます。

アナログ/無線ポートの簡単設定

アナログポートと無線ポートに接続した機器を使うための基本的な設定をします。

[アナログ/無線ポートの簡単設定]では次の設定ができます。

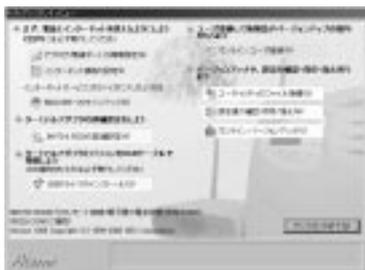
各ポートに接続する機器の種類
契約した電話番号の設定と各ポートへの割り当て

i・ナンバーまたはダイヤルインサービスの設定

INSナンバー・ディスプレイの設定

i・ナンバーやナンバー・ディスプレイなどの機能の詳細は「5-2. 電話機能」(P.134)を参照してください。

- ① 「らくらくアシスタントの起動のしかた」(P.86)の ④ の画面で[アナログ/無線ポートの簡単設定]を選択します。



[IWX70 のアナログポート/無線ポートの設定] 画面が表示されます。

- ② [次へ] ボタンをクリックします。



[IWX70 のアナログポートの使い方] 画面が表示されます。

- ③ 電話 A ポート、電話 B ポートに接続しているアナログ通信機器を選択します。



ファクスおよびファクス付電話機、モデムを接続する場合は「FAXやモデムを接続する」を選択します。機器を接続しないポートは「何も接続しない(使用しない)」を選択します。

- ④ INS ネット 64 の付加サービス「INS ナンバー・ディスプレイ」を利用する場合は「ナンバー・ディスプレイを使用する」をクリックして にします。

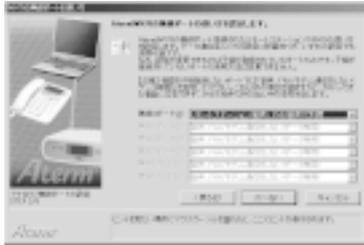
INS ナンバー・ディスプレイの詳細は「5-2 .電話機能」(P.174)を参照してください。

- ⑤ [次へ] ボタンをクリックします。

[IWX70 の無線ポートの使い方] 画面が表示されます。

6

IWX70 に増設登録されている無線ポートの使い方を、各無線ポートごとに選択します。



RS20などのリモートステーションに接続している機器や PHS 電話機によって、次のように選択します。

リモートステーション(音声) PHS (音声)で利用

リモートステーションのアナログポートに電話機を接続している場合や、PHS 電話機を IWX70 の子機として使用する場合に選択します。

リモートステーション (FAX/ モデム)で利用

リモートステーションのアナログポートに、ファクスやモデム接続している場合に選択します。

音声、FAX/ モデム通信をしない (データ専用)

リモートステーションのアナログポートや PHS 電話機を使用しないで、データ通信専用無線ポートを使用する場合に選択します。

ワイヤレスセットの IWX70 の無線 A ポートは、工場出荷時に RS20 が増設登録されています。

IWX70 に増設登録されていない無線ポートはグレーで表示されるので、設定する必要はありません。

7

次へ ボタンをクリックします。

[i・ナンバー/ダイヤルライン利用の有無] 画面が表示されます。

8

「INSネット64お申込票」を参照して i・ナンバーまたはダイヤルラインサービスを利用するか、どちらも利用しないかを選択し、**次へ** ボタンをクリックします。



[電話番号の設定] 画面が表示されます。

i・ナンバー、ダイヤルラインサービスの詳細は「5-2. 電話機能」(P.180、183)を参照してください。

何を選択したかによって次に表示される画面が異なります。

9

電話番号を市外局番から半角で入力します。

i・ナンバーを利用する場合

i・ナンバー情報1、i・ナンバー情報2を入力し、**2**に進みます。



ダイヤルインサービスを利用する場合
契約者回線番号を入力し、「グロー
バル着信利用」を選択して ⑩ に進
みます。



INS ネット 64 の申し込みの際
に「INSダイヤルインサービス」
の「グローバル着信利用」を契約
していない場合は、「グローバル
着信利用しない」を選択します。

i・ナンバー/ダイヤルインサービスと
も利用しない場合
契約者回線番号を入力し、 ⑪ に進
みます。

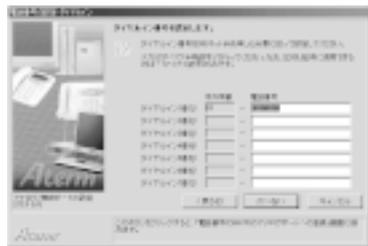


⑩ 次へ ボタンをクリックします。

[電話番号の設定・ダイヤルイン]画面が
表示されます。

⑪ 「ダイヤルイン1番」にダイヤルイン番
号(追加番号)を入力します。

ダイヤルイン番号を複数契約してい
る場合は「ダイヤルイン2番」以降に入
力します。

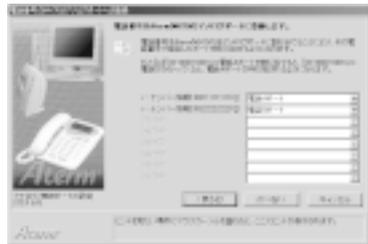


⑫ 次へ ボタンをクリックします。

[電話番号のIWX70のアナログポートへ
の登録]画面が表示されます。

⑬ 入力した電話番号で呼び出すアナログ
ポートを選択し、次へ ボタンをク
リックします。

1つの番号で電話A、電話Bポートの
両方を呼び出すか、どちらかのポート
を呼び出すかを選択します。



⑬ で「ダイヤルインサービスを
利用している」を選択した場
合は、「契約者回線番号」「ダイヤ
ルイン番号(1)」と表示されます。

[電話番号のIWX70の無線ポートへの登
録]画面が表示されます。

14

入力した電話番号で呼び出す無線ポートを選択します。

1つの番号で全無線ポートを一斉に呼び出すか、指定した無線ポートだけを呼び出すかを選択します。



⑤で「ダイヤルインサービスを利用している」を選択した場合は、「契約者回線番号」「ダイヤルイン番号(1)」と表示されます。ダイヤルインサービスを利用する場合、契約者回線番号は1つの番号で全無線ポートを呼び出すか、1つの無線ポートだけを呼び出すかを選択します。ダイヤルイン番号はいずれかの無線ポートだけを呼び出します。



15

次へ ボタンをクリックします。

[設定内容のAtermIWX70への登録]画面が表示されます。

16

登録する内容を確認し、実行 ボタンをクリックします。



設定内容がIWX70に内蔵されている不揮発性メモリに登録されます。

[IWX70のアナログポート/無線ポートの設定終了]画面が表示されます。

17

設定終了 ボタンをクリックします。



[らくらくアシスタントメニュー]にもどります。

インターネット接続の設定

IWX70またはRS20に接続したパソコンでインターネットに接続するための設定をします。

インターネットに接続するためのプロバイダの設定やITMUX機能などが設定できます。契約しているプロバイダから支給されたユーザ設定情報などの資料を用意してください。

以下の手順はパソコンにRS20を接続して『らくらくアシスタント』で設定する手順を例に説明します。IWX70を接続して設定する場合は画面に表示される内容が異なったり、一部表示されない画面があります。

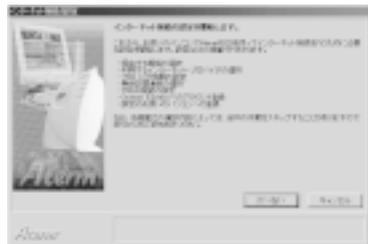
WindowsNT4.0の場合は『らくらくアシスタント』でインターネットの設定をすることはできません。添付CD-ROMに収録されている「データ通信ガイド」(「1-7. インターネット接続の手動設定」)を参照し、手動で設定をしてください。プロバイダの契約がお済みでない場合は、NECが運営するインターネットプロバイダ『BIGLOBE』にオンラインサインアップで入会申し込みができます。[らくらくアシスタントメニュー]の[BIGLOBEへのサインアップ]を選択してください。BIGLOBEについての詳細は「1-3. インターネットプロバイダ『BIGLOBE』のご紹介」(P.38)を参照してください。

- 1 「らくらくアシスタントの起動のしかた」(P.86)の④の[らくらくアシスタントメニュー]>[インターネット接続の設定]を選択します。



[インターネット接続の設定]画面が表示されます。

- 2 [次へ] ボタンをクリックします。



IWX70を接続して設定している場合は③の画面は表示されません。④に進みます。

[経由する親機の選択]画面が表示されます。

- 3 「AtermIWX70を経由して使用」を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



[プロバイダの選択]画面が表示されます。

4

BIGLOBE を利用する場合は「BIGLOBEを利用する」を選択し、その他のプロバイダを利用する場合は「他のプロバイダを利用する」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。



インターネットに接続するための設定が終わっている場合（すでにインターネットを利用していた場合など）は、IWX70またはRS20を使用するモデムとして設定するための「モデム定義ファイル」の登録と「Outlook Express へのアカウント登録」だけをおこないます。ここで「設定を行わない」を選択して「次へ」ボタンをクリックし、⑩に進みます。

[アクセスポイント情報の設定]画面が表示されます。

5

ユーザ設定情報などの資料を参照し、接続するアクセスポイントの情報を指定します。



「接続速度・方式」を「同期64kbps」または「PIAFS」から選択します。PIAFS対応アクセスポイントに接続する場合だけ「PIAFS」を選択します。通常は「同期64kbps」(ISDN用アクセスポイント)を選択します。

BIGLOBE を利用する場合は最寄りのアクセスポイントの設定情報が表示されます。アクセスポイントを変更する場合は「最寄りのAP」の▼ボタンをクリックし、接続するアクセスポイントを選択すると電話番号やDNSが表示されます。

「接続先名」にプロバイダの名称を入力します。ここで入力した名前で作成されるので、「接続先名」は任意の名称を入力します。

「電話番号」は半角数字で市外局番から入力します。入力できるのは数字・英字・ハイフンだけです。

「ログインID」「ログインパスワード」は利用者を識別するためのものです。必ず入力します。

DNS(Domain Name System)はインターネットに接続するためのサーバのアドレスを取得するためのもので、1～3桁の4つの数字をピリオド(.)で区切って半角で指定します。「セカンダリDNS」はプロバイダから指示がなければ、入力しなくても問題ありません。

6

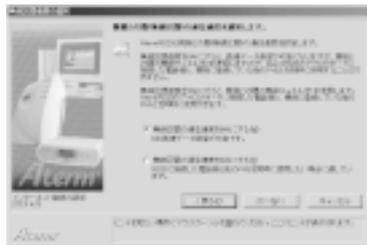
「次へ」ボタンをクリックします。

IWX70 を接続して設定している場合は⑦の画面は表示されません。⑦に進みます。

[無線区間速度の設定]画面が表示されます。

7

RS20 から IWX70 間の無線区間の通信速度を選択します。



通信速度を「64k」にすると2本ある無線チャンネルを両方使用して64kbpsの速度でデータ通信をおこないます。通信中に電話機や他の PHS 電話機などを使うことはできません。

通信速度を「32k」にすると無線チャンネルを1本だけ使用するので、データ通信中にアナログポートの電話機や他の PHS 電話機を使用することができます。

無線区間の通信速度はIWX70 前面のファンクションボタンを使って、あとから変更することもできます。（「6-1. ファンクションボタンでIWX70を操作する」 P.256）

8 次へ ボタンをクリックします。

[ITMUX機能の設定] 画面が表示されます。

9 ITMUX 機能を使用するかどうかを選択し、次へ ボタンをクリックします。



ITMUXを利用すると、1つのプロバイダとの契約（ID）で2台のパソコンから同時に同じアクセスポイントに接続することができます。1つのBチャンネルを使用して2台同時に接続するので、通信料金が節約できます。IWX70とRS20の両方にパソコンをつないで2台同時にインターネットに接続したい場合などは「ITMUX 機能を使用する」を選択します。

[Outlook Express へのアカウント登録の選択] 画面が表示されます。

10 Outlook Express にアカウントを登録するかどうかを指定し、次へ ボタンをクリックします。

電子メールの送受信をおこなうときに『Outlook Express』を使用する場合は、Outlook Express にユーザIDなどを登録します。



Outlook Expressにアカウントを登録しない場合は、Fに進みます。

[Outlook Express の設定] 画面が表示されます。

11 メールアカウントとニュースアカウントを設定します。



「アカウントの表示名」にはメールの送受信のときに表示される名前を任意に入力します。

「ニュースアカウント」はインターネット上の電子掲示板である「ネット・ニュース」を利用するためのアカウントで、サーバにアクセスして記事を読んだり投稿することができます。利用しない場合は、入力する必要はありません。

12

次へ ボタンをクリックします。

IWX70 を接続して設定している場合は 12 の画面は表示されません。13 に進みます。

[親機の通信モードについて] 画面が表示されます。

13

RS20 と IWX70 との無線区間の通信モードを確認し、次へ ボタンをクリックします。



[設定内容のシステムへの登録] 画面が表示されます。

14

登録する内容を確認し、実行 ボタンをクリックします。



実行中はさまざまな設定の登録が自動的におこなわれます。特に指示がない限り、キーボードやマウスを操作しないでください。

[インターネット接続の設定終了] 画面が表示されます。

15

設定終了 ボタンをクリックします。



インターネットの接続の設定が終了し、[らくらくアシスタントメニュー] にもどります。

お知らせ

ここまでの設定で電話をかけたりインターネットに接続するための設定が完了します。電話の機能の詳細を設定するときなどは、必要に応じて以降の設定をしてください。すぐにインターネットに接続するときは「3-4 . インターネットに接続する」(P.97) に進んでください。

3-4 . インターネットに接続する

IWX70 がINS ネット 64 を通じてプロバイダにダイヤルし、インターネットに接続します。

接続を確認する

プロバイダのアクセスポイントにダイヤルし、正しく接続できるか確認します。Windows 2000 をお使いの場合は、P.99 に進んでください。

Windows 98/Windows 95/ Windows NT 4.0 で接続する

Windows 98搭載のパソコンでインターネットに接続する手順を説明します。

Windows 95/Windows NT 4.0 の場合は手順や画面が異なることがあります。

① RS20 から接続する場合は PHS ランプが緑色に点灯していることを確認します。

② デスクトップの[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックします。



マイコンピュータ

[マイコンピュータ]アイコンは図と異なることがあります。

[マイコンピュータ]ウィンドウが表示されます。

③ [ダイヤルアップネットワーク]アイコンをダブルクリックします。



ダイヤルアップ
ネットワーク

[ダイヤルアップネットワーク]ウィンドウが表示されます。

④ 接続アイコン(例: BIGLOBE64)をダブルクリックします。



BIGLOBE64

「インターネット接続の設定」の[アクセスポイント情報の設定]画面で「接続先名」に入力した名前の接続アイコンが表示されます。

[接続]画面が表示されます。

⑤ 「ユーザー名」(ユーザID)がプロバイダから指定されたユーザ設定情報などの資料と合っていることを確認し、パスワードを入力します。



「パスワードの保存」をクリックして にすると、次回の接続からパスワードを入力する必要がなくなります。

⑥ [接続] ボタンをクリックします。

IWX70がINSネット64を通じてプロバイダにダイヤルします。



プロバイダに電話をかけてつながるとユーザー名(ユーザID)とパスワードの認証がおこなわれ、そのあとプロバイダのホストコンピュータに接続されます。

タスクトレイのインジケータに [ダイヤルアップネットワークモニタ] アイコンが表示されます。



INS ネット 64 に接続されます。

IWX70 または RS20 の液晶ディスプレイにデータ通信中を表す  または  が表示されます。

IWX70 からインターネットに接続した場合、IWX70 の液晶ディスプレイには、使用中の B チャンルをあらわす B1 または B2 と  または  が表示されます。RS20 などの子機から PIAFSスルーモードでインターネットに接続した場合は、IWX70 の液晶ディスプレイに 、 は表示されず、B1 または B2 だけが表示されます。

IWX70 の液晶ディスプレイに  が表示されているときは、1 つの B チャンルを使って 64kbps の速度で通信している状態を示します。 が表示されているときは、2 つの B チャンルを使って 128kbps の速度で通信している状態を示します。

RS20 の液晶ディスプレイに  が表示されているときは、1 つの無線チャンネルを使って 32kbps の速度で通信している状態を示します。 が表示されているときは、2 つの無線チャンネルを使って 64kbps の速度で通信している状態を示します。

7

タスクトレイのインジケータの [ダイヤルアップネットワークモニタ] アイコンをダブルクリックし、**切断** ボタンをクリックします。



INS ネット 64 との接続が切断されます。

通信回線が正常に切断されると、IWX70 の液晶ディスプレイに「データセツタン」と約 20 秒間表示されます。

お願い

切断 ボタンをクリックしても IWX70 または RS20 の液晶ディスプレイに  または  が表示されているときは、通信回線がつながったままになっています。このようなときは IWX70 に接続されている INS 回線ケーブルを抜いて通信回線を強制的に切断してください。なお、INS 回線ケーブルを抜くとすべての通信が切断されるので、電話機などの他の機器が通信中ではないことを確認してから INS 回線ケーブルを抜いてください。通信相手に接続できなかった場合に IWX70 が同じ番号に自動的に再発信する回数は、最初の発信から数えて 3 分間で 2 回以内に制限されています。この制限内で接続できなかった場合は、時間を置いてから接続し直してください。接続できないときは「7-1 困ったときの Q&A」(P.292) を参照してください。

お知らせ

アクセスポイントに接続したあとに認証の失敗などでインターネットに接続できなかった場合も、通信料金がかかります。

Windows 2000 で接続する

Windows 2000 搭載のパソコンでインターネットに接続する手順を説明します。

① RS20からインターネットに接続する場合は PHS ランプが緑色に点灯していることを確認します。

② **スタート** [設定] [ネットワークとダイヤルアップ接続] を選択します。

③ 接続アイコン(例: BIGLOBE64)をダブルクリックします。



BIGLOBE64

「インターネット接続の設定」の [アクセスポイント情報の設定] 画面で「接続先名」に入力した名前の接続アイコンが表示されます。

[接続] 画面が表示されます。

④ 「ユーザー名」(ユーザID)がプロバイダから指定されたユーザ設定情報などの資料と合っていることを確認し、パスワードを入力します。



「パスワードの保存」をクリックして にすると、次の接続からパスワードを入力する必要がなくなります。

⑤ **ダイヤル** ボタンをクリックします。

IWX70がINSネット64を通じてプロバイダにダイヤルします。



プロバイダに電話をかけてつなぐとユーザー名(ユーザID)とパスワードの認証がおこなわれ、そのあとプロバイダのホストコンピュータに接続されます。

[接続完了]画面が表示され、タスクトレイのインジケータに [ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンが表示されます。

⑥ **OK** ボタンをクリックします。



INS ネット 64 に接続されます。

IWX70 または RS20 の液晶ディスプレイにデータ通信中を表す  または  が表示されます。

IWX70 からインターネットに接続した場合、IWX70 の液晶ディスプレイには、使用中の B チャネルをあらわす B1 または B2 と  または  が表示されます。RS20 などの子機から PIAFS スルーモードでインターネットに接続した場合は、IWX70 の液晶ディスプレイに 、 は表示されず、B1 または B2 だけが表示されます。

IWX70 の液晶ディスプレイに  が表示されているときは、1 つの B チャネルを使って 64 kbps の速度で通信している状態を示します。 が表示されているときは、2 つの B チャネルを使って 128 kbps の速度で通信している状態を示します。

RS20 の液晶ディスプレイに  が表示されているときは、1 つの無線チャネルを使って 32 kbps の速度で通信している状態を示します。 が表示されているときは、2 つの無線チャネルを使って 64 kbps の速度で通信している状態を示します。

7

タスクトレイのインジケータの [ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンをクリックします。



[状態] 画面が表示されます。

8

切断 ボタンをクリックします。



INS ネット 64 との接続が切断されます。通信回線が正常に切断されると、IWX70 の液晶ディスプレイに「テータ セツタ ン」と約 20 秒間表示されます。

お願い

切断 ボタンをクリックしても IWX70 または RS20 の液晶ディスプレイに \blacktriangle または \blacktriangleright が表示されているときは、通信回線がつながったままになっています。このようなときは IWX70 に接続されている INS 回線ケーブルを抜いて通信回線を強制的に切断してください。なお、INS 回線ケーブルを抜くとすべての通信が切断されるので、電話機などの他の機器が通信中ではないことを確認してから INS 回線ケーブルを抜いてください。通信相手に接続できなかった場合に IWX70 が同じ番号に自動的に再発信する回数は、最初の発信から数えて 3 分間で 2 回以内に制限されています。この制限内で接続できなかった場合は、時間を置いてから接続し直してください。接続できないときは「7-1 困ったときの Q&A」(P.292) を参照してください。

お知らせ

アクセスポイントに接続したあとに認証の失敗などでインターネットに接続できなかった場合も、通信料金がかかります。

ホームページを見る

プロバイダに接続してインターネットのホームページを見るときは「ブラウザソフト」を使用します。ブラウザソフトの設定や使い方については、ブラウザソフトの「ヘルプ」などを参照してください。

- 1 「Windows 98 / Windows 95 / Windows NT 4.0 で接続する」(P.97) ① ~ ⑥、または「Windows 2000 で接続する」(P.99) ① ~ ⑥を参照し、INS ネット 64 と接続します。

IWX70 がプロバイダに電話をかけ、インターネットに接続します。

- 2 Internet Explorer や Netscape Navigator などのブラウザソフトを起動します。

- 3 「アドレス」に見たいホームページのアドレスを入力し、**Enter** キーを押します。

例：Aterm ホームページ
<http://aterm.cplaza.ne.jp/>



AtermStation のアドレスおよび画面は平成 12 年 6 月現在のものです。

接続を切断する

- 1 [ファイル] [終了] を選択し、ブラウザソフトを終了します。

- 2 「Windows 98 / Windows 95 / Windows NT 4.0 で接続する」(P.97) ①、または「Windows 2000 で接続する」(P.99) ① ~ ③ を参照して INS ネット 64 との接続を切断します。

INS ネット 64 との接続が切断されます。



インターネットの接続を終了するときには、ブラウザソフトを終了させただけでは回線は切断されません。必ず切断操作をしてください。

Windows 98 でブラウザソフトのアイコンがないとき

Windows98をご使用の場合でデスクトップにブラウザソフト (Internet Explorer) アイコンがないときは、以下の手順で[Internet Explorer]アイコンを作成します。

- ① デスクトップの [インターネットに接続] アイコンをダブルクリックします。



[インターネット接続ウィザード] 画面になります。

- ② 「既にインターネット接続の設定が・・・表示しない」を選択し、**次へ** ボタンをクリックします。



- ③ [インターネット接続ウィザード] を終了します。

デスクトップに [Internet Explorer] と [Outlook Express] のアイコンが表示されます。

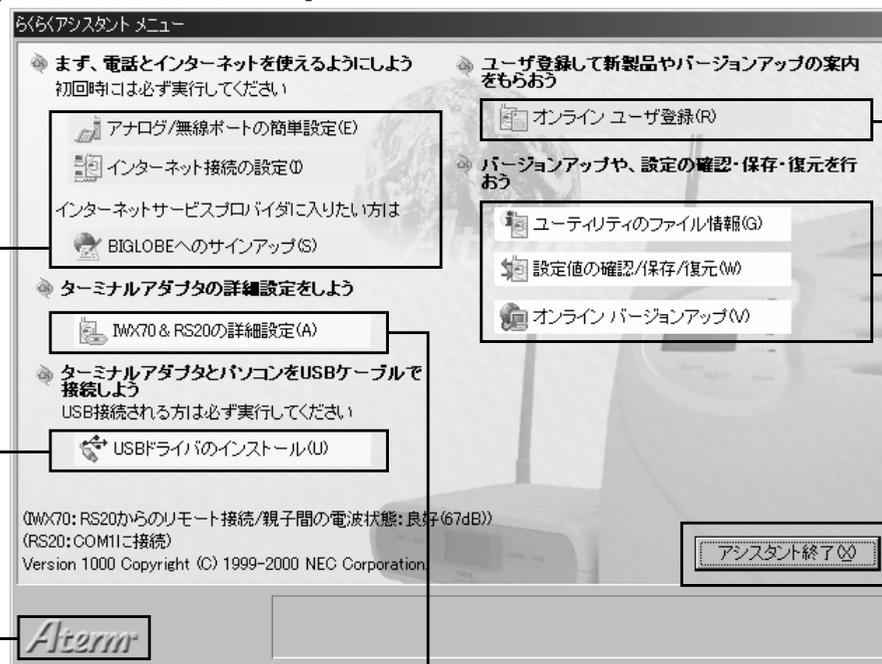


次ページで『らくらくアシスタント』の使い方を説明します。

3-5 . らくらくアシスタントの使い方

- 1 [プログラム] [AtermIW70&RS20ユーティリティ] [IW70&RS20らくらくアシスタント] を選択します。
- 2 「IW70&RS20らくらくアシスタントによるこそ」画面で [次へ] ボタンをクリックします。
- 3 [らくらくアシスタントメニュー] が表示されます。

[らくらくアシスタントメニュー]



アナログ/無線ポートの簡単設定
電話を使うための基本的な設定
をおこないます。

インターネット接続の設定
インターネット接続のためのパ
ソコンの設定をおこないます。

BIGLOBEへのサインアップ
NECが運営するインターネット
プロバイダ『BIGLOBE』にオン
ラインで入会申し込みができます。

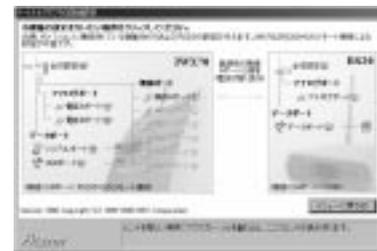
USBドライバのインストール
IW70とRS20のUSBポートにパ
ソコンを接続する場合は、USBポ
ートを使用するためのUSBドライバを
インストールします。

「Aterm」のロゴマークをクリック
すると、Atermのホームページ
『AtermStation』にアクセスし
ます。

全体設定

IW70の [全体設定] では電話番号や
電話帳の設定、アナログポートと無線ポ
ートに共通の設定、通信情報・通信料金
の参照、設定値の初期化ができます。
RS20の [全体設定] では設定値の初期
化ができます。

ターミナルアダプタの詳細設定



アナログポートの設定
キャッチホンや受話音量などアナログポ
ートに関する設定をします。
電話Bポートは「停電時の動作」
の設定以外、電話Aポートと同様
の設定ができます。

IW70とRS20のアナログポート、
無線ポート、データポートのさまざ
まな機能の設定をします。電話の機
能の設定については「5-2. 電話機
能」(P.134)、データポート
の機能については添付CD-ROMに
収録されている「データ通信ガイド」
を参照してください。

無線ポートの設定
子機との通信モードなど、無線A
~無線Fポートに関する設定をし
ます。

データポートの設定
ITMUXやBODなど、データポ
ートに関する設定をします。

オンラインユーザ登録
Atermを購入していただいた方のユ
ーザ登録をホームページ『Aterm
Station』で、受け付けています。
[オンラインユーザ登録] をクリック
すると自動的にAtermStationに接続
します。インターネット接続の設定が
終了してからご利用ください。

ユーティリティのファイル情報
らくらくアシスタントのさまざま
な設定を実行するためのプログラ
ムのファイル名やバージョンが確
認できます。

設定値の確認 / 保存 / 復元
(らくらくバックアップ)
IW70、RS20に設定されてい
る内容を一覧表示したり、その情
報をハードディスクなどに保存す
ることができます。保存した設定
情報は復元することができます。
らくらくアシスタントの設定が完
了したら、設定値を保存するよう
にしてください。

オンラインバージョンアップ
ホームページ『AtermStation』
に接続して、バージョンアップフ
ァームウェアをダウンロードして
自動的にIW70、RS20をパー
ジョンアップします。

らくらくアシスタントを終了します。

4

Macintoshで簡単に設定する

MacintoshとIWX70またはRS20をつないでインターネットに接続したり、電話を使うための設定をします。

ユーティリティをインストールする



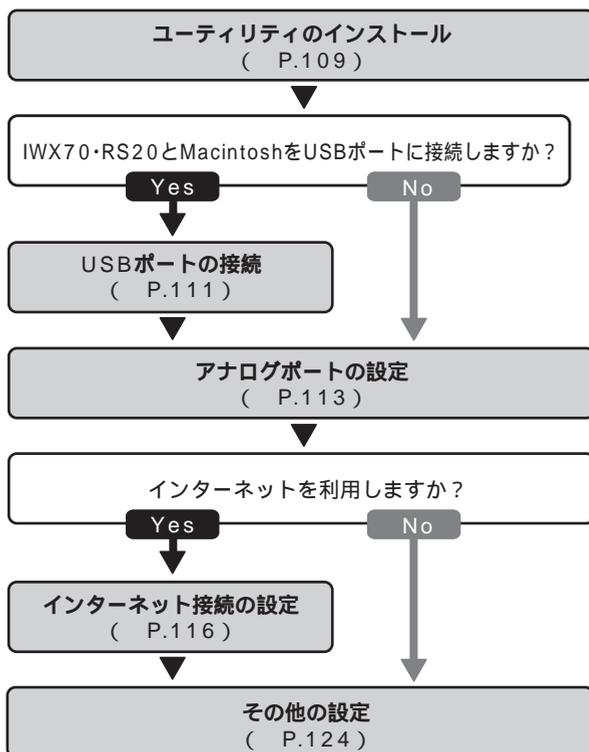
らくらくアシスタントで設定する



インターネットに接続する

4-1 . 基本設定をするまでの流れ

IWX70 と RS20 で電話を使ったりインターネットに接続するには設定が必要です。ここでは Macintosh で IWX70 または RS20 の設定をする手順を説明します。設定の流れは次のとおりです。



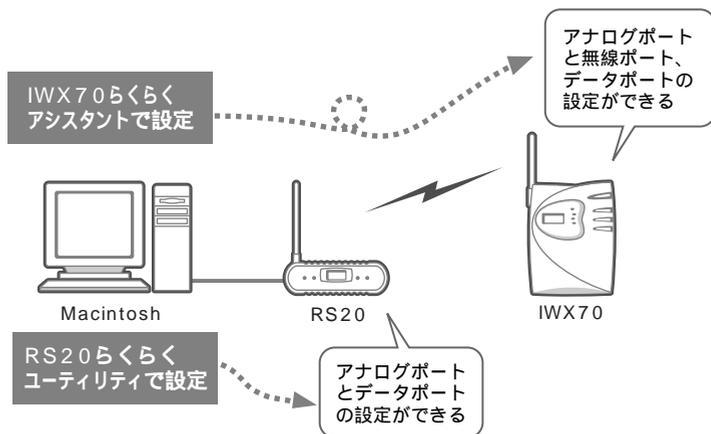
4-2 . ユーティリティをインストールする

IWX70・RS20 を設定するには

IWX70とRS20で電話を使ったインターネットに接続するには『IWX70らくらくアシスタント』と『RS20らくらくユーティリティ』を使って設定します。『IWX70らくらくアシスタント』はIWX70の電話の設定やインターネットに接続するための設定が、画面に表示される案内にそって簡単に設定できます。RS20独自の機能を設定するときは『RS20らくらくユーティリティ』で設定します。

また、MacintoshをRS20にだけ接続している場合は、RS20を接続したMacintoshで『IWX70らくらくアシスタント』を起動してIWX70の設定が無線でできます。

『IWX70らくらくアシスタント』と『RS20らくらくユーティリティ』は添付CD-ROM『AtermIWX70シリーズユーティリティ集』に収録されているので、パソコンにインストールして使います。



お知らせ

ご使用のパソコン環境によっては、らくらくアシスタントがご利用になれない場合があります。詳細は「7-1. 困ったときのQ&A」(P290)を参照してください。らくらくアシスタントを使用しないでインターネット接続の設定をする場合は、手動で設定をおこないます。添付CD-ROMに収録されている「データ通信ガイド」(「1-6. インターネット接続の手動設定」)を参照してください。

ユーティリティをインストールする

IWX70、RS20を接続したMacintoshでインターネットに接続するために必要な『らくらくアシスタント』と『らくらくユーティリティ』をインストールします。

1 Macintoshを起動します。
ほかのアプリケーションソフトを使用しているときは、そのアプリケーションを終了します。

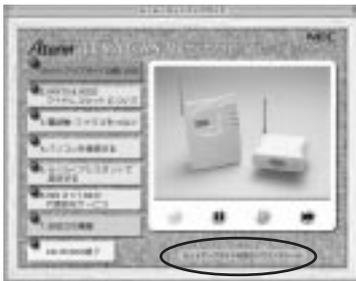
2 添付CD-ROM『AtermIWX70シリーズユーティリティ集』をCD-ROMドライブにセットします。

CD-ROMのウィンドウが表示されます。

CD-ROMをセットしてもCD-ROMウィンドウが表示されないときはCD-ROMアイコンをダブルクリックします。

3 [らくらくセットアップガイド]アイコンをダブルクリックします。
[らくらくセットアップガイド]のメニュー画面が表示されます。

4 [セットアップガイドを見ないでインストール]をクリックします。



[インストーラ集]画面が表示されます。

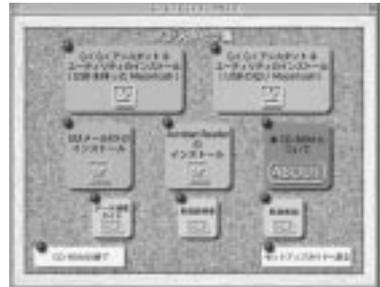
5 ご使用の環境に合わせてボタンをクリックします。

IWX70、RS20をUSBポートに接続する場合

[USBを持ったMacintosh用]を選択します。これを選択するとUSBポートを使用するために必要な「USBドライバ」が一緒にインストールされます。

モデムポート（またはプリンタポート）に接続する場合

[USBのないMacintosh用]を選択します。



6 画面に表示される内容にしたがって、インストールを実行します。

USB ポートに接続する

IWX70 または RS20 の USB ポートに Macintosh を接続します。

Macintosh のモデムポート (またはプリンタポート) に IWX70 または RS20 を接続する場合は、この操作は不要です。P.112 に進みます。

IWX70、RS20 と USB ケーブルで接続できるのは MacOS 8.6 以上を搭載した Macintosh です。詳細は「7-1 . 困ったときの Q & A」(P.300) を参照してください。

1

「2-6 . パソコンを接続する」(P.73 または P.77) を参照し、IWX70 または RS20 を USB ケーブルで接続します。

4-3 . らくらくアシスタントで簡単に設定する

インストールした『IWX70らくらくアシスタント』を使って、電話を使ったりインターネットに接続するための基本的な設定をします。MacintoshにRS20だけを接続している場合も『IWX70らくらくアシスタント』を使って、IWX70の設定ができます。

らくらくアシスタントの起動のしかた

『IWX70らくらくアシスタント』を起動します。

① ほかのアプリケーションソフトを使用しているときは、そのアプリケーションを終了します。

② ハードディスクの中の [IWX70 ユーティリティ] フォルダをダブルクリックし、[IWX70らくらくアシスタント] アイコンをダブルクリックします。

③ IWX70またはRS20が接続されているポートを選択します。

USBポートに接続している場合は「Aterm」を選択します。



[IWX70らくらくアシスタント] 画面が表示されます。

④ **OK** ボタンをクリックします。

OK ボタンを押しても『IWX70らくらくアシスタント』が起動しないときは、IWX70またはRS20がMacintoshに認識されていません。IWX70またはRS20のシリアルポートまたはUSBポートにMacintoshが正しく接続できているか確認してください。それでもIWX70、RS20が認識されない場合は、「7-1 . 困ったときのQ&A」(P.290) を参照してください。

⑤ 設定する項目をクリックして選択し、設定をおこないます。



各項目の設定が終わると [らくらくアシスタント] 画面にもどります。

設定が終了したときなど、らくらくアシスタントを終了するときは **アシスタント終了** ボタンをクリックします。「IWX70らくらくアシスタントの実行を終了します。」と表示されるので、**はい** ボタンをクリックします。



MacintoshにはIWX70またはRS20のどちらか1台を接続します。RS20だけをMacintoshに接続している場合でもIWX70の電源をONにしておいてください。RS20を接続したMacintoshで『IWX70らくらくアシスタント』を使って無線でIWX70の設定ができます。

アナログポートの簡単設定

アナログポートに接続した機器を使うための基本的な設定をします。
[アナログポートの簡単設定]では次の設定ができます。

各ポートに接続する機器の種類
契約した電話番号の設定と各ポートへの割り当て

i・ナンバーまたはダイヤルインサービスの設定

INSナンバー・ディスプレイの設定

i・ナンバーやナンバー・ディスプレイなどの機能の詳細は「5-2.電話機能」(P.171)を参照してください。

- 1 「らくらくアシスタントの起動のしかた」(P.112)の④の画面で[アナログポートの簡単設定]を選択します。



アナログポートに設定できる内容が表示されます。

- 2 次へ ボタンをクリックします。



アナログポートの使い方を設定する画面が表示されます。

- 3 電話 A ポート、電話 B ポートに接続しているアナログ通信機器を選択します。



ファクスおよびファクス付電話機、モデムを接続する場合は「FAXやモデムを接続する」を選択します。機器を接続しないポートは「何も接続しない(使用しない)」を選択します。

- 4 INS ネット64の付加サービス「INSナンバー・ディスプレイ」を利用する場合は「ナンバー・ディスプレイを使用する」をクリックしてにします。

INSナンバー・ディスプレイの詳細は「5-2.電話機能」(P.171)を参照してください。

- 5 次へ ボタンをクリックします。

i・ナンバー/ダイヤルインを利用しているかを設定する画面が表示されます。

6 「INS ネット 64 お申込票」を参照して i・ナンバーまたはダイヤルインサービスを利用するか、どちらも利用しないかを選択し、**次へ** ボタンをクリックします。

i・ナンバー、ダイヤルインサービスの詳細は「5-2. 電話機能」(P.180、183)を参照してください。



電話番号を設定する画面が表示されます。

何を選択したかによって次に表示される画面が異なります。

7 電話番号を市外局番から半角で入力します。

i・ナンバーを利用する場合
i・ナンバー情報 1、i・ナンバー情報 2を入力し、**3**に進みます。



ダイヤルインサービスを利用する場合 契約者回線番号を入力し、「グローバル着信利用」を選択します。「ダイヤルイン 1 番」「ダイヤルイン 2 番」にダイヤルイン番号(追加番号)を入力して **3** に進みます。



INS ネット 64 の申し込みの際に「INSダイヤルインサービス」の「グローバル着信利用」を契約していない場合は、「グローバル着信利用しない」を選択します。

i・ナンバー/ダイヤルインサービスとも利用しない場合
契約者回線番号を入力し、**10**に進みます。



8 **次へ** ボタンをクリックします。

電話番号を割り当てる画面が表示されます。

インターネット接続の設定

IWX70 または RS20 を接続した Macintosh でインターネットに接続するための設定をします。Mac OS 8以降に添付されている『インターネット接続アシスタント』を使います。インターネットに接続するには、プロバイダとの契約が必要です。契約しているプロバイダから支給されたユーザ設定情報などの資料を用意してください。

プロバイダとの契約がお済みでない場合は、NEC が運営するインターネットプロバイダ『BIGLOBE』にオンラインサインアップで入会申し込みができます。BIGLOBE についての詳細は「1-3. インターネットプロバイダ『BIGLOBE』のご紹介」(P.38) を参照してください。

以降の手順は Mac OS 8.6 の『インターネット接続アシスタント』を例に説明します。お使いの環境によっては手順や画面が異なることがあります。インターネット接続アシスタントの詳細はアップルコンピュータにお問い合わせください。

① 「らくらくアシスタントの起動のしかた」(P.112) の ⑤ の画面で [インターネット接続の設定] を選択します。

② [実行] ボタンをクリックします。



[インターネット接続アシスタント] が起動します。

③ [はい] ボタンをクリックします。



④ 画面に表示される指示にしたがって操作を進めます。

⑤ [設定の名前と接続タイプの設定] 画面が表示されたらプロバイダの名前を入力します。(例: BIGLOBE)

⑥ 接続方法で「モデム」を選択し、▶ をクリックします。



[モデム設定] 画面が表示されます。

⑦ 「モデム」でモデムの種類を選択します。



IWX70 の場合
接続するアクセスポイントによって、
次のようにモデムを選択します。

アクセスポイント	モデム情報 (CCLファイル)
非同期57.6K	NEC AtermIW 57.6k
同期128K	NEC AtermIW MP
同期64K	NEC AtermIW 64kPPP
PIAFS32K	NEC AtermIW 32kPIAFS
PIAFS64K	NEC AtermIW 64kPIAFS

USBポートに接続している場合は、
モデムの種類のうしろに
「(USB)」とついたモデム情報
を選択します。

アクセスポイントの接続条件は、
プロバイダにお問い合わせくだ
さい。

RS20 の場合

無線区間(RS20とIWX70との間)
の通信方式によって次のようにモデ
ムを選択します。

無線区間の通信方式	モデム情報 (CCLファイル)
PIAFS32K (V.42bis圧縮なし)	NEC AtermRS Direct
PIAFS32K (V.42bis圧縮あり)	NEC AtermRS Compress
デュアルリンクワイヤ レス通信(64kbps)	NEC AtermRS DualLinks

USBポートに接続している場合
は、モデムの種類のうしろに
「(USB)」とついたモデム情報
を選択します。

特に指定がない場合は「NEC
AtermRS DualLinks」を選択
してください。「デュアルリンク
ワイヤレス通信」はNEC独自の
通信方式で、無線2チャンネルを
使って64kbpsの速度で無線通
信し、同期/非同期アクセスポ
イントに接続ができます。

無線区間の通信速度はIWX70
前面のファンクションボタンを
使って、あとから変更すること
もできます。(「6-1. ファンク
ションボタンでIWX70を操作
する」 P.256)

8 「ポート」でIWX70またはRS20を
接続したポートを選択します。

USBポートに接続している場合は
「ポート」で「Aterm」を選択します。

9 「トーン、パルス」で「トーン」を選
択します。

10 「ダイヤル音を無視する」を のまま
にし、▶をクリックします。

[ISP情報]画面が表示されます。

11 プロバイダから配布されたユーザ設定
情報などの資料を参照し、接続するア
クセスポイントの電話番号、利用者名、
パスワードを入力します。



12 ▶をクリックします。

[PPP接続スクリプト]画面が表示され
ます。

13 「いいえ」を選択し、▶をクリックし
ます。



[ドメインネームサーバー]画面が表示さ
れます。

14

プロバイダから指定された DNS を入力します。

1 行目にプライマリ DNS を入力して改行し、2 行目にセカンダリ DNS を入力します。



DNS (Domain Name System) はインターネットに接続するためのサーバのアドレスを取得するためのもので、1～3桁の4つの数字をピリオド(.) で区切って半角で指定します。「セカンダリ DNS」はプロバイダから指定がなければ、入力しなくても問題はありません。

15

▶ をクリックします。

[電子メールアドレスおよびパスワード] 画面が表示されます。

16

電子メールアドレスとパスワードを半角の英数字で入力します。

大文字・小文字の区別など、プロバイダから指定されたとおりに入力します。



17

▶ をクリックします。

[電子メールアドレスおよびホストコンピュータ] 画面が表示されます。

18

POPアカウントとSMTPを入力します。



19

▶ をクリックします。

[ニュースグループホストコンピュータ] 画面が表示されます。

20

ニュースサーバーを入力します。
入力しなくても問題ありません。



21

▶ をクリックします。

22

「いいえ」を選択し、▶ をクリックします。



[まとめ] 画面が表示されます。

- ② 「終了時に接続」を にし、▶ をクリックします。



設定内容が記憶されます。

プロトコルを「PPP」に設定する

Mac OSのバージョンによっては使用プロトコルが「自動」に設定されていると、そのままでは接続できない場合があります。プロトコルを「PPP」に変更します。

- ①  (アップルメニュー) [コントロールパネル] [リモートアクセス] を選択します。
- ② **オプション** ボタンをクリックします。
- ③ [プロトコル] タブをクリックします。
- ④ 「使用プロトコル」で「PPP」を選択し、**OK** ボタンをクリックします。



- ⑤ クローズボックスをクリックします。
[リモートアクセス] が終了します。



Mac OS 8.6 は「使用プロトコル」の初期値が「自動」に設定されており、そのままだと正しく接続できません。「自動」に設定されているときは I W X 7 0 または R S 2 0 と Macintosh を接続しているケーブルをいったん抜いてから、「使用プロトコル」を「PPP」に変更してください。Mac OS 9 をお使いの場合に、ブラウザを起動した状態でリモートアクセスを切断しても再発信してしまうときは「AppleTalk」を「OFF」にしてください。AppleTalk については Macintosh に添付の取扱説明書を参照してください。

4-4 . インターネットに接続する

IWX70 がINS ネット 64 を通じてプロバイダにダイヤルし、インターネットに接続します。

接続を確認する

プロバイダのアクセスポイントにダイヤルし、インターネットに接続できるか確認します。

- 1 メニューバーの  (アップルメニュー) から [コントロールパネル] [リモートアクセス] (または [PPP]) を選択します。

[リモートアクセス] (または [PPP]) 画面が表示されます。

- 2 **接続** ボタンをクリックします。



IWX70 がINS ネット 64 を通じてプロバイダにダイヤルします。

プロバイダに電話をかけてつなげると名前 (ユーザID) とパスワードの認証がおこなわれます。そのあとプロバイダのホストコンピュータに接続され次の画面が表示されます。



IWX70 または RS20 の液晶ディスプレイにデータ通信中を表示  または  が表示されます。

IWX70 からインターネットに接続した場合、IWX70 の液晶ディスプレイには、使用中の B チャンネルをあらわす B1 または B2 と  または  が表示されます。RS20 などの子機から PIAFS スルーモードでインターネットに接続した場合は、IWX70 の液晶ディスプレイに 、 は表示されず、B1 または B2 だけが表示されます。

IWX70 の液晶ディスプレイに  が表示されているときは、1 つの B チャンネルを使って 64 kbps の速度で通信している状態を示します。 が表示されているときは、2 つの B チャンネルを使って 128 kbps の速度で通信している状態を示します。

RS20 の液晶ディスプレイに  が表示されているときは、1 つの無線チャンネルを使って 32 kbps の速度で通信している状態を示します。 が表示されているときは、2 つの無線チャンネルを使って 64 kbps の速度で通信している状態を示します。

③ Internet Explorer や Netscape Navigatorなどのブラウザソフトを起動します。

④ 「アドレス」に見たいホームページのアドレスを入力し、**Enter**キーを押します。

例：Aterm ホームページ
<http://aterm.cplaza.ne.jp/>



AtermStationのアドレスおよび画面は平成12年6月現在のものです。

接続を切断する

① [ファイル] [終了]を選択し、ブラウザソフトを終了します。

② [リモートアクセス](または[PPP])画面の **接続を切る** ボタンをクリックしてから、クローズボックスをクリックします。

ブラウザソフトを終了しても電話はつながったままになっています。インターネットの接続を終了するときは、必ずこの画面の **接続を切る** ボタンをクリックしてください。

インターネットの接続が切断されます。

通信回線が正常に切断されると、IWX70の液晶ディスプレイに「データセットアップ」と約20秒間表示されます。



お願い

インターネットの接続を終了するときには、ブラウザソフトを終了させただけでは回線は切断されません。必ず切断操作をしてください。

接続を切る ボタンをクリックしても IWX70 または RS20 の液晶ディスプレイに **➡** または **⇄** が表示されているときは、通信回線がつながったままになっています。このようなときは IWX70 に接続されている INS 回線ケーブルを抜いて、通信回線を強制的に切断してください。なお、INS 回線ケーブルを抜くとすべての通信が切断されるので、電話機などの他の機器が通信中ではないことを確認してから INS 回線ケーブルを抜いてください。通信相手に接続できなかった場合に IWX70 が同じ番号に自動的に再発信する回数は、最初の発信から数えて 3 分間で 2 回以内に制限されています。この制限内で接続できなかった場合は、時間を置いてから接続し直してください。接続できないときは「7-1 困ったときの Q & A」(P.292) を参照してください。



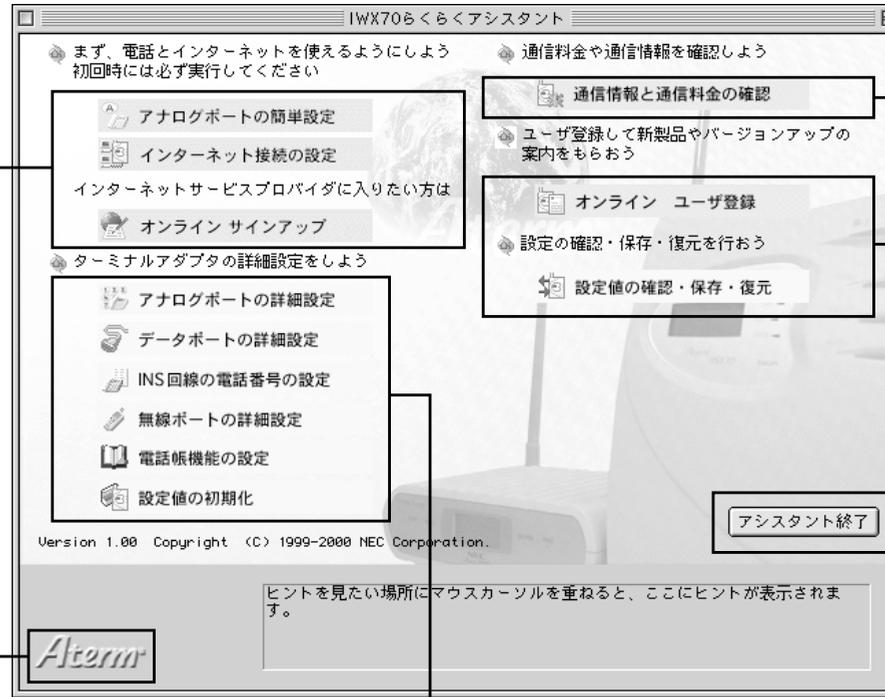
お知らせ

アクセスポイントに接続したあとに認証の失敗などでインターネットに接続できなかった場合も、通信料金がかかります。

4-5 . らくらくアシスタントの使い方

- 1 ハードディスクの中の [IWX70ユーティリティ] フォルダをダブルクリックし、 [IWX70らくらくアシスタント] アイコンをダブルクリックします。
- 2 IWX70またはRS20が接続されているポートを設定し、 [OK] ボタンをクリックします。
- 3 [IWX70らくらくアシスタント] 画面が表示されます。

[らくらくアシスタントメニュー]



アナログポートの簡単設定
電話を使うための基本的な設定をおこないます。

インターネット接続の設定
インターネット接続のためにパソコンの設定をおこないます。

オンラインサインアップ
NECが運営するインターネットプロバイダ『BIGLOBE』にオンラインで入会申し込みができます。

「Aterm」のロゴマークをクリックすると、Atermのホームページ『AtermStation』にアクセスします。

IWX70のアナログポート、無線ポート、データポートのさまざまな機能の設定をします。電話の機能の設定については「5-2. 電話機能」(P.134)、データポートの機能については添付CD-ROMに収録されている「データ通信ガイド」を参照してください。

アナログポートの詳細設定
キャッチホンや受話音量などアナログポートに関する設定をします。

データポートの詳細設定
ITMUXやBODなど、データポートに関する設定をします。

INS回線の電話番号の設定
契約者回線番号を入力したり、i・ナンバー、ダイヤルインサービスを利用するかなどを設定します。

無線ポートの詳細設定
子機との通信モードなど、無線A～無線Fポートに関する設定をします

電話帳機能の設定
短縮ダイヤルや迷惑電話などを登録します。

設定値の初期化
IWX70に設定した内容を消去し一部の設定をのぞいて工場出荷時の状態にもどします。

通信情報と通信料金の確認
ポートごとの通信料金や、着信・発信した電話番号を表示します。

オンラインユーザ登録
Atermを購入していただいた方のユーザ登録をホームページ『Aterm Station』で、受け付けています。
[オンラインユーザ登録] をクリックすると自動的にAtermStationに接続します。インターネット接続の設定が終了してからご利用ください。

設定値の確認・保存・復元 (らくらくバックアップ)
IWX70に設定されている内容を一覧表示したり、その情報をハードディスクなどに保存することができます。保存した設定情報は復元することができます。らくらくアシスタントの設定が完了したら、設定値を保存するようにしてください。

らくらくアシスタントを終了します。

5

さまざまな機能

Atermのワイヤレス通信機能やさまざまな電話の機能、メール機能を説明します。

ワイヤレス通信機能

電話の機能

Atermのメール機能

IWX70・RS20の設定内容を記録する

IWX70・RS20をバージョンアップする

Windows® 2000はMicrosoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

Windows® 98はMicrosoft® Windows® 98 operating systemの略です。

Windows® 95はMicrosoft® Windows® 95 operating systemの略です。

WindowsNT® 4.0はMicrosoft® WindowsNT® operating system version 4.0の略です。

5-1 . ワイヤレス通信機能

IWX70はワイヤレス通信機能を搭載しているため、増設登録されたRS20などのリモートステーションやAtermRC35などのマルチモバイルカードからインターネットに接続することができます。また親・子機間で内線通信し、ワイヤレスネットワークを利用することができます。

ワイヤレスデータ通信の種類

IWX70はPHSを利用したデータ通信規格のPIAFS2.0版、PIAFS2.1版に準拠しており、IWX70とIWX70に増設登録された子機間でPIAFS32K、PIAFS64Kの無線通信ができます。

またNEC独自方式の「デュアルリンクワイヤレス通信」を利用すると64kbpsの無線通信が可能です。

親・子機間の無線通信

親・子機間の無線区間は次の2つの通信モードのどちらかで通信をおこないます。

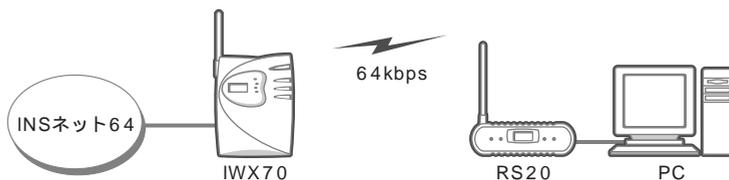
PIAFS32K/PIAFS64K通信

RS20などの子機に接続されたパソコンからPIAFS32KまたはPIAFS64Kでデータ通信をおこないます。PIAFS32Kのときは無線1チャンネルを使って32kbpsで通信し、PIAFS64Kのときは無線2チャンネルを使って64kbpsで通信します。



デュアルリンクワイヤレス通信 (NEC 独自方式)

RS20などのリモートステーションのデータポートに接続されたパソコンから、無線2チャンネルを使って最大64kbpsのデータ通信をおこなうNEC独自の通信方式です。IWX70のプロトコル変換モードによって同期/非同期PPP変換が可能なので、プロバイダのアクセスポイントとも接続できます。



PIAFS64Kとデュアルリンクワイヤレス通信は無線チャンネルを2つ使うため、他の無線ポートは使用できません。

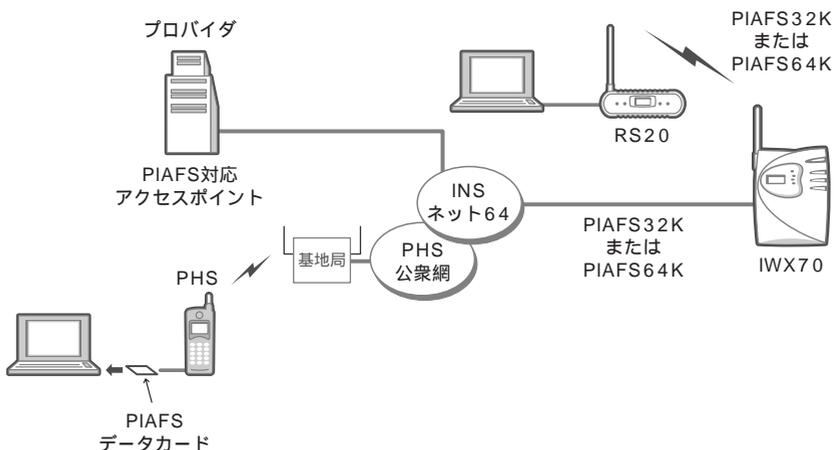
ワイヤレスデータ通信は無線でプロトコルを変換するため、IWX70にパソコンを接続して通信したときよりも、速度は低下します。

INS ネット 64 との通信

子機から受信したデータはPIAFS スルーモードまたはプロトコル変換モードで、IWX70 から INS ネット 64 に送信します。

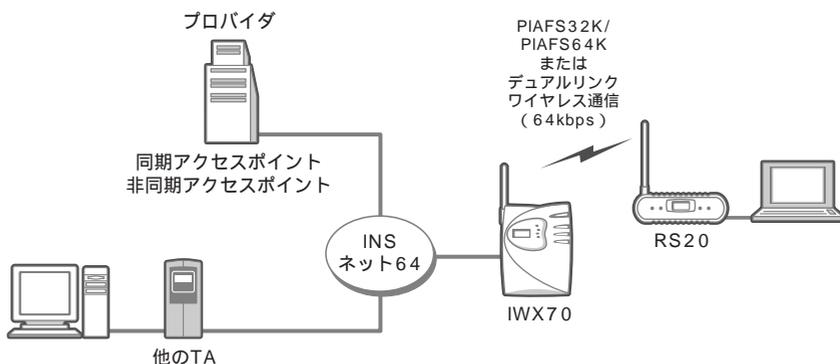
PIAFS スルーモード

RS20 などのリモートステーションや PHS 電話機からの PIAFS データを、IWX70 で変換せずにそのままINSネット64に送出します。PIAFS対応アクセスポイント、またはPHS 公衆網に接続された PHS データ端末と直接データ通信をします。



プロトコル変換モード (同期 PPP または非同期 PPP への変換)

RS20 などのリモートステーションや PHS 電話機からの PIAFS データを IWX70 で一時的に終端し、相手の通信モードに合わせてデータを変換します。PIAFSに対応していないターミナルアダプタやアクセスポイントとも通信ができますので、多くの同期または非同期アクセスポイントに接続できます。なお、同期データへの変換は PPP データに限定されます。



内線データ通信をする

IWX70に接続されているパソコンと増設登録されたRS20などのリモートステーションやAtermRC35などのマルチモバイルカードなどの親・子機間、または子機に接続されているパソコン間で内線でデータのやりとりができます。

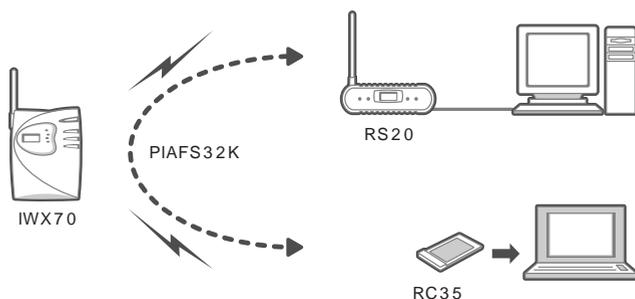
親・子機間通信

IWX70とRS20などの親・子機間で、PIAFS32KまたはPIAFS64K通信ができます。



子機間通信

IWX70を介してRS20やRC35などの子機どうしてPIAFS32K通信ができます。



内線番号

IWX70とIWX70に増設登録された子機には次の内線番号が割り当てられます。子機は増設登録の際に内線番号が決定し、その内線番号に対応したIWX70の無線ポートが割り当てられます。なお、ワイヤレスセットに同梱のRS20は、出荷時に内線番号91(無線Aポート)に登録されています。

内線データ通信をおこなうときには、内線番号を電話番号とみなして指定します。

IWX70の接続ポート	内線番号
USBポート	71
シリアルポート	81
無線Aポート	91
無線Bポート	92
無線Cポート	93
無線Dポート	94
無線Eポート	95
無線Fポート	96

ダイヤルアップでの発信

データ通信の種類にあったモデム定義ファイルを選択するか、電話番号(内線番号)のうしろに「DL」「PD」「PF」を付けます。

通信先	使用できるデータ通信の種類	発信方法
親・子機間通信	デュアルリンクワイヤレス通信	内線番号のうしろに「DL」を付ける
	PIAFS64K通信	内線番号のうしろに「PD」を付ける
	PIAFS32K通信	内線番号のうしろに「PF」を付ける
子機間通信	PIAFS32K通信	

ATコマンドでの発信

ATコマンドを使って発信する場合は、「ATD」(ダイヤル発信)コマンドを使用します。ATコマンドの詳細については添付CD-ROMに収録されている「データ通信ガイド」(「4.ATコマンド」)を参照してください。

通信先	使用できるデータ通信の種類	発信先	ATコマンド	
親・子機間通信	デュアルリンクワイヤレス通信	親機	シリアルポート	ATD#/81DL
			USBポート	ATD#/71DL
		子機		ATD#/91DL ↓
				ATD#/96DL
	PIAFS64K通信	親機	シリアルポート	ATD#/81PD
			USBポート	ATD#/71PD
		子機		ATD#/91PD ↓
				ATD#/96PD
	PIAFS32K通信	親機	シリアルポート	ATD#/81PF
			USBポート	ATD#/71PF
		子機		ATD#/91PF ↓
				ATD#/96PF
子機間通信	PIAFS32K通信	子機	ATD#/96PF	



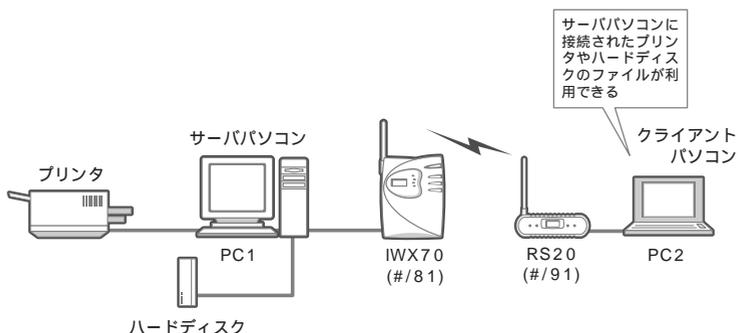
マルチモバイルカードを子機として使用する場合は、デュアルリンクワイヤレス通信は使用できません。

一般のPHSカードの発信では、内線番号のうしろに「DL」「PD」「PF」は付けません。

IWX70のシリアルポートとUSBポート間で内線データ通信をおこなう「USBネットワーク」も可能です。(添付CD-ROM「データ通信ガイド」の「3.USBネットワーク」)

ファイルやプリンタを共有する

Windows® 2000/Windows® 98/Windows® 95/WindowsNT® 4.0 を搭載したパソコンの場合、IWX70 と RS20 などの子機に接続されたパソコン間でファイルやプリンタを共有することができます。



ファイルやプリンタを共有するには、各パソコンでネットワークとダイヤルアップの設定が必要です。設定の手順は添付CD-ROMに収録されている「データ通信ガイド」の「3 .USB ネットワーク」を参照してください。

アナログポートにモデムを接続して通信する（デュアルリンクワイヤレス通信）

リモートステーションのアナログポートからダイヤルするときに電話番号の末尾に **[*]** を付けると、デュアルリンクワイヤレス通信ができます。PHS無線通信でみなし音声のモデム通信をした場合、一般的に9,600bps～14,400bpsの速度でしか通信できませんが、デュアルリンクワイヤレス通信を用いると28,800bpsまでの高品質音声通信ができます。

使い方

RS20などのリモートステーションのアナログポートからダイヤルするときに、電話番号の最後に **[*]** を付けます。

例 無線1チャンネルを使った通常の発信

[0] **[3]** **[1]** **[2]** **[3]** **[4]** **[5]** **[6]** **[7]** **[8]**

例 デュアルリンクワイヤレス通信の発信

[0] **[3]** **[1]** **[2]** **[3]** **[4]** **[5]** **[6]** **[7]** **[8]** **[*]**



お知らせ

デュアルリンクワイヤレス通信中は、無線2チャンネルを使用するので他の無線ポートは使用できません。

モデムの通信速度は、回線状態や相手の端末の状態によって遅くなることがあります。

56kbpsモデムは無線品質の影響を受けやすいため、無線電波の状態によっては実効速度が極端に低下することがあります。56kbpsモデムを使用する場合は、IWX70のアナログポートに接続してください。

電話番号をダイヤルしたあとに **[#]** を押すと、ダイヤル後すぐに発信します。

5-2 . 電話機能

IWX70とRS20はNTT東日本・NTT西日本が提供するINSネット64の付加サービスに対応しているため、さまざまな電話の機能が利用できます。またINSネット64の付加サービスと同等の機能を実現するAterm独自の「疑似機能」があり、付加サービスを申し込まなくても利用できる機能があります。

電話機能一覧

IWX70とRS20は次の機能が使用できます。表内の「RS20機能利用」はRS20に接続した電話機で利用できる機能です。IWX70に接続した電話機ではすべての機能に対応していません。



Atermの機能またはINSネット64の基本サービスで利用できる機能で、通話料金以外の課金はありません。



INSネット64の付加サービスで、表に書かれている付加サービスの契約と月額料金が必要です。

= 利用できます × = 利用できません

目的	機能名	必要な付加サービスの契約	RS20機能利用	参照ページ
基本機能	家の中で話す	内線通話 なし		P.150
	内線電話に転送する	内線転送 なし		P.152
	相手の声の音量を調節する	受話音量調節 なし		P.155
	短縮番号で電話をかける	短縮ダイヤル なし		P.157
話し中のとき	話し中に別の電話を受ける	INSキャッチホン フレックスホン (INSキャッチホン)		P.159
		疑似キャッチホン なし		
	三人で同時に話す	三者通話 フレックスホン (三者通話)		P.162
		疑似三者通話 なし		
電話番号を表示する	自分の電話番号を相手に知らせる	発信者番号通知 なし		P.167
	相手に知らせる電話番号を指定する	発信者番号指定 なし	×	P.169
	着信した電話番号を表示する	INSナンバー・ディスプレイ INSナンバー・ディスプレイ	×	P.171
		INSナンバー・リクエスト INSナンバー・ディスプレイ INSナンバー・リクエスト		
	話し中にかかってきた電話番号を表示する	キャッチホン・ディスプレイ INSナンバー・ディスプレイ INSキャッチホン	×	P.174
	かけてきた相手の電話番号を見る	着信履歴表示 INSナンバー・ディスプレイ	×	P.178
かけてきた相手に電話をかけ直す	着信履歴先発信			

目的		機能名	必要な付加サービスの契約	RS20 機能利用	参照 ページ
電話番号や電話機を使い分ける	2つの電話番号を使い分ける	i・ナンバー	Ⓜ i・ナンバー		P.180
	複数の電話番号を使い分ける	ダイヤルインサービス	Ⓜ ダイヤルインサービス		P.183
	着信する電話機の優先順位をつける	優先着信ポート指定	Ⓜ なし	×	P.188
	特定の電話機に着信させる	サブアドレス	Ⓜ なし	×	P.190
お出かけ/おやすみのとき	電話機の着信音を鳴らさない	おやすみモード	Ⓜ なし	×	P.193
	別の電話番号に転送する	着信転送	Ⓜ フレックスホン(着信転送)	×	P.196
		疑似着信転送	Ⓜ なし		
	ボイスワープで転送する	INSボイスワープ	Ⓜ INSボイスワープ	×	P.198
		INSボイスワープ・セレクト	Ⓜ INSボイスワープ・セレクト		
着信音を鳴らさずに着信を知らせる	フラッシュモード	Ⓜ なし	×	P.202	
電話を転送する	別の電話番号に転送する	着信転送	Ⓜ フレックスホン(着信転送)	×	P.204
		疑似着信転送	Ⓜ なし		
	話し中に別の電話番号に転送する	通信中転送	Ⓜ フレックスホン(通信中転送)	×	P.207
特定の相手を対象にする	特定の電話だけ着信する	識別着信	Ⓜ INSナンバー・ディスプレイ INSなりわけサービス	×	P.210
		疑似識別着信	Ⓜ INSナンバー・ディスプレイ		
	特定の電話の着信音を変える	識別リングング	Ⓜ INSなりわけサービス	×	P.213
		疑似なりわけ	Ⓜ INSナンバー・ディスプレイ		
	話し中にかかってきた特定の電話だけを受け	INSなりわけ選択キャッチホン	Ⓜ INSなりわけサービス (選択キャッチホン)	×	P.216
		疑似選択キャッチホン	Ⓜ INSナンバー・ディスプレイ		
	受けたくない電話の着信を拒否する	迷惑電話おことわりサービス	Ⓜ 迷惑電話おことわりサービス	×	P.217
		迷惑電話防止	Ⓜ INSナンバー・ディスプレイ		
	特定の電話機だけに着信させる	マイプライベート着信	Ⓜ INSナンバー・ディスプレイ	×	P.220
	特定の電話を別の電話番号に転送する	識別着信転送	Ⓜ INSなりわけサービス	×	P.222
疑似識別着信転送		Ⓜ INSナンバー・ディスプレイ			
高位レイヤ整合性を設定する	HLC	Ⓜ なし	×	P.226	
ダイヤルインを使う	着信した電話番号をモデム信号で送出する	モデム・ダイヤルイン	Ⓜ i・ナンバーまたは ダイヤルインサービス	×	P.229
	着信した電話番号をブッシュ信号で送出する	アナログ・ダイヤルイン	Ⓜ i・ナンバーまたは ダイヤルインサービス	×	P.231



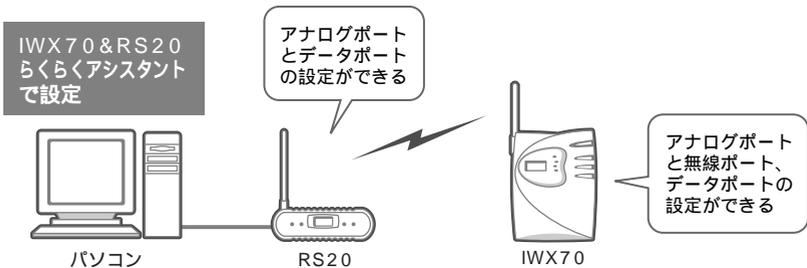
INS ネット 64 の付加サービスを利用するには、対応するサービスの契約が必要です。また通話料金の他に別途月額料金がかかります。付加サービスの料金などの詳細は NTT 東日本または NTT 西日本にお問い合わせください。

設定のしかた

IWX70 と RS20 の電話の機能を設定するには、パソコンから設定する方法と電話機から設定する方法があります。パソコンから設定する場合は、RS20 にパソコンを接続すると RS20 と IWX70 の両方の設定ができるので、この方法をおすすめします。P.150 以降の手順は、RS20 にパソコンを接続している場合を例に説明します。ここでは使用するユーティリティと設定できる内容を説明します。

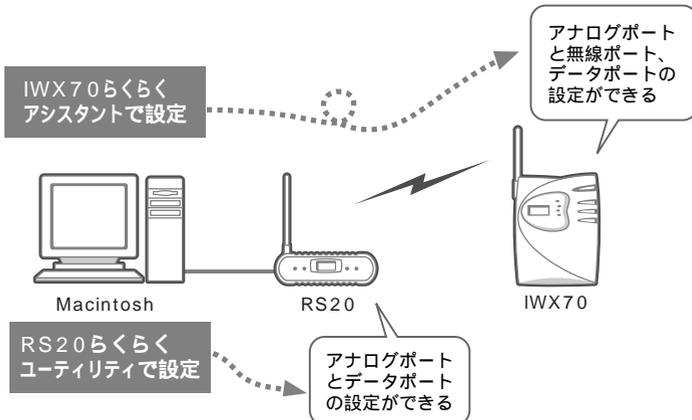
RS20 にパソコン (Windows) を接続している場合

Windows 搭載のパソコンに RS20 を接続している場合、『IWX70&RS20 らくらくアシスタント』を使用して IWX70 と RS20 の両方の設定ができます。IWX70 は RS20 から無線で設定されます。(「Windows での設定方法」 P.138)



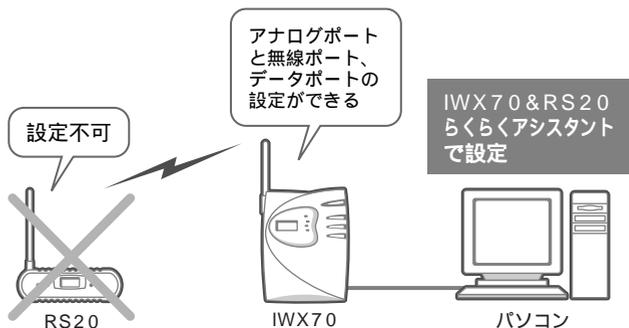
RS20 に Macintosh を接続している場合

Macintosh に RS20 を接続している場合に『IWX70 らくらくアシスタント』を使用すると、RS20 から無線で IWX70 の設定ができます。RS20 の設定は『RS20 らくらくユーティリティ』で設定します。(「Macintosh での設定方法」 P.140)



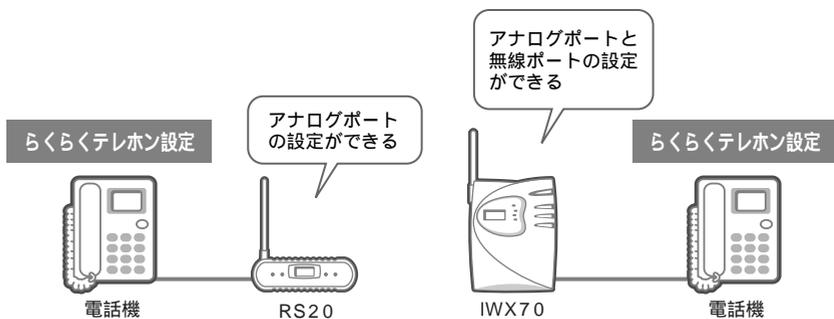
IWX70 にパソコンを接続している場合

IWX70 にパソコンを接続している場合、『IWX70&RS20 らくらくアシスタント』(Macintosh の場合は『IWX70 らくらくアシスタント』) で IWX70 の設定ができます。IWX70 を接続したパソコンから RS20 の設定はできません。



IWX70 または RS20 にパソコンを接続していない場合

IWX70 または RS20 に電話機だけを接続している場合は、『らくらくテレホン設定』で IWX70、RS20 それぞれの設定ができます。『らくらくテレホン設定』ではデータポートの設定はできません。(「電話機での設定方法」 P.142)



Windows での設定方法

Windows搭載のパソコンでは『らくらくアシスタント』を使ってIWX70とRS20の設定をします。らくらくアシスタントはあらかじめパソコンにインストールしておきます。('3-2 .らくらくアシスタントをインストールする' P.83)

1 ほかのアプリケーションソフトを使用しているときは、そのアプリケーションを終了します。

2 **メニュー** [プログラム] [Aterm IWX70&RS20ユーティリティ] [IWX70&RS20らくらくアシスタント] を選択します。

IWX70 または RS20 が接続されているポートを検出し、接続されていることが確認できると [らくらくアシスタントメニュー] が表示されます。

3 [ターミナルアダプタの詳細設定] をクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面が表示されます。

4 設定するポートを選択します。
IWX70、RS20 で設定できる内容は右記を参照してください。



設定できないポートはグレーで表示されます。

5 設定が終了したら **OK** ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定] にもどります。

6 **メニューに戻る** ボタンをクリックし、**はい** ボタンをクリックします。

[らくらくアシスタントメニュー] にもどります。

7 **アシスタント終了** ボタンをクリックし、**はい** ボタンをクリックします。

らくらくアシスタントが終了します。

IWX70 の設定

全体設定
IWX70全体に共通する電話番号や電話帳などの設定をします。また、IWX70の設定を消去するときもここを選択します。

アナログポートの設定
キャッチホンや受話音量など、電話Aポートと電話Bポートに関する設定をします。

以降の説明は電話Aポートの設定を例に説明します。電話Bポートは「停電時の動作」の設定以外、電話Aポートと同様の設定ができます。

データポートの詳細設定
ITMUXやBODなど、シリアルポートとUSBポートに関する設定をします。

無線ポートの詳細設定
子機との通信モードなど、無線A～無線Fポートに関する設定をします。

以降の説明は無線Aポートの設定を例に説明します。無線B～無線Fポートの設定も同様です。



1台のパソコンからIWX70とRS20の両方の設定をするには、RS20にパソコンを接続してIWX70の電源をONしておきます。RS20から無線でIWX70の設定ができます。



1台のパソコンにはIWX70またはRS20のどちらか1台を接続してください。
P.144ページ以降の電話機能の説明は、4の画面から設定する手順を説明します。『らくらくアシスタント』の起動やメニュー画面の表示方法は、このページを参照してください。

RS20 の設定

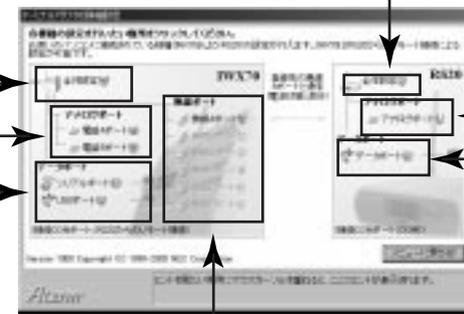
全体設定
RS20の設定を消去することができます。

アナログポートの設定
受話音量やダイヤル桁間タイムなど、アナログポートに関する設定をします。

データポートの設定
デュアルリンク通信や無通信監視タイムなど、シリアルポートまたはUSBポートに関する設定をします。

RS20とパソコンを接続している方のデータポートが表示されます。

[ターミナルアダプタの詳細設定]



設定画面の操作のしかた

設定画面の操作のしかたを説明します。

表示ボックス - すでに入力されている番号などが表示されます。

タブ - クリックして設定画面を切り替えます。

設定項目選択 - クリックして設定項目を切り替えます。

チェックボックス - クリックして を切り替えます。



ボタン - クリックすると、別の画面が表示されます。

ドロップダウンリストボックス - をクリックし、その中の1つを選択します。

テキストボックス - 電話番号などを入力します。

オプションボタン - をクリックしてどれか1つを選択します。

Macintosh での設定方法

MacintoshにIWX70を接続している場合は『IWX70らくらくアシスタント』を使って各機能の設定をします。IWX70が対応する機能の設定ができます。MacintoshにRS20を接続している場合は『IWX70らくらくアシスタント』を起動するとIWX70の設定ができ、『RS20らくらくユーティリティ』を使うとRS20の設定ができます。らくらくアシスタント、らくらくユーティリティはあらかじめパソコンにインストールしておきます。(「4-2. ユーティリティをインストールする」 P.109)
ほかのアプリケーションソフトを使用しているときは、そのアプリケーションを終了しておきます。

IWX70 らくらくアシスタント

IWX70のアナログポート、無線ポート、データポートの設定をします。

- 1 ハードディスクの[AtermIWX70ユーティリティ]フォルダ内の[IWX70らくらくアシスタント]をダブルクリックします。
- 2 IWX70またはRS20を接続しているポートを指定します。USBポートに接続している場合は「Aterm」を選択します。
- 3 ボタンをクリックします。
[IWX70らくらくアシスタント]画面が表示されます。
- 4 設定する項目を選択します。
- 5 設定が終了したら ボタンをクリックし、 ボタンをクリックします。
らくらくアシスタントが終了します。

アナログポートの詳細設定
キャッチホンや受話音量など、電話Aポートと電話Bポートに関する設定をします。

以降の説明は電話Aポートの設定を例に説明します。電話Bポートは「停電時の動作」の設定以外、電話Aポートと同様の設定ができます。

データポートの詳細設定
ITMUXやBODなど、シリアルポートとUSBポートに関する設定をします。

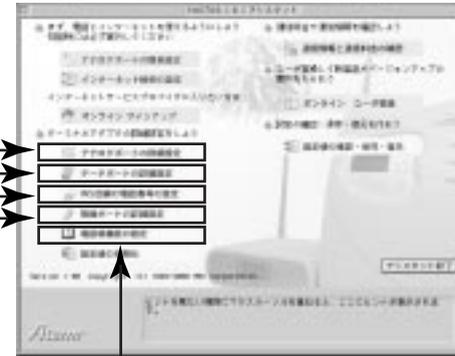
INS回線の電話番号の設定
契約した電話番号を入力したり、ポートごとの電話番号の呼び分けなどを設定します。

無線ポートの詳細設定
子機との通信モードなど、無線A～無線Fポートに関する設定をします。

以降の説明は無線Aポートの設定を例に説明します。無線B～無線Fポートの設定も同様です。

電話帳機能の設定
短縮ダイヤルや迷惑電話などを登録します。

[IWX70らくらくアシスタント]



お知らせ

1 台の Macintosh から IWX70 と RS20 の両方の設定をするには、RS20 に Macintosh を接続して IWX70 の電源を ON にしておきます。RS20 から無線で IWX70 の設定ができます。



お願い

1 台の Macintosh には IWX70 または RS20 のどちらか 1 台を接続してください。P.144 以降の電話機能の説明は、③の画面から設定する手順を説明します。『らくらくアシスタント』の起動やメニュー画面の表示方法は、このページを参照してください。

RS20 らくらくユーティリティ

RS20のアナログポートとデータポートの設定をします。

- 1 ハードディスクの[RS20ユーティリティ]フォルダ内の[RS20らくらくユーティリティ]をダブルクリックします。
RS20が接続されているポートを検出し、接続されていることが確認できると[RS20らくらくユーティリティ]画面が表示されます。
- 2 必要な設定をします。
タブをクリックして[アナログポート]と[データポート]を切り替えます。
アナログポート
受話音量やダイヤル桁間タイマなど、アナログポートに関する設定をします。
データポート
デュアルリンク通信や強制切断タイマなど、データポートに関する設定をします。

③ ボタンをクリックします。

④ ボタンをクリックします。
[RS20らくらくユーティリティ]が終了します。



お知らせ

P.144 以降の『らくらくアシスタント』の設定はWindowsの画面を例に説明します。Macintoshの場合は、P.140の[IWX70らくらくアシスタント]画面から操作します。

電話機での設定方法

IWX70またはRS20の液晶ディスプレイで確認しながら、電話機のプッシュボタンを使って設定します。この操作を『らくらくテレホン設定』といいます。

らくらくテレホン設定の操作方法、各機能の設定方法は「6-2. 電話機でIWX70を設定する」(P.259)、「6-3. 電話機でRS20を設定する」(P.278)を参照してください。



IWX70またはRS20にパソコンを接続している場合は、『らくらくアシスタント』を使ってパソコンで設定することをおすすめします。らくらくアシスタントはパソコンの画面で内容を確認しながら設定ができます。

本章の読み方

この章では次のアイコンを用いて説明します。



IWX70 に接続した電話機で利用できる機能をあらわします。



RS20 に接続した電話機で利用できる機能をあらわします。



電話機能の使い方を説明します。



電話機能を使うために必要な設定を説明します。各マークのうしろに書かれているところを参照してください。



Windows搭載のパソコンで設定する場合に参照してください。



Macintosh で設定する場合に参照してください。



IWX70 または RS20 にパソコンを接続していない場合は、『らくらくテレホン設定』（「6-2. 電話機で IWX70 を設定する」 P.259）で電話機から設定します。

基本操作

フッキング

「フッキング」は電話機のフックを軽く押しではなす操作のことをいいます。内線転送や三者通話、キャッチホンなどで通話相手を切り替えるときに使用します。

フックを軽く押しではなす



フッキング操作は電話機のフックを軽く押してすぐにはなしてください。長い時間フックを押すと、電話が切れます。



ほとんどの電話機にはフッキング操作をおこなうためのボタン(例:フッキングボタン、キャッチボタンなど)がついています。操作方法については電話機の取扱説明書を参照してください。

PHS電話機でフッキング操作をするときは(保留)または(通話)ボタンを押します。どちらのボタンを押すかはPHS電話機の機種によって異なりますので、PHS電話機の取扱説明書を参照してください。

設定

フッキング操作がうまくできない場合は、フッキングが認識される時間(フッキング検出タイム)を調節します。

以下の手順はWindows98搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用し、IWX70を設定する場合を例に説明します。

お使いの環境によっては画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で、フッキングを設定するアナログポートを選択します。

[アナログポートの設定]画面が表示されます。

- ② 「設定項目選択」で「高度な設定」を選択します。

- ③ 「フッキング検出タイマ」で「検出時間を短くする」(0.03 ~ 1 秒)、「検出時間を普通にする」(0.3 ~ 1 秒)、「検出時間を長くする」(0.5 ~ 1.5 秒)の中から選択します。



- ④ **OK** ボタンをクリックします。
[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。

電話機の使い方

IWX70 または RS20 に接続した電話機の電話のかけ方、受け方は P.71 を参照してください。

ここではダイヤルしてから発信するまでの時間の設定(ダイヤル桁間タイマ)と、すぐに発信するときの「#」の使い方について説明します。

ダイヤル桁間タイマ

電話番号をダイヤルしてから INS ネット 64 回線に発信するまでの時間を設定します。

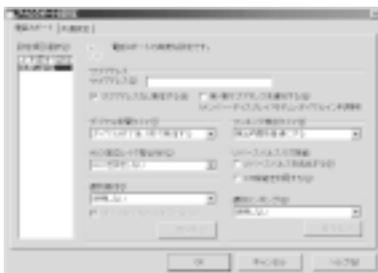
設定

『らくらくアシスタント』で設定します。

以下の手順は Windows98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用し、IWX70 を設定する場合を例に説明します。Macintosh で RS20 の設定をする場合は、『RS20 らくらくユーティリティ』で設定します。

お使用の環境によっては画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [らくらくアシスタントメニュー] で [IWX70&RS20の詳細設定] を選択します。
[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面が表示されます。
- ② ダイヤル桁間タイマを設定するアナログポートを選択します。
[アナログポートの設定] 画面が表示されます。
- ③ 「設定項目選択」で「高度な設定」を選択します。
- ④ 「ダイヤル桁間タイマ」でダイヤルしてから発信するまでの時間を「5 秒」「9 秒」「11 秒」「13 秒」の中から選択します。



- ⑤ **OK** ボタンをクリックします。
[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。

「#」の使い方

電話番号をダイヤルするとダイヤル桁間タイマで設定した時間が経過してから、INS ネット 64回線に発信されます。ダイヤル桁間タイマをはたらかせずすぐに発信する場合は、電話番号をダイヤルしたあとに **[#]** を押します。この **[#]** の使い方を設定することができます。

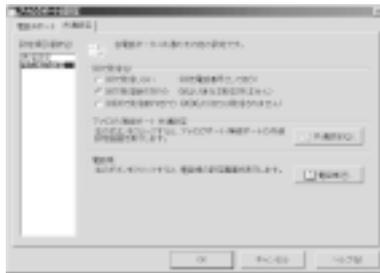
設定

『らくらくアシスタント』で設定します。

以下の手順は Windows 98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用し、IWX70 を設定する場合を例に説明します。Macintosh で RS20 の設定をする場合は、『RS20 らくらくキューティリティ』で設定します。

お使いの環境によっては画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [らくらくアシスタントメニュー] で [IWX70 & RS20 の詳細設定] を選択します。
[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面が表示されます。
- ② アナログポートのいずれかを選択します。
電話 A ポート、電話 B ポートに共通の設定です。
[アナログポートの設定] 画面が表示されます。
- ③ [共通設定] タブをクリックします。
- ④ 「設定項目選択」で「その他の設定」を選択します。
- ⑤ 「[#] で発信」で **[#]** を電話番号として使用するか、**[#]** を押してから発信するか、**[#]** と押してから発信するかを選択します。



- ⑥ **[OK]** ボタンをクリックします。
[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。

PHS の使い方

PHS 電話機をIWX70の子機として増設登録すると、コードレス子機として家の中で使うことができます。IWX70と組み合わせて使用すると電話の発信・着信のほかには次の機能が利用できます。

短縮ダイヤルでの発信
プッシュホンサービス（トーン信号の送出）
PIAFS32K/PIAFS64K データ通信
サブアドレスを指定した発信



利用できる機能はPHS電話機により異なります。機種によっては上記の機能が利用できないものもあります。

PHS電話機をIWX70の子機として使用した場合、PHS公衆モードで利用できる留守番電話サービスや文字メッセージサービスなどのネットワークサービスは利用できません。

IWX70の子機としてPHS電話機を使用した場合は、INSネット64を通じて発信・着信をおこないます。この場合、PHS電話網に対する通話料金はかかりません。

PHS をご使用前に

IWX70の子機としてPHS電話機を使用する前に、以下の点を確認してください。

PHS電話機の機種

IWX70の子機として使用するPHS電話機の機種を確認してください。接続ができる機種については下記をご覧ください。

ホームページ『AtermStation』

<http://aterm.cplaza.ne.jp/>（平成12年6月現在）

増設登録

PHS電話機とIWX70の両方に増設登録（ID登録）が必要です。増設登録はお近くのNEC保守サービス受付拠点（P.350）またはPCクリーンスポット（P.345）お買い上げいただいた販売店で有料にて承りますのでお問い合わせください。

待ち受けモードの設定

PHS電話機をコードレス子機として使用するときはPHS電話機の待ち受けモードを「オフィスモード」（構内モード）またはオフィスモードを含む「デュアルモード」か「オートモード」に設定します。待ち受けモードの設定方法や動作については、PHS電話機の取扱説明書を参照してください。



PHSのオフィスモードごとにIWX70などのワイヤレスシリーズ親機を1台ずつ登録すると、1台のPHS電話機を複数のワイヤレスシリーズ親機に増設登録することができます。

PHS で電話をかける

IWX70の無線ポートに登録されたPHS電話機で外線通話をするときの電話のかけ方を説明します。

- 1 PHS 電話機の **電源** ボタンを押して電源を入れます。
- 2 PHS 電話機が通話可能な状態 (例: PHS 電話機の液晶ディスプレイに **∇III** マークが表示されるなど)であることを確認します。
- 3 発信する相手の電話番号をダイヤルします。
例 **1 1 7** **通話** または **通話 1 1 7** (時報)
- 4 つながったか確認します。
- 5 **切** ボタンを押します。

PHS で電話を受ける

IWX70の無線ポートに登録されたPHS電話機で、外線からの電話を受ける手順を説明します。

- 1 どなたかに電話をかけてもらいます。
- 2 PHS 電話機の着信音が鳴ります。
- 3 **通話** ボタンを押して通話します。
- 4 通話が終わったら **切** ボタンを押します。



PHS 電話機が通話可能な状態にならないときは、次の点を確認してください。

- IWX70の電源が入っているか
- 待ち受けモードが正しいか
- IWX70とPHS電話機の距離が離れすぎしていないか
- PHS電話機のバッテリーが充分あるか



通話可能な状態を表すマークは、PHS電話機の機種によって異なります。詳細はPHS電話機の取扱説明書を参照してください。

PHS電話機から発信するときは、IWX70の液晶ディスプレイに発信に関する表示は出ません。

基本機能

家の中で話す（内線通話）

IWX70

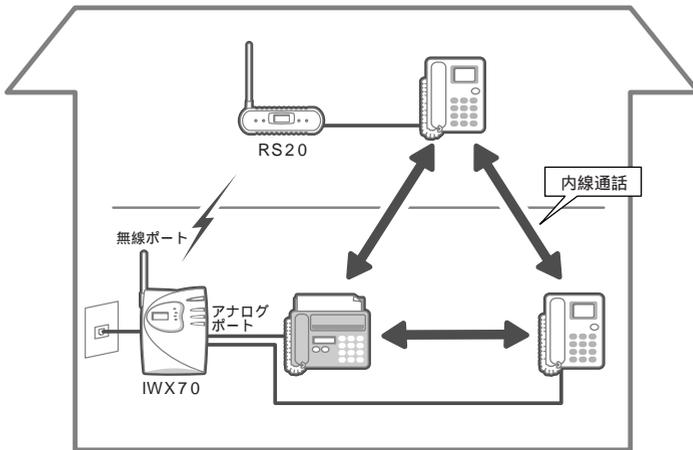
RS20

内線通話

IWX70、RS20に接続された電話機やPHS
電話機間で内線通話ができます。



付加サービスの契約
は必要ありません。



使い方

- 1 電話機の受話器を上げます。
PHS 電話機： **通話** ボタンを押します。

② **#** ***** を押したあとに、呼び出す電話機の内線番号を押します。

- ① 電話 A ポート
- ② 電話 B ポート
- ⑨ ① 無線ポート一斉呼び出し
- ⑨ ① 無線 A ポート
- ⑨ ② 無線 B ポート
- ⑨ ③ 無線 C ポート
- ⑨ ④ 無線 D ポート
- ⑨ ⑤ 無線 E ポート
- ⑨ ⑥ 無線 F ポート

呼び出された電話機の着信音が鳴ります。

すぐに発信する場合は内線番号のあとに **#** を押します。

例 **#** ***** ⑨ ① **#**

③ 着信音が鳴っている電話機の手話器を上げます。

PHS 電話機：(通話) ボタンを押します。

④ 通話が終わったら手話器を置きます。

PHS 電話機：(切) ボタンを押します。

設定

工場出荷時の状態で使用できるように設定されています。



お知らせ

INS ネット 64 と接続していなくても、内線通話をすることができます。

停電時は使用できません。

内線通話中に外線から着信があると「プップ」と割り込み音がして着信を知らせます。電話機のフックを軽く押しはなす「フッキング」操作をすると、内線通話を切って外線と通話ができます。(「フッキング」 P.144)

内線通話は無線 1 チャンネルを使用した 32K 通信になります。内線通話中にあいている無線 1 チャンネルを使って電話やデータ通信ができます。

IWX70 の子機として増設登録した PHS 電話機で内線通話するときは、PHS 電話機に付いている (内線) ボタンは使用できません。

内線通話をしないように設定するときは、『らくらくアシスタント』の [アナログ / 無線ポート共通設定] で変更します。



お願い

PHS 電話機から発信するときに PHS 電話機のディスプレイで相手番号を確認してから発信する場合は、① と ② の操作を逆にしてください。このとき内線番号のあとに **#** は押さないでください。

例 **#** ***** ⑨ ① (通話)

内線電話に転送する（内線転送）

IWX70

RS20

内線転送

外線でかかってきた電話をIWX70、RS20に
接続された電話機やPHS電話機に転送します。



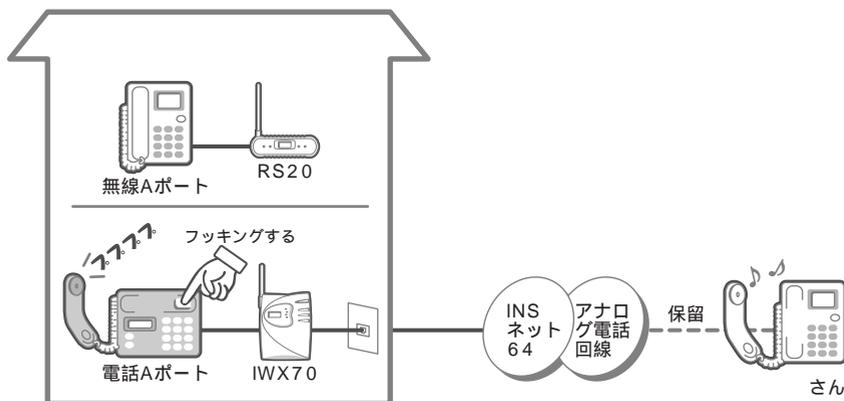
付加サービスの契約
は必要ありません。

使い方

① 外線の さんと通話中に電話機のフックを軽く押してすぐはなします（「フッキング」といいます）。

PHS 電話機：（保留） または（通話） ボタンを押します。

「ブブブ」と割り込み音が聞こえ、 さんは保留になります。



2 # * を押してから、転送するポートの内線番号を押します。

- ① 電話 A ポート
- ② 電話 B ポート
- ⑨ ① 無線ポート一斉呼び出し
- ⑨ ① 無線 A ポート
- ⑨ ② 無線 B ポート
- ⑨ ③ 無線 C ポート
- ⑨ ④ 無線 D ポート
- ⑨ ⑤ 無線 E ポート
- ⑨ ⑥ 無線 F ポート



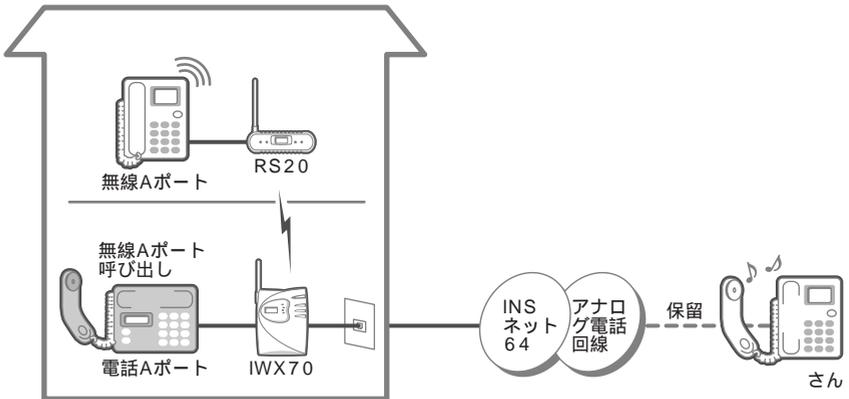
呼び出すポートの番号を押す
(無線Aポート呼び出し)

呼び出された内線の電話機の着信音が鳴ります。

フッキングしたあと、ダイヤル桁間タイマの時間内(初期値:5秒)に内線番号をダイヤルしてください。

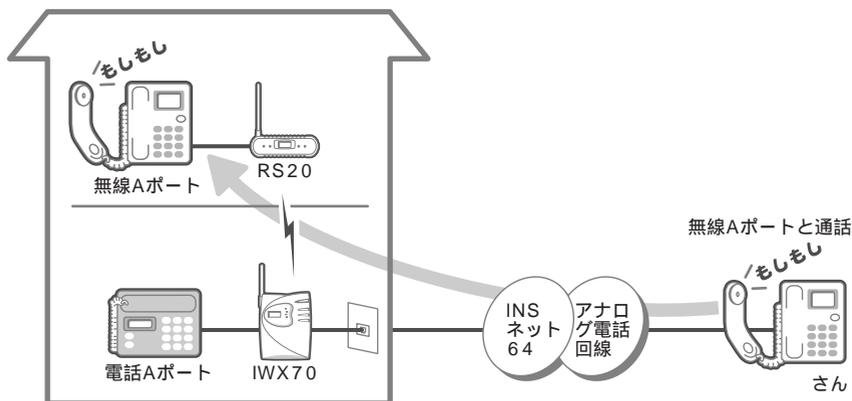
フッキングをしたあと、転送先を呼び出さずにそのままにしていると、さんとの通話にもどります。

転送先を呼び出している間にもう一度フッキングすると、さんとの通話が再開できます。



- ③ そのまま受話器を置くか、転送先の相手が出たら転送することを伝えて受話器を置きます。

さんと転送先で通話ができます。



設定

工場出荷時の状態で使用できるように設定されています。



お知らせ

同一回線内にバス接続された別のターミナルアダプタに接続されている電話機に転送することはできません。

停電時は使用できません。

内線転送は無線 1 チャンネルを使用した 3.2K 通信になります。内線転送中にあいて無線 1 チャンネルを使って電話やデータ通信ができます。

内線転送をしないように設定するときは、『らくらくアシスタント』の [アナログ / 無線ポート共通設定] で変更します。

相手の声の音量を調節する（受話音量調節）

IWX70

RS20

受話音量調節
通話中の相手の声の音量を調節します。

¥0 付加サービスの契約
は必要ありません。



使い方

① 通話中に **[*]** **[#]** を押します。

相手の声の音量が次のように 3 段階で切り替わります。

「 小 中 大 」

初期値は「中」です。

設定

IWX70の初期設定は通話中の受話音量が変更できないようになっています。通話中に受話音量を変更したい場合は、**[*]** **[#]** の操作で通話受話音量が変更できるように設定しておきます。電話機で操作します。

- ① IWX70のアナログポートに接続した電話機を受話器を上げます。
- ② 電話機のプッシュボタンでアナログポートを設定するときは **[*]** **[*]** **[1]** **[*]**、無線ポートを設定するときは **[*]** **[*]** **[7]** **[*]** と押します。
- ③ 設定するポートを指定します。

アナログポートを設定するとき

- ① 電話 A ポート
- ② 電話 B ポート

無線ポートを設定するとき

- ① 全無線ポート共通
- ② 無線 A ポート
- ③ 無線 B ポート
- ④ 無線 C ポート
- ⑤ 無線 D ポート
- ⑥ 無線 E ポート
- ⑥ 無線 F ポート

④ * 1 4 * 1 # と押します。

通話受話音量を変更しない(* # 無効)にするときは、* 1 4 * 0 # と押します。

他のポートを続けて設定するときは、③にもどります。

⑤ # を押します。

⑥ 受話器を置きます。



通話相手の電話機によっては * # を押すと、相手側の電話機の受話音量が切り替わることがあります。その場合は「通話中の受話音量を変更しない」(初期値)にもどしてください。

通話中に * # を押すと通信妨害になることがあります。その場合は「通話中の受話音量を変更しない」(初期値)にもどしてください。

『らくらくアシスタント』で受話音量をあらかじめ設定しておくこともできます。

以下の手順は Windows98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して IWX70 を設定する場合を例に説明します。

お使いの環境によっては画面に表示される内容が異なる場合があります。

① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で、受話音量を設定するアナログポートを選択します。

[アナログポートの設定]画面が表示されます。

② 「受話音量」で音量・小、音量・中、音量・大の中から選択します。



③ OK ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。

短縮番号で電話をかける（短縮ダイヤル）

IWX70

RS20

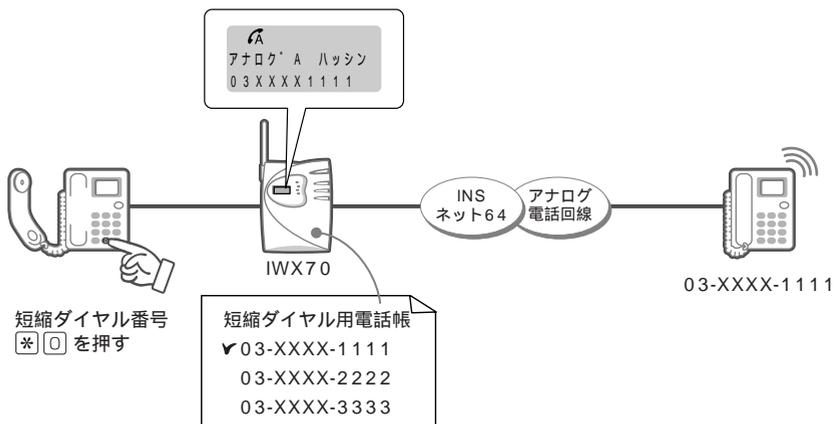
短縮ダイヤル

電話番号を10個まで登録できます。登録した電話番号は[*][0]～[*][9]の短縮ダイヤル番号で発信します。

¥0 付加サービスの契約は必要ありません。

使い方

- 1 電話機の手話器を上げます。
PHS 電話機：（通話）ボタンを押します。
受話器から「ツー」という発信音が聞こえます。
- 2 [*] を押してから、かけたい電話番号が登録されている短縮ダイヤル番号 [0] ~ [9] を押します。
登録されている電話番号に発信します。



- 3 通話が終わったら受話器を置きます。
PHS 電話機：（切）ボタンを押します。

設定

『らくらくアシスタント』で短縮ダイヤル用電話帳に電話番号を登録します。
以下の手順は Windows98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して IWX70 を設定する場合を例に説明します。
お使用の環境によっては画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定] 画面で [全体設定] をクリックし、[電話帳の設定] を選択します。
[電話帳] 画面が表示されます。
- ② 00 ~ 09 の中から登録する番号を選択します。



- ③ 「名前」をクリックし、登録する相手の名前を入力します。
- ④ 「電話番号」をクリックし、登録する電話番号を市外局番から入力します。ハイフンや() は入力する必要はありません。
- ⑤ サブアドレスがある場合は「サブアドレス」に入力します。(「特定の電話機に着信させる」 P.190)
- ⑥ **更新** ボタンをクリックします。
指定した短縮番号に登録されます。
- ⑦ **OK** ボタンをクリックします。
[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。

話し中のとき

話し中に別の電話を受ける（キャッチホン）

話し中にかかってきた別の相手と通話します。通話中だった相手は保留にします。キャッチホンには次の2種類があります。

 IWX70

 RS20

INSキャッチホン

INSネット64の付加サービスを利用します。

Bチャンネルを1つだけ使用するので、あいているBチャンネルを電話やインターネットで使用することができます。



INSネット64の「フレックスホン」の「INSキャッチホン」（有料）と「通信中着信通知サービス」（無料）を契約します。

疑似キャッチホン

Atermの機能です。

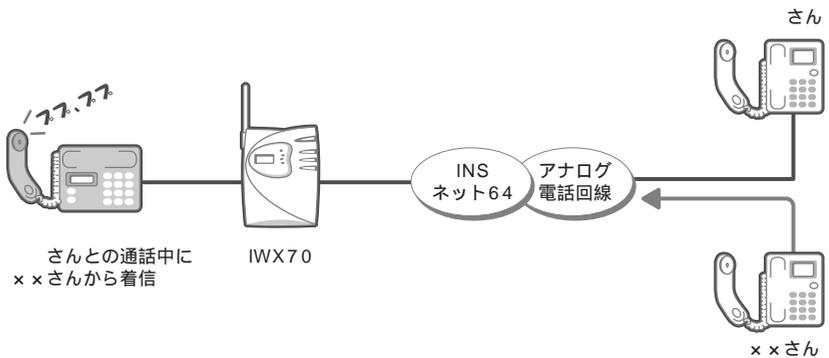
B1、B2チャンネルの両方を使用するので、通話中は内線通話以外の通信はできません。



付加サービスの契約は必要ありません。

使い方

- 1 さんと通話中に××さんから着信があると「プブ、プブ」という割り込み音が聞こえます。

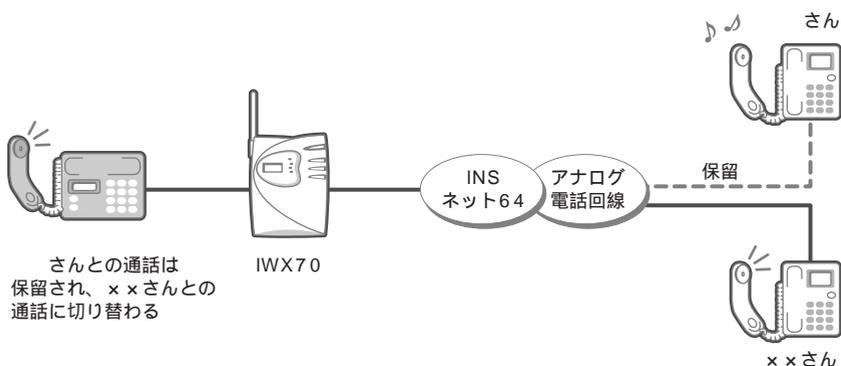


- 2 電話機のフックを軽く押してすぐはなします（「フッキング」といいます）。
PHS 電話機：（保留）または（通話）ボタンを押します。

フッキングする



- ③ ××さんと通話します。
さんは保留になります。



- ④ 再度 さんと通話するときは、もう一度フッキングします。
PHS 電話機： 保留 または 通話 ボタンを押します。

設定

『らくらくアシスタント』で設定できます。

Aterm の疑似キャッチホン機能を使用するか、INS ネット 64 のキャッチホンを使用するかを選択します。

以下の手順は Windows 98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して IWX70 を設定する場合を例に説明します。

お使いの環境によっては画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定] 画面で、キャッチホンを設定するアナログポートを選択します。
[アナログポートの設定] 画面が表示されます。
- ② 「キャッチホン」で「INS キャッチホンを使用する」または「疑似キャッチホンを使用する」を選択します。



- ③ ボタンをクリックします。
[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。



フッキング操作についてはP.144を参照してください。
ファクス付電話機またはモデムにキャッチホンの設定をしないでください。ファクスやモデムの通信中に外線から着信があると、通信エラーとなります。



IWX70の電話Aポート、電話Bポートの両方にINSキャッチホン設定している場合で両ポートが通話中に新たな着信があると、電話Aポートの電話機だけに割り込み音が聞こえます。

三人で同時に話す（三者通話）

外線通話中にもう一人を呼び出して相手を切り替えて通話(切替モード)したり、三人同時に通話(ミキシングモード)をすることができます。三者通話には次の2種類があります。



三者通話

INSネット64の付加サービスを利用します。

Bチャンネルを1つだけ使用するので、あいているBチャンネルを電話やインターネットで使用することができます。



INSネット64の「フレックスホン」の「三者通話」機能を契約します。

疑似三者通話

Atermの機能です。

B1、B2チャンネルの両方を使用するので、通話中は外線通話以外の通信はできません。通信中転送機能は使用できません。ミキシングモードから切替モードへ切り替えることはできません。



付加サービスの契約は必要ありません。

切替モード

通話する相手を切り替えて通話します。同時に話ができるのは二人で、一人は保留になります。

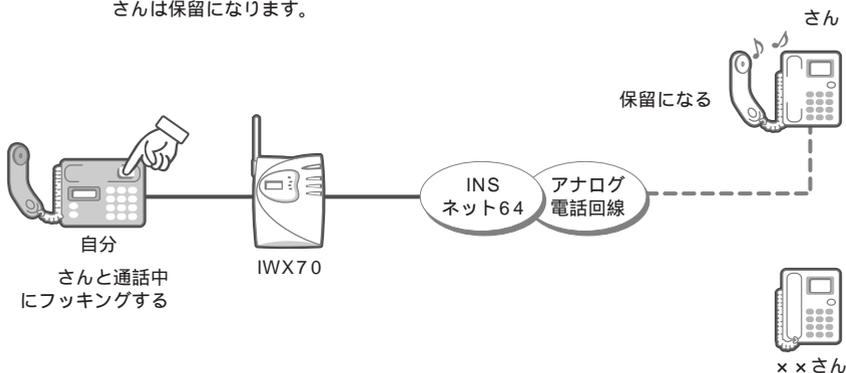
使い方



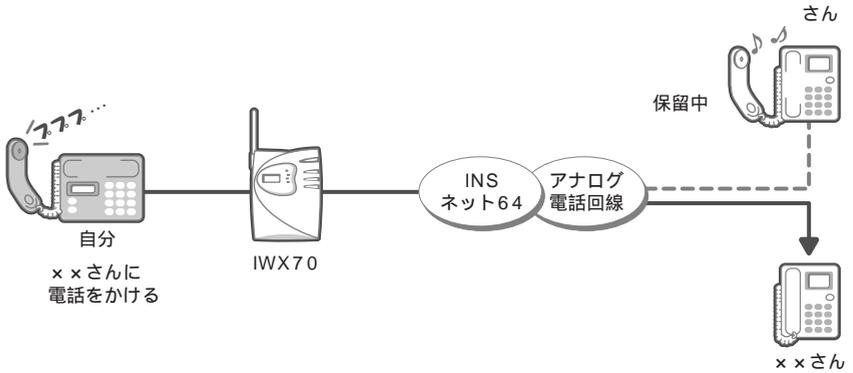
さんと通話中に電話機のフックを軽く押してすぐはなします(「フッキング」といいます)。

PHS 電話機：(保留) または (通話) ボタンを押します。

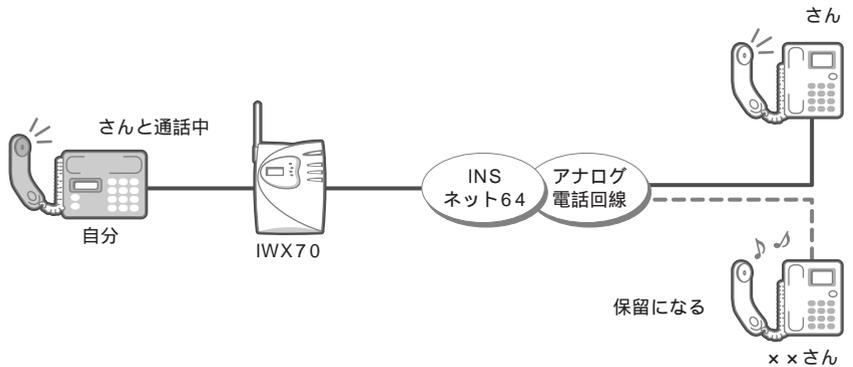
さんは保留になります。



- ② 「ププ…」という音が聞こえたら、××さんに電話をかけます。
××さんが電話に出ると通話できます。



- ③ もう一度フッキング（PHS 電話機：保留 または 通話 ボタンを押す）します。
「プッ、プッ」という割り込み音が流れ、音が止まると さんとの通話にもどります。



さん、××さんのどちらかと通話ができます。
通話の切り替えはフッキング操作で何度でもできます。

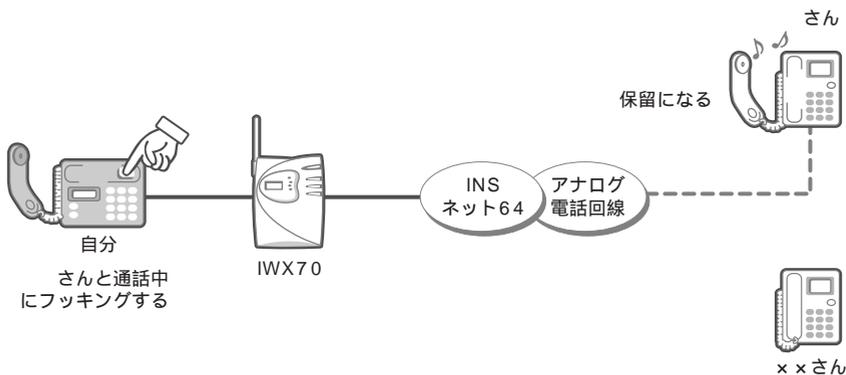
- ④ 1秒以上フックを押すか受話器を置くと、そのとき通話していた相手との電話が切れます。
PHS 電話機：保留 または 通話 ボタンを押します。
着信音が鳴ったら受話器を取り、保留していた相手と通話します。

ミキシングモード

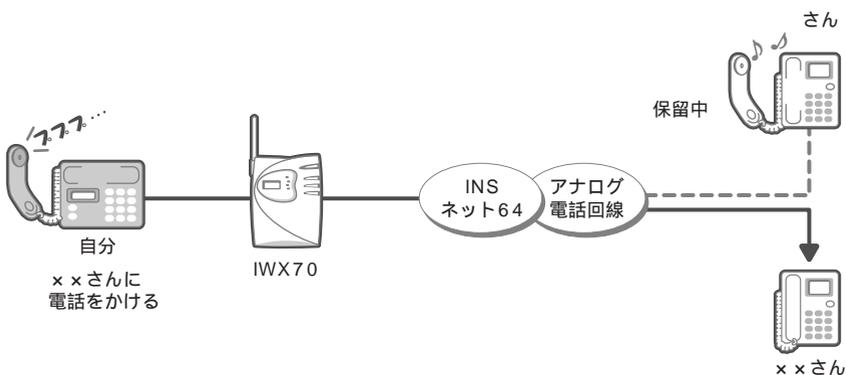
通話中にもう一人を呼び出して三人同時に通話します。

使い方

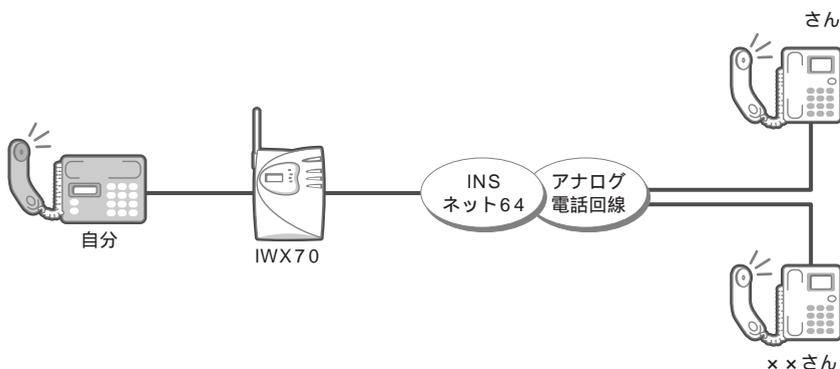
- 1 さんと通話中にフッキングします。
PHS 電話機：(保留) または (通話) ボタンを押します。
さんは保留になります。



- 2 「プププ…」という割り込み音が聞こえるので、××さんに電話をかけます。
××さんが電話に出ると通話できます。



- ③ 約 5 秒以内に続けて 2 回フッキングします。
さん、××さんと通話ができます。



2 回フッキングすると切替モードとミキシングモードが切り替わります。

- ④ 1 秒以上フックを押すか受話器を置くと、そのとき通話していた相手との電話が切れます。
PHS 電話機：(保留) または (通話) ボタンを押します。

設定

『らくらくアシスタント』で三者通話が疑似三者通話かを選択します。

以下の手順は Windows 98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して IWX70 を設定する場合を例に説明します。

お使いの環境によっては画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定] 画面で [全体設定] をクリックし、[アナログ / 無線ポート共通設定] を選択します。
[アナログポート / 無線ポート共通設定] 画面が表示されます。
- ② INS ネット 64 の「三者通話」か、Aterm の「疑似三者通話」を使用するかを選択します。



- ③ [OK] ボタンをクリックします。
[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。



切替モードとミキシングモードは、2回続けてフッキングして切り替えます。ただし、疑似三者通話の場合は、ミキシングモードから切替モードに切り替えることはできません。切替モードからミキシングモードへの切り替えは可能です。三者通話をしているときに『らくらくアシスタント』を終了すると、電話機からノイズが聞こえることがあります。すべての通話を切ったときには、最後に発信した分の通話料金が表示されます。



三者通話がうまくできないときは、ダイヤル桁間タイマを長く設定してみてください。
(P.146)

電話番号を表示する

自分の電話番号を相手に知らせる（発信者番号通知）

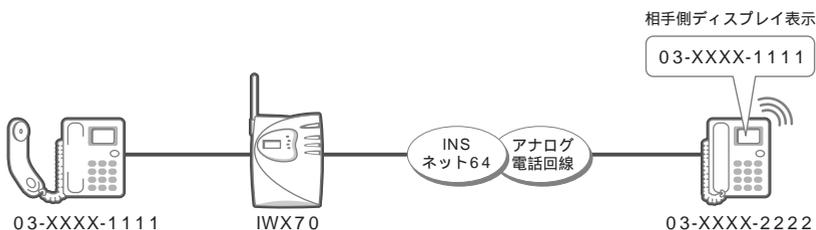
IWX70

RS20

発信者番号通知

自分の電話番号を相手に通知します。
相手がナンバー・ディスプレイを利用している場合やINSネット64加入者の場合に、相手側の電話機に発信者の電話番号を表示します。

¥0 付加サービスの契約は必要ありません。



INSネット64の契約内容とIWX70、RS20の設定、ダイヤルするときに電話番号の前に「184」（発信者番号を通知しない）または「186」（発信者番号を通知する）を付けるかによって、番号を通知するかしないかを選択することができます。

：通知する ×：通知しない

INSネット64の契約	発信時のダイヤル	Atermの設定		INSネット64の契約内容に従う（初期値）
		通知しない	通知する	
通常通知 （通話ごと非通知）	相手の電話番号	×		
	184+相手の電話番号	×	×	×
	186+相手の電話番号			
通常非通知 （回線ごと非通知）	相手の電話番号	×		×
	184+相手の電話番号	×	×	×
	186+相手の電話番号			

INS ネット 64 の契約

INS ネット 64 の契約のときに「通常通知（通話ごと非通知）」、「通常非通知（回線ごと非通知）」のどちらかを選択します。

IWX70、RS20 の設定

『らくらくアシスタント』の「発信者番号通知」の設定で「番号通知を行わない」、「番号通知を行う」、「INS ネット 64 の申し込み通り」のいずれかを選択します。

電話番号の通知 / 非通知

電話番号の前に **1** **8** **4** を付けてダイヤルすると、発信者番号を通知しません。**1** **8** **6** を付けてダイヤルすると、発信者番号が相手に通知されます。

設定

『らくらくアシスタント』で設定します。

以下の手順は Windows98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して IWX70 を設定する場合を例に説明します。

お使いの環境によっては画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定] 画面で、発信者番号通知を設定するアナログポートを選択します。

[アナログポートの設定] 画面が表示されます。

- ② 「発信者番号通知」で「番号通知を行う」に設定します。

通知する場合の「通知番号」は「相手に知らせる電話番号を指定する(発信者番号指定)」(P.169)で設定します。発信者番号指定が設定されていないときは、契約者回線番号が通知されます。



- ③ **OK** ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。

相手に知らせる電話番号を指定する（発信者番号指定）

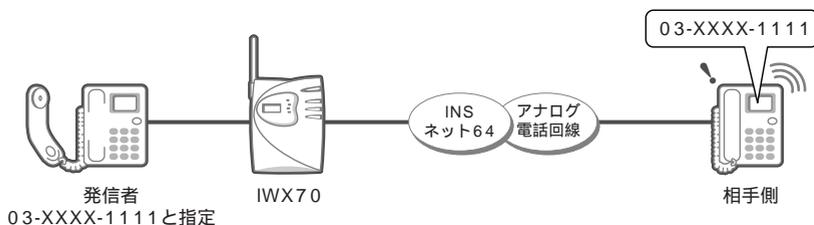
IWX70

発信者番号指定

電話をかけたときに相手に知らせる電話番号を指定します。ポートごとにi・ナンバー情報または契約者回線番号/ダイヤルイン番号を指定します。
設定しなければ、契約者回線番号が表示されます。



付加サービスの契約は必要ありません。



設定

『らくらくアシスタント』で設定します。

以下の手順はWindows98搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用してIWX70を設定する場合を例に説明します。

お使いの環境によっては画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① 「発信者番号通知」を「番号通知を行う」に設定します。（ P.167 ）
- ② [ターミナルアダプタの詳細設定] 画面で [全体設定] をクリックし [電話番号の設定] を選択します。
[電話番号テーブル] 画面が表示されます。

③ 電話番号を入力し、電話番号ごとに通知するポートを選択します。

i・ナンバーを使用しているかしていないかによって画面が異なります。

i・ナンバーを使用する場合

「i・ナンバー情報 1」と「i・ナンバー情報 2」を入力し、各番号で通知するポートを選択します。



i・ナンバーを使用しない場合

「契約者回線番号」と「ダイヤルイン番号」(ダイヤルインサービスを契約している場合)を入力し、各番号で通知するポートを選択します。



[アナログ/無線ポートの簡単設定]などで、すでに電話番号を入力してある場合は、その番号が表示されるので、あらかじめ電話番号を入力する必要はありません。

④ OK ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。

IWX70

INSナンバー・ディスプレイ

INSネット64の付加サービスを利用します。発信者の電話番号をIWX70の液晶ディスプレイとナンバー・ディスプレイ対応の電話機に表示します。相手から番号が通知されなかったときは、その理由を表示します。

INSナンバー・ディスプレイを契約していないと、アナログ電話回線からの発信者番号が通知されません。



INSネット64の「INSナンバー・ディスプレイ」を契約します。

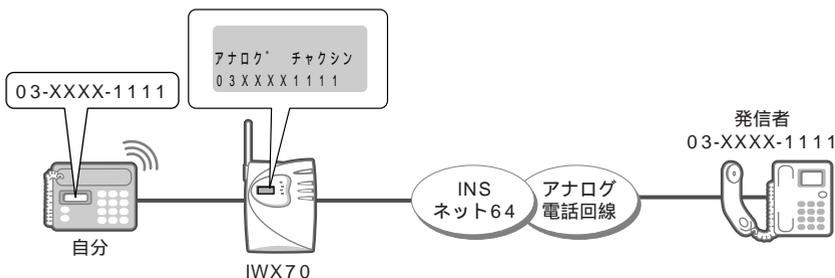
INSナンバー・リクエスト

電話番号を通知しない相手に「恐れ入りますが、あなたの電話番号を通知しておかけ直してください」と音声で伝えます。電話番号が非通知の相手からの着信音は鳴らず、相手には通話料金がかかります。

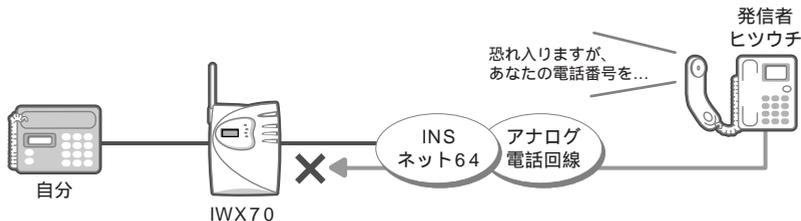


INSネット64の「INSナンバー・ディスプレイ」と「INSナンバー・リクエスト」を契約します。

INS ナンバー・ディスプレイ



INS ナンバー・リクエスト



設定

『らくらくアシスタント』で設定します。

Windows

「3-3.らくらくアシスタントで簡単に設定する」 P.86

Macintosh

「4-3.らくらくアシスタントで簡単に設定する」 P.112

設定を変更するときは以下のように設定します。

以下の手順は Windows98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して IWX70 を設定する場合を例に説明します。

お使用の環境によっては画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で、ナンバー・ディスプレイ/ナンバー・リクエストを設定するアナログポートを選択します。

[アナログポートの設定]画面が表示されます。

- ② 「情報通知サービス」で「ナンバー・ディスプレイを使用する」を選択します。



モデム・ダイヤルイン機能も使用する場合は「ナンバー・ディスプレイ + モデムダイヤルインを使用する」を選択します。

- ③ **OK** ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。



ナンバー・ディスプレイ対応アナログ通信機器の機種によっては、相手の番号が正しく表示されない場合があります。

ナンバー・ディスプレイ対応アナログ通信機器で通話中に新たな着信があっても、相手の番号は表示されません。また通話終了直後の着信も表示されないことがあります。通話中に着信した番号を表示したい場合は、「キャッチホン・ディスプレイ」機能を利用します。(P.174)

1つのアナログポートに複数のアナログ通信機器を接続(ブランチ接続)した場合、ナンバー・ディスプレイ対応アナログ通信機器には発信者番号が正しく表示されません。

PHS 事業者、デジタル携帯電話によっては、発信者番号が正しく表示されない場合があります。

INS ネット 64 加入者、デジタル携帯電話、PHS から発信者番号を通知して電話がかかってきた場合は、INS ナンバー・ディスプレイの契約をしなくてもナンバー・ディスプレイ対応アナログ通信機器に相手の電話番号が表示されます。

INS ナンバー・ディスプレイの契約をしないで IWX70 の設定を「ナンバー・ディスプレイを使用する」に設定すると、アナログ電話回線からの着信や発信者番号が非通知の携帯電話、ISDN 回線からの着信の発信者番号は表示されません。また接続したナンバー・ディスプレイ対応アナログ通信機器には「ヒョウジ ケンカ イ」と表示されます。



ナンバー・ディスプレイを利用したときに IWX70 の液晶ディスプレイに表示される内容については、「8-1 .液晶ディスプレイの表示」(P.320)を参照してください。

相手 (INS ネット 64 加入者) からサブアドレスが通知された場合、IWX70 は電話番号を「/」(スラッシュ)で区切ってナンバー・ディスプレイ対応アナログ通信機器に通知します。ナンバー・ディスプレイ対応アナログ通信機器にサブアドレスを表示する機能がない場合は、IWX70 の設定を「発・着サブアドレスを通知しない」に設定してください。(P.190)

INS ナンバー・ディスプレイで着信中は、『らくらくアシスタント』の または ボタンをクリックしないでください。

話し中にかかってきた電話番号を表示する（キャッチホン・ディスプレイ）

通話中に別の相手からあらたに着信があった場合に、その相手の電話番号をIWX70の液晶ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイ対応通信機器に表示します。ご利用になるにはキャッチホン・ディスプレイに対応したアナログ通信機器が必要です。

IWX70

キャッチホン・ディスプレイ （INSキャッチホン利用）

INSネット64のINSキャッチホンを利用し、通話中にかかってきた新しい相手の電話を着信してその電話番号をIWX70の液晶ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイ対応の電話機に表示します。



INSネット64の「INSナンバー・ディスプレイ」（有料）と「フレックスホン」（有料）の「INSキャッチホン」、「通信中着信通知サービス」（無料）を契約します。

キャッチホン・ディスプレイ （疑似キャッチホン利用）

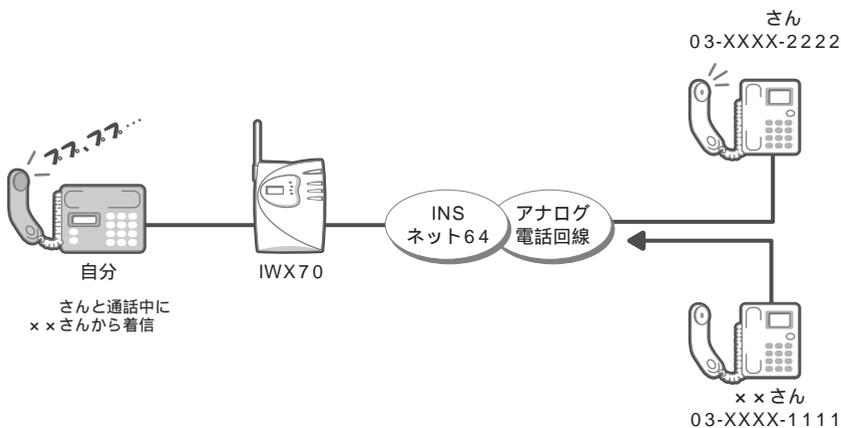
Atermの疑似キャッチホンを利用し、通話中にかかってきた新しい相手の電話を着信してその電話番号をIWX70の液晶ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイ対応の電話機に表示します。



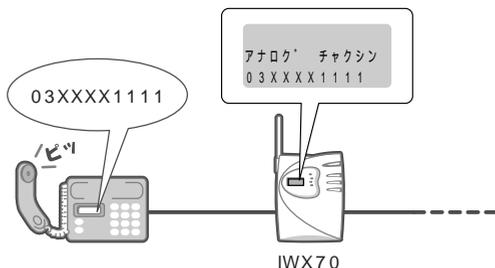
INSネット64の「INSナンバー・ディスプレイ」を契約します。

使い方

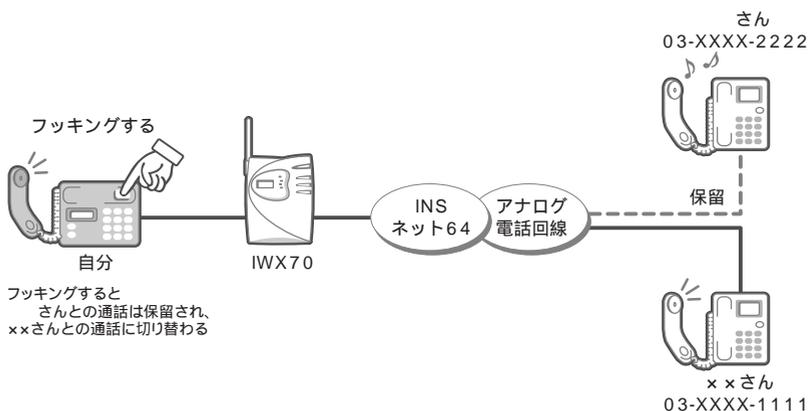
- ① 通話中に新たな相手から着信があると「ププ、ププ…」という割り込み音が聞こえます。



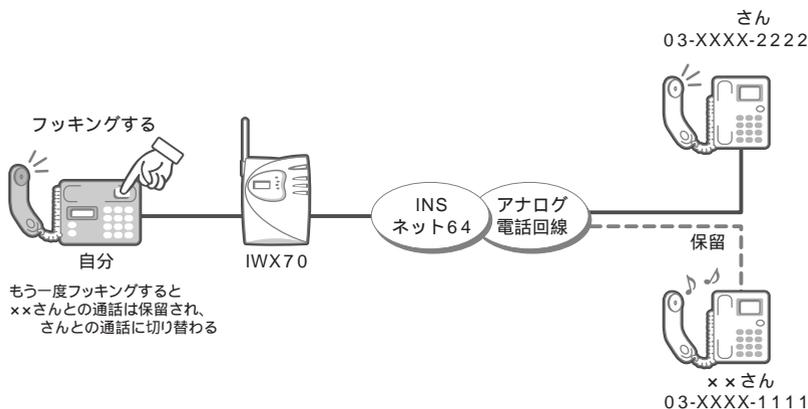
- ② 「プブ、プブ…」のあとに「ピッ」という割り込み音が聞こえると、IWX70の液晶ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイ対応アナログ通信機器のディスプレイに着信した相手の発信者番号が表示されます。



- ③ 電話機のフックを軽く押してすぐはなします（「フッキング」といいます）。
PHS 電話機：（保留）または（通話）ボタンを押します。
新しい相手と通話ができます。この間最初の相手には保留音が流れます。



- ④ もう一度フッキングすると最初の相手と通話できます。



フッキングするたびに通話相手が切り替わります。

設定

『らくらくアシスタント』で設定します。

以下の手順は Windows98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して IWX70 を設定する場合を例に説明します。

お使いの環境によっては画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で、キャッチホン・ディスプレイを設定するアナログポートを選択します。

[アナログポートの設定]画面が表示されます。

- ② 「キャッチホン」で「INS キャッチホンを使用する」か「疑似キャッチホンを使用する」かを選択します。



- ③ 「情報通知サービス」で「ナンバー・ディスプレイを使用する」を選択します。

- ④ 「キャッチホン・ディスプレイを使用する」をクリックして にします。

- ⑤ ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。



お知らせ

RS20に接続された電話機やPHS電話機などに個別に着信した場合は、キャッチホン・ディスプレイは機能しません。

キャッチホン・ディスプレイ対応アナログ通信機器の機種によっては、発信者番号が正しく表示されない場合があります。

キャッチホン・ディスプレイで着信したときは「プブ、プブ…」のあと「ピッ」という割り込み音が鳴ります。「ピッ」という割り込み音のときに話し中の声が重なると、1秒程度通話が途切れ、電話番号が正しく表示されないことがあります。お出かけ設定の「おやすみモード」、「フラッシュモード」、または停電時の動作の「ブザーを鳴らす」のいずれかを設定していると、電話番号が正しく表示されないことがあります。

内線通話中に外線を着信したときはキャッチホンの設定にかかわらず、キャッチホン・ディスプレイ対応アナログ通信機器のディスプレイに着信した電話番号が表示されます。

1つのアナログポートに複数のアナログ通信機器を接続(ブランチ接続)した場合、キャッチホン・ディスプレイ対応アナログ通信機器には発信者番号が正しく表示されません。

相手からの電話番号が通知されなかったときは、その理由が表示されます。(P.323)



お願い

キャッチホン・ディスプレイで着信中は、『らくらくアシスタント』の または ボタンをクリックしないでください。

キャッチホン・ディスプレイを利用したときにIWX70の液晶ディスプレイに表示される内容については、「8-1.液晶ディスプレイの表示」(P.320)を参照してください。

かけてきた相手の電話番号を見る / かけ直す (着信履歴表示 / 着信履歴先発信)

電話 A ポート、電話 B ポートに着信した相手の電話番号は、最大 50 件まで IWX70 が記憶しています。IWX70 に記憶されている着信時間や電話番号を見たり、その相手に電話をかけることができます。

IWX70

着信履歴表示

アナログポートに着信した相手の電話番号や着信日時などを IWX70 の液晶ディスプレイに表示します。最大 50 件分の着信履歴が記憶でき、それを超えると古い履歴から消去されます。

着信履歴先発信

着信履歴に記憶されている電話番号に電話をかけます。



INS ネット64の「INS ナンバー・ディスプレイ」を契約します。



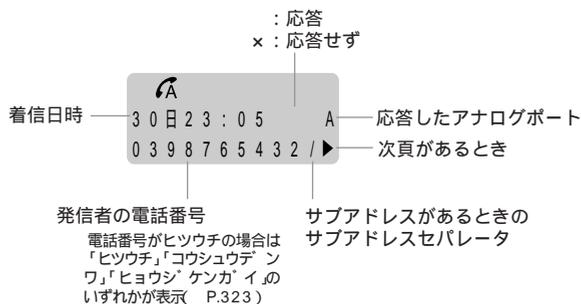
IWX70

<p>☎ 30日20:05 A 03XXXX5555 / ▶</p>	<p>午後8:05 03-XXXX-5555より</p>
<p>☎ 30日21:20 B P:ヒツチ</p>	<p>午後9:20 ヒツチより</p>
<p>☎ 30日23:05 A 03XXXX3333 / ▶</p>	<p>午後11:05 03-XXXX-3333より</p>

使い方

電話機のプッシュボタンで操作します。

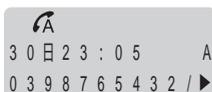
- 1 IWX70 に接続した電話機の受話器を上げます。
- 2 プッシュボタンで *** * 5 1** と押します。
一番新しい着信履歴が表示されます。



⑥ 次頁表示



④ 前頁表示



③ ② または ⑧ を押して見たい電話番号を表示します。

② 新しい履歴を表示（新しい履歴がないときは一番古い履歴を表示）



⑧ 古い履歴を表示（古い履歴がないときは一番新しい履歴を表示）



履歴が表示されているときに **[*]** を押すとその着信履歴を消去することができます。もう一度 **[*]** を押すと、すべての着信履歴が消去されます。

④ **[#]** を押して表示された電話番号に電話をかけます。

発信しない場合は **[#]** を押さずに受話器を置きます。

設定

『らくらくアシスタント』の設定はありません。



IWX70 の電源を切ると、記憶されていた着信履歴はすべて消去されます。着信履歴表示 / 着信履歴先発信は IWX70 前面のファンクションボタンを使って操作することもできます。（「6-1 . ファンクションボタンで IWX70 を操作する」 P.250）

電話番号や電話機を使い分ける

2つの電話番号を使い分ける (i・ナンバー)

IWX70

RS20

i・ナンバー

INSネット64の付加サービスを利用します。契約者回線番号のほかに、電話番号を1つ持つことができます。電話機とファクス、家庭用と個人用など、電話機を個別に呼び出すことができます。2つの電話番号は「i・ナンバー情報1」「i・ナンバー情報2」と区別します。

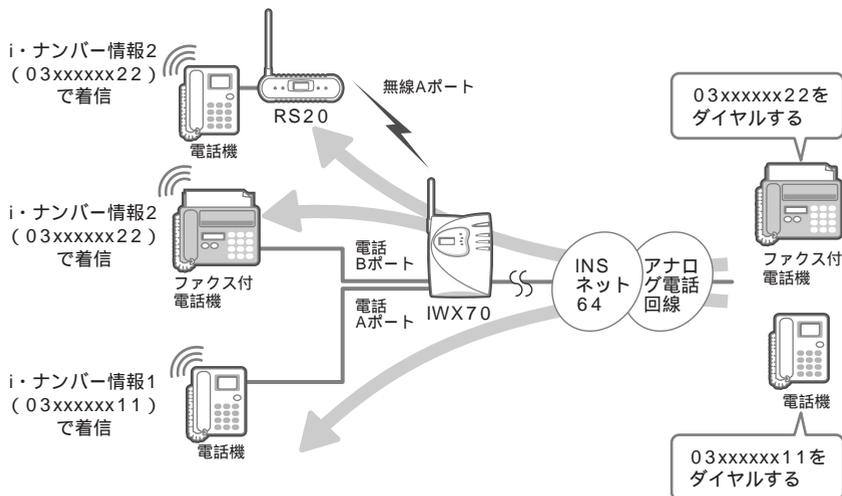


INSネット64の「i・ナンバー」を契約します。

電話番号を各ポートに割り当てます。

設定例

電話番号	着信するポート	接続機器例
i・ナンバー情報1 03XXXXXXXX11	電話Aポート	電話機
i・ナンバー情報2 03XXXXXXXX22	電話Bポート	ファクス付電話機
	無線Aポート (RS20)	電話機



設定

『らくらくアシスタント』の[アナログ/無線ポートの簡単設定]で設定できます。

Windows

「3-3.らくらくアシスタントで簡単に設定する」 P.86

Macintosh

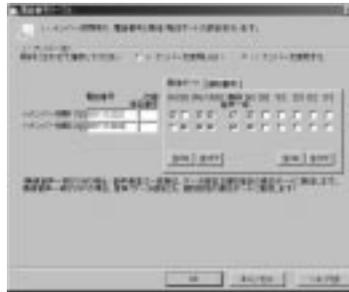
「4-3.らくらくアシスタントで簡単に設定する」 P.112

設定を変更するときは以下のように設定します。

以下の手順はWindows98搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用してIWX70を設定する場合を例に説明します。

お使いの環境によっては画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で[全体設定]をクリックし[電話番号の設定]を選択します。
[電話番号テーブル]画面が表示されます。
- ② 「i・ナンバー」で「i・ナンバーを使用する」を選択します。
- ③ 「i・ナンバー情報1」(契約者回線番号)、「i・ナンバー情報2」に電話番号を入力します。



- ④ 各i・ナンバー情報で着信させたいポートを指定します。
「着信ポート」は1つのポートで両方のi・ナンバー情報を指定できます。
- ⑤ [通知番号]タブをクリックし、発信のときに通知するi・ナンバー情報を指定します。
「通知番号」は1つのポートに対して1つだけi・ナンバー情報を指定することができます。
- ⑥ **OK** ボタンをクリックします。
[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。



アナログポートを「使用しない」に設定した場合は、すべての着信が受けられなくなります。

無線ポートは1つの電話番号に対して1つのポートを呼び出します。複数のポートを呼び分ける場合はサブアドレスを利用します。(「特定の電話機に着信させる」P.190)

i・ナンバーとダイヤルインサービスを両方とも申し込むことはできません。



3つ以上の電話番号で呼び分けたい場合は「ダイヤルインサービス」を利用してください。



ダイヤルインサービス

INSネット64の付加サービスを利用します。1回線で3つ以上の電話番号を使いたいときはダイヤルインサービスを契約します。Atermは最大7つのダイヤルイン番号（追加番号）を設定することができるので、契約者回線番号と合わせて8つの電話番号で呼び分けができます。

「グローバル着信」を利用すると契約者回線番号で着信したときでも、ダイヤルイン番号を割り当てた機器を呼び出します。また、契約者回線番号が話し中のときには、別の機器に着信音が鳴ります。

「グローバル着信」を利用すると通常すべてのポートが呼び出されますが、Atermで設定するとアナログポートや無線ポートを個別に呼び出すことができます。

ダイヤルイン番号で着信したときは、割り当てられたポートごとに個別に呼び出されます。

Atermに「グローバル着信」を設定すると、契約者回線番号をダイヤルイン番号の1つとして使用できます。



INSネット64の「ダイヤルインサービス」を契約します。「グローバル着信利用」（追加料金不要）をあわせて申し込むと、契約者回線番号以外のダイヤルイン番号にかかる月額使用料だけの負担ですみます。

契約者回線番号とダイヤルイン番号（追加番号）を各ポートに割り当てます。

契約者回線番号での呼び出し

グローバル着信を「利用する」(工場出荷状態)にすると、契約者回線番号での着信は電話番号の通知がなくても呼び出されます。ダイヤルイン番号での着信は、選択した番号と異なる番号が通知されるため、呼び出されません。

ダイヤルイン番号での呼び出し

ダイヤルイン番号を入力し、着信するポートを指定します。電話番号の通知がない契約者回線番号での着信は呼び出しません。ダイヤルイン番号での着信は電話番号が通知されるので、選択した番号と同じ場合に呼び出されます。

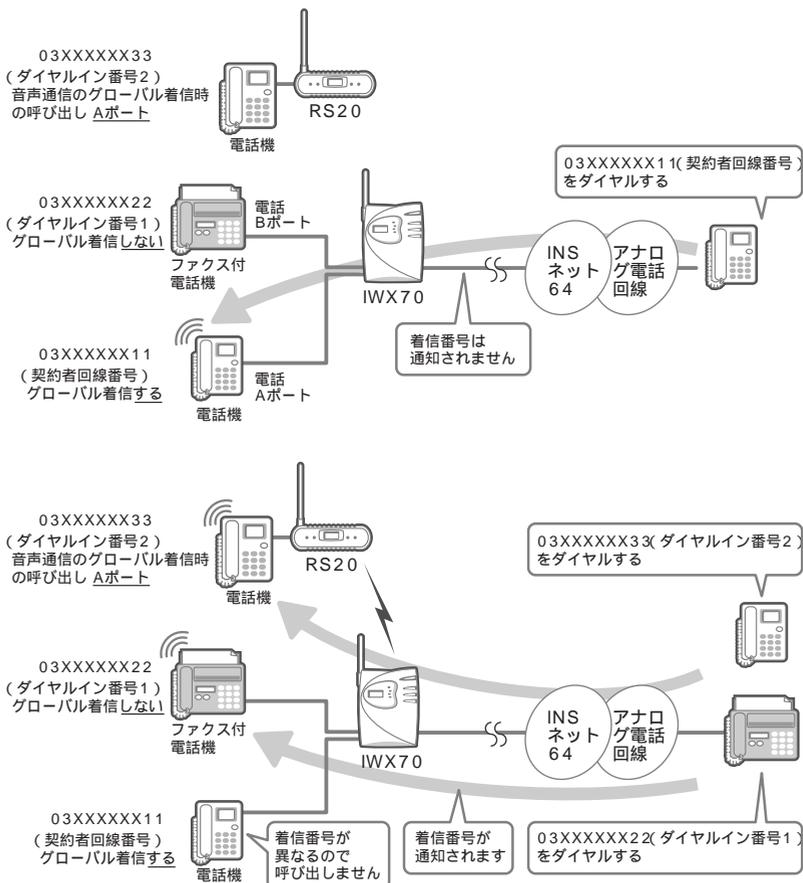
設定の例で説明します。

設定例 1

契約者回線番号(03XXXXXX11)で電話Aポートの電話機のみを呼び出す
 ダイヤルイン番号1(03XXXXXX22)で電話Bポートのファクスのみを呼び出す

ダイヤルイン番号2(03XXXXXX33)で無線AポートのRS20に接続された電話機のみを呼び出す

	電話番号	アナログポートの「グローバル着信」の設定	無線ポートの「音声通信のグローバル着信時呼び出し」の設定
電話Aポート	03XXXXXX11	グローバル着信する	-
電話Bポート	03XXXXXX22	グローバル着信しない	-
無線Aポート	03XXXXXX33	-	無線Aポート
無線B～無線Fポート	-	-	



設定例 2

契約者回線番号(03XXXXXXXX11)で電話Aポート、電話Bポートの電話機と全無線ポートを呼び出す

ダイヤルイン番号1(03XXXXXXXX22)で電話Bポートの電話機と無線Aポートの電話機を呼び出す

ダイヤルイン番号2(03XXXXXXXX33)で無線BポートのPHS電話機のみを呼び出す

	着信する電話番号	アナログポートの「グローバル着信」の設定	無線ポートの「音声通信のグローバル着信時呼び出し」の設定
電話Aポート	03XXXXXXXX11	グローバル着信する	-
電話Bポート	03XXXXXXXX11 03XXXXXXXX22	グローバル着信する	-
無線Aポート	03XXXXXXXX11 03XXXXXXXX22	-	全端末一斉呼出
無線Bポート	03XXXXXXXX11 03XXXXXXXX33	-	
無線C～無線Fポート	-	-	

設定例 3

契約者回線番号(03XXXXXXXX11)で電話Aポートの電話機と無線Aポートの電話機を呼び出す

ダイヤルイン番号1(03XXXXXXXX22)で電話Bポートの電話機と無線BポートのPHS電話機を呼び出す

ダイヤルイン番号2(03XXXXXXXX33)で無線CポートのPHS電話機のみを呼び出す

	着信する電話番号	アナログポートの「グローバル着信」の設定	無線ポートの「音声通信のグローバル着信時呼び出し」の設定
電話Aポート	03XXXXXXXX11	グローバル着信する	-
電話Bポート	03XXXXXXXX22	グローバル着信しない	-
無線Aポート	03XXXXXXXX11	-	無線Aポート
無線Bポート	03XXXXXXXX22	-	
無線Cポート	03XXXXXXXX33	-	
無線D～無線Fポート	-	-	

設定

『らくらくアシスタント』の [アナログ / 無線ポートの簡単設定] で設定できます。
アナログポートには 1 つのポートに複数の電話番号が割り当てられます。無線ポートの場合は契約者回線番号での着信は、無線ポートを一斉に呼び出すか、特定の 1 台のみ呼び出すかを選択します。

アナログポートと無線ポートでは設定が異なります。

	契約者回線番号で呼び出す場合の設定	ダイヤルイン番号で呼び出す場合の設定
アナログポート	「グローバル着信する」に設定 契約者回線番号を入力	「グローバル着信しない」に設定 ダイヤルイン番号を入力
無線ポート	音声通信のグローバル着信時呼出で呼び出すポートを選択 契約者回線番号を入力	ダイヤルイン番号を入力

Windows

「3-3. らくらくアシスタントで簡単に設定する」 P.86

Macintosh

「4-3. らくらくアシスタントで簡単に設定する」 P.112

設定を変更するときは以下のように設定します。

以下の手順は Windows 98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して IWX70 を設定する場合を例に説明します。

お使いの環境によっては画面に表示される内容が異なる場合があります。

① [ターミナルアダプタの詳細設定] 画面で、[全体設定] をクリックし [電話番号の設定] を選択します。

[電話番号テーブル] 画面が表示されます。

- ② 「i・ナンバー」で「i・ナンバーを使用しない」を選択します。



- ③ 「契約者回線番号」に電話番号を入力します。

- ④ 「ダイヤルイン 1 番」にダイヤルイン番号（追加番号）を入力します。

ダイヤルイン番号を 2 つ以上契約している場合は「ダイヤルイン 2 番」以降に入力します。

- ⑤ 各番号で着信させるポートと、その番号を通知するポートを指定します。

「着信するポート」は 1 つのポートに複数の番号が指定できます。「通知番号」は 1 つのポートに対して 1 つの番号になります。

- ⑥ **OK** ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。



INS ネット 64 の契約が「グローバル着信利用」となっても、『らくらくアシスタント』の設定が「グローバル着信しない」になっていると『らくらくアシスタント』の設定が優先され、契約者回線番号で呼び出すことはできません。個別着信は 1 つの電話番号で 1 つの無線ポートを呼び出します。同じ電話番号を複数の無線ポートに割り当てないでください。同じ番号を設定すると無線ポートの A ~ F の順に設定が優先され、1 つの無線ポートだけを呼び出します。PHS 電話機が割り当てられている無線ポートをダイヤルイン番号で呼び分けている場合は、IWX70 の液晶ディスプレイに着信に関する表示は出ません。

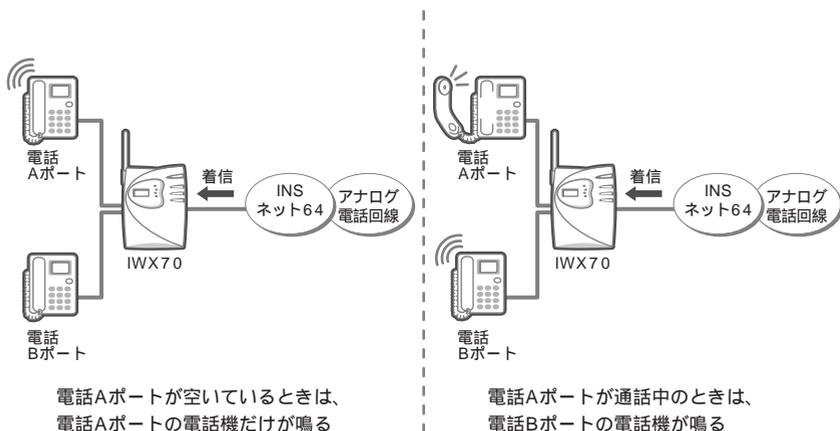
着信する電話機の優先順位をつける（優先着信ポート指定）

IWX70

優先着信ポート指定

IWX70に接続された2台の電話機のうち、優先的に着信させる電話機を指定します。

 付加サービスの契約は必要ありません。



設定

『らくらくアシスタント』で優先着信するアナログポートを選択します。

以下の手順はWindows98搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用してIWX70を設定する場合を例に説明します。

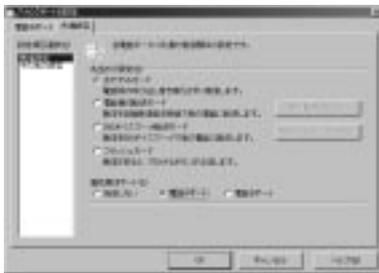
お使いの環境によっては画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で、[電話Aポート]または[電話Bポート]を選択します。

[アナログポートの設定]画面が表示されます。

- ② [共通設定]タブをクリックします。

- ③ 電話 A ポートを優先するか電話 B ポートを優先するかを選択します。



- ④ **OK** ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。



データポートにも同様に優先順位をつけることができます。
IWX70の子機として登録されているPHS電話機やRS20に接続された電話機に優先順位をつけることはできません。



ホームテレホン/ビジネスホンと接続する場合(P.339)は優先着信させるポートを必ず指定してください。

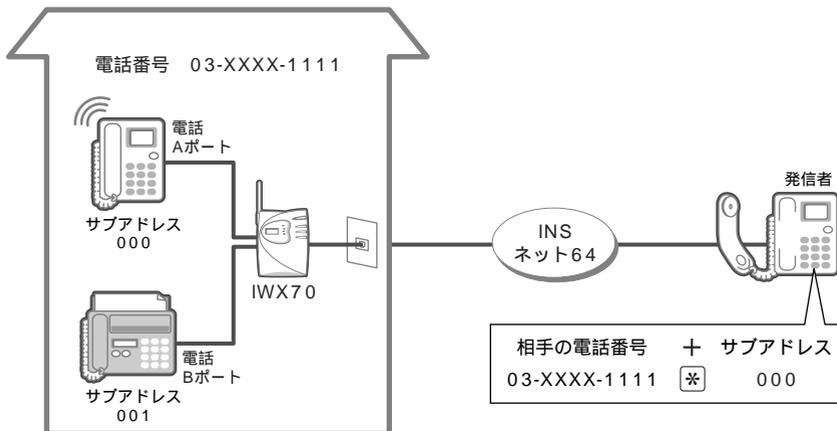
特定の電話機に着信させる（サブアドレス）

IWX70

サブアドレス

INSネット64またはPHSの相手にサブアドレスを付けて電話をかけてもらえると、IWX70に接続されたポートごとに呼び分けができます。またINSネット64の相手に発信するときは、サブアドレスを付けて発信することができます。

 付加サービスの契約は必要ありません。



使い方

サブアドレスが設定されている電話番号に電話をかけます。

1 相手の電話番号をダイヤルします。

例：03-1234-5678 [0] [3] [1] [2] [3] [4] [5] [6] [7] [8]

2 [*] に続けて相手のサブアドレスをダイヤルします。

例：サブアドレス 100 [*] [1] [0] [0]

サブアドレスの設定・呼び分け例

	設定例		呼び分け例			
	サブアドレス	サブアドレス無しの着信	一般電話からの着信 (全端末一斉)	一般電話からの着信 (無線Cポート*)	サブアドレス01の着信	サブアドレス04の着信
電話Aポート	01	する	呼び出す	呼び出す	呼び出す	
		しない	呼び出さない	呼び出さない		
電話Bポート	02	する	呼び出す	呼び出す	呼び出さない	
		しない	呼び出さない			
無線Aポート	03	-	呼び出す	呼び出さない		
無線Bポート	04					
無線Cポート	05			呼び出す		
無線Dポート	06					
無線Eポート	07			呼び出さない		
無線Fポート	08					

*1 IWX70の無線ポートの設定を「無線ポートのグローバル着信」で無線Cポートを設定した場合。

	着信時サブアドレス 指定なし	着信時サブアドレス 指定あり
自己サブアドレス 未登録	着信受付 *2	一致： 着信受付 不一致： 着信拒否
自己サブアドレス 登録済	着信受付 *2	着信拒否

*2 『らくらくアシスタント』の設定で「サブアドレスなし着信する」が の場合。
「サブアドレスなし着信する」を選択しないと、サブアドレスの指定がない着信が受けられません。

設定

アナログポート、無線ポートにそれぞれサブアドレスを設定します。同じサブアドレスを複数のポートに付けると呼び分けができません。

『らくらくアシスタント』でサブアドレスを設定します。

以下の手順は Windows98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して IWX70 を設定する場合を例に説明します。

お使いの環境によっては画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で、サブアドレスを設定するアナログポートまたは無線ポートを選択します。
[アナログポートの設定]画面が表示されます。
- ② 「設定項目選択」で「高度な設定」を選択します。
- ③ 「サブアドレス」を 19 桁以内で入力します。



画面は電話 A ポートを選択した場合の例です。

- ④ **OK** ボタンをクリックします。
[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。



サブアドレスの指定があった着信は、登録したサブアドレス（自己サブアドレス）と一致したときのみ着信します。
PHSでサブアドレスを付けて発信する場合の操作は、PHS電話機によって異なります。PHS電話機の取扱説明書を参照してください。
電話機でサブアドレスを登録することもできます。



『らくらくアシスタント』の設定で「サブアドレスなし着信する」の を に変更すると、サブアドレスの指定がない着信が一切受けられなくなります。アナログ電話回線から発信するときにサブアドレスを指定することはできないので、「サブアドレスなし着信しない」に設定するとアナログ電話回線からの着信がすべて受けられなくなるので、注意してください。

お出かけ / おやすみのとき

お出かけになるときやおやすみになるときなど、着信した電話の着信音を鳴らさずに着信を知らせたり、別の電話に転送することができます。お出かけモードには「おやすみモード」「電話着信転送モード」「ボイスワープ転送モード」「フラッシュモード」の4種類があります。お出かけモードを使用するときはIWX70 前面上部のでかけるボタン () を使います。IWX70 のみ使用できる機能です。

電話機の着信音を鳴らさない (おやすみモード)

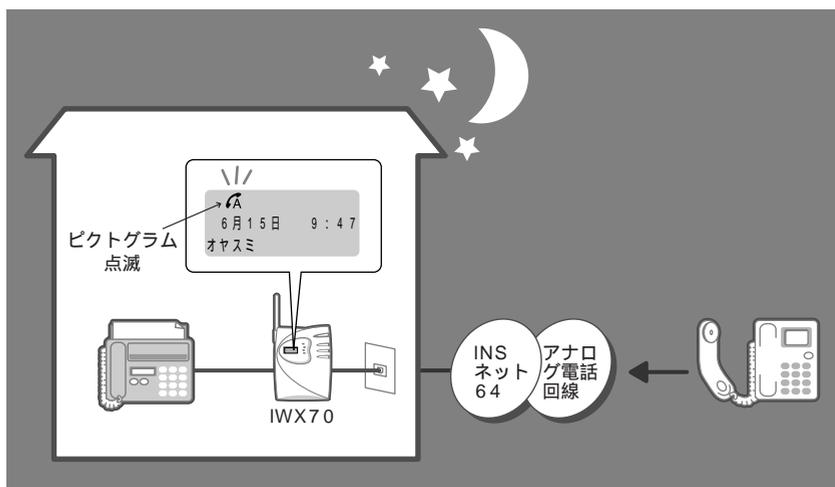
 IWX70

おやすみモード

かかってきた電話の着信音を鳴らさずに、IWX70の液晶ディスプレイに  または  を点滅表示して着信を知らせます。おやすみモード中に着信があると  ボタンが点滅した状態になり、着信があったことを知らせます。



付加サービスの契約は必要ありません。



使い方

- 1 IWX70 前面の  ボタンを押します。
 ボタンのランプが点灯し、お出かけモードになります。

[IWX70 液晶ディスプレイ]

6月15日 9:47
オヤスミ

- 2 着信があると、着信音は鳴らずに  ボタンが点滅します。IWX70 の液晶ディスプレイには  または  が表示され、着信しているアナログポートを知らせます。



でかけるボタンを押したあともう一度押すときは、1秒以上待ってから押してください。



でかけるボタンは1度押すとロックされるため、再度押してもお出かけ設定が解除されないようになっています。ロックを解除するときは、IWX70 前面の  ボタンを押しながら  ボタンを押します。再度  ボタンを押しながら  ボタンを押すと、でかけるボタンがロックされます。

[IWX70 液晶ディスプレイ]

テ`カケルホ`タンヲ
ロ`クカイシ`ヨシマシタ

テ`カケルホ`タンヲ
ロ`クシマシタ

設定

お出かけ設定を「おやすみモード」に設定します。

IWX70 前面のファンクションボタンで操作します。操作を途中でやめるときは  ボタンを押します。

- 1 IWX70 前面の  ボタンを押します。

[IWX70 液晶ディスプレイ]

1:チャクシンリレキ

- ② **SELECT** ボタンを2回押します。

3 : オテ`カケモード`

- ③ **ENTER** ボタンを押します。

オテ`カケモード`ノ
セツテイテ`ス

5秒後

1 : オヤスミモード`

- ④ **ENTER** ボタンを押します。

お出かけ設定が「おやすみモード」に設定されます。

オヤスミモード`ニ
セツテイシマシタ



お知らせ

電話がかかってきているときに着信している電話機の受話器を上げると通話できます。おやすみモード中はIWX70の電話Aポートまたは電話Bポートのみ着信します。無線ポートには着信しません。おやすみモード中はアナログポートに接続した電話機の留守番電話機能や自動応答機能、ファクスの自動受信機能は使用できません。



お願い

おやすみモード中にアナログポートに接続したコードレス電話機の子機で着信の応答をする場合は、子機の**（通話）**または**（外線）**ボタンを押してから通話してください。ボタンを押さないと、電話機によっては通話の途中で切れることがあります。「ナンバー・ディスプレイを使用する」に設定されているアナログポートに着信があった場合、電話機によっては発信者番号が表示されないことがあります。「モデム・ダイヤルラインを使用する」に設定されているアナログポートに着信があった場合、着信音が鳴らないために着信している電話機が分からないことがあります。「アナログ・ダイヤルラインを使用する」に設定されているアナログポートの電話機には着信しません。

別の電話番号に転送する（電話着信転送モード）

かかってきた電話の着信音を鳴らさずに、あらかじめ登録しておいた外出先や携帯電話などの電話番号に転送します。

IWX70

着信転送

INSネット64の付加サービスを利用します。

Bチャンネルを1つだけ使用するので、あいているBチャンネルを電話やインターネットで使用することができます。
転送トークや転送元トークを流すことができます。



INSネット64の「フレックスホン」の「着信転送」機能を契約します。

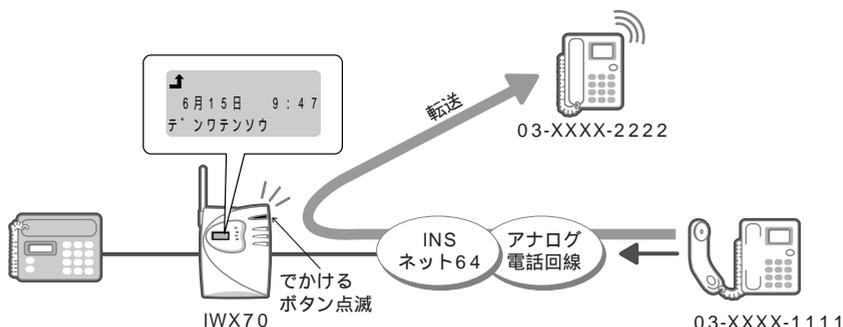
疑似着信転送

IWX70の機能です。RS20では利用できません。

B1、B2チャンネルの両方を使用するので、着信転送時は内線通話以外の通信はできません。
INSネット64のINSナンバー・ディスプレイの申し込み内容が「通常通知」（通話ごと非通知）の場合、転送先には契約者回線番号を通知します。
転送トークや転送元トークが流れません。



付加サービスの契約は必要ありません。



使い方

「おやすみモード」と同じです。（ P.194 ）

[IWX70 液晶ディスプレイ]

↑
6月15日 9:47
テ`ンワテンソウ

設定

『らくらくアシスタント』で着信転送の設定をしてから、お出かけ設定を「電話着信転送モード」に設定します。
IWX70 前面のファンクションボタンで操作します。操作を途中でやめるときは **MENU** ボタンを押します。

- ① 着信転送を設定します。
（「別の電話番号に転送する」 P.196）

- ② IWX70 前面の **MENU** ボタンを押します。
[IWX70 液晶ディスプレイ]

1 : チャクシンリレキ

- ③ **SELECT** ボタンを 2 回押します。

3 : オテ`カケモード`

- ④ **ENTER** ボタンを押します。

オテ`カケモード`ノ
セツテイシマス

5 秒後

1 : オヤスミモード`

- ⑤ **SELECT** ボタンを押し、「2: テ`ソワテンソウスル」を選択します。

2 : テ`ソワテンソウスル

SELECT ボタンを押すごとに「2: テ`ソワテンソウスル」「3: ホ`イスワープ`セツテイ」「4: フラッシュモード`」「1: オヤスミモード`」「2: テ`ソワテンソウスル」と表示が変わります。

着信転送の電話番号が設定されていない場合は、「ハ`ンゴ`ウセツテイシタクタ`サイ」と表示されます。

- ⑥ **ENTER** ボタンを押します。

お出かけ設定が「電話着信転送モード」に設定されます。

着信転送の設定がINSネット64の着信転送に設定されているときは「NTT チャクシンテンソウニセツテイシマシタ」と表示されます。「疑似着信転送」に設定されているときは「キ`シ`チャクシンテンソウニセツテイシマシタ」と表示されます。

着信転送の設定が電話番号着信転送（「遊遊メール」 P.234）に設定されているときは「テ`ソワハ`ンゴ`ウヲメールシマス」と表示されます。

IWX70

INSボイスワープ

INSネット64の付加サービスを利用します。かかってきた電話を別の電話番号に転送します。無条件に転送する「無条件転送」、設定した秒数以内に応答しなかった場合に転送する「無応答時転送」、話し中の場合に転送する「話中時転送」、話し中の場合またはあらかじめ設定した秒数以内に応答しなかった場合に転送する「無応答/話中時に転送」の4種類から転送方法が選択できます。

電話機が故障していたり、電源が切れている状態でも転送できます。

転送先が5つまで登録でき、その中から選択して転送できます。

プッシュ回線やINSネット64の公衆電話などから転送の開始/停止/転送先の選択ができます。

ダイヤルインの追加番号ごとに契約できます。



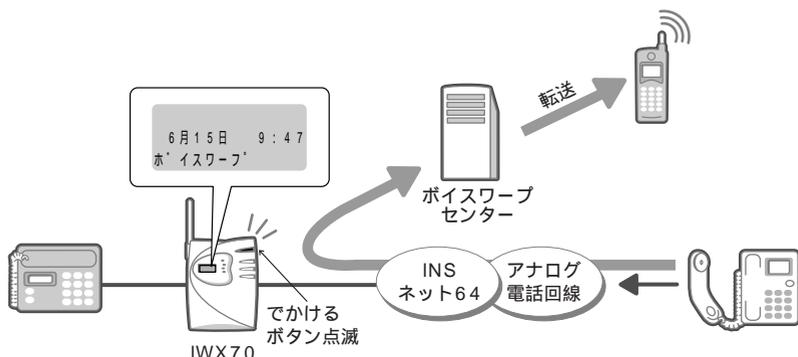
INSネット64の「INSボイスワープ」を契約します。

INSボイスワープ・セレクト

INSボイスワープの機能に加えて、あらかじめ登録した電話番号だけを選んで着信または転送することができます。INSボイスワープと同じ機能の「全番号転送」、登録した電話番号のみ転送する「登録番号転送」、登録した電話番号を着信してそれ以外を転送する「登録番号着信」、話し中の場合またはあらかじめ設定した秒数以内に応答しなかった場合に転送する「無応答/話中時に転送」の4種類から選択できます。



INSネット64の「INSボイスワープ・セレクト」を契約します。



使い方

「おやすみモード」と同じです。(P.194)

[IWX70 液晶ディスプレイ]

6月15日 9:47
ボイスワープ



 を押す (点灯) と IWX70 がボイスワープセンターに自動的に電話をかけ、サービスが開始されます。

 を解除 (消灯) すると IWX70 がボイスワープセンターに自動的に電話をかけ、サービスを停止します。

設定

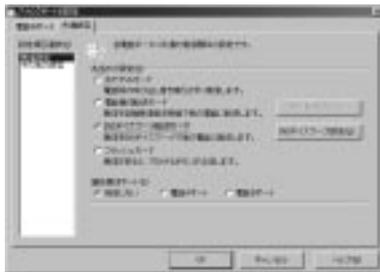
『らくらくアシスタント』でボイスワープセンターへの転送開始モードを設定してから、お出かけ設定を「ボイスワープ転送モード」に設定します。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定] 画面で、ボイスワープ / ボイスワープ・セレクトを設定するアナログポートを選択します。

[アナログポートの設定] 画面が表示されます。

- ② [共通設定] タブをクリックします。

- ③ 「お出かけ設定」の「INS ボイスワープ転送モード」を選択します。



- ④ [INSボイスワープ設定] ボタンをクリックします。

[アナログポート - ボイスワープの設定] 画面が表示されます。

- ⑤ 「転送開始モード」を選択します。

INSボイスワープの契約で起動用電話番号または停止用電話番号が変更された場合は「起動電話番号」を入力します。通常は表示された番号のまま使用します。



- ⑥ 「契約電話番号」にINSボイスワープを契約した電話番号を入力します。

- ⑦ **OK** ボタンをクリックします。

[アナログポートの設定]画面にもどります。

- ⑧ **OK** ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。

- ⑨ **メニューに戻る** ボタンをクリックし、**はい** ボタンをクリックします。

[らくらくアシスタントメニュー]にもどります。

- ⑩ **アシスタント終了** ボタンをクリックし、**はい** ボタンをクリックします。

らくらくアシスタントが終了します。

- ⑪ IWX70 前面の **MENU** ボタンを押します。

[IWX70 液晶ディスプレイ]

1 : チャクシンリレキ

- ⑫ **SELECT** ボタンを 2 回押します。

3 : オテ^{*} カケモード^{*}

- ⑬ **ENTER** ボタンを押します。

オテ^{*} カケモード^{*} /
セツテイテ^{*} ス

5 秒後

1 : オヤスミモード^{*}

- ⑭ **SELECT** ボタンを2回押し、「3:ホ` イスワープセッテイ」を選択します。

3 : ホ` イスワープ`
セッテイ

SELECT ボタンを押すごとに「2:テ` ンワテンソウスル」「3:ホ` イスワープ` セッテイ」「4:フラッシュモード`」「1:オヤスミモード`」「2:テ` ンワテンソウスル」と表示が変わります。

INS ボイスワープを契約した電話番号が設定されていない場合は、「ハ` ンゴ` ウラセッテイシテクダ` サイ」と表示されます。

- ⑮ **ENTER** ボタンを押します。

お出かけ設定が「ボイスワープ転送モード」に設定されます。

ホ` イスワープ` ニ
セッテイシマシタ

お願い

INS ネット64 に転送先の電話番号を登録する必要があります。転送先の電話番号はINS ボイスワープ、またはINS ボイスワープ・セレクトの説明書を参照して電話機から登録してください。

INS ボイスワープ、INS ボイスワープ・セレクトの詳細はNTT 東日本またはNTT 西日本にお問い合わせください。

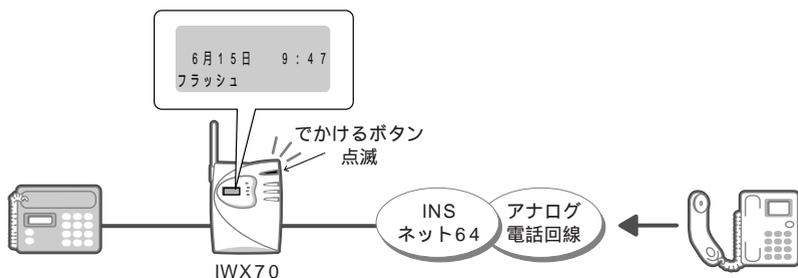
着信音を鳴らさずに着信を知らせる（フラッシュモード）

IWX70

フラッシュモード

外線がかかってきた電話の着信音を鳴らさずに、「でかけるボタン」のランプを点滅させて着信を知らせます。電話を着信している間だけ「でかけるボタン」が点滅します。

 付加サービスの契約は必要ありません。



使い方

「おやすみモード」と同じです。（ P.194 ）

[IWX70 液晶ディスプレイ]

6月15日 9:47
フラッシュ

設定

お出かけ設定を「フラッシュモード」に設定します。

IWX70 前面のファンクションボタンで操作します。操作を途中でやめるときは **MENU** ボタンを押します。

 IWX70 前面の **MENU** ボタンを押します。

[IWX70 液晶ディスプレイ]

1:チャクシンリレキ

- ② **SELECT** ボタンを2回押します。

3 : オテ^{*} カケモード^{*}

- ③ **ENTER** ボタンを押します。

オテ^{*} カケモード^{*} /
セッテイテ^{*} ス

5秒後

1 : オヤスミモード^{*}

- ④ **SELECT** ボタンを3回押し、「4:フラッシュモード^{*}」を選択します。

4 : フラッシュモード^{*}

SELECT ボタンを押すごとに「2:デ^{*} ンワテンソウスル」「3:ホ^{*} イスワー
プ^{*} セッテイ」「4:フラッシュモード^{*}」「1:オヤスミモード^{*}」「2:
デ^{*} ンワテンソウスル」と表示が変わります。

- ⑤ **ENTER** ボタンを押します。

お出かけ設定が「フラッシュモード」に設定されます。

フラッシュモード^{*} ニ
セッテイシマシタ



フラッシュモードはおやすみ中の着信を受け付けないための機能であり、IWX70
の液晶ディスプレイには着信ポートを表す「A」または「B」の表示は出ません。着信
したアナログポートを識別したい場合は「おやすみモード」に設定してください。

電話を転送する

別の電話番号に転送する（着信転送）

かかってきた電話の着信音を鳴らさずに、外出先や携帯電話などの登録しておいた電話番号へ自動的に転送します。着信転送には次の2種類があります。

IWX70

着信転送

INSネット64の付加サービスを利用します。

Bチャンネルを1つだけ使用するので、あいているBチャンネルを電話やインターネットで使用することができます。

転送トークや転送元トークを流すことができます。



INSネット64の「フレックスホン」の「着信転送」機能を契約します。

疑似着信転送

IWX70の機能です。RS20では利用できません。

B1、B2チャンネルの両方を使用するので、着信転送時は内線通話以外の通信はできません。

INSネット64のINSナンバー・ディスプレイの申し込み内容が「通常通知」（通話ごと非通知）の場合、転送先には契約者回線番号を通知します。

転送トークや転送元トークが流れません。



付加サービスの契約は必要ありません。

使い方



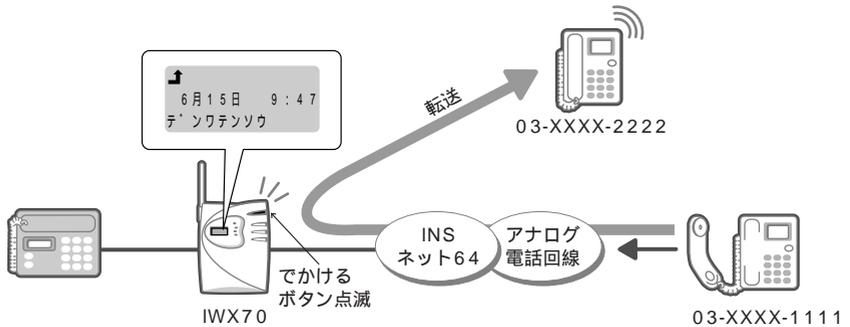
IWX70 前面の ボタンを押します。

IWX70の液晶ディスプレイに「」が表示されます。



6月15日 9:47
テ'ンワテンソウ

- ② かかってきた電話は自動的に登録した電話番号へ転送されます。
このとき転送元の着信音は鳴りません。



設定

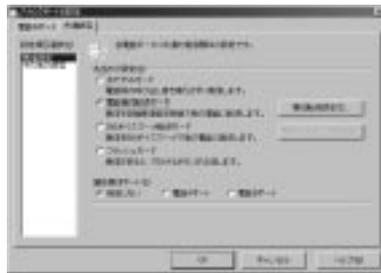
『らくらくアシスタント』で着信転送の選択と転送元・転送先の電話番号を登録します。

i・ナンバーを使用しているか、使用していないかによって設定が異なります。

以下の手順はWindows98搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用してIWX70を設定する場合を例に説明します。

お使いの環境によっては画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で、着信転送を設定するアナログポートを選択します。
[アナログポートの設定]画面が表示されます。
- ② [共通設定]タブをクリックします。
- ③ 「お出かけ設定」の「電話着信転送モード」を選択します。



- ④ **着信転送設定** ボタンをクリックします。
[アナログポート - 着信転送機能の設定]画面が表示されます。
- ⑤ 「転送 / 通知モード」で「NTT着信転送」を利用するか「疑似着信転送」を使用するかを選択します。

i・ナンバーを使用する場合



i・ナンバーを使用しない場合



- ⑥ 転送元となる電話番号を ▼ をクリックして選択し、その番号を転送する転送先の電話番号を入力します。

i・ナンバーを使用している場合は i・ナンバー情報 1、i・ナンバー情報 2 が転送元になります。

- ⑦ **OK** ボタンをクリックします。

[アナログポートの設定] 画面にもどります。

- ⑧ **OK** ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。



発信者には IWX70 までの通話料がかかり、IWX70 から転送先までの通話料は IWX70 側にかかります。疑似着信転送を使用した場合は、通話料金は電話 A ポートに蓄積されます。

アナログポートに電話機を接続してなくても着信転送することができます。

特定の相手からの電話のみを転送する場合は「識別着信転送」を利用します。(P.222)

話中時や無応答時など条件によって転送する場合は「INS ボイスワープ」を使います。(P.198)

Aterm に着信があっても着信音は鳴りません。



でかけるボタンを押してからもう一度押すときは、1秒以上待ってから押してください。

話し中に別の電話番号に転送する（通信中転送）

IWX70

RS20

通信中転送

INSネット64の付加サービスを利用します。通信中に別の相手呼び出して電話を転送します。

Bチャンネルを1つだけ使用するので、あいているBチャンネルを電話やインターネットで使用することができます。



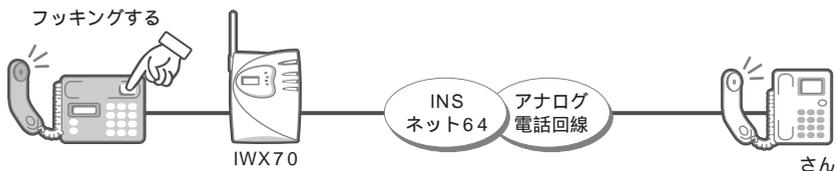
INSネット64の「フレックスホン」の「通信中転送」機能を契約します。

使い方

- ① さんと通話中に電話機のフックを軽く押してすぐはなします（「フッキング」といいます）。

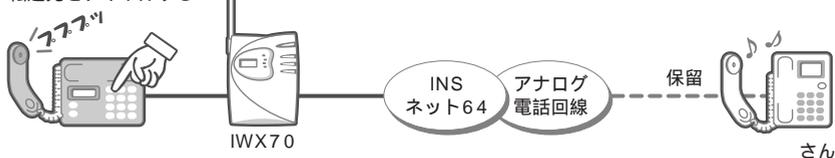
PHS 電話機： **保留** または **通話** ボタンを押します。

「ブブブ」と聞こえ、 さんは保留になります。



- ② 転送する × × さんへダイヤルします。

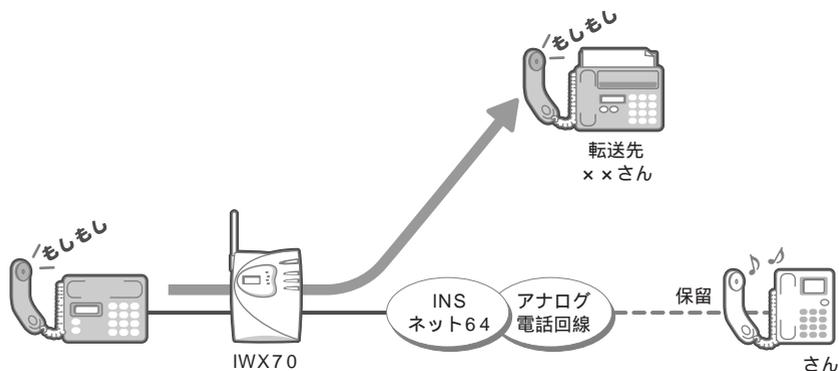
転送先をダイヤルする



× × さんと通話します。

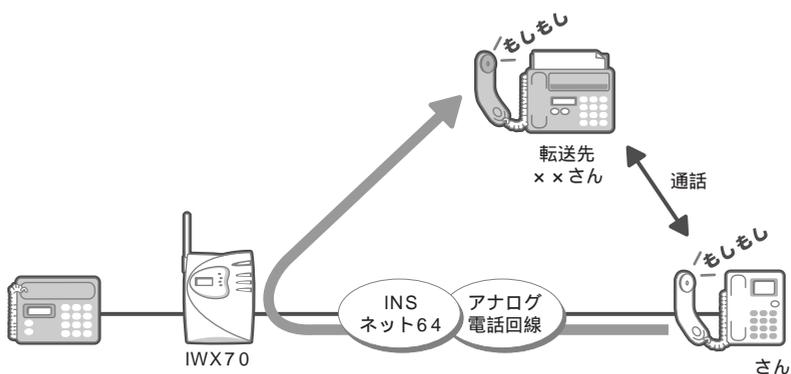
フッキングしたあと、ダイヤル桁間タイマの時間内（初期値：5秒）に転送先の電話番号をダイヤルしてください。

- ③ 転送先の相手と通話します。



「ブップッ、ブップッ」と聞こえます。

- ④ もう一度フッキングします。
PHS 電話機： **保留** または **通話** ボタンを押します。
- ⑤ 「ブップッ」と鳴っている間に受話器を置きます。
PHS 電話機： **切** ボタンを押します。
さんと××さんが通話できます。



設定

『らくらくアシスタント』で設定します。

以下の手順はWindows98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用してIWX70を設定する場合を例に説明します。

お使いの環境によっては画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で[全体設定]をクリックし、[アナログ/無線ポート共通設定]を選択します。

[アナログポート/無線ポート共通設定]画面が表示されます。

- ② 「通信中転送」を「使用する」に設定します。



- ③ [OK] ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。



転送先が応答する前に転送(応答前通信中転送)することもできます。転送先の電話番号をダイヤルしたあと、相手が電話に出る前にフッキングしてから受話器をもどします。ただし、転送先がアナログ電話回線でナンバー・ディスプレイの契約をしている場合は応答前通信中転送は利用できません。

特定の相手を対象にする

特定の電話だけ着信する（識別着信）

特定の相手からの電話だけを着信し、ほかの電話を一切受け付けないようにします。

IWX70

識別着信

あらかじめ登録した電話番号からの着信だけ受け付けます。



INSネット64の「INSナンバー・ディスプレイ」と「INSなりわけサービス」を契約します。INSナンバー・ディスプレイの契約をしないと、アナログ電話回線からの発信者番号が通知されません。

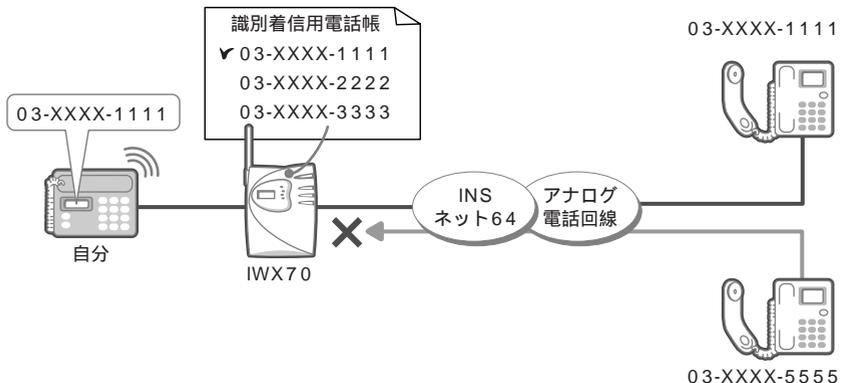
疑似識別着信

IWX70の機能です。

疑似識別着信用の電話帳に30件まで電話番号が登録でき、登録された電話番号からの着信だけを受け付けます。



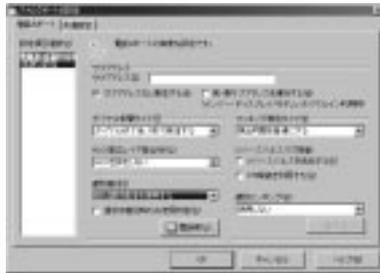
INSネット64の「INSナンバー・ディスプレイ」を契約します。契約をしないとアナログ電話回線からの発信者番号が通知されません。



『らくらくアシスタント』で識別着信を設定し、電話を受けたい相手の電話番号を登録します。
以下の手順はWindows98搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用してIWX70を設定する場合を例に説明します。

お使いの環境によっては画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で、識別着信を設定するアナログポートを選択します。
[アナログポートの設定]画面が表示されます。
- ② 「設定項目選択」で「高度な設定」を選択します。
- ③ 「識別着信」でINSネット64の「INSなりわけ識別着信を使用する」か、IWX70の「疑似識別着信を使用する」かを選択します。



「INSなりわけ識別着信を使用する」を選択した場合は、INSネット64の付加サービスを申し込んでから着信したい電話番号を登録します。⑦に進みます。

「疑似識別着信を使用する」を選択した場合は、④～⑩の「電話帳」に識別着信する相手の電話番号を登録します。

話中に別の着信があったときだけ識別着信する場合は「通信中着信時のみ使用可能」をにします。

- ④ **電話帳** ボタンをクリックします。
[電話帳]の[疑似識別着信]画面が表示されます。
- ⑤ 00～29の中から登録する番号を選択します。



- ⑥ 「名前」をクリックし、登録する相手の名前を入力します。
- ⑦ 「電話番号」をクリックし、登録する電話番号を市外局番から入力します。ハイフンや()は入力する必要はありません。
- ⑧ サブアドレスがある場合は「サブアドレス」に入力します。(「特定の電話機に着信させる」 P.190 参照)
- ⑨ ボタンをクリックします。
指定した番号に登録されます。
- ⑩ ボタンをクリックします。
[アナログポートの設定] 画面にもどります。
- ⑪ ボタンをクリックします。
識別着信の設定についての注意の画面が表示されます。
- ⑫ 内容を確認の上、 ボタンをクリックします。



[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。



お知らせ

識別着信番号として登録した番号は、すべてのポートで共通です。登録した番号と通知された番号は桁数の末尾から照合され、桁数の短い方と一致したときに着信を受け付けます。識別着信と選択キャッチホンを同時に利用することはできません。



お願い

相手が自分の電話番号を通知しないで電話をかけてきた場合、識別着信用電話帳に電話番号が登録してあってもその相手を着信させることはできません。疑似識別着信を使用する設定を選んだ場合、疑似識別着信用電話帳に電話番号を1件も登録していないとすべての着信が受けられなくなります。

特定の電話の着信音を変える（識別リングング）

 IWX70

識別リングング

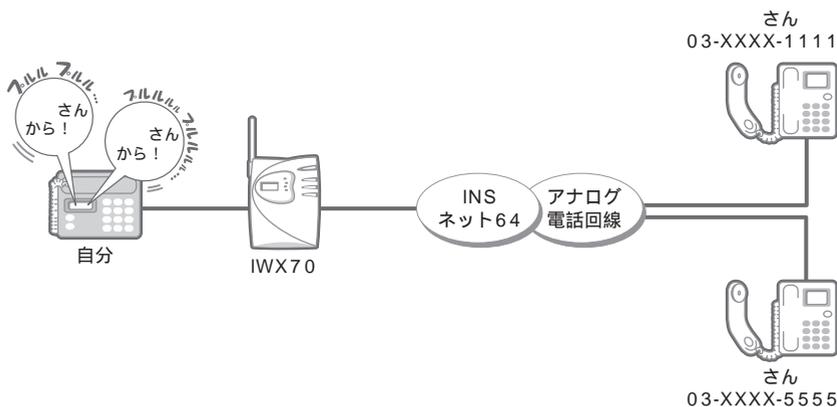
あらかじめ交換機に登録した電話番号からの着信だけ「識別着信情報」をIWX70に通知し、この情報を用いてなりわけをおこないます。

 INSネット64の「INSなりわけサービス」を契約し、相手の電話番号を登録します。登録方法などはNTT東日本またはNTT西日本にお問い合わせください。

疑似なりわけ

IWX70の機能です。疑似なりわけ用の電話帳に30件まで電話番号が登録でき、あらかじめ登録した電話番号からの着信のときだけ通常とは異なる着信音で知らせます。

 INSネット64の「INSナンバー・ディスプレイ」を契約します。INSナンバー・ディスプレイの契約をしないと、アナログ電話回線からの発信者番号が通知されず、なりわけができません。



さまざまな機能

5-2 電話機能

設定

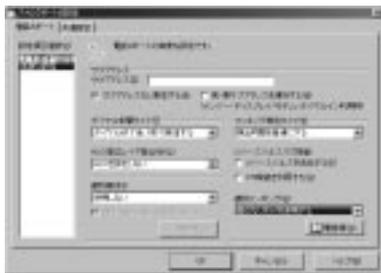
『らくらくアシスタント』で設定します。

電話 A ポート、電話 B ポートそれぞれに設定できるので、ファクスにはなりわけを使用しないようにする、といった設定が可能です。

以下の手順は Windows 98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して IWX70 を設定する場合を例に説明します。

お使いの環境によっては画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定] 画面で、識別リングングを設定するアナログポートを選択します。
[アナログポートの設定] 画面が表示されます。
- ② 「設定項目選択」で「高度な設定」を選択します。
- ③ 「識別リングング」で「INS なりわけを使用する」か、「疑似なりわけを使用する」かを選択します。



「INS なりわけを使用する」を選択した場合は、INS ネット 64 の「INS なりわけサービス」を申し込んで識別リングングする電話番号を電話機で登録します。⑦ に進みます。

「疑似なりわけを使用する」を選択した場合は、④ ~ ⑩ の「電話帳」になりわけする相手の電話番号を登録します。

- ④ **電話帳** ボタンをクリックします。

[電話帳] の [疑似なりわけ] 画面が表示されます。

- ⑤ 00 ~ 29の中から登録する番号を選択します。



- ⑥ 「名前」をクリックし、登録する相手の名前を入力します。
- ⑦ 「電話番号」をクリックし、登録する電話番号を市外局番から入力します。ハイフンや()は入力する必要はありません。
- ⑧ サブアドレスがある場合は「サブアドレス」に入力します。(「特定の電話機に着信させる」 P.190参照)
- ⑨ **更新** ボタンをクリックします。
指定した番号に登録されます。
- ⑩ **OK** ボタンをクリックします。
[アナログポートの設定] 画面にもどります。
- ⑪ **OK** ボタンをクリックします。
[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。

お願い

電話機側で着信音をメロディなどに変更している場合は、なりわけできません。なりわけを利用する場合は通常の着信音にしてください。
INSなりわけ用の電話番号の登録方法などの詳細は、NTT東日本またはNTT西日本にお問い合わせください。

お知らせ

疑似なりわけを使用している場合に、相手が自分の電話番号を通知しないで電話をかけてきたときは、疑似なりわけ用電話帳に相手の電話番号が登録してあっても、その相手をなりわけすることはできません。
識別着信番号として登録した番号はすべてのポートで共通です。
登録した番号と通知された番号は桁数の末尾から照合され、桁数の少ない方と一致したときになりわけがおこなわれます。
IWX70の子機として登録されているPHS電話機やRS20に接続された電話機で識別リングングすることはできません。

受けたくない電話の着信を拒否する（迷惑電話防止）

いらずら電話や迷惑電話など、受け付けたくない電話番号からの着信を拒否します。

IWX70

迷惑電話おことわりサービス

INSネット64の付加サービスを利用します。登録した相手から電話がかかってきても着信音を鳴らさず、迷惑電話やいたずら電話を着信させないようにします。「迷惑電話おことわりサービス6」の場合は6件、「迷惑電話おことわりサービス30」の場合は30件まで迷惑電話を登録することができます。



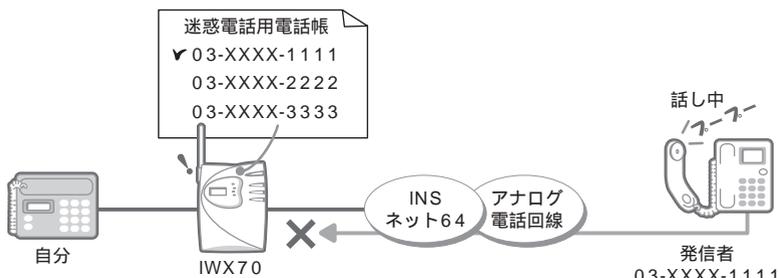
INSネット64の「迷惑電話おことわりサービス6」または「迷惑電話おことわりサービス30」を契約します。

迷惑電話防止

IWX70の機能です。迷惑電話用電話帳に登録した相手から電話がかかってきても着信音を鳴らしません。



INSネット64の「INSナンバー・ディスプレイ」を契約します。INSナンバー・ディスプレイの契約をしないと、アナログ電話回線からの発信者番号が通知されません。



使い方

迷惑電話おことわりサービス

迷惑電話おことわりサービスは、着信を拒否したい相手から電話があった直後に電話機から登録することができます。登録方法はNTT 東日本またはNTT 西日本にお問い合わせください。

迷惑電話防止

迷惑電話を着信した電話機で、かかってきた直後に登録することができます。

- 1 迷惑電話を着信したら電話を切ります。
- 2 着信した電話機の受話器を上げます。
- 3 プッシュボタンで *** * 5 2** と押します。
相手の電話番号が表示されます。

[IWX70 液晶ディスプレイ]

A
メイワクテ ソフトウロク
0 3 X X X X X X X X ■

- 4 **1** を押します。

A
0 3 X X X X X X X X ■
キヨヒシマス

- 5 **#** を押します。

A
セツテイシマシタ

迷惑電話用電話帳に登録されます。



お知らせ

「ピッピッピッ」と音がなったときは正しく登録できていません。



お願い

相手が電話番号を通知してこない場合も迷惑電話用電話帳に登録できますが、電話番号が非通知の理由（非通知、表示圏外、公衆）が同じ電話はすべて着信が拒否されるので注意してください。

設定

『らくらくアシスタント』であらかじめ迷惑電話を登録しておくことができます。

以下の手順はWindows98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用してIWX70を設定する場合を例に説明します。

お使いの環境によっては画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で[全体設定]をクリックし、[電話帳の設定]を選択します。

[電話帳]画面が表示されます。

- ② [迷惑電話防止]タブをクリックします。

- ③ 00 ~ 29の中から登録する番号を選択します。



- ④ 「名前」をクリックし、登録する相手の名前を入力します。

- ⑤ 「電話番号」をクリックし、登録する電話番号を市外局番から入力します。ハイフンや()は入力する必要はありません。

相手が電話番号を通知してこない着信を拒否したい場合は、「非通知」表示圏外、「公衆」の中からいずれかを選択します。

- ⑥ **追加** ボタンをクリックします。

登録してあった名前や電話を修正した場合は **更新** ボタンをクリックします。指定した番号に登録されます。

- ⑦ **OK** ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。



迷惑電話防止機能で電話番号を登録していても、相手が自分の電話番号を通知してこなかったときは着信を拒否することはできません。

特定の電話機だけに着信させる（マイプライベート着信）

かけてきた相手によって呼び出す電話機を指定します。

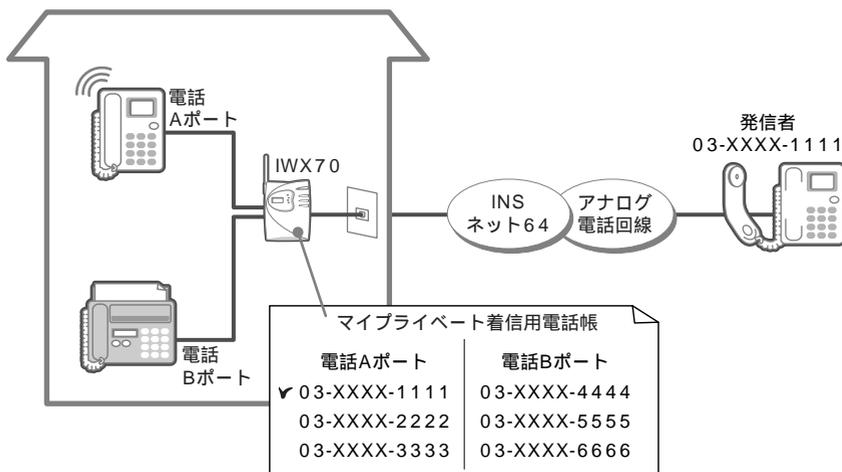
IWX70

マイプライベート着信

INSネット64の付加サービスを利用します。マイプライベート着信用の電話帳に登録された相手から着信があると、指定した電話機を呼び出します。マイプライベート着信用電話帳には30件まで電話番号が登録できます。また発信者番号通知をしていない着信を指定することもできます。



INSネット64の「INS
ナンバー・ディスプレイ」を契約します。



設定

『らくらくアシスタント』で特定の電話機を呼び出したい相手の電話番号を登録します。以下の手順はWindows98搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用してIWX70を設定する場合を例に説明します。

お使いの環境によっては画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で[全体設定]をクリックし、[電話帳の設定]を選択します。

[電話帳]画面が表示されます。

- ② [マイプライベート着信]タブをクリックします。

- ③ 「マイプライベート着信を使用する」を にします。
- ④ 00 ~ 29の中から登録する番号を選択します。



- ⑤ 「名前」をクリックし、登録する相手の名前を入力します。
- ⑥ 「電話番号」をクリックし、登録する電話番号を市外局番から入力します。ハイフンや()は入力する必要はありません。
- ⑦ サブアドレスがある場合は「サブアドレス」に入力します。(「特定の電話機に着信させる」 P.190)

相手が電話番号を通知してこない着信を指定したポートに着信させたい場合は、「非通知」、「表示圏外」、「公衆」の中からいずれかを選択します。

- ⑧ 「呼び分けポート」で入力した電話番号を着信させるアナログポートを選択します。
- ⑨ **更新** ボタンをクリックします。
指定した番号に登録されます。
- ⑩ **OK** ボタンをクリックします。
[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。



お知らせ

INSなりわけ識別着信や疑似識別着信を使用している場合に、INSネット64への登録や疑似識別着信電話帳への登録をしていない電話番号からの着信は受け付けません。

相手が自分の電話番号を通知してこない電話は着信できません。

特定の電話を別の電話番号に転送する（識別着信転送）

特定の相手からの電話だけ、あらかじめ登録しておいた電話番号へ転送します。それ以外の相手からの電話は通常どおり着信します。識別着信転送には次の2種類があります。

☎ IWX70

識別着信転送

INSネット64の付加サービスを利用します。
Bチャンネルを1つだけ使用するので、あいているBチャンネルを電話やインターネットで使用することができます。



INSネット64の「INSなりわけサービス」を契約します。

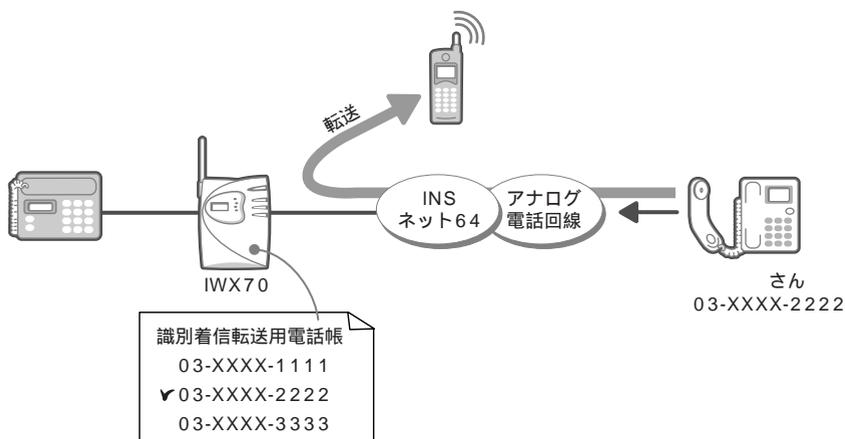
疑似識別着信転送

IWX70の機能です。

B1、B2チャンネルの両方を使用するので、転送中は内線通話以外の通信はできません。



INSネット64の「INSナンバー・ディスプレイ」を契約します。



🔄 使い方



でかけるボタンを1秒以上押します。

でかけるボタンがオレンジ色に点灯して、以降は登録されている電話番号からの着信のみ転送されます。



転送を停止するときには、でかけるボタンをもう一度1秒以上押します。

でかけるボタンが消灯します。

- ⑤ 00 ~ 29の中から登録する番号を選択します。

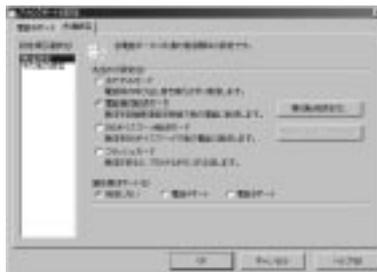


- ⑥ 「名前」をクリックし、登録する相手の名前を入力します。
- ⑦ 「電話番号」をクリックし、登録する電話番号を市外局番から入力します。ハイフンや()は入力する必要はありません。
- ⑧ サブアドレスがある場合は「サブアドレス」に入力します。(「特定の電話機に着信させる」 P.190)
- ⑨ **更新** ボタンをクリックします。
指定した番号に登録されます。
- ⑩ **OK** ボタンをクリックします。
識別着信の設定についての注意の画面が表示されます。
- ⑪ 内容を確認の上、**はい** ボタンをクリックします。



[アナログポートの設定] 画面にもどります。

- ⑫ [共通設定] タブをクリックします。
- ⑬ 「お出かけ設定」の「電話着信転送モード」を選択します。



- ⑭ **着信転送設定** ボタンをクリックします。

[アナログポート - 着信転送機能の設定]画面が表示されます。

- ⑮ 「転送 / 通知モード」で「NTT 着信転送」を利用するか「疑似着信転送」を使用するかを選択します。

i・ナンバーを使用する場合



i・ナンバーを使用しない場合



- ⑯ 転送元となる電話番号を ▼ をクリックして選択し、その番号を転送する電話番号を「転送先」に入力します。

i・ナンバーを使用している場合は i・ナンバー情報 1、i・ナンバー情報 2 が転送元になります。

- ⑰ **OK** ボタンをクリックします。

[アナログポートの設定]画面にもどります。

- ⑱ **OK** ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。

高位レイヤ整合性を設定する (HLC)

IWX70

HLC (高位レイヤ整合性)

IWX70に接続したパソコンやアナログ通信機器の種別をHLCに設定し、HLCが一致する相手とだけ通信をおこないます。発信時はIWX70が自動的にHLCを付けて発信し、着信時は発信者からのHLCを照合して一致するときだけ通信を実行します。相手がINSネット64に加入している場合だけ利用できます。

発信時はIWX70が自動的にHLCを付けて発信します。

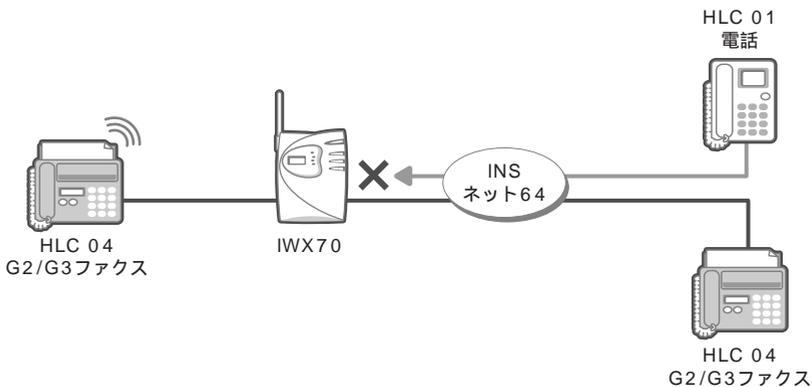
着信時は発信者からのHLCを照合し、一致するときだけ通信を実行します。

通常、HLCの指定がない相手からの着信はすべて受け付けます。ただしIWX70の設定が「FAX/モデム」となっている場合には、HLCを設定していない着信は受け付けません。



付加サービスの契約は必要ありません。

例 HLCが04に設定されている場合



 ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。

 お知らせ

ファクス付電話機のように、相手が電話でもファクスでも着信を受け付けたいときは「HLCを設定しない」に設定します。HLCを設定すると、ISDN用電話機からの着信が受け付けられません。

電話機でダイヤルインを使う

着信した電話番号をモデム信号で送出する（モデム・ダイヤルイン）



モデム・ダイヤルイン

着信した電話番号をモデム信号で電話機などに送出します。モデム・ダイヤルイン対応のファクス付電話機のファクス着信と電話着信を呼び分けたり、ホームテレホンの内線直接呼び出しなどで使用します。



INSネット64の「i・ナンバー」または「ダイヤルインサービス」を契約します。



- ① 03-XXXX-XX11で着信した場合
同番号をモデム信号で送出し、ファクス付電話機の電話機が呼び出される。
- ② 03-XXXX-XX22で着信した場合
同番号をモデム信号で送出し、ファクス付電話機のファクスが呼び出される。
内線指定番号を設定すると、着信番号を内線指定番号に変換して送出します。

設定

『らくらくアシスタント』で設定します。

以下の手順はWindows98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用してIWX70を設定する場合を例に説明します。

お使いの環境によっては画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で、モデム・ダイヤルインを設定するアナログポートを選択します。

[アナログポートの設定]画面が表示されます。

- ② 「情報通知サービス」で「モデム・ダイヤルインを使用する」または「ナンバー・ディスプレイ + モデムダイヤルインを使用する」を選択します。
i・ナンバーを利用している場合は「モデム・ダイヤルインを使用する」を選択し、⑥に進みます。



- ③ [番号の送出方法] ボタンをクリックします。

[アナログポート - 端末番号の送出方法] 画面が表示されます。

- ④ 電話番号をそのままアナログポートに送出するか、内線指定番号に変換して送出するかを選択します。内線指定番号に変換する場合は任意の4桁の数字を入力します。



- ⑤ [OK] ボタンをクリックします。

[アナログポートの設定] 画面にもどります。

- ⑥ [OK] ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。



INSナンバー・ディスプレイを契約している場合は、アナログ・ダイヤルイン機能は使用できません。モデム・ダイヤルイン機能をご使用ください。
アナログ通信機器にダイヤルイン番号を登録する場合は、お使いのアナログ通信機器の取扱説明書を参照してください。登録する電話番号は、Atermに設定した(送出する)電話番号と一致させてください。



モデム・ダイヤルインを設定したアナログポートでINSキャッチホンを利用している場合、通話中にファクスの着信があっても、電話の着信と同じように「プブツ」という音が聞こえます。
ファクス付電話機でリング呼び返し動作の場合は、ファクスと電話機の両方が呼び出されます。
ダイヤルインサービスをご利用の場合は、内線指定番号を設定すると電話番号の代わりに内線指定番号が通知されます。i・ナンバーをご利用の場合は、内線指定番号をアナログ通信機器に送出することはできません。

着信した電話番号をブッシュ信号で送出する（アナログ・ダイヤルイン）

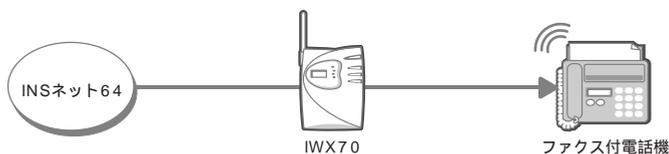
IWX70

アナログ・ダイヤルイン

着信した電話番号をブッシュ信号で電話機などに送出します。アナログ・ダイヤルイン対応のファクス付電話機のファクス着信と電話着信を呼び分けたり、ホームテレホンの内線直接呼び出しなどで使用します。



INSネット64の「i・ナンバー」または「ダイヤルインサービス」を契約します。



IWX70の設定
着信番号

- ① 03-XXXX-XX11
- ② 03-XXXX-XX22

内線指定番号

- 1111
2222

アナログ・ダイヤルイン対応
ファクス付電話機の設定

- 1111で電話機を呼び出す
2222でファクスを呼び出す

- ① 03-XXXX-XX11で着信した場合
1111を送出し、ファクス付電話機の電話機が呼び出される。
- ② 03-XXXX-XX22で着信した場合
2222を送出し、ファクス付電話機のファクスが呼び出される。
内線指定番号を設定すると、着信番号を内線指定番号に変換して送出します。

設定

『らくらくアシスタント』で設定します。

以下の手順は Windows 98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して IWX70 を設定する場合を例に説明します。

お使いの環境によっては画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定] 画面で、アナログ・ダイヤルインを設定するアナログポートを選択します。

[アナログポートの設定] 画面が表示されます。

- ② 「情報通知サービス」で「アナログ・ダイヤルインを使用する」を選択します。



- ③ [番号の送出方法] ボタンをクリックします。

[アナログポート - 端末番号の送出方法] 画面が表示されます。

- ④ 「内線指定番号に変換して送出」を選択し、内線指定番号に任意の4桁の数字を入力します。



- ⑤ [OK] ボタンをクリックします。

[アナログポートの設定] 画面にもどります。

- ⑥ [OK] ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。

INSナンバー・ディスプレイを契約している場合は、アナログ・ダイヤルイン機能は使用できません。モデム・ダイヤルイン機能をご使用ください。
アナログ通信機器にダイヤルイン番号を登録する場合は、お使いのアナログ通信機器の取扱説明書を参照してください。登録する電話番号は、Atermに設定した(送出する)電話番号と一致させてください。

「アナログ・ダイヤルインを使用する」に設定したアナログポートに対して、内線通話や内線転送はできません。
おやすみモード・フラッシュモード中、INSなりわけ・疑似なりわけ利用中、ブザー呼出中はアナログ・ダイヤルインは使用できません。

5-3 . Aterm のメール機能

INS ネット 64 の基本サービス「ユーザ間情報通知サービス (UUI)」と Aterm のメール機能を組み合わせてメールサービスが利用できます。

メール機能とは

Aterm で利用できるメールサービスは次の 3 種類です。

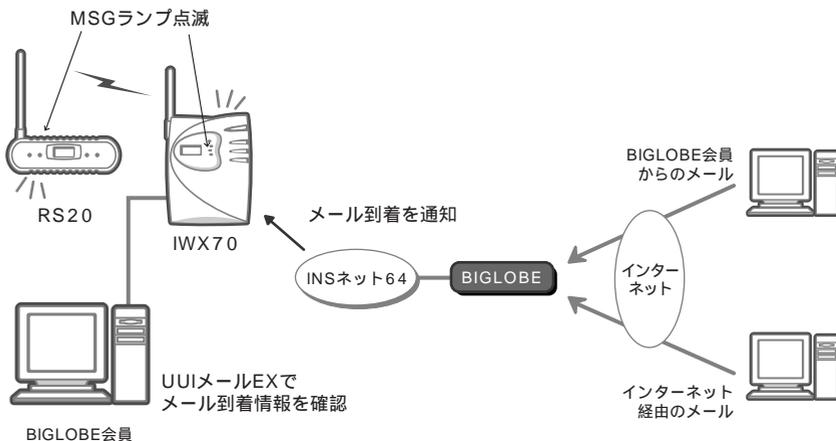
電子メール着信通知

BIGLOBE に電子メールが届くと、IWX70 または RS20 の MSG ランプが点滅して電子メールの到着を知らせます。BIGLOBE にアクセスしなくてもメールの着信が確認できるので、メールの確認のためだけにパソコンを起動したり、インターネットにアクセスする手間がはぶけます。

またユーティリティソフト『UUIメールEX』を使うと、電子メールの送信者 (from: 先頭 10 バイト)、用件 (Subject: 先頭 100 バイト) をパソコンに表示させることができます。さらに BIGLOBE 側の設定で通知する条件などを設定することで、必要なメールの到着だけに限定して通知することもできます。

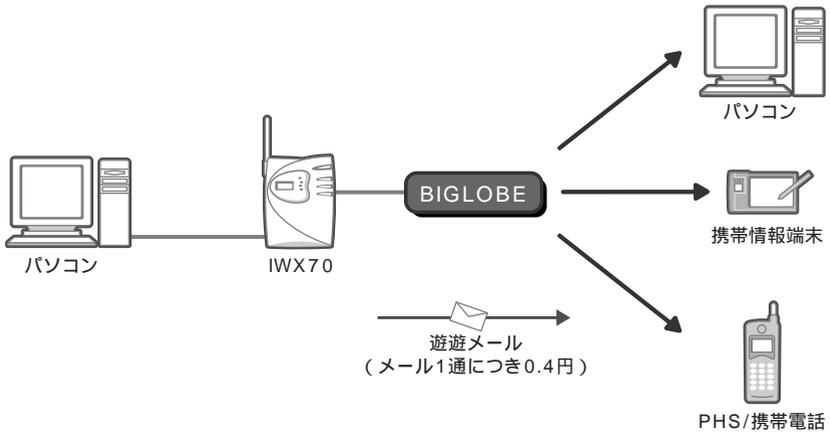


BIGLOBE に加入契約をし、メールオプションの申し込みをします。(有料)
すでに BIGLOBE 会員の方はメールオプションだけを申し込んでください。



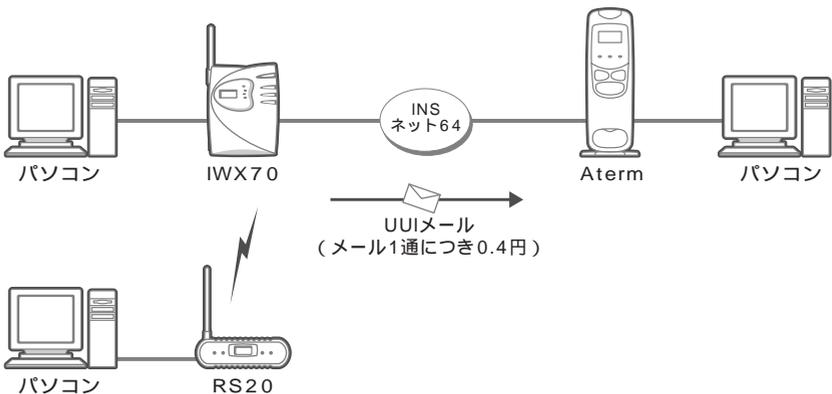
遊遊メール（UIIメール変換サービス）
BIGLOBEにUIIメールを送信すると、BIGLOBEのサーバが電子メールの形式に変換してインターネット上に送信します。電子メールでの呼び出しやメッセージ送信ができるPHS電話機、携帯電話、携帯情報端末（PDA）などのショートメッセージサービスを利用することもできます。また、IWX70に接続した電話機のプッシュボタンでメッセージを送信することもできます。

¥ BIGLOBEに加入契約をし、メールオプションの申し込みをします。（有料）
すでにBIGLOBE会員の方はメールオプションだけを申し込んでください。



UIIメール
プロバイダやパソコン通信サービスを経由せずに、IWX70またはRS20と相手側のAterm間で直接メールを送受信することができます。

¥0 付加サービスの契約は必要ありません。



メール機能を利用するには

Atermのメール機能を利用するには、以下の申し込みとツール、Atermの設定が必要です。

必要な申し込み

利用するメール機能によって、INS ネット 64 の基本サービスの契約とBIGLOBEのメールオプションを次のように申し込みます。

メールサービス		電子メール 着信通知	遊遊メール	UUIメール
INSネット64 基本サービス	ユーザ間情報通知	着信許可		
	発信者番号通知	-	通常通知（通話ごと非通知）または 通常非通知（回線ごと非通知）*1	
	通信中着信通知	申込推奨 *2		
BIGLOBE		BIGLOBEの加入と メールオプションの申込（有料）*3		-

*1「通常非通知」を契約している場合は『らくらくアシスタント』の設定で、データポートの発信者番号通知を「行う」に設定します。

*2「通信中着信通知」を申し込むと、Bチャンネル2本を使った通信中でもUUIメールの着信を受け付けることができます。

*3 BIGLOBEのメールオプションや申し込みについては下記を参照してください。

BIGLOBE ホームページ

<http://www.biglobe.ne.jp/>（平成12年6月現在）

BIGLOBE メールオプションの設定

<http://www.biglobe.ne.jp/blmail/>（平成12年6月現在）

使用するツール

IWX70に接続されている電話機のプッシュボタンで操作したり、添付CD-ROM『Aterm IWX70シリーズユーティリティ集』に収録されている『UIメールEX』を使用してメール機能を利用します。

メールサービス ツール		RS20対応	電子メール 着信通知	遊遊メール	UIメール
UIメールEX			*1	*2	
電話 機	テレホン UIメール	×	×	×	
	テレホン 遊遊メール	×	×	*2	×

*1 BIGLOBEで設定した「通知表示名」の登録が必要です。

*2 BIGLOBEのID登録が必要です。



『BIGLOBE』は、NECが運営するインターネットプロバイダです。

『UIメールEX』のインストール方法や使い方、テレホンUIメール、テレホン遊遊メールの使い方は、添付CD-ROMに収録されている「データ通信ガイド」2. データ通信の機能を参照してください。また『UIメールEX』についてはCD-ROMにHTML形式のオンラインマニュアルが収録されています。CD-ROMの「UIメールEX」フォルダ内の「index.htm」ファイルをInternet Explorerなどのブラウザで開くと、UIメールEXの詳しい説明を見ることができます。

Atermの設定

設定

データポートに発信者通知番号と着信番号を設定します。Atermのメール機能をIWX70で利用するか、RS20で利用するかによって設定が異なります。

以下の手順はWindows98搭載のパソコンで設定する場合を例に説明します。Macintoshの場合は一部の手順と画面が異なります。

① 『らくらくアシスタント』を起動します。

② [らくらくアシスタントメニュー]で[ターミナルアダプタの詳細設定]を選択します。(「3-3.らくらくアシスタントで簡単に設定する」P.86、「4-3.らくらくアシスタントで簡単に設定する」P.112)

[ターミナルアダプタの詳細設定]画面が表示されます。

Macintoshの場合は[IWX70らくらくアシスタント]画面で[データポートの詳細設定]を選択し、④に進みます。

③ IWX70を接続しているデータポート(シリアルポートまたはUSBポート)を選択します。



シリアルポートとUSBポートに共通の設定です。

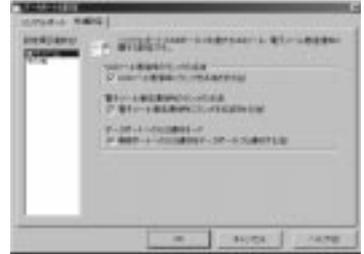
[データポートの設定画面]が表示されます。

④ [共通設定]タブをクリックします。

⑤ 「データポートへのUUI通知モード」の「無線ポートへのUUI通知をデータポートにも通知する」を指定します。

IWX70で利用する場合はにします。

RS20で利用する場合はクリックして にします。



⑥ OK ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。

⑦ RS20を接続しているデータポートを選択します。



[RS20の詳細設定]画面が表示されます。

Macintoshの場合は[RS20らくらくユーティリティ]を起動し、[データポート設定]タブをクリックします。

- ⑧ 「その他」の「UIメール着信時にランプを点滅させる」を指定します。

IWX70 で利用する場合はクリックして にします。

RS20 で利用する場合は にします。



- ⑨ **終了** ボタンをクリックし、**はい** ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。



この設定をおこなっても、テレホンUIメールが着信したときは通知されません。

5-4 . IWX70・RS20 の設定内容を記録する

『らくらくアシスタント』や『らくらくテレホン設定』で設定した内容はIWX70、RS20に内蔵されている不揮発性メモリに記憶されています。この設定内容を一覧表示したり、パソコンのハードディスクなどに保存することができます。保存した設定情報は復元することができるので、設定を間違えてIWX70やRS20が正しく動作しなくなった場合などに保存しておいた設定にもどすことができます。IWX70、RS20の設定が完了したら、設定値を保存するようにしてください。

Windows で記録する

設定内容を記録するには『らくらくバックアップ』を使用します。『らくらくバックアップ』はらくらくアシスタントをインストールすると一緒にインストールされます。らくらくアシスタントをインストールしていない場合は、「3-2 らくらくアシスタントをインストールする」(P.83)を参照してインストールしてください。

以降の手順はWindows98搭載のパソコンにRS20を接続した場合を例に説明します。お使いの環境によっては手順や画面が異なることがあります。IWX70を接続した場合の手順も同様です。

設定の保存

- 1 **メニュー** [プログラム] [Aterm IWX70&RS20ユーティリティ] [IWX70&RS20らくらくアシスタント] を選択します。

[らくらくアシスタントメニュー]が表示されます。

- 2 [設定値の確認/保存/復元] を選択します。

[らくらくバックアップ]画面が表示されます。

- 3 [ファイル] [保存] を選択します。



[名前を付けて保存]画面が表示されます。

- 4 ファイル名と保存先を指定します。
表示されているファイル名、保存先でよければそのままにします。



- 5 **保存** ボタンをクリックします。
設定情報が指定した場所に保存されます。

設定の復帰

保存した設定情報を呼び出して、IWX70またはRS20に設定されている内容を書き換えます。

- 1 **戻る** [プログラム] [Aterm IWX70&RS20 ユーティリティ] [IWX70&RS20 らくらくアシスタント] を選択します。

[らくらくアシスタントメニュー]が表示されます。

- 2 [設定値の確認 / 保存 / 復元] を選択します。

[らくらくバックアップ]画面が表示されます。

- 3 [ファイル] [復帰] を選択します。

[開く]画面が表示されます。

- 4 設定を保存したファイルを指定し、**開く** ボタンをクリックします。



IWX70 または RS20 に記憶されていた設定が、復帰した設定に書き換わります。

設定内容の印刷

- 1 **戻る** [プログラム] [Aterm IWX70&RS20 ユーティリティ] [IWX70&RS20 らくらくアシスタント] を選択します。

[らくらくアシスタントメニュー]が表示されます。

- 2 [設定値の確認 / 保存 / 復元] を選択します。

[らくらくバックアップ]画面が表示されます。

- 3 [ファイル] [印刷] を選択します。

[印刷]画面が表示されます。

- 4 **OK** ボタンをクリックします。



設定内容の一覧が印刷されます。

Macintosh で記録する

設定内容を記録するには『らくらくバックアップ』を使用します。『らくらくバックアップ』はらくらくアシスタントをインストールすると一緒にインストールされます。らくらくアシスタントをインストールしていない場合は、「4-2 ユーティリティをインストールする」(P.109)を参照してインストールしてください。

以降の手順は Macintosh に IWX70 を接続した場合を例に説明します。お使いの環境によっては手順や画面が異なることがあります。RS20 を接続した場合の手順も同様です。

設定の保存

- 1 [IWX70 らくらくアシスタント] を起動します。

[IWX70 らくらくアシスタント] 画面が表示されます。

- 2 [設定値の確認・保存・復元] を選択します。

IWX70 の設定一覧が表示されます。

- 3 **保存** ボタンをクリックします。



[名前を付けて保存] 画面が表示されます。

- 4 ファイル名と保存先を指定します。
表示されているファイル名、保存先でよければそのままにします。



- 5 **保存** ボタンをクリックします。
設定情報が指定した場所に保存されます。

- 6 **戻る** ボタンをクリックします。
[IWX70 らくらくアシスタント] 画面にもどります。

設定の復帰

保存した設定情報を呼び出して、IWX70 に設定されている内容を書き換えます。

- 1 [IWX70 らくらくアシスタント] を起動します。

[IWX70 らくらくアシスタント] 画面が表示されます。

- 2 [設定値の確認・保存・復元] を選択します。

IWX70 の設定一覧が表示されます。

- 3 **復元** ボタンをクリックします。

ファイルを指定する画面が表示されます。

- 4 設定を保存したファイルを指定し、**開く** ボタンをクリックします。



IWX70 に記憶されていた設定が、復帰した設定に書き換わります。

- 5 **戻る** ボタンをクリックします。

[IWX70 らくらくアシスタント] 画面に戻ります。

5-5 . IWX70・RS20 をバージョンアップする

Atermを動作させるためのプログラムを「ファームウェア」といい、IWX70、RS20に内蔵されている不揮発性メモリに記憶されています。このファームウェアをバージョンアップして、IWX70、RS20に新しい機能を追加することができます。

ファームウェアをバージョンアップするには『AtermStation』にアクセスしながらバージョンアップする「オンライン・バージョンアップ」(Windowsのみ)と、添付CD-ROM『AtermIWX70シリーズユーティリティ集』に収録されている『らくらくバージョンアップ』を使用する方法があります。



『らくらくバージョンアップ』は『らくらくアシスタント』をインストールすると一緒にインストールされます。らくらくアシスタントをインストールしていない場合は、「3-2 . らくらくアシスタントをインストールする」(Windows P.83)または「4-2 . ユーティリティをインストールする」(Macintosh P.109)を参照してインストールしてください。

バージョンアップを実行するには、バージョンアップするIWX70またはRS20のシリアルポートまたはUSBポートにパソコンを接続しておく必要があります。

『らくらくバージョンアップ』ではブラウザソフトを使用します。バージョンアップを実行するには、Internet Explorer 3.0以上が必要です。



バージョンアップの途中でエラーが発生した場合は処理を中断し、『らくらくバージョンアップ』を再起動してはじめてからやり直してください。

IWX70、RS20のそれぞれの機種に対応したファームウェアを使用してください。IWX70用、RS20用以外のファームウェアでバージョンアップを実行すると、正しく動作しなくなることがあります。

ファームウェアのバージョンによっては、『らくらくアシスタント』のバージョンアップが必要な場合があります。その場合はAtermStationに記載されている内容を確認の上、『らくらくアシスタント』もダウンロードしてください。

『らくらくバージョンアップ』はNECが独自に提供するサービスであり、すべての機能をバージョンアップで対応することを保証するものではありません。

ファームウェアをダウンロードする際の通信費用はお客様の負担になります。あらかじめご了承ください。

らくらくアシスタントのバージョンアップ

IWX70、RS20 の設定をおこなうためのユーティリティ『らくらくアシスタント』(RS20のMacintosh用ユーティリティは『らくらくユーティリティ』)をバージョンアップします。ファームウェアをバージョンアップすると、『らくらくアシスタント』のバージョンアップも必要になる場合があります。『AtermStation』にアクセスして、ホームページに掲載されている内容を確認してください。

- 1 インターネットに接続します。
- 2 AtermStation にアクセスします。
<http://aterm.cplaza.ne.jp/>
(平成 12 年 6 月現在)
- 3 AtermStationのバージョンアップメニューからIWX70用、またはRS20用の『らくらくアシスタント』を選択し、画面の指示にしたがいます。
ご使用のOSに合ったものを選択してください。
- 4 ダウンロードしたファイルを保存する場所を指定します。
ファイルがダウンロードされ、パソコンに保存されます。
ファイルを保存する場所はメモするなどして記録しておいてください。
- 5 ブラウザソフトを終了し、回線の接続を切断します。
- 6 ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
ダウンロードしたファイルは自動解凍形式で圧縮されています。ダブルクリックすると解凍されます。
解凍後のファイル名と保存場所をメモするなどして記録しておいてください。

オンラインバージョンアップ

Aterm のホームページ『Aterm Station』からファームウェアをダウンロードし、そのファイルを実行するだけでIWX70、RS20のバージョンアップが完了します。『らくらくアシスタント』で操作します。Windowsのみでご利用できます。

Windows2000搭載のパソコンにRS20を接続してバージョンアップする場合は、RS20背面のディップスイッチの「1」をON、「2」をOFFにして、バージョンアップを実行します。

- 1 バージョンアップするIWX70またはRS20にパソコンを接続しておきます。
- 2 [らくらくアシスタント]を起動します。
- 3 [らくらくアシスタントメニュー]の[オンラインバージョンアップ]を選択します。
- 4 画面に表示された内容を確認し、 ボタンをクリックします。
オンラインバージョンアッププログラムが起動します。
- 5 画面に表示される内容にしたがって、バージョンアップを実行します。
自動的にAtermStationにアクセスし、バージョンアップが実行されます。



MacintoshでRS20をバージョンアップする場合は『らくらくバージョンアップ』を使用してください。(P.247)



IWX70の不揮発性メモリに記憶されているファームウェアのバージョンは、前面のファンクションボタンで確認することができます。(「6-1.ファンクションボタンでIWX70を操作する」)(P.250)

『らくらくバージョンアップ』を使用したバージョンアップ(Windows)

Windows® 2000/Windows® 98/Windows® 95/WindowsNT® 4.0を搭載したパソコンで、『らくらくバージョンアップ』を使ってバージョンアップを実行します。

Windows2000搭載のパソコンにRS20を接続してバージョンアップする場合は、RS20背面のディップスイッチの「1」をON、「2」をOFFにして、バージョンアップを実行します。

以降の手順はWindows98搭載のパソコンにIWX70を接続した場合を例に説明します。お使いの環境によっては手順や画面が異なることがあります。RS20を接続した場合の手順も同様です。

ファームウェアをダウンロードする

ホームページ『AtermStation』からファームウェアをダウンロードします。

① ほかのアプリケーションソフトを使用しているときは、そのアプリケーションを終了します。

②  [プログラム] [Aterm IWX70&RS20ユーティリティ] [IWX70らくらくバージョンアップ] を選択します。

RS20の場合は、[RS20らくらくバージョンアップ]を選択します。

[らくらくバージョンアップ]画面が表示されます。

3

ホームページにアクセス ボタンをクリックします。



プロバイダに接続してブラウザソフトが起動し、自動的に AtermStation にアクセスします。

4

AtermStation のバージョンアップメニューから IWX70 用、または RS20 用ファームウェアを選択し、画面の指示にしたがいます。

5

ダウンロードしたファイルを保存する場所を指定します。

ファイルがダウンロードされ、パソコンに保存されます。

ファイルを保存する場所はメモするなどして記録しておいてください。

6

OK ボタンをクリックします。

7

[ファイル] [終了] を選択し、ブラウザソフトを終了します。

8

タスクトレイの [ダイヤルアップネットワーク モニタ] アイコンをダブルクリックし、切断 ボタンをクリックして回線の接続を切断します。

[らくらくバージョンアップ] 画面にもどります。

9

キャンセル ボタンをクリックし、『らくらくバージョンアップ』を終了します。

10

ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

ダウンロードしたファイルは自動解凍形式で圧縮されています。ダブルクリックすると解凍されます。

解凍後のファイル名と保存場所をメモするなどして記録しておいてください。

バージョンアップを実行する

1

ダウンロードしたファームウェアを IWX70、RS20 の不揮発性メモリに書き込み、バージョンアップします。

『らくらくバージョンアップ』を起動します。

IWX70 をバージョンアップする場合

起動 [プログラム] [AtermIWX70&RS20 ユーティリティ] [IWX70 らくらくバージョンアップ] を選択します。

RS20 をバージョンアップする場合

起動 [プログラム] [AtermIWX70&RS20 ユーティリティ] [RS20 らくらくバージョンアップ] を選択します。

[らくらくバージョンアップ] 画面が表示されます。

2

次へ ボタンをクリックします。

IWX70 または RS20 の不揮発性メモリに記憶されている現在のファームウェアのバージョンが表示されます。

3

次へ ボタンをクリックします。



[ファームウェアファイルの指定] 画面が表示されます。

4

参照 ボタンをクリックし、ダウンロードしたファイルを指定します。



5

次へ ボタンをクリックします。

バージョンアップするファームウェアの情報が表示されます。

6

実行 ボタンをクリックします。



[バージョンアップ終了]画面が表示されます。

7

終了 ボタンをクリックします。



バージョンアップが終了します。



IWX70またはRS20にすでに記憶されているファームウェアのバージョンより古いバージョンのファームウェアをインストールしようとすると、警告が表示されます。

『らくらくバージョンアップ』を使用したバージョンアップ (Macintosh)

Macintoshで『らくらくバージョンアップ』を使ってバージョンアップを実行します。

以降の手順はMacintoshにIWX70を接続した場合を例に説明します。お使いの環境によっては手順や画面が異なることがあります。RS20を接続した場合の手順も同様です。

ファームウェアをダウンロードする

ホームページ『AtermStation』からファームウェアをダウンロードします。

1

ほかのアプリケーションソフトを使用しているときは、そのアプリケーションを終了します。

2

インターネットに接続します。

接続方法については「4-4 インターネットに接続する」(P.121)を参照してください。

3

AtermStationにアクセスします。

<http://aterm.cplaza.ne.jp/>
(平成12年6月現在)

4

AtermStationのバージョンアップメニューからIWX70用、またはRS20用のファームウェアを選択し、画面の指示にしたがいます。

5

ダウンロードしたファイルを保存する場所を指定します。

ファイルがダウンロードされ、パソコンに保存されます。

ファイルを保存する場所は、メモするなどして記録しておいてください。

6 [ファイル] [終了]を選択し、ブラウザソフトを終了します。

7 [リモートアクセス](または[PPP])画面の [接続を切る] ボタンをクリックしてからクローズボックスをクリックし、回線の接続を切断します。

8 ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

ダウンロードしたファイルは自己解凍形式で圧縮されています。ダブルクリックすると解凍されます。

解凍後のファイル名と保存場所をメモするなどして記録しておいてください。

バージョンアップを実行する

ダウンロードしたファームウェアをIWX70、RS20の不揮発性メモリに書き込み、バージョンアップします。

1 『らくらくバージョンアップ』を起動します。

IWX70をバージョンアップする場合 [IWX70 ユーティリティ] フォルダの、[IWX70 らくらくバージョンアップ] をダブルクリックします。

RS20をバージョンアップする場合 [RS20 らくらくユーティリティ] フォルダの [RS20 らくらくバージョンアップ] をダブルクリックします。

ファイルを指定する画面が表示されます。

2 [ファイル] ボタンをクリックします。

3 ダウンロードしたファイルを指定し、[開く] ボタンをクリックします。



指定したファイルのファイル名が表示されます。

4 [開始] ボタンをクリックします。



バージョンアップが開始されます。

バージョンアップが終了すると、確認画面が表示されます。

5 [確認] ボタンをクリックします。



6 [終了] ボタンをクリックします。



バージョンアップが終了します。

6

パソコンを使わないで操作する

IWX70またはRS20に接続した電話機や、IWX70のファンクションボタンを使って機能の操作や設定をする手順を説明します。

ファンクションボタンでIWX70を操作する

電話機でIWX70を設定する

電話機でRS20を設定する

6-1 .ファンクションボタンでIWX70 を操作する

液晶ディスプレイを見ながら IWX70 前面の **MENU** **SELECT** **ENTER** のファンクションボタンを使って着信履歴を表示したり、IWX70 を初期化することができます。

パソコンを接続している場合は『らくらくアシスタント』を使ってパソコンで設定することをおすすめします。

着信履歴を表示する

電話 A ポート、電話 B ポートに着信した発信者番号、着信時間などを IWX70 の液晶ディスプレイに表示します。最大 50 件分の着信履歴が記憶でき、それを超えると古い履歴から消去されます。

着信履歴表示の詳細は「5-2 . 電話機能」(P.178)を参照してください。

- 1 IWX70 前面の **MENU** ボタンを押します。

[IWX70 液晶ディスプレイ]

1 : チャクシンリレキ

- 2 **ENTER** ボタンを押します。

1 : チャクシンリレキ
ヒョウシ*

- 3 **ENTER** ボタンを押します。

最新の着信履歴が表示されます。

チャクシンリレキヲ
ヒョウシ* シマス

5 秒後

A
30日23:05 A
0398765432 /

- 4 **SELECT** ボタンを押して着信履歴を切り替えます。

SELECT ボタンを押すと、1 つ前の着信履歴が表示されます。

- 5 **MENU** ボタンを押します。

通常の表示にもどります。

MENU ボタンを押さない、20 秒後に通常の表示にもどります。



電話機のプッシュボタンを操作して着信履歴を表示することもできます。(「5-2 . 電話機能」 P.178)

着信履歴先に電話をかける

着信履歴に記憶されている電話番号に電話をかけます。

着信履歴先発信の詳細は「5-2 . 電話機能」(P.178)を参照してください。

- ① IWX70前面の **[MENU]** ボタンを押します。

[IWX70液晶ディスプレイ]

1 : チャクシンリレキ

- ② **[ENTER]** ボタンを押します。

1 : チャクシンリレキ
ヒョウシ'

- ③ **[ENTER]** ボタンを押します。
最新の着信履歴が表示されます。

チャクシンリレキヲ
ヒョウシ' シマス

5 秒後

☎
3 0 日 2 3 : 0 5 A
0 3 9 8 7 6 5 4 3 2 /

- ④ **[SELECT]** ボタンを押して、発信する電話番号を表示します。

- ⑤ **[ENTER]** ボタンを押します。

ハッシンチュウ

あらかじめ指定されている着信履歴先発信する電話機 (P.252)の着信音が鳴ります。

- ⑥ 着信音の鳴っている電話機の手受器を上げます。

着信履歴先の電話番号に発信します。

例 電話Aポートからの発信の場合

☎
アナログ' A ハッシン
XXXXXXXXXXXX

- ⑦ 発信先の相手と通話します。



電話機のプッシュボタンを操作して着信履歴先に発信することもできます。(「5-2 . 電話機能」 P.178)

履歴先発信する電話機を指定する

着信履歴先に電話をかけるときの電話機を指定します。工場出荷時はIWX70の電話 A ポートに接続されている電話機から発信するように設定されています。

- ① IWX70 前面の **MENU** ボタンを押します。

[IWX70 液晶ディスプレイ]

1 : チャクシンリレキ

- ② **ENTER** ボタンを押します。

1 : チャクシンリレキ
ヒョウシ*

- ③ **SELECT** ボタンを押します。

2 : ハッシンホ^{*} ート
センタク

- ④ **ENTER** ボタンを押します。

ハッシンホ^{*} ートヲ
センタクシマス

5 秒後

ホ^{*} ート A

- ⑤ **SELECT** ボタンを押して、履歴先発信する電話機が接続してあるアナログポートを選択します。

SELECT ボタンを押すごとに電話 A ポート、電話 B ポートが切り替わります。

- ⑥ **ENTER** ボタンを押します。

例 電話 B ポートを選択した場合

ホ^{*} ート B ヲ
センタクシマシタ

5 秒後に通常の表示にもどります。

累積料金を表示する

アナログポート、無線ポート、データポートのポートごとに通信した累積料金を表示します。

- ① IWX70 前面の **MENU** ボタンを押します。

[IWX70 液晶ディスプレイ]

1 : チャクシンリレキ

- ② **SELECT** ボタンを押します。

2 : リョウキン

- ③ **ENTER** ボタンを押します。

シリアルポートの累積料金が表示されます。

ルイセキ シリアル

3 1 0 円

- ④ **SELECT** ボタンを押して表示するポートを切り替えます。

SELECT ボタンを押すごとに、「ルイセキ シリアル」(シリアルポート) 「ルイセキ USB」(USB ポート) 「ルイセキ アナログ^{*} A」(電話 A ポート) 「ルイセキ アナログ^{*} B」(電話 B ポート) 「ルイセキ PHS A」(無線 A ポート) … 「ルイセキ PHS F」(無線 F ポート) 「ルイセキ シリアル」と切り替わります。

例 電話 A ポートを選択したとき

ルイセキ アナログ^{*} A

5 0 円

- ⑤ **MENU** ボタンを押します。

通常の表示にもどります。

MENU ボタンを押さないと、20 秒後に通常の表示にもどります。



お知らせ

累積料金は『らくらくアシスタント』で確認することもできます。

累積料金を初期化する

累積料金を 0 円にもどします。一度の操作ですべてのポートの累積料金が初期化されます。

1

IWX70 前面の **MENU** ボタンを押します。

[IWX70 液晶ディスプレイ]

1 : チャクシンリレキ

2

SELECT ボタンを 3 回押します。

4 : ショキカ

3

ENTER ボタンを押します。

ショキカメニューヲ
セントクシマス

5 秒

1 : ルイセキカキンノ
ショキカ

4

ENTER ボタンを押します。

ルイセキカキン
ショウキョシマスカ?

初期化しない場合は、**MENU** ボタンを押して通常表示にもどします。

5

ENTER ボタンを押します。

ショウキョシマシタ

5 秒後に通常の表示にもどります。



お知らせ

IWX70 の電源を切ると累積料金は初期化されます。

パソコンを使わず
ないで操作する

6-1 ファンクションボタンでメニューを操作する

通信速度を切り替える

データポートで128kbps マルチリンク PPP 通信中に、通信速度を64kbps に切り替えることができます。(「マニュアルBOD」といいます。)
マニュアルBODを使用するには、あらかじめ「リソースBOD」を設定しておきます。(添付CD-ROM「データ通信ガイド」)

① 128kbps マルチリンク PPP 通信中に **ENTER** ボタンを押します。

例 通信速度が64kbps のとき

[IWX70 液晶ディスプレイ]

```
→ B1 RDY
64 - > 128 ^
ツイカスル?
```

例 通信速度が128kbps のとき

```
⇒ B1 B2 RDY
128 - > 64 ^
サクシ`ヨスル?
```

128kbps マルチリンク PPP 通信以外のデータ通信中に **ENTER** ボタンを押すと、「ショウキョ`テ`キマセン」と表示されます。

通信速度を切り替えないときは、**MENU** ボタンを押して通常表示にもどします。

② **ENTER** ボタンを押します。

液晶ディスプレイに表示されていた通信速度に切り替わり、ピクトグラムの表示が変わります。

例 通信速度を64kbps から128kbps にしたとき

```
ツイカシマス
```

例 通信速度を128kbps から64kbps にしたとき

```
サクシ`ヨシマス
```



スループットBODを設定している場合、データ量が少ないと **ENTER** ボタンを押しても128kbpsに切り替わりません。

ファームウェアのバージョンを表示する

IWX70を動作させるためのプログラムを「ファームウェア」といい、IWX70に内蔵されている不揮発性メモリに記憶されています。ファームウェアにはバージョンがあり、そのバージョンを確認することができます。

- ① IWX70前面の **MENU** ボタンを押します。

[IWX70 液晶ディスプレイ]

1 : チャクシンリレキ

- ② **SELECT** ボタンを 5 回押します。

6 : バ' - シ' ョン

- ③ **ENTER** ボタンを押します。

Ver. 1.10

- ④ **MENU** ボタンを押します。
5 秒後に通常の表示にもどります。



ファームウェアをバージョンアップして、IWX70に新しい機能を追加することができます。バージョンアップについては「5-5 . IWX70・RS20をバージョンアップする」(P.243)を参照してください。

設定を初期化する

『らくらくアシスタント』や『らくらくテレホン設定』で設定した内容はIWX70に内蔵されている不揮発性メモリに書き込まれるので、IWX70の電源を切っても設定は記憶されています。この設定内容を消去し、増設登録をのぞいて工場出荷時と同じ状態にもどすことができます。設定を間違えてIWX70が正しく動作しなくなった場合やはじめから設定をやり直したいときなどに初期化します。

- ① IWX70前面の **MENU** ボタンを押します。

[IWX70 液晶ディスプレイ]

1 : チャクシンリレキ

- ② **SELECT** ボタンを 3 回押します。

4 : ショキカ

- ③ **ENTER** ボタンを押します。

ショキカメニューヲ
センタクシマス

- ④ **SELECT** ボタンを押します。

2 : コウジ' ヨウシュツカシ'
ニショキカ

- ⑤ **ENTER** ボタンを押します。

コウジ' ヨウシュツカシ'
ニショキカシマスカ?

初期化しないときは、**MENU** ボタンを押して通常表示にもどします。

パソコンを使わず
ないて操作する

6-1 ファンクションボタンでメニューを操作する

6

ENTER ボタンを押します。

シヨキカチュウ

初期化が終了し、工場出荷時の設定にもどります。

無線ポートの通信モードを指定する

RS20からインターネットに接続するときの通信モードを指定することができます。通信モードは『らくらくアシスタント』などであらかじめ設定してありますが、IWX70のファンクションボタンを操作してあとから通信モードを変更することができます。

通信モードの詳細は「5-1 .ワイヤレス通信機能」(P.128)を参照してください。

発信モードの指定

IWX70 に設定されている通信モードではなく、RS20から通信モードを指定してINS ネット64に発信することができます。

1

IWX70前面の **MENU** ボタンを押します。

[IWX70 液晶ディスプレイ]

1 : チャクシンリレキ

2

SELECT ボタンを6回押します。

7 : ツウシンモード'
(ハッシン)

3

ENTER ボタンを押します。

4

SELECT ボタンを押して設定する無線ポートを切り替えます。

SELECT ボタンを押すごとに、「PHS A PORT」(無線Aポート) 「PHS B PORT」(無線Bポート) … 「PHS F PORT」(無線Fポート) 「PHS A PORT」と切り替わります。

例 無線Bポートを指定したとき

2 : PHS B PORT

5

ENTER ボタンを押します。

6

SELECT ボタンを押して通信モードを切り替えます。

SELECT ボタンを押すごとに、「0: PIAFS スルー」 「1: ヒト^{*} ウキ 9.6K」 「2: ヒト^{*} ウキ 14.4K」 「3: ヒト^{*} ウキ 19.2K」 「4: ヒト^{*} ウキ 28.8K」 「5: ヒト^{*} ウキ 38.4K」 「6: ヒト^{*} ウキ 57.6K」 「7: ヒト^{*} ウキ 64K」 「0: PIAFS スルー」と切り替わります。

例 非同期 57.6kbps を指定したとき

6 : ヒト^{*} ウキ 57.6 K

7

ENTER ボタンを押します。

6 : ヒト^{*} ウキ 57.6 K
ヲセンタクシマシタ

5 秒後に通常の表示にもどります。

着信モードの指定

RS20がIWX70からデータを受信するときの無線区間の着信モードを指定します。

1

IWX70前面の **MENU** ボタンを押します。

[IWX70 液晶ディスプレイ]

1 : チャクシンリレキ

2

SELECT ボタンを7回押します。

8 : ツウシンモード^{*}
(チャクシン)

3

ENTER ボタンを押します。

4

SELECT ボタンを押して設定する無線ポートを切り替えます。

SELECT ボタンを押すごとに、「PHS A PORT」(無線Aポート) 「PHS B PORT」(無線Bポート) … 「PHS F PORT」(無線Fポート) 「PHS A PORT」と切り替わります。

例 無線Cポートを指定したとき

3 : PHS C PORT

5

ENTER ボタンを押します。

6

SELECT ボタンを押して着信モードを切り替えます。

SELECT ボタンを押すごとに、「0: PIAFS 32K」 「1: PIAFS 64K」 「2: DLW 64K」 「0: PIAFS 32K」と切り替わります。

例 デュアルリンクワイヤレス通信を指定したとき

2 : DLW 64 K

パソコンを
使って操作する

6-1
ファンクション
ボタンでメニューを
操作する



ENTER ボタンを押します。

DLW 64K
ヲセンタクシマシタ

5 秒後に通常の表示にもどります。

6-2 . 電話機でIWX70を設定する

IWX70に接続した電話機でIWX70のアナログポート、無線ポートの操作や設定をします。この操作方法を『らくらくテレホン設定』といいます。IWX70の液晶ディスプレイを見ながら電話Aポートまたは電話Bポートに接続された電話機、ファクス付電話機のプッシュボタンで操作します。パソコンを接続している場合は『らくらくアシスタント』を使ってパソコンで設定することをおすすめします。

IWX70に接続する機器を設定する

IWX70のアナログポート、無線ポートに接続する通信機器の種類を設定します。

アナログポートに接続する機器の設定

IWX70の電話Aポート、電話Bポートに接続した通信機器の種類を設定します。お買い上げ時にはすべてのポートが「電話機」に設定されています。

1 IWX70のアナログポートに接続した電話機を受話器を上げます。

2 電話機のプッシュボタンを **[*]** **[*]** **[1]** **[*]** と押します。

IWX70の液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、通話中または通信中のため設定できません。通話が終わってから操作してください。

[IWX70液晶ディスプレイ]

ホ ー ト シ ョ ウ チ ュ
セ ッ テ ィ フ カ

3 設定するアナログポートを押します。

- [1]** 電話Aポート
- [2]** 電話Bポート

4 **[*]** **[0]** **[1]** **[*]** と押します。

5 接続している通信機器を押します。

- [0]** 電話機
- [1]** ファクスまたはファクス付電話機、モデム
- [2]** 接続しない

6 **[#]** を押します。

ほかのポートを続けて設定するときは、**3** にもどります。

7 **[#]** を押します。

8 受話器を置きます。



接続しないポートは **5** で必ず「接続しない」に設定してください。設定していないと話し中のときでも、相手側に呼び出し音が流れます。

パソコンを使
ないで操作する

6-2 電話機で
無線ポートを設定する

無線ポートに接続する機器の設定

IWX70の無線ポートに接続した機器の種類を設定します。使用しないポートには「接続しない」と設定します。

① IWX70のアナログポートに接続した電話機の受話器を上げます。

② 電話機のプッシュボタンを **[*]** **[*]** **[7]** **[*]** と押します。

IWX70の液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、通話中または通信中のため設定できません。通話が終わってから操作してください。

[IWX70 液晶ディスプレイ]

ホ ° - トシヨウチュウ
セツテイフカ

③ 設定する無線ポートを押します。

- ① 無線 A ポート
- ② 無線 B ポート
- ③ 無線 C ポート
- ④ 無線 D ポート
- ⑤ 無線 E ポート
- ⑥ 無線 F ポート

④ **[*]** **[0]** **[1]** **[*]** と押します。

⑤ 接続している通信機器を押します。

- ① リモートステーション (音声) PHS (音声)
- ① リモートステーション (FAX やモデム)
- ② 音声、FAX (モデム) 通信をしない (データ専用)

⑥ **[#]** を押します。

ほかのポートを続けて設定するときは、③にもどります。

⑦ **[#]** を押します。

⑧ 受話器を置きます。

i・ナンバーを設定する

INSネット64の付加サービス「i・ナンバー」を契約している場合は、以下の設定をします。i・ナンバーを利用すると2つの電話番号で機器を呼び分けることができます。各電話番号は「i・ナンバー情報1」「i・ナンバー情報2」と区別します。

i・ナンバーの詳細は「5-2 .電話機能」(P.180)を参照してください。

i・ナンバー使用の設定

「i・ナンバーを使用する」に設定します。

① IWX70のアナログポートに接続した電話機を受話器を上げます。

② 電話機のプッシュボタンで[*][*][1] [*][4][*][7][6][*]と押します。

③ [1] を押し、i・ナンバーを「使用する」に設定します。

[IWX70 液晶ディスプレイ]



使用しない場合は[0]を押します。

④ [#][#]と押します。

⑤ 受話器を置きます。

i・ナンバー情報の登録

INS ネット64 で契約した電話番号 (i・ナンバー情報) を IWX70 に登録します。

① 電話機を受話器を上げます。

② [*][*][1][*]と押します。

③ [5][*][9][0]と押します。

④ 登録する i・ナンバー情報 (下記) を押します。

[1] i・ナンバー情報1の電話番号を登録

[2] i・ナンバー情報2の電話番号を登録

IWX70の液晶ディスプレイに表示されている電話番号を変更しない場合は、[#]を押してから③に進みます。

⑤ [*]を押してから、登録する電話番号を市外局番から押します。

例 03-1234-5678 の場合

[0][3][1][2][3][4][5][6]
[7][8]と押す

[IWX70 液晶ディスプレイ]



電話番号を間違えて押したときは[*][*]を押すと、末尾の1文字を削除できます。

⑥ [#][#]と押します。

他の i・ナンバーを登録するときは、③にもどります。

⑦ [#]を押します。

⑧ 受話器を置きます。

パソコンを使わないで操作する

6-2 電話機でメニューを設定する

発信者通知番号の設定(発信者番号指定)

電話をかけたときに相手に通知する電話番号をポートごとに設定します。発信者番号指定の詳細は「5-2 電話機能」(P.169)を参照してください。

- ① 電話機の手話器を上げます。
- ② アナログポートを設定するときは **[*]** **[1]** **[*]**、無線ポートを設定するときは **[*]** **[*]** **[7]** **[*]** と押します。
- ③ 設定するポートを押します。
アナログポートを設定するとき
[1] 電話 A ポート
[2] 電話 B ポート
無線ポートを設定するとき
[1] 無線 A ポート
[2] 無線 B ポート
[3] 無線 C ポート
[4] 無線 D ポート
[5] 無線 E ポート
[6] 無線 F ポート
- ④ **[*]** **[9]** **[5]** と押します。
- ⑤ **[*]** を押します。
IWX70 の液晶ディスプレイに表示されている設定値を変更しない場合は、**[*]** を押さずに ⑦ に進みます。
- ⑥ 通知する電話番号(i・ナンバー情報)を押します。
[1] i・ナンバー情報 1 の電話番号を通知
[2] i・ナンバー情報 2 の電話番号を通知
- ⑦ **[#]** を押します。
他のポートを設定するときは、③ にもどります。
- ⑧ **[#]** を押します。
- ⑨ 手話器を置きます。

電話番号の割り当て

登録した i・ナンバー情報でどのポートを呼び出すかを設定します。使用しているアナログポート、無線ポートのすべてに電話番号を割り当てます。

- ① 電話機の手話器を上げます。
- ② アナログポートを設定するときは **[*]** **[*]** **[1]** **[*]**、無線ポートを設定するときは **[*]** **[*]** **[7]** **[*]** と押します。
- ③ 設定するポートを押します。
アナログポートを設定するとき
[1] 電話 A ポート
[2] 電話 B ポート
無線ポートを設定するとき
[0] 全無線ポート共通
[1] 無線 A ポート
[2] 無線 B ポート
[3] 無線 C ポート
[4] 無線 D ポート
[5] 無線 E ポート
[6] 無線 F ポート
- ④ **[*]** **[9]** **[4]** **[*]** と押します。
- ⑤ 選択したポートに着信させる電話番号(i・ナンバー情報)を押します。
[1] i・ナンバー情報 1 の電話番号で着信
[2] i・ナンバー情報 2 の電話番号で着信
- ⑥ **[#]** を押します。
他のポートを割り当てるときは、③ にもどります。
- ⑦ 無線ポートの設定をしたときは **[*]** **[*]** **[7]** **[*]** **[0]** **[*]** **[9]** **[4]** **[*]** **[#]** **[#]** と押します。
- ⑧ **[#]** を押します。
- ⑨ 手話器を置きます。

ダイヤルインサービスを設定する

INS ネット 64 の付加サービス「ダイヤルインサービス」を契約している場合は、以下の設定をします。ダイヤルインを利用すると2つ以上の電話番号で機器を呼び分けることができます。INS ネット 64 を契約した電話番号を「契約者回線番号」、呼び分けのためのダイヤルイン番号を「ダイヤルイン番号 1」「ダイヤルイン番号 2」と区別します。IWX70 はダイヤルイン番号を最大7つまで登録できるので、契約者回線番号と合わせて最大8つの電話番号で機器を呼び分けることができます。ダイヤルインサービスの詳細は「5-2 電話機能」(P.183)を参照してください。

電話番号の登録

契約者回線番号とダイヤルイン番号をIWX70の着信番号リストに登録します。

- 1 IWX70 のアナログポートに接続した電話機を受話器を上げます。
- 2 電話機のプッシュボタンで **[*]** **[*]** **[1]** **[*]** と押します。
- 3 **[4]** **[*]** **[8]** と押します。
- 4 着信番号リストの番号を押します。
 - [0]** 番号 0 : 契約者回線番号を登録
 - [1]** 番号 1 : ダイヤルイン番号 1 を登録
 - : : :
 - : : :
 - [7]** 番号 7 : ダイヤルイン番号 7 を登録

すでに電話番号が登録してあって変更しない場合は **⑥** へ進みます。

5

[*] を押してから、登録する電話番号を市外局番から押します。

例 着信番号 0 に電話番号 03-1234-5678 を登録する場合

[IWX70 液晶ディスプレイ]

[A]
チャクアト' 0 :
0 3 1 2 3 4 5 6 7 8 _

電話番号を間違えて押したときは **[*]** **[*]** を押すと、末尾の1文字を削除できます。

液晶ディスプレイの表示桁数(12桁)より多く番号を押したときは、先頭に **[◀]** が付いて画面が切り替わります。**[*]** **[1]** を押すと右端に **[▶]** が表示され、1~11桁が表示されます。もう一度 **[*]** **[1]** を押すと12桁目以降の表示にもどります。

6

[#] **[#]** と押します。

他の電話番号を登録するときは、**③** にもどります。

7

[#] を押します。

8

受話器を置きます。

電話番号の割り当て

登録した契約者回線番号、ダイヤルイン番号でどのポートを呼び出すかを設定します。

① 電話機の手受器を上げます。

② アナログポートを設定するときは **[*]** **[1]** **[*]**、無線ポートを設定するときは **[*]** **[*]** **[7]** **[*]** と押します。

③ 設定するポートを押します。

アナログポートを設定するとき

- ① 電話 A ポート
- ② 電話 B ポート

無線ポートを設定するとき

- ① 全無線ポート共通
- ② 無線 A ポート
- ③ 無線 B ポート
- ④ 無線 C ポート
- ⑤ 無線 D ポート
- ⑥ 無線 E ポート
- ⑥ 無線 F ポート

④ **[*]** **[9]** **[1]** **[*]** と押します。

⑤ 割り当てる電話番号を表示し、**[0]** を押して割り当てます。

- ① 表示されている電話番号を割り当てる
- ① 電話番号の続き（12桁以降）を表示する
- ② 割り当て状況を表示する
- ③ 次の番号を表示する
- ④ 前の番号を表示する

割り当てると IWX70 の液晶ディスプレイの右端に「」が表示されます。

[IWX70 液晶ディスプレイ]



⑥ **[#]** を押します。

他のポートを割り当てるときは、**③** にもどります。

⑦ **[#]** を押します。

⑧ 受話器を置きます。



無線ポートの呼び出しは1つの電話番号で全無線ポートを呼び出すか、1つの無線ポートだけを呼び出すかのどちらかになります。同じ電話番号を複数の無線ポートに割り当てると無線ポートのA～Fの順に設定が優先され、1つの無線ポートだけが呼び出されます。

発信者通知番号の設定(発信者番号指定)

電話をかけたときに相手に通知する電話番号をポートごとに設定します。発信者番号指定の詳細は「5-2 .電話機能」(P.169)を参照してください。

- 1 電話機を受話器を上げます。
- 2 アナログポートを設定するときは **[*]** **[1]** **[*]**、無線ポートを設定するときは **[*]** **[*]** **[7]** **[*]** と押します。
- 3 設定するポートを押します。

アナログポートを設定するとき

- 1 電話 A ポート
- 2 電話 B ポート

無線ポートを設定するとき

- 0 全無線ポート共通
- 1 無線 A ポート
- 2 無線 B ポート
- 3 無線 C ポート
- 4 無線 D ポート
- 5 無線 E ポート
- 6 無線 F ポート

- 4 **[*]** **[9]** **[2]** と押します。

- 5 **[*]** を押します。

表示されている設定値を変更しない場合は、**[*]** を押さずに **7** に進みます。

- 6 通知する電話番号を市外局番から押します。

例 03-1234-5678 の場合

- [0]** **[3]** **[1]** **[2]** **[3]** **[4]** **[5]** **[6]**
[7] **[8]** と押す

[IWX70 液晶ディスプレイ]

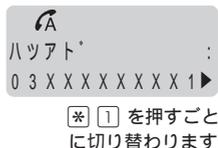


ハット' :
0 3 1 2 3 4 5 6 7 8 _

電話番号を間違えて押したときは **[*]** **[*]** を押すと、末尾の1文字を削除できます。

液晶ディスプレイの表示桁数(12桁)より多く番号を押したときは、先頭に **◀** が付いて画面が切り替わります。**[*]** **[1]** を押すと右端に **▶** が表示され、1~11桁が表示されます。もう一度 **[*]** **[1]** を押すと12桁目以降の表示にもどります。

例 03XXXXXXXX1234 の場合



ハット' :
0 3 X X X X X X X X 1 ▶
[*] **[1]** を押すごとに切り替わります



ハット' :
◀ 2 3 4 5 _

- 7 **[#]** を押します。
彼のポートを設定するとき、**3** にもどります。
- 8 **[#]** を押します。
- 9 受話器を置きます。

アナログポートのグローバル着信の設定

契約者回線番号で呼び出すアナログポートは「グローバル着信を利用する」に設定し、契約者回線番号で呼び出さないアナログポートには「グローバル着信を利用しない」に設定します。

- 1 電話機の手話器を上げます。
- 2 と押します。
- 3 設定するアナログポートを押します。
 - 1 電話 A ポート
 - 2 電話 B ポート
- 4 と押します。
- 5 グローバル着信を利用する場合は 、利用しない場合は を押します。
- 6 を押します。

他のアナログポートを設定するときは、**3** にもどります。
- 7 を押します。
- 8 手話器を置きます。

無線ポートのグローバル着信の設定

契約者回線番号で呼び出す無線ポートを設定します。アナログポートと異なり、無線ポートではすべての無線ポートを呼び出す「一斉呼出」か、どれか1つのポートを呼び出す「個別呼出」のどちらかの設定になります。

- 1 電話機の手話器を上げます。
- 2 と押します。
- 3 契約者回線番号で呼び出す無線ポートを押します。
 - 0 全無線ポート（一斉呼出）
 - 1 無線 A ポート
 - 2 無線 B ポート
 - 3 無線 C ポート
 - 4 無線 D ポート
 - 5 無線 E ポート
 - 6 無線 F ポート

設定を変更しないときは **4** に進みます。
- 4 と押します。
- 5 手話器を置きます。

キャッチホンを設定する

「キャッチホン」を利用する場合は、以下の設定をします。

キャッチホンの使い方などの詳細は「5-2. 電話機能」(P.159)を参照してください。

- 1 電話機を受話器を上げます。
- 2 アナログポートを設定するときは **[*]**
[*] **[1]** **[*]**、無線ポートを設定するときは **[*]** **[*]** **[7]** **[*]** と押します。
- 3 設定するポートを押します。
アナログポートを設定するとき
[1] 電話 A ポート
[2] 電話 B ポート
無線ポートを設定するとき
[0] 全無線ポート共通
[1] 無線 A ポート
[2] 無線 B ポート
[3] 無線 C ポート
[4] 無線 D ポート
[5] 無線 E ポート
[6] 無線 F ポート
- 4 **[*]** **[0]** **[2]** **[*]** と押します。
- 5 INS ネット64の付加サービスの「INS キャッチホン」を使用する場合は **[1]**、IWX70の機能の「疑似キャッチホン」を使用する場合は **[2]** を押します。
- 6 **[#]** を押します。
他のアナログポートを設定するときは、**3** にもどります。
- 7 **[#]** を押します。
- 8 受話器を置きます。

ナンバー・ディスプレイ/ナンバー・リクエストを設定する

INS ネット64の付加サービス「INS ナンバー・ディスプレイ」または「INS ナンバー・リクエスト」を契約している場合は、電話 A ポート、電話 B ポートにそれぞれ以下の設定をします。
INS ナンバー・ディスプレイ、INS ナンバー・リクエストの詳細は「5-2. 電話機能」(P.171)を参照してください。

- 1 電話機を受話器を上げます。
- 2 **[*]** **[*]** **[1]** **[*]** と押します。
- 3 設定するポートを押します。
[1] 電話 A ポート
[2] 電話 B ポート
- 4 **[*]** **[1]** **[0]** **[*]** **[1]** と押します。
- 5 相手からのサブアドレスを表示しない場合は **[0]**、表示する場合は **[1]** を押します。
- 6 **[#]** を押します。
他のアナログポートを設定するときは、**3** にもどります。
- 7 **[#]** を押します。
- 8 受話器を置きます。



ナンバー・ディスプレイ/ナンバー・リクエストを利用する場合は、NTT 東日本またはNTT 西日本への設定が必要です。詳細はNTT 東日本・NTT 西日本へお問い合わせください。

パソコンを使わずに操作する

6-2 電話機でメニューを設定する

ボイスワープ/ボイスワープ・セレクトを設定する

INSネット64の付加サービス「INSボイスワープ」または「INSボイスワープ・セレクト」を契約している場合は、以下の設定をします。ボイスワープセンターへの転送開始モードを設定してから、お出かけ設定を「ボイスワープ転送モード」に設定します。INSボイスワープ、INSボイスワープ・セレクトの使い方などの詳細は「5-2. 電話機能」(P.198)を参照してください。

転送モードの選択

ボイスワープで転送するときの条件を設定します。無条件に転送する「無条件転送」、設定した秒数以内に応答しなかった場合に転送する「無応答時転送」、話し中の場合に転送する「話中時転送」、話し中の場合またはあらかじめ設定した秒数以内に応答しなかった場合に転送する「無応答 / 話中時に転送」の4種類の中から選択します。

- 1 電話機の手話器を上げます。
- 2 * * 1 * 4 * 7 4 * と押します。
- 3 転送モードを押します。
 - 1 無条件転送
 - 2 無応答のときに転送
 - 3 話し中のときに転送
 - 4 無応答または話し中のときに転送
- 4 # # と押します。
- 5 手話器を置きます。

お出かけモードの設定

お出かけモードを「ボイスワープ転送モード」に設定します。

- 1 電話機の手話器を上げます。
- 2 * * 1 * 4 * 7 3 * 3 # と押します。
- 3 手話器を置きます。



INSボイスワープ/INSボイスワープ・セレクトを利用する場合は、転送先の電話番号の設定が必要です。詳細はNTT東日本・NTT西日本へお問い合わせください。

設定を初期化する

『らくらくアシスタント』や『らくらくテレホン設定』で設定した内容はIWX70に内蔵されている不揮発性メモリに書き込まれるので、IWX70の電源を切っても設定は記憶されています。この設定内容を消去し、増設登録をのぞいて工場出荷時と同じ状態にもどすことができます。設定を間違えてIWX70が正しく動作しなくなった場合やはじめから設定をやり直したいときなどに初期化します。

- 1 IWX70のアナログポートに接続した電話機を受話器を上げます。
- 2 電話機のプッシュボタンで[*][*][9][8][*]と押します。
- 3 受話器を置きます。



無線ポートに登録されているPHS電話機の機種や電波の状態によっては、初期化実行後30秒～1分程度PHS電話機が使えないことがあります。



通信中に初期化をおこなうとすべての通信が切断されます。通信が終了してから実行してください。

IWX70の液晶ディスプレイのバックライトを設定する

IWX70 前面の液晶ディスプレイはバックライトで点灯します。バックライトの点灯モードは5種類あり、電話機で設定を変更することができます。

AUTOモード（初期設定）

発信中と着信中に点灯し、それ以外のときは消灯しています。

点灯モード

IWX70の電源がONの間、点灯します。

消灯モード

バックライトは点灯しません。

AUTO + データ通信中点灯モード

AUTOモードのときの点灯に加えて、データ通信中も点灯します。

AUTO + Bチャンネル使用中点灯モード

AUTOモードのときの点灯に加えて、Bチャンネル使用中も点灯します。

- 1 IWX70のアナログポートに接続した電話機を受話器を上げます。
- 2 電話機のプッシュボタンで次のように押します。

[*][*][8][0][2] AUTOモード
[*][*][8][0][1] 点灯モード
[*][*][8][0][0] 消灯モード
[*][*][8][0][3] AUTO + データ通信中点灯モード
[*][*][8][0][4] AUTO + Bチャンネル使用中点灯モード

- 3 受話器を置きます。



停電時はいずれのモードでも液晶ディスプレイは点灯しません。

パソコンを
使って操作する

6-2 電話機で
メニューを設定する

迷惑電話を登録する

いたずら電話など、着信を拒否したい電話を迷惑電話用の電話帳に登録します。迷惑電話を着信した電話機で、かかってきた直後に登録します。迷惑電話の詳細は「5-2. 電話機能」(P.217)を参照してください。

① 迷惑電話を着信したら電話を切ります。

② 着信した電話機の手話器を上げます。

③ と押します。

相手の電話番号が表示されます。

[IWX70 液晶ディスプレイ]


メイワケテ ソウトウロク
03XXXXXXX

④ ① を押します。


03XXXXXXX
キョヒシマス

電話番号を通知していない着信(P:ヒツウチ、C:コウシュウデソウ、O:ヒョウジケンカ)も迷惑電話に登録することができます。この場合は「P:ヒツウチシマスか?」と表示されます。

⑤ を押します。

迷惑電話用の電話帳に登録されます。

⑥ 手話器を置きます。

お知らせ

迷惑電話防止機能を利用するには、INS ネット64の「INS ナンバー・ディスプレイ」を契約します。(P.171)
電話番号が非通知の着信を迷惑電話に登録すると、電話番号を通知していない着信がすべて受けられなくなりますのでご注意ください。

累積料金を表示する

アナログポート、無線ポート、データポートの各ポートごとに通信した累積料金を表示します。

① IWX70 のアナログポートに接続した電話機の手話器を上げます。

② 次のように押します。

アナログポート、
またはデータポート
の累積料金

無線ポートの累積
料金

③ アナログポートまたはデータポートの場合は ④、無線ポートの場合は を押します。

④ と押します。

例 アナログポートを指定したとき

[IWX70 液晶ディスプレイ]


ルイセキ データ
15600円

⑤ を押して表示するポートを切り替えます。

を押すごとに次のように切り替わります。

アナログポートを指定したとき

「ルイセキ シリアル」(シリアルポート) 「ルイセキ USB」(USBポート) 「ルイセキ アナログ A」(電話Aポート) 「ルイセキ アナログ B」(電話Bポート) 「ルイセキ シリアル」

無線ポートを指定したとき

「ルイセキ PHS A」(無線Aポート) 「ルイセキ PHS B」(無線Bポート)… 「ルイセキ PHS F」(無線Fポート) 「ルイセキ PHS A」

累積料金を0円にする場合は、 を押します。すべてのポートの累積料金が0円になります。

6

を押します。

7

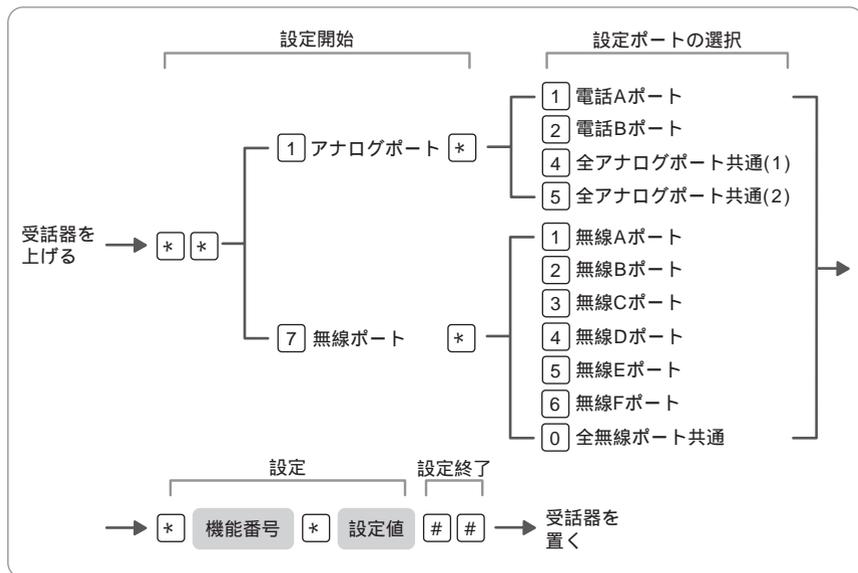
受話器を置きます。



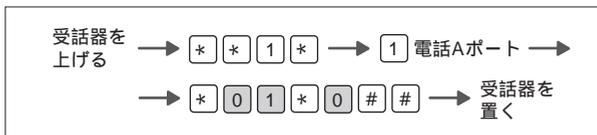
IWX70 の電源を切ると累積料金は初期化されます。

その他の機能の設定のしかた

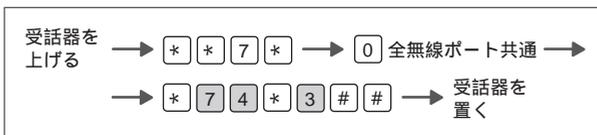
次ページ以降を参照し、機能番号と設定値を にあてはめて電話機のプッシュボタンを押して設定します。



例 電話 A ポートに電話機を接続する設定 (アナログポート / 無線ポート個別設定)



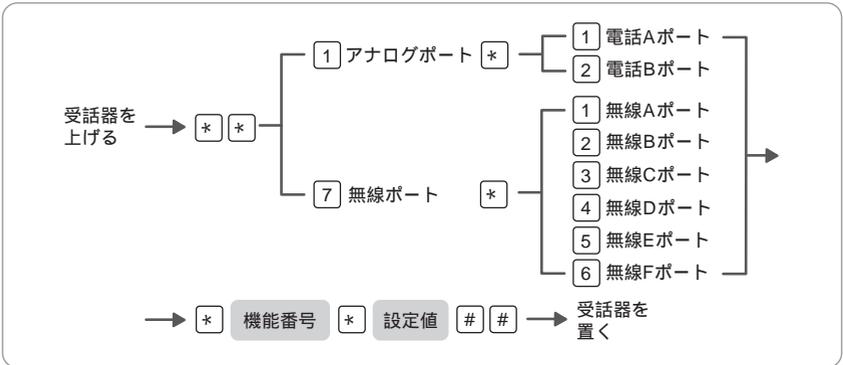
例 ボイスワープ転送モードを「話し中時転送」に設定 (全アナログポート共通設定 1 / 無線ポート共通設定)



設定をおこなう電話機以外は、受話器を置いた状態にしてください。

アナログポート / 無線ポート個別設定

IWX70 の電話 A ポート、電話 B ポート、無線 A ~ 無線 F ポートを個別に設定します。



「設定内容」の太字は初期値

* アナログポートのみの機能

機能	機能番号	設定内容	設定値
接続 / 登録機器選択 (アナログポート 1)	01	電話 (音声)	0
		FAX / モデム	1
		なし	2
接続 / 登録機器選択 (無線ポート)	01	リモートステーション (音声)、PHS (音声)	0
		リモートステーション (FAX/モデム)	1
		音声、FAX/モデム通信をしない (データ通信専用)	2
キャッチホン	02	使用しない	0
		INSキャッチホン	1
		疑似キャッチホン	2
識別着信	03	使用しない	0
		INSなりわけ識別着信	1
		疑似識別着信	2
		INSなりわけキャッチホン / 選択キャッチホン	3
		疑似キャッチホン / 選択キャッチホン	4

機能	機能番号	設定内容	設定値
HLC *	04	使用しない	0
		使用する	1
		使用するが着信判定しない	2
グローバル着信 *	05	着信する	0
		着信しない	1
サブアドレスなし着信 *	06	着信する	0
		着信しない	1
ダイヤル桁間タイム	07	5秒	0
		9秒	1
		11秒	2
		13秒	3
フッキング検出タイム *	08	0.03 ~ 1秒	0
		0.3 ~ 1秒	1
		0.5 ~ 1.5秒	2
発信者番号通知	09	通知しない	0
		通知する	1
		INSネット64の申し込み通り	2
情報通知サービス時のサブアドレス *	11	つけない	0
		つける	1

1)「接続 / 登録機器選択」を「なし」(使用しない)に設定したアナログポートは機能の設定時に選択できません。

パソコンを
使って操作する

6-2 電話機で
メニューを設定する

「設定内容」の太字は初期値

* アナログポートのみの機能

機能	機能番号	設定内容	設定値
受話音量*	12	小	0
		中	1
		大	2
リバースパルス送出*	13	送出しない	0
		送出する	1
通話中の受話音量変更*	14	変更しない (* #無効)	0
		変更する (* #有効)	1
識別リング*	15	使用しない	0
		INSなりわけ	1
		疑似なりわけ	2
キャッチホン・ディスプレイ*	18	使用しない	0
		使用する	1

機能	機能番号	設定内容	設定値
着信番号選択	91	8件の着信番号から 選択 選択：0 次頁：1 選択番号確認：2 次番号参照：3 前番号参照：4	-
相手に通知する電話番号(ダイヤルインサービス のとき)	92	32桁まで (0~9のみ使用)	0~9
サブアドレス	93	19桁まで (0~9のみ使用)	0~9
着信ポート	94	i・ナンバー情報1	1
		i・ナンバー情報2	2
相手に通知する電話番号(i・ナンバー のとき)	95	i・ナンバー情報1	1
		i・ナンバー情報2	2

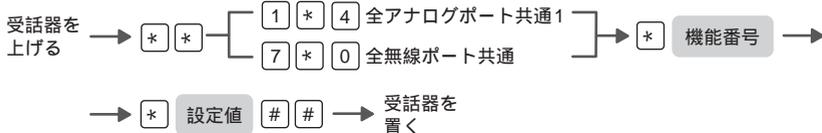
「設定内容」の太字は初期値

機能	機能番号	設定内容	設定値
情報通知サービス*	10	しない	0
		ナンバー・ディスプレイ	1
		モデム・ダイヤルイン ²⁾	2
		アナログ・ダイヤルイン ²⁾	3
		ナンバー・ディスプレイ + モデム・ダイヤルイン	4

- 2) アナログ・ダイヤルインまたはモデム・ダイヤルインを使用する(アナログポートのみ)場合は、「全アナログポート共通設定1/無線ポート共通設定」で内線指定番号を設定します。通常は設定する必要はありません。

全アナログポート共通設定 1 / 無線ポート共通設定

IWX70の電話Aポート、電話Bポート、無線A～無線Fポートに共通の設定をします。



「設定内容」の太字は初期値

* アナログポートのみの機能
** 無線ポートでも使用できる機能

機能	機能番号	設定内容	設定値	機能	機能番号	設定内容	設定値		
無線ポート呼出**	21	全端末一斉呼出	0	着信転送先アドレス*	30	着信転送先(0) / i・ナンバー情報1	0-9		
		無線Aポート	1		31	着信転送先(1) / i・ナンバー情報2			
		無線Bポート	2		32	着信転送先(2)			
				無線Cポート	3	電話番号転送先メールアドレス*	35	転送先メールアドレス(0)	英数字記号 1)
				無線Dポート	4		36	転送先メールアドレス(1)	
				無線Eポート	5		37	転送先メールアドレス(2)	
				無線Fポート	6				
		呼び出さない	7	着信転送元アドレス / サブアドレス2)*	40	着信転送元(0) / i・ナンバー情報1	0-9 1, 2		
停電時の着信(Aポートのみ)*	22	着信ブザー	0		41	着信転送元(1) / i・ナンバー情報2	0-9 1, 2		
		着信リング	1		42	着信転送元(2)	0-9		
		着信なし	3		43	着信転送元サブアドレス(0)	0-9		
優先着信ポート1)*	23	優先なし	0		44	着信転送元サブアドレス(1)	0-9		
		Aポート優先	1		45	着信転送元サブアドレス(2)	0-9		
		Bポート優先	2		短縮・識別番号*	50-59	アドレス部分	0-9	
内線通話 / 内線転送*	24	使用しない	0	60-69		サブアドレス部分	0-9		
		使用する	1	累積料金表示**		70	累積料金クリア	1	
三者通話*	25	使用しない	0			発信時アドレス表示*	71	表示しない	0
		三者通話	1	表示する			1		
		疑似三者通話	2						
通信中転送*	26	使用しない	0						
		使用する	1						
選択着信転送*	28	無条件転送	0						
		INSなりわけ機能による転送	1						
		識別着信転送	2						

パソコンを
使って操作する

6-2 電話機で
MINIを
設定する

- 1) 英数字記号の指定のしかたは添付 CD-ROM に収録されている「データ通信ガイド」(「2-2 . Aterm のメール機能」) を参照してください。
- 2) あわせて「着信番号」を設定してください。

「設定内容」の太字は初期値

* アナログポートのみの機能

機能	機能番号	設定内容	設定値
マイブライベート着信 *	72	使用しない	0
		使用する	1
お出かけモード *	73	おやすみモード	1
		電話着信転送モード	2
		ボイスワープ転送モード	3
		フラッシュモード	4
ボイスワープ転送モード *	74	無条件転送	1
		無応答時転送	2
		話し中時転送	3
		無応答または話し中時転送	4

機能	機能番号	設定内容	設定値
#発信 *	75	発信しない	0
		#で発信する	1
		# #で発信する	2
i・ナンバー *	76	使用しない	0
		使用する	1

機能	機能番号	設定内容	設定値	追加機能	追加設定内容	追加設定値
着信転送 ³⁾ *	27	着信転送	1	転送トーン	なし・なし	0
					あり・なし	1
					なし・あり	2
					あり・あり	3
		疑似着信転送	2		-	
		電話番号着信転送	3		-	
着信番号 *	80 ~ 87	電話番号	0 ~ 9	内線指定番号 ⁴⁾	内線指定番号	0 ~ 9

- 3) あわせて「着信転送先アドレス」、「着信転送元アドレス・サブアドレス」を設定してください。
- 4) アナログ・ダイヤルイン、モデム・ダイヤルイン使用時に設定します。通常は設定する必要はありません。

全アナログポート共通設定 2

IWX70の電話Aポート、電話Bポートに共通の設定をします。

受話器を上げる → * * 1 * 5 * 機能番号 * 設定値 # # → 受話器を置く

機能	機能番号	設定内容	設定値	追加設定	設定値
マイプライベート着信用電話帳 1)	100 ~129	アドレス(32桁) サブアドレス(19桁) P: ヒツチ C: コウシュウデンワ O: ヒョウジケンガイ	0~9 *01 *02 *03	電話Aポート着信	1
				電話Bポート着信	2
				無線A~無線Fポート	4~9
				ページ切替	0
識別リング	200 ~229	アドレス(32桁) サブアドレス(19桁) 2)	0~9	-	-
セキュリティ+選択キャッチホン	300 ~329	アドレス(32桁) サブアドレス(19桁) 2)	0~9	-	-
i・ナンバー情報の電話番号	901	i・ナンバー情報1電話番号の参照/設定	0~9	内線指定番号	0~9
	902	i・ナンバー情報2電話番号の参照/設定			
ボイスワープ番号設定 3)	910	停止番号既存値参照/設定	0~9	-	-
	911	無条件番号既存値参照/設定			
	912	無応答番号既存値参照/設定			
	913	話し中番号既存値参照/設定			
	914	無応答+話し中番号既存値参照/設定			
919	契約者番号参照/設定				

- 1)「マイプライベート着信」を「使用する」に設定した場合に設定します。
- 2)サブアドレスを使用するときは、アドレスを入力したあと [#] [*] を押してからサブアドレスを入力します。通常はサブアドレスの指定は必要ありません。
- 3)機能番号910~914の番号設定は、INS ネット64の付加サービス「INSボイスワープ」で変更された場合に設定します。通常は設定しません。

パソコンを
使って操作する
6-2 電話機で
W/M/L/Oを設定する

6-3 . 電話機でRS20を設定する

RS20のアナログポートに接続された電話機でアナログポートの設定をします。

RS20には1～8のスイッチがあり、スイッチのON/OFFを切り替えて設定します。RS20の液晶ディスプレイを見ながら操作します。

パソコンを接続している場合は『らくらくアシスタント』を使ってパソコンで設定することをおすすめします。

RS20らくらくテレホン設定

① RS20のアナログポートに接続した電話機の手受器を上げます。

② 電話機の手受器ボタンを **[*]** **[*]** **[1]** と押します。

RS20の液晶ディスプレイにスイッチ設定変更画面が表示されます。

[RS20液晶ディスプレイ]



SW 1 セットイハンコウ

③ **[*]** を押します。



SW 1 1 2 3 4 5 6 7 8
■ □ □ □ □ □ □ □

工場出荷時の状態

④ P.279を参照し、設定値を押します。スイッチの1～8が電話機の手受器ボタン **[1]** ～ **[8]** に対応します。

のスイッチは に、 のスイッチは になります。

例 **[8]** を押した場合



SW 1 1 2 3 4 5 6 7 8
□ □ □ □ □ □ ■ □

⑤ **[#]** を押します。

設定が終了し、次の画面が約7秒間表示されます。



セットイカンリョウ

設定が保存されると通常の表示にもどります。

⑥ 手受器を置きます。



設定中に電話機の手受器を置くとRS20の液晶ディスプレイには「セットイチュウダ`ン」と表示され、設定値は保存されません。もう一度ははじめから操作してください。

スイッチ設定値

「設定内容」の太字は初期値

機能	設定内容	設定値							
		1	2	3	4	5	6	7	8
受話音量	小								
	中								
	大								
	設定不可								
ナンバー・ディスプレイ	する								
	しない								
ナンバー・ディスプレイ時のサブアドレス表示	する								
	しない								
ダイヤル桁間 タイマ	5秒								
	9秒								
	11秒								
	13秒								
フッキング検出 タイマ	0.03～1秒								
	0.3～1秒								
	0.5～1.5秒								
	設定不可								

設定を初期化する

『らくらくアシスタント』や『らくらくテレホン設定』で設定した内容はRS20に内蔵されている不揮発性メモリに書き込まれるので、RS20の電源を切っても設定は記憶されています。この設定内容を消去し、増設登録をのぞいて工場出荷時と同じ状態にもどすことができます。設定を間違えてRS20が正しく動作しなくなった場合やはじめから設定をやり直したいときなどに初期化します。

- 1 RS20のアナログポートに接続した電話機の受話器を上げます。
- 2 電話機のプッシュボタンで と押します。
- 3 受話器を置きます。

パソコンを使わず
ないで操作する

6-3 電話機でRS20を設定する

7

お困りのときには

思いどおりに動作しないときの解決方法やIWX70、RS20を購入時の状態にもどす手順などを説明します。

困ったときのQ&A

IWX70・RS20を購入したときの状態にもどす

ハイパーターミナルで接続を確認する

自己診断

Windows® 2000はMicrosoft® Windows® 2000 operating systemの略です。
Windows® 98はMicrosoft® Windows® 98 operating systemの略です。
Windows® 95はMicrosoft® Windows® 95 operating systemの略です。
WindowsNT® 4.0はMicrosoft® WindowsNT® operating system version 4.0の略です。

7-1 . 困ったときのQ&A

IWX70、RS20を使っていて疑問があったり、正しく動作しないときにお読みください。USBに関するQ&AはP.300を参照してください。

IWX70・RS20に関するQ&A

こんなとき	症状	原因と対策
正常に動作しない原因がわからない	-	Atermが正常に動作しない場合の原因は、設定に誤りがあることが多いようです。Atermをいったん工場出荷時の状態にもどして、あらためて設定をやり直してみてください。ただし、増設登録をのぞいてすべての設定値が工場出荷時の状態にもどるので注意してください。 受話器を上げる [*][*][9][8][*] 受話器を置く IWX70前面のファンクションボタンを使って工場出荷時の状態にもどすこともできます。(P.255)
電源を入れたとき	1 . POWER (PWR) ランプが点灯しない、または液晶ディスプレイに何も表示されない	電源プラグが外れている 電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。 電源が入っていない 電源スイッチの「-」(ON)を押した状態にしてください。 電源プラグがパソコンのコンセントに差し込まれている パソコンのコンセント(サービスコンセント)にAtermの電源プラグを差し込まないでください。またIWX70に停電対策用の電池が入っている場合はパソコンの電源を切ると停電モードになり、電池が消耗します。
	2 . MSGランプが点滅している	BIGLOBEのメール着信通知サービスに加入している場合は、電子メールが届いたことをお知らせしています。 UUIメールが届いたことをお知らせしています。 『UUIメールEX』を使って消灯させることができます。または、電話機の受話器を上げて、 [*][*][0] とダイヤルすると消灯します。
	3 . RS20で通信していないのにSD/RDランプが点灯する	DOS/V機などを使用している場合で、誤ってパソコンのプリンタポート(25ピンコネクタ)に接続している 接続しているパソコンのコネクタがCOMポート(シリアルポート)かどうか、パソコンの取扱説明書で確認してください。 一部のパソコンでは、パソコンの電源を切ってもSD信号を出している機種があります パソコンの電源コードを抜けば消えます。通信に支障がなければそのままお使いください。

こんなとき	症状	原因と対策
電源を入れたとき	4．液晶ディスプレイに「カイセンシヨウガイレイヤ1ダウン」と表示される	<p>INSネット64とAterm間で回線の電気信号などの基本的なやりとりができていない</p> <p>INS回線ケーブルが外れている</p> <p>添付のINS回線ケーブルでIWX70と回線側コンセント（モジュラコンセント）を接続してください。</p> <p>回線の極性が反転している</p> <p>底面のINS回線リバーススイッチ（RVS/NOR）を反対側に切り替えてください。</p> <p>INSネット64への切り替えが完了していない</p> <p>INSネット64への切り替えが完了しているかをNTT東日本またはNTT西日本に確認してください。</p> <p>電話回線にガスの自動検針器が接続されている</p> <p>アナログ電話回線からINSネット64に契約を変更した場合は、電話回線にガスの自動検針器が接続されたままになっている場合があります。ガス供給業者に問い合わせの上、接続されている場合は撤去を依頼してください。</p>
	5．液晶ディスプレイに「カイセンシヨウガイレイヤ2ダウン」と表示される	<p>INSネット64とAterm間でエラー回復機能などの基本的なやりとりができていない</p> <p>電話回線にガスの自動検針器が接続されている</p> <p>アナログ電話回線からINSネット64に契約を変更した場合は、回線にガスの自動検針器が接続されたままになっている場合があります。ガス供給業者に問い合わせの上、接続されている場合は撤去を依頼してください。</p> <p>Atermが故障している</p> <p>「自己診断」をしてAtermが故障していないか、確認してください。（P.315）自己診断の結果が正常の場合は、NTT東日本またはNTT西日本にご相談ください。</p>
	6．IWX70で通信していないのにDATAランプがほんのり点灯する	<p>お使いのパソコンがPC98-NX Mate（Windows2000）の場合、通信していないときでもDATAランプが暗く点灯しますが、故障ではありません。</p>
電話が使えないとき	1．受話器を上げても音がしない	<p>Atermの電源が入っていない</p> <p>電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。IWX70の電源スイッチの「-」（ON）を押した状態にしてください。</p> <p>Atermと電話機が正しく接続されていない</p> <p>Atermのアナログポートと電話機の回線（LINE）コネクタを電話機に添付されている電話機接続コードで接続してください。</p>

こんなとき	症状	原因と対策
電話が使えないとき	2. 受話器を上げると「ブー ブー」という音がする	<p>INSネット64とAterm間で基本的なやりとりができていない 「電源を入れたとき」の4.5.(P.283)を参照してください。</p> <p>アナログポートを「使用しない」に設定している</p> <p>アナログポートを使用可能にします。 受話器を上げる [*][*][1][*]【1】 [*][0][1][*]【2】 [#][#] 1: Aポート 0: 電話 2: Bポート 1: FAX/モデム</p> <p>受話器を置く</p>
	3. 電話がかけられない	<p>電話機の設定がトーン (PB) になっていない</p> <p>電話機の取扱説明書を参照し、ダイヤル方式をトーン (PB) に切り替えてください。</p> <p>疑似キャッチホン、疑似三者通話、疑似着信転送中である</p> <p>疑似キャッチホン、疑似三者通話、疑似着信転送中は、Bチャンネルを2つ使用するので、あらたに電話をかけることはできません。</p> <p>128kマルチリンクPPP通信をしている</p> <p>128kマルチリンクPPP通信中はBチャンネルを2つ使用するので、電話はかけられません。</p> <p>INSネット64の付加サービス「通信中着信通知サービス」(無料)を契約し、「リソースBOD」の設定をして電話をかけられるようにすることをおすすめします。</p> <p>データポートでマルチアクセスをしている</p> <p>マルチアクセス中はBチャンネルを2つ使用するので、電話はかけられません。</p>
	4. 電話をかけたときにつながるまでが長くなった	<p>ダイヤル桁間タイマがはたらいて、最後にダイヤルしてから発信するまで5秒以上かかる</p> <p>ダイヤル後、[#]を押すとすぐに発信します。</p>
	5. LCR機能付き電話機を使用したときに電話がかからない	<p>LCR機能がある電話機を使用していると、ダイヤルしている途中で発信する</p> <p>ダイヤル桁間タイマを5秒(初期値)より長くします。 受話器を上げる [*][*][1][*]【1】 [*][0][*]【2】 [#][#] 1: Aポート 1: 9秒 2: Bポート 2: 11秒 3: 13秒</p> <p>受話器を置く</p>

こんなとき	症状	原因と対策
電話が使えないとき	6. 受話器を上げても無音である、またはかかってきたときに着信音は鳴るが、受話器を上げても通話ができない、またはかけたときに相手が応答すると通話が切れる	<p>電話機が秘話回路を内蔵している</p> <p>秘話回路とはブランチ接続（1つのアナログポートに複数台の電話機が接続されること）されている電話機の1台が使用中に、他の電話機が回線を使わないようにする回路です。</p> <p>電話機使用中の検出電圧が高いと秘話回路がはたらくことがあります。</p> <p>電話機の取扱説明書を参照の上、秘話回路を使用しないようにしてください。</p>
	7. 電話の着信音が鳴らない	<p>様々な原因が考えられますが、設定に誤りがあることが多いです。以下の内容を参照し、原因を追及してください。</p> <p>また、工場出荷時にはすべてのアナログポートが呼び出されるように設定されており、機能の設定をおこなうことによって着信条件を変更していきます。Atermを工場出荷状態の設定にもどして、呼び出しができることを確認してから再度設定するのも有効な方法です。その際、増設登録をのぞいてすべての設定値が工場出荷時の状態にもどるので注意してください。</p> <p>ダイヤルインサービスの契約をしている場合に、グローバル着信の設定が間違っている</p> <p>INSネット64で契約した「グローバル着信」を利用する／しないの内容に、Atermの設定を合わせてください。（ P.183 ）</p> <p>優先着信ポートが指定されている</p> <p>優先着信するアナログポートがあいていると、そのアナログポートだけが呼び出されます。優先着信するポートが使用中のときのみ、他のアナログポートが呼び出されます。</p> <p>必要がなければ設定しないでください。（ P.188 ）</p> <p>識別着信（INSなりわけ、疑似識別着信）が設定されている</p> <p>識別着信が設定されていると、登録した相手からの着信以外は応答しくくなります。</p> <p>必要がなければ設定しないでください。（ P.210 ）</p> <p>お出かけ設定（おやすみモード、電話着信転送モード、ボイスワープ転送モード、フラッシュモード）が設定されている</p> <p>お出かけ設定のおやすみモードやフラッシュモードに設定してあると、着信音は鳴りません。電話着信転送モード（INS着信転送、疑似着信転送）やボイスワープ転送モードが設定されていると、設定した転送条件のときだけ着信音が鳴らずに転送されます。着信音を鳴らすときはお出かけ設定を解除してください。（ P.193 ）</p> <p>サブアドレスが違っている</p> <p>相手（INSネット64加入者）が指定したサブアドレスが、Atermに設定してあるサブアドレスと違っています。サブアドレスを使用しないのであれば、サブアドレスを指定せずに「サブアドレスなし着信する」に設定してください。（ P.190 ）</p>

こんなとき	症状	原因と対策
電話が使えないとき	7. 電話の着信音が鳴らない(続き)	<p>HLC (高位レイヤ整合性) が一致しない</p> <p>INSネット64に接続されている相手がHLCを指定してきたが、Atermに設定してあるHLCと違っています。HLCを「設定しない」にしてください。(P.226)</p> <p>i・ナンバーまたはダイヤルイン番号の呼び分けがうまくできない</p> <p>i・ナンバーまたはダイヤルイン番号をもう一度正しく設定してください。(P.180、183)</p> <p>Mac OS 8.0内蔵のCCLファイルでインターネットアクセスをしている場合、設定値が初期化されている</p> <p>添付CD-ROMに入っているCCLファイルと置き替えてください。</p>
	8. 電話の着信音が短く鳴り、受話器を上げると切れる、またはファクスの信号のような音がする	<p>ナンバー・ディスプレイ、モデム・ダイヤルイン、アナログ・ダイヤルインに対応していない電話機を接続しているのに、ナンバー・ディスプレイ、モデム・ダイヤルイン、アナログ・ダイヤルインの設定をしている</p> <p>上記のサービスを「使用しない」に設定してください。</p>
	9. 留守番電話機などで相手が受話器を置いても電話が切れない	<p>留守番電話機が回線切断時のリバースパルスを検出して切断するしくみになっている</p> <p>相手切断時にIWX70からリバースパルスを出す設定にします。</p> <p>受話器を上げる</p> <p><input type="checkbox"/> * <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> * <input type="checkbox"/> 【1】 <input type="checkbox"/> * <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> * <input type="checkbox"/> 【2】 <input type="checkbox"/> # <input type="checkbox"/> #</p> <p>1 : Aポート 1 : リバースパルスを出す</p> <p>2 : Bポート 0 : リバースパルスを出さない</p> <p>受話器を置く</p>
	10. 電話を転送できない	<p>携帯電話やPHS電話機の電源が切れているか、通話圏外になっている</p> <p>携帯電話やPHS電話機が使用できることを確認してください。</p>
子機が使えないとき	1. RS20につないだ電話機やPHSが通話可能状態にならない	<p>IWX70とPHS電話機の増設登録が済んでいない</p> <p>お近くのNEC保守サービス受付拠点またはPCクリーンスポット、お買い求めの販売店にご相談ください。(P.344)</p> <p>PHSの待ち受けモードが正しく設定されていない</p> <p>PHS電話機をIWX70のコードレス子機として使用する場合、PHSの待ち受けモードを「オフィス(構内)モード」にします。PHS電話機の取扱説明書を参照の上、設定してください。</p>

こんなとき	症状	原因と対策
子機が使えないとき	1. RS20につないだ電話機やPHSが通話可能状態にならない	<p>IWX70の電源が入っていない</p> <p>IWX70のPOWERランプとPHSランプが点灯していることを確認してください。なお、電源を入れてからPHS電話機が通話可能状態になるまで、しばらく時間がかかります。</p> <p>IWX70とRS20の距離が離れすぎている</p> <p>RS20のPHSランプが緑色に点灯しているか確認してください。緑色に点灯しない場合はIWX70とRS20を近づけます。IWX70から子機に無線で電波が届く範囲は、間に障害物が何もない状態で約100mです。鉄筋壁、防音壁、断熱壁、電波を出す他の機器の有無などの設備環境によっては、100m以内でも電波が届かないことがあります。</p> <p>2台同時にPHS電話機を使っている。または、RS20などでデュアルリンクワイヤレス通信をしている</p> <p>IWX70で同時に使える無線ポートは2つまでです。他の子機が使用中でないか確認してください。IWX70のPHSランプが赤色に点滅している場合は、無線ポートが2つとも使用中の状態です。他の子機の通信が終わるのを待ってご使用ください。</p>
	2. RS20やPHSから電話がかけられない	<p>PHS電話機が通話可能状態になっていますか</p> <p>「子機が使えないとき」の1. を参照してください。</p> <p>無線ポートの設定は正しいですか</p> <p>『らくらくアシスタント』で、「無線ポート」の設定を「リモートステーション、PHSで利用」に設定してください。</p> <p>IWX70の他のポートが通信中、または相手が使用中ではないですか</p> <p>PHS電話機の(通話)ボタンを押してダイヤルトーン(ツーン)を確認してください。回線が使用中の場合は、ビジートーン(ブープー)が聞こえます。</p> <p>PHSの一括発信(ダイヤル番号を押してから(通話)ボタンを押す方法)で、すぐに発信するための最後の[#]を入れている</p> <p>PHS電話機では一括発信の[#]は使えません。一括発信は[#]のかわりに(通話)ボタンを使いますので、相手先番号のみ押してください。</p> <p>近くで複数のデジタルコードレス電話機が使われている</p> <p>他のデジタルコードレス電話機が近くで使われている場合、電波の干渉によりうまく接続できないことがあります。しばらく待ってからかけ直してください。</p> <p>IWX70の電源が入っていない</p> <p>IWX70の電源が切れてからPHSが通話可能状態になるまでは、しばらく時間がかかります。IWX70のPOWERランプとPHSランプが点灯しているか確認してください。</p>

こんなとき	症状	原因と対策
子機が使えないとき	2. RS20やPHSから電話がかけられない(続き)	RS20のシリアルポートまたはUSBポートが使用中である RS20のシリアルポートまたはUSBポートはアナログポートと同時に使用することはできません。データポートの通信が終わってから使用してください。
	3. RS20やPHSからデータ通信ができない	PHS電話機が通話可能状態でない 「子機が使えないとき」の1.(P.287)を参照してください。 他の子機がプロトコル変換モードを使用中である すでに他の無線ポートがプロトコル変換モードで通信中の場合は、プロトコル変換モードは使えません。他の無線ポートの通信が終わるの待ってからご使用ください。 PHS公衆網(NTTDoCoMoやASTEL)が提供しているサービスに、IWX70経由でアクセスしている PIAFSネットやPTEサービスにINSネット64経由でアクセスすることはできません。公衆モードでアクセスしてください。 他のPHS電話機やRS20などの子機が使用中である 内線データ通信はできません。 RS20のアナログポートを使用中である RS20のシリアルポートまたはUSBポートとアナログポートを同時に使用することができません。 アナログポートの通話が終わってから使用してください。 IWX70のデータポートが使用中、またはPHS電話機など他の無線ポートが使用中である IWX70のデータポートが使用中、または他の無線ポートが使用中は、デュアルリンクワイヤレス通信またはプロトコル変換モードのデータ通信はできません。同時に使用したい場合は、デュアルリンクワイヤレス通信をOFFにし、PIAFSスルーモードに設定を変更してPIAFS対応のアクセスポイントに接続してください。
お出かけ設定ができないとき	でかけるボタンを押してもランプが点灯、または消灯しない	でかけるボタンがロックされている [SELECT] ボタンと  ボタンを同時に押してロックを解除してください。

こんなとき	症状	原因と対策
ファクス通信ができないとき	1. ファクス通信ができない	<p>電話が使えないときの症状が当てはまる場合があります。対策はファクスでも同様です。「電話が使えないとき」を参照してください。</p> <p>相手のファクスがG4タイプのファクスである</p> <p>アナログポートに接続したファクスは、G3モードに対応していないG4タイプのファクスとは通信できません。</p> <p>ファクスの回線種別を自動選択する機能がONになっている</p> <p>INSネット64に接続したターミナルアダプタでは、ファクスの回線種別を自動選択する機能は使用できません。ファクスの取扱説明書を参照し、手動で回線種別を選択してください。回線種別はトーン（PB）にします。</p> <p>データポートからファクス通信はできません</p> <p>アナログポートに接続して使用してください。</p>
	2. 着信しない	<p>アナログポートの設定が「電話」になっている</p> <p>「ファクスまたはモデム」に設定します。</p> <p>受話器を上げる</p> <p>☎ * 1 ☎ 【 】 * 0 1 * 1 # #</p> <p>1: Aポート 2: Bポート</p> <p>受話器を置く</p> <p>F ネットの無鳴動着信機能を利用している</p> <p>無鳴動着信をするには、アナログポートから特殊な周波数をファクスに送出します。Atermでは対応していないため利用できません。</p>
	3. 発信しても相手から切断される	<p>相手側のターミナルアダプタの設定が間違っている</p> <p>相手側のターミナルアダプタの設定を確認してもらってください。</p>
	4. 実際には着信していないのに自動着信することがある、またはファクスから発信できない	<p>ノイズで誤って無鳴動着信をしている</p> <p>パソコンを接続している場合は、パソコンのアース線を接続してください。</p> <p>ファクスの取扱説明書を参照し、ファクスを無鳴動着信をしないように変更してください。</p>
モデム通信ができない、速度が出ないとき	1. モデム通信ができない、または速度が出ない	<p>「電話が使えないとき」の2.（ P.284 ）を参照してください。</p> <p>パソコンのモデムの設定がトーン（PB）になっていない</p> <p>モデムの取扱説明書を参照し、ダイヤル方式をトーン（PB）へ切り替えてください。</p> <p>Atermの受話音量がモデムと合わない</p> <p>受話音量を「小」または「大」に設定して試してください。（ P.155 ）</p>

こんなとき	症状	原因と対策
モデム通信ができない、速度が出ないとき	1. モデム通信ができない、または速度が出ない(続き)	モデムがダイヤルトーンを検出していない モデムの取扱説明書を参照し、パソコンのモデムの設定を「ダイヤルトーンを無視する」にしてください。 モデムをデータポートに接続している データポートではモデム通信はできません。アナログポートに接続してください。
	2. モデムの通信スピードが遅い	回線が混雑している 回線状態によっては、通信スピードが上がらない場合があります。一度切断してから再度通信してください。 モデムの送出レベルが低い モデムの取扱説明書を参照し、モデムの送出レベルを上げてください。
らくらくアシスタント、らくらくバージョンアップが起動しないとき	1. 「COMポートは他のプログラムで使用されています。…」または「モデムは他のプログラムで使用中です。…」と表示される	COMポート(シリアルポート)やモデムポート、プリンタポートを使用する他のアプリケーションが起動している そのアプリケーションを終了してください。 通信アプリケーションで着信待ちの状態に設定されている場合もあるので、着信待ちをいったん外してください。 『らくらくアシスタント』と『らくらくバージョンアップ』を同時に起動しようとした 同時に動かすことはできません。 データポートやPHS電話機を使用して通信中である 通信を終了してください。 ダイヤルアップサーバを起動している ダイヤルアップサーバを終了してください。 Windows® 2000の場合は以下の操作で着信接続を削除してください。 (1)  [設定] [コントロールパネル] を選択します。 (2) [ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンをダブルクリックします。 (3) [着信接続] を削除します。
	2. 「Atermが見つかりません。」または「Atermが接続されているポートが見つかりません。」と表示される	IWX70の電源スイッチが入っていない 電源スイッチの「-」(ON)を押した状態にしてください。 Atermとパソコンを接続しているケーブルが外れている ケーブルを正しく接続してください。 パソコンのプリンタポートなどに誤って接続している 接続しているパソコンのコネクタがCOMポート(シリアルポートまたはUSBポート)かどうかを、パソコンの取扱説明書で確認してください。

こんなとき	症状	原因と対策
らくらくアシスタント、らくらくバージョンアップが起動しないとき	2. 「Atermが見つかりません。」または「Atermが接続されているポートが見つかりません。」と表示される	パソコンにモデムが内蔵されている場合、モデムが占有しているCOMポート（シリアルポートまたはUSBポート）またはモデムポート、プリンタポートにAtermを接続している 別の空いているCOMポートまたはモデムポート、プリンタポートに接続してください。
	3. IWX70らくらくバージョンアップが失敗した、またはPOWERランプが赤色点滅し、液晶ディスプレイに「ローダモードA」と表示されている	バージョンアップするファームウェアのファイルを間違えた ファームウェアがバージョンアップしようとしている機種のもので確認してください。バージョンアップできないときは、ディップスイッチを変更し、強制ダウンロードモードを実行してください。（ P.336） AtermStationからダウンロードした圧縮ファイルを解凍せずに使用していませんか。解凍してから使用してください。 バージョンアップの途中でIWX70とパソコンを接続するケーブルが外れた 接続ケーブルを正しく接続した後、再度『らくらくバージョンアップ』でバージョンアップしてください。 バージョンアップできないときは、強制ダウンロードモードを実行してください。（ P.336）
	4. RS20らくらくバージョンアップが失敗した、またはPWRランプが赤色に点滅し、液晶ディスプレイに「ローダモードA」と表示している	バージョンアップの途中でRS20とパソコンを接続するケーブルが抜けた 接続ケーブルを正しく接続した後、再度『らくらくバージョンアップ』でバージョンアップしてください。 バージョンアップできないときは、強制ダウンロードモードを実行してください。（ P.337）
	5. MacintoshでIWX70らくらくアシスタントが起動しない	[システム]フォルダの[初期設定]フォルダの中の「IW70.ini」と「IW70.tel」ファイルを捨て、パソコンを再起動します。そのあと再度『らくらくアシスタント』を起動してみてください。
	6. 「ログオン中のユーザーにAdministrator権限がありません」と表示される	Windows2000でAdministratorの権限がない Administrator権限のあるユーザー名でログオンし直して設定してください。 以下の操作でAdministratorの設定をしてください。 （1）  [設定] [コントロールパネル] を選択します。 （2） [ユーザーとパスワード] アイコンをダブルクリックします。 （3） 「このコンピュータを使うには、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります」を <input checked="" type="checkbox"/> にします。 （4）  ボタンをクリックし、画面の指示にしたがって設定します。

こんなとき	症状	原因と対策
<p>らくらくアシスタント、らくらくバージョンアップが起動しないとき</p>	<p>7. らくらくアシスタントの「オンラインユーザー登録」をダブルクリックしたらブラウザが起動され、エラー表示される</p>	<p>Macintoshの設定によっては、本症状が発生します。次のどちらかの対策をしてください。</p> <p>リモートアクセスで手動で接続する。</p> <p>ブラウザ起動時に自動接続するようにMacintoshを設定する</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) [アップルメニュー] - [コントロールパネル] [リモートアクセス]をクリックする (2) <input type="checkbox"/> オプション ボタンをクリックする (3) [プロトコル] タブをクリックする (4) 「TCP/IP利用アプリケーション起動時に自動接続する」にチェックをする (5) <input type="button" value="OK"/> ボタンをクリックして終了する (6) 「設定内容を現在の設定に保存しますか」で <input type="button" value="保存"/> ボタンをクリックする <p>自動接続した場合は通信料金がかかりますので注意してください。</p>
<p>データ通信ができないとき</p>	<p>接続できない</p>	<p>回線があいていない</p> <p>電話を2台同時に使用するなど、回線があいていない場合は接続できません。回線があいてから接続し直してください。</p> <p>パソコンとケーブルが正しく接続されていない</p> <p>パソコン側の接続ポートを間違えていないか、ケーブルがしっかり差し込まれているか確認してください。</p> <p>Atermを接続しているCOMポート（シリアルポート）が、使用する通信ソフトウェアの設定と合っていない</p> <p>通信ソフトウェアの設定を合わせてください。 Windows® 98/Windows® 95を使用している場合は、「7-3. ハイパーターミナルで接続を確認する」を参照して、接続されているCOMポートを確認してください。（ P.313 ）または『らくらくアシスタント』を起動すると使用しているポートが画面に表示されますので、そこで確認することもできます。</p> <p>回線を使う通信ソフトなどのアプリケーションが他に起動している</p> <p>回線を使用するアプリケーションが起動していると通信できないことがあります。そのアプリケーションを終了してください。</p> <p>自動発信の規制にかかっている</p> <p>通信相手が話中の場合、Atermが同一番号に再発信する回数は、最初の発信から数えて3分間で2回以内に制限されています。別の番号にかけるか、または最初の発信から3分以上待ってから接続し直してください。</p>

こんなとき	症状	原因と対策
データ通信ができないとき	接続できない	<p>リザルトコードが返らない設定になっている</p> <p>Windows 98/Windows 95を使用する場合は、「7-3. ハイパーターミナルで接続を確認する」で「atq0v1x3」と入力してください。(P.313) Macintoshの場合は、ATコマンドが使用できる通信ソフトウェアを用意して同じコマンドを入力してください。</p> <p>また、工場出荷状態にもどして試してみるのも有効です。ただし、増設登録をのぞいてすべての設定値が工場出荷状態にもどるので注意してください。 工場出荷時の状態にもどす 受話器を上げる <input type="button" value="ⓧ"/> <input type="button" value="ⓧ"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="ⓧ"/> 受話器を置く IWX70前面のファンクションボタンを使って工場出荷時の状態にもどすこともできます。(P.255)</p>
<p>インターネットがうまくいかないとき</p> <p>(Aterm の液晶ディスプレイに表示される主な切断理由番号を参考までに記載します)</p>	1. 接続できない	<p>「データ通信ができないとき」の症状が当てはまる場合がありますので、そちらも参照してください。</p> <p>回線が混雑している (切断理由 #017)</p> <p>時間帯によっては回線が混んでいて接続できないことがあります。何度も接続し直してみるか、少し待ってから接続し直してください。</p> <p>アクセスポイントの電話番号が間違っている</p> <p>INS ネット64用の電話番号を別に設けているプロバイダがあります。INS ネット64用の電話番号にかけてください。(切断理由 #003)</p> <p>同期64K用と非同期用のアクセスポイントが異なることがあります。使用するモデム定義ファイル (Windows)、CCLファイル (Macintosh) に合わせたアクセスポイントの電話番号にかけてください。(切断理由 #001~003、028、029、031)</p> <p>ユーザIDとパスワードが間違っている (切断理由 #016)</p> <p>プロバイダから発行されたユーザIDやパスワードを確認してください。また、設定値が半角になっているか確認してください。</p> <p>DNSサーバアドレスの番号が間違っている (切断理由 #016)</p> <p>プロバイダに指定されたDNSサーバアドレスを設定してください。</p> <p>Windows 2000/Windows 98/Windows 95の場合、TCP/IPが二重に登録されている (切断理由 #016)</p> <p>すでにTCP/IPがあればインストールは不要です。複数インストールされていると接続できなくなるので、1つだけ残して他は削除してください。</p>

こんなとき	症状	原因と対策
インターネットがうまくいかないとき	1. 接続できない (続き)	<p>ダイヤルアップネットワークの設定が間違っている</p> <p>ダイヤルアップネットワークのプロパティで、「サーバの種類」の「詳細オプション」はすべてチェックをはずします。</p> <p>Windows98は「データの暗号化を使用する」「この接続のログファイルを記録する」、Windows95は「ネットワークへのログオン」「ソフトウェア圧縮をする」「暗号化パスワードを使う」の項目があります。</p> <p>「使用できるプロトコル」はネットワークプロトコルの「TCP/IP」のみにします。</p> <p>さらに「TCP/IP設定」ボタンをクリックし、「IPヘッダー圧縮を使う」の<input checked="" type="checkbox"/>を<input type="checkbox"/>にしてください。リモートネットワークで既定値の「ゲートウェイを使う」は変更しません。</p> <p>「サーバの種類で互換性のあるネットワークプロトコルの処理ができませんでした。ダイヤルアップネットワークの設定を再度やり直してください」と表示されるのは、Windows95でPC-9800シリーズのパソコンのシリアルポートドライバが古いのが原因です。</p> <p>シリアルポートドライバ作成日を確認してから、必要であればアップデートします。アップデートしないと通信速度を38.4kbps以上にすることができません。以下の手順で実行してください。</p> <p>(1) Windows95を起動し、 [検索] [ファイルやフォルダ]を選択します。</p> <p>(2) 「探す場所」にハードディスクを選択して名前に「SER8251F.VXD」を入力し、検索を開始します。</p> <p>(3) SER8251F.VXD (シリアルポートドライバ)の更新日時が95/11/18よりも古い場合には、次のURLで最新のシリアルポートドライバを入手し、アップデートしてください。通信速度を19.2kbps以下にすると、インターネットへのアクセスは可能です。</p> <p>次のホームページにアクセスし、ファイルをダウンロードしてください。ダウンロードしたファイルはダブルクリックしたあと再起動するとアップデートができます。</p> <p>http://www.microsoft.com/japan/win95/modules/98_158.htm</p> <p>http://www.microsoft.com/japan/win95/modules/98_246.htm (最新版)</p> <p>を検索してください。このファイルは一度ダブルクリックし、再起動するとアップデートできます。</p> <p>モデム定義ファイルがない</p> <p>Windows95からWindows98にバージョンアップした場合は、すでに組み込んであったモデム定義ファイルが削除されることがあります。「モデム情報をインストールする」を参照して組み込んでください。</p>

こんなとき	症状	原因と対策
インターネットがうまくいかないとき	1. 接続できない	<p>WindowsNT® 4.0の場合で、ポートの使い方が「ダイヤルアウトのみ」以外になっている</p> <p>「リモートアクセスサービスを設定する」の⑦で「ダイヤルアウトのみ」に設定すると発信専用になります。着信も受け付ける場合は、「ダイヤルアウトと着信」を選択してください。ただし、「ダイヤルアウトと着信」にするとRAS着信待ちになってCOMポートを占有するため、らくらくアシスタントが起動できなくなります。この場合は、いったん「ダイヤルアウトのみ」に切り替えてから実行してください。らくらくアシスタント設定後、「ダイヤルアウトと着信」にもどしてください。</p> <p>MacintoshのPerformaシリーズの場合、A/ROSEのチェックがはずれていない</p> <p>[アップル]メニュー [コントロールパネル] [機能拡張マネージャー]の「A/ROSE」のチェックをはずしてください。</p> <p>OSをバージョンアップした際、前の環境が正常に引き継がれていない</p> <p>古いモデム情報を削除したあと、モデム情報やUSBドライバを再インストールしてください。</p> <p>① モデム情報の削除</p> <p>Windows98/95の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> [コントロールパネル]の[モデム]をダブルクリックする [全般]タブをクリックして不要なモデムを選択し、削除 ボタンをクリックする <p>Windows2000の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> [コントロールパネル]の[電話とモデムのオプション]をダブルクリックする [モデム]タブをクリックし、不要なモデムを選択して 削除 ボタンをクリックする <p>② USBドライバの再インストール（USB接続でお使いの場合のみ）</p> <ol style="list-style-type: none"> らくらくアシスタントを起動する [USBドライバのアップデート] ボタンを選択後、次へ ボタンをクリックする [ドライバを再インストールする]を選択し、次へ ボタンをクリックする USBケーブルをはずし、実行 ボタンをクリックする 以降画面の指示にしたがって操作する <p>③ モデム情報の追加</p> <ol style="list-style-type: none"> らくらくアシスタントを起動し、[インターネット接続の設定] ボタンをクリックする 画面の指示にしたがって設定する <p>Windows2000の場合、[ダイヤルアップ]アイコンを右クリック [プロパティ] 構成 ボタンをクリックして、モデムプロトコルが変更されていないか確認してください。</p>

こんなとき	症状	原因と対策												
インターネットがうまくいかないとき	2. PHSやRS20からインターネットに接続しようとすると、すぐに「データセッタン」と表示される	<p>PHS電話機やRS20が登録されている無線ポートの「データ発信モード」が「プロトコル変換モード(同期64K)」に設定されているとき</p> <p>他のRS20などの子機がすでに「プロトコル変換モード」を使用中の場合は接続できません。他のデータ通信が終わるのを待ってから再度接続してください。</p> <p>他のPHS電話機やRS20などの子機が使用中のとき</p> <p>IWX70のPHSランプで無線ポートの使用状況が確認できます。</p> <p>緑の点滅では、無線ポートの1つが使用中です。子機からデュアルリンクワイヤレス通信をおこなうことはできません。</p> <p>赤の点滅では、無線ポートが2つとも使用中です。RS20などの子機のすべての無線通信が使用できません。他の無線ポートの使用が終わるのを待ってください。</p>												
	3. PHSからインターネットにアクセスしたとき、「ユーザー名とパスワードを確認中」のあとにエラーになる	<p>アクセスポイントのプロトコルとIWX70の無線ポートの「データ発信モード」が合っていない</p> <p>PIAFSのアクセスポイントに接続する場合は、無線ポートの「データ発信モード」を「PIAFSスルーモード」に設定してください。</p> <p>同期のアクセスポイントに接続する場合は、無線ポートの「データ発信モード」を「プロトコル変換モード(同期64K)」に設定してください。</p> <p>PHS通信事業者が提供しているPHS専用アクセスポイント(PIAFSネット、PTEアクセスポイントなど)に接続している</p> <p>PHS通信事業者が提供しているPHS専用アクセスポイントには、INSネット64経由からのアクセスはできません。これは利用料をPHS契約者へ請求するため、PHS加入者かどうかをチェックしているためです。プロバイダのアクセスポイントを利用するか、直接PHS公衆網からアクセスしてください。</p>												
	4. その他	<p>Macintoshで「インターネット接続アシスタント」を使っていた場合のトラブルは、アップルコンピュータにお問い合わせください。</p> <p>MacintoshでCCLファイルを使用しないPPPソフトウェアの場合、次のコマンドを入れてください。</p> <table border="1" data-bbox="538 1114 965 1286"> <thead> <tr> <th>アクセスポイント</th> <th>初期設定コマンド</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非同期(38.4/57.6kbps)</td> <td>adq0v1x3\$n1=0¥q3&d1</td> </tr> <tr> <td>同期64kbps</td> <td>atq0v1x3\$n1=1</td> </tr> <tr> <td>128kbpsマルチリンクPPP</td> <td>atq0v1x3\$n11=1</td> </tr> <tr> <td>PIAFS32K</td> <td>atq0v1x3\$n1=2\$n15=0</td> </tr> <tr> <td>PIAFS64K</td> <td>atq0v1x3\$n1=2\$n15=1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(「0」は数字のゼロです。)</p> <p>個別のソフトウェアの設定については、各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。</p>	アクセスポイント	初期設定コマンド	非同期(38.4/57.6kbps)	adq0v1x3\$n1=0¥q3&d1	同期64kbps	atq0v1x3\$n1=1	128kbpsマルチリンクPPP	atq0v1x3\$n11=1	PIAFS32K	atq0v1x3\$n1=2\$n15=0	PIAFS64K	atq0v1x3\$n1=2\$n15=1
アクセスポイント	初期設定コマンド													
非同期(38.4/57.6kbps)	adq0v1x3\$n1=0¥q3&d1													
同期64kbps	atq0v1x3\$n1=1													
128kbpsマルチリンクPPP	atq0v1x3\$n11=1													
PIAFS32K	atq0v1x3\$n1=2\$n15=0													
PIAFS64K	atq0v1x3\$n1=2\$n15=1													

こんなとき	症状	原因と対策
メールが着信しない	BIGLOBEのメール着信通知サービスに加入しているのに、電子メールが届いてもMSGランプが点滅しない	<p>BIGLOBEの通知表示名と『UIIメールEX』で設定した通知表示名が違っている</p> <p>『UIIメールEX』で指定している通知表示名をいったん消去してから、再度入力してください。また、BIGLOBE側の設定で電話番号とオプション設定を確認してください。</p> <p>INSネット64の契約が「ユーザ間情報通知：許可」になっていない</p> <p>INSネット64の契約を「ユーザ間情報通知：許可」にします。自分あてにUIIメールを出して、MSGランプが点滅するかどうか確認してください。点滅すれば契約に問題はありませぬ。</p> <p>データポートに着信番号が通知されるように設定されていない</p> <p>『らくらくアシスタント』で確認してください。</p> <p>『らくらくアシスタント』の設定が「点滅しない」になっている</p> <p>点滅するように設定してください。</p>
接続はするが通信がおかしいとき	速度が遅く感じられる	<p>接続先やインターネットのルートが混んでいると通信速度が遅くなることがあります。</p> <p>時間帯を変えてもう一度接続してみてください。</p> <p>パソコンの設定速度が遅い</p> <p>Windows搭載のパソコンでは、通信形態によってパソコンの設定速度を変更しないと、期待した通信速度が出ません。次のように設定してください。一般的には、高速シリアルボードを購入して通信速度が出るようになります。</p> <p>非同期 / 同期PPP変換（同期64K通信） ・ ・ ・ 115.2kbps以上</p> <p>非同期通信 ・ ・ ・ 基本的に通信速度と同じにする</p>
通話・通信を終了したとき	液晶ディスプレイのB1B2の表示が消えない	<p>液晶ディスプレイに B1B2 のいずれかが表示されたままのときは、IWX70とINSネット64を接続しているケーブルをいったん抜いて、表示が消えることを確認してから再度差し込んでください。これで通信が切断されます。</p>
パソコンの電源を切ったとき	液晶ディスプレイのNY表示が消えない	<p>一部のパソコンでは、パソコンの電源を切ってもER信号をOFFにしない機種があります。そのままだと通信が切断されない場合があります。NYはパソコンの電源コンセントを抜けば消えますが、通信は切断されない場合があります</p> <p>液晶ディスプレイに B1B2 のいずれかが表示されたままのときは、IWX70とINSネット64を接続しているケーブルをいったん抜いて、表示が消えることを確認してから再度差し込んでください。これで通信が切断されます。</p>
停電時に動作しないとき	1. POWERランプが点滅しない	<p>IWX70の電源スイッチがOFFになっている</p> <p>電源スイッチが入った状態でないと停電モードになりませぬ。「-」（ON）にしてください。</p>

こんなとき	症状	原因と対策
停電時に動作しないとき	1. POWERランプが点滅しない(続き)	<p>電池がセットされていない、または+・-を間違えてセットしている</p> <p>市販の単3アルカリ乾電池または別売のニカド電池パックを正しくセットしてください。</p> <p>単3アルカリ乾電池の容量がなくなっている</p> <p>電池を交換してください。</p>
	2. 電話がかけられない	<p>電話Bポートに電話機を接続している</p> <p>停電時に使用できるアナログポートは電話Aポートだけです。電話機を電話Aポートに接続してください。</p>
	3. 電池の使用時間が短い	<p>電話Bポートの電話機を受話器を上げている</p> <p>受話器を置いてください。</p> <p>オプションのS点ユニットにも給電されるので、S点ユニットを使用していると使用時間が短くなります。</p>
累積料金と実際の料金が異なるとき		<p>INSTタイムプラス、INSTテレホーダイ、i・アイプランなどのサービスに加入していたり、PHS公衆網など他事業者経由で通信をおこなっている</p> <p>累積料金と実際の請求額が異なります。Atermは切断時に網から通知された金額をそのまま表示し、累積料金として計算しています。</p> <p>また、PHS公衆網やNCC網などの他事業者と通信をおこなうと料金情報がネットワークから送られないので、累積料金と実際の請求額が異なります。</p> <p>Atermの電源を切った、またはAtermを初期化した</p> <p>累積料金はAtermの電源を切ったり初期化したりすると、0円または前回保存した値にもどります。『らくらくアシスタント』などで累積料金を表示したあとに設定値を保存すると、そのときに表示された累積料金の値が保存されます。</p>
添付CD-ROMをセットしたとき	メニュー画面を表示したくない	<p>CD-ROMをセットすると、メインメニュー画面が表示されるように設定されています。</p> <p>表示したくない場合は、以下のどちらかの方法でメニューを消してください。</p> <p>不要な場合はメニューの[CD-ROMの終了]をクリックします。</p> <p>Windows2000/98/95の場合、<input type="checkbox"/> Shift キーを押しながらCD-ROMをセットします。</p> <p>(Atermだけでなく、ほかのCD-ROMでも表示されません)</p>

こんなとき	症状	原因と対策
添付CD-ROMをセットしたとき	CD-ROMのメインメニュー画面が表示されない	<p>添付CD-ROMのメインメニュー画面をもう一度出したい</p> <p>Windows98/Windows95の場合</p> <p>(1)  [プログラム] [エクスプローラ] を選択します。</p> <p>(2) [CD-ROM] ドライブをダブルクリックします。</p> <p>(3) 「menu.exe」をダブルクリックします。</p>
購入したときの状態にもどりたいとき	-	<p>IWX70の設定を最初からすべてやり直したい</p> <p>IWX70の設定値を工場出荷時の状態にもどします。ただし、増設登録をのぞいてすべての設定値が工場出荷時の状態にもどるので注意してください。</p> <p>受話器を上げる      受話器を置く IWX70前面のファンクションボタンを使って工場出荷時の状態にもどすこともできます。(P.255)</p>
海外で使用したいとき	-	<p>Atermシリーズは日本国内のISDN (INSネット64) で使用することを前提としているため、海外では使用できません。</p>

USB ポートを使用するときの注意

USB ポートに接続する前に以下の点を確認してください。

接続台数

1 台のパソコンの USB ポートに接続できる Aterm は 1 台までです。

IWX70 または RS20 と USB 接続ができる OS

Windows2000/Windows98/Windows95、MacOS8.6以上を搭載したパソコンで利用できます。それ以外のパソコンの場合はシリアルポート(RS-232C)で接続してください。またWindows95の場合はUSB接続できるOSのバージョンが限定されます。以下で確認してください。

Windows95 の場合

Windows95 のバージョンが「OEM Service Release 2.1 (OSR2.1)」以降の場合のみ使用できます。

次の方法でバージョンを確認してください。

- ① **スタート** [設定] [コントロールパネル] を選択します。
[コントロールパネル] ウィンドウが表示されます。
- ② [システム] アイコンをダブルクリックします。
[システムのプロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [全般] タブ内に「Microsoft Windows95 4.00.950B」と表示されていることを確認します。
- ④ **OK** ボタンをクリックします。
[システムのプロパティ] が終了し、[コントロールパネル] ウィンドウにもどります。
- ⑤ [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。
[アプリケーションの追加と削除] 画面が表示されます。
- ⑥ ソフトウェアの一覧に「USB Supplement to OSR2」と表示されているか確認します。

表示されない場合はパソコンの取扱説明書などでUSBポートが使用できるかどうか確認してください。

上記ソフトウェアがインストールされていても、パソコンのBIOSを変更しないとUSBポートが使用できない場合があります。BIOSの設定方法はパソコンによって異なります。お使いのパソコンの取扱説明書を参照してください。
- ⑦ **OK** ボタンをクリックします。
[アプリケーションの追加と削除] が終了し、[コントロールパネル] ウィンドウにもどります。

Windows95のUSBドライバ(USB.D.SYSファイル)のバージョンが「4.03.1212」の場合、USBポートは使用できません。

OHCIコントローラ採用のパソコンでは、USBポートにUSBケーブルを差した状態ではWindows95が終了できない場合があります。

USBケーブルを抜き差しすると、機能が停止してパソコンが動作しなくなることがあります。

PC-9821シリーズとの接続

NEC PC-9821シリーズでUSB接続することはできません。COMポート(シリアルポート)で接続してください。

Windows98 Second Editionへのアップグレード

Windows98 Second Editionへアップグレードしたとき、それまで使っていたUSB環境が継承されないことがあります。その場合はUSBドライバを再インストールしてください。(「3-3.らくらくアシスタントで簡単に設定する」 P.87)

UHCI対応パソコン、OHCI対応パソコンとは

パソコンのUSBホストコントローラの種類です。

Windows98の場合は次の方法で、ご使用のパソコンがどちらに対応しているかを確認できます。

- ① [コントロールパネル]の[システム]をダブルクリックします。
- ② [デバイスマネージャ]タブをクリックします。
- ③ [ユニバーサルシリアルバスコントローラ]カテゴリをダブルクリックします。

表示例

OHCI対応パソコンでは「OpenHCD」という文字が表示されるのが一般的です。

< OHCI対応パソコンの表示例 1 >

□ ユニバーサルシリアルバスコントローラ
└─◇ NEC OpenHCD USB Host Controller

< OHCI対応パソコンの表示例 2 >

□ ユニバーサルシリアルバスコントローラ
└─◇ スタンダード OpenHCD USB ホストコントローラ

他のUSBデバイスとの同時使用

1台のパソコンにAtermと他のUSBデバイスを同時に接続した場合、両デバイスが一つのUSBバスを共用することになります。個々のデバイスの特性や制御方法の違いによってお互いが影響し合い、Atermの通信速度が遅くなったり使用できなくなることがあります。このような場合は、他のデバイスと同時に接続をおこなわないようにしてください。

フロー制御

USBポートで使用する場合、通信ソフトウェアはハードウェアフロー制御(RS-CSフロー制御、CTS-RTSフロー制御)に設定してご使用ください。

Macintosh の場合

Aterm のポートを指定して通信アプリケーションを実行したまま、Aterm のUSB ケーブルを抜いたり、Aterm の電源を切ったりすると、通信アプリケーションとUSB ドライバとの結合がシステムにより解放されます。その後、引き続き通信アプリケーションをご利用になる場合には、通信アプリケーションをいったん終了し、再度実行してください。Aterm に初期化を指示する AT コマンドをターミナルソフトなどで実行した場合も同様です。「atz98」, 「atz99」などをターミナルソフトで実行した場合には再度ターミナルソフトを起動し直してください。

Windows・Macintosh 共通

こんなとき	症状	原因と対策
SD/RDランプが点滅しない	パソコンからRS20へデータを送っているときにSD/RDランプが点滅しない	RS20のUSBポートを使用しているときには、SD/RD(Send Data/Receive Data)ランプは点滅しません。
AtermがUSB接続を認識しない	Atermの電源を入れてからパソコンを起動したが、「USB」「USB by Aterm」と表示されない	AtermがUSB接続を認識していない 再度USBドライバをインストールしてください。パソコンによっては、AtermがUSB接続を認識しないことがあります。 USBケーブルをいったん抜いてから、再度差し込んでください。
動作が不安定なとき	頻繁にフリーズしたりエラーが発生する	システムの再構築などをおこなってから、USBドライバをインストールし直してください。
	表示が遅くなったり、メモリ不足エラーが発生する	インターネット接続を長時間おこなったり、他のソフトウェアを複数起動した場合に、表示が遅くなったり、メモリ不足エラーが発生する アプリケーションを終了するか、パソコンを再起動してください。またはメモリを増設してください。
スリープから復帰できない	スリープしていたときに、キーボードやマウスでスリープの復帰ができない	スリープ状態から復帰しないときには、キーボードとパソコン本体を接続しているUSBケーブルをいったん抜いてから再度差し込んでください。 スリープ機能を制限し、復帰を可能にすることもできます。 Windows2000の場合 (1) [コントロールパネル]の[電源オプション]をダブルクリックする (2) [電源設定]タブをクリックする (3) [電源設定]ボタンから「常にオン」を選択する (4) <input type="button" value="OK"/> ボタンをクリックする Windows98の場合 (1) <input type="button" value="スタート"/> [設定] [コントロールパネル]の[電源の管理]をダブルクリックします。 (2) [電源設定]から[常にオン]を選択します。 (3) <input type="button" value="OK"/> ボタンをクリックします。 Macintoshの場合 (1) [コントロールパネル]の[省エネルギー設定]で、「スリープするまでの非動作時間」のレバーを「しない」にします。 (2) 「より詳しく」をクリックし、表示された画面中央の「画面のスリープを別指定する」、「ハードディスクのスリープを別指定する」をそれぞれクリックし、任意の時間を設定します。
通信速度が遅い	—	接続先のプロバイダやサーバ、接続時間帯、データ転送の特徴などにより、接続回線速度のパフォーマンスが十分得られないことがあります。時間帯を変えるなどして試してください。また、ファイルのアップロードをおこなう場合は、ご利用の通信アプリケーションによってはフロー制御が使用できないなどの理由から通信パフォーマンスが十分得られない場合があります。

こんなとき	症状	原因と対策
USBドライバをインストールしたとき	Windows 98でAtermが「不明なデバイス」として認識される	USBドライバを組み込む途中でキャンセルした 次の手順で「不明なデバイス」を削除してください。 (1) [設定] [コントロールパネル] を選択します。 (2) [システム] をダブルクリックします。 (3) [デバイスマネージャ] タブ内の [不明なデバイス] を選択し、 ボタンをクリックします。
	Windows 2000でAtermが！ USBデバイスとして認識される	USBドライバを組み込む途中でキャンセルした [デジタル署名が見つかりませんでした] 画面が表示された場合は をクリックします。 次の手順で「不明なデバイス」を削除してください。 (1) [設定] [コントロールパネル] を選択します。 (2) [システム] をダブルクリックします。 (3) [ハードウェア] タブをクリックし、[デバイスマネージャ] ボタンをクリックします。 (4) 「モデム」の中の「USBDevice」を選択し、 ボタンをクリックします。
	システムのプロパティに [デバイスマネージャ] がなく、またはコントロールパネルに [モデム] のアイコンがない	お使いのパソコンがPC98-NXシリーズの場合、誤操作からパソコンを守るための仕組みとして、Cyber Trio-NXが入っています パソコンの取扱説明書を参照し、CyberTrio-NXのモードを「アドバンスモード」に切り替えお使いください。
Windowsが動作しなくなる	USBポートを使用する通信アプリケーションを動作させた状態でAtermのUSBケーブルを抜き差ししたり、Atermの電源のON/OFFをするとWindowsが動作しなくなる	パソコンによっては、これらの動作で例外エラーが発生したり、Windowsが動作しなくなることがあります。 通信アプリケーションを終了してからUSBケーブルの抜き差しやAtermの電源のON/OFFをおこなってください。 Windowsが動作しなくなった場合には、 + (または) + キーを同時に押してWindowsを終了させ、パソコンの電源をいったん切ってから再度Windowsを起動してください。
パソコンが動作しなくなる	[Windowsの終了] [MS-DOSモードで再起動する] を選択するとパソコンが動作しなくなる	パソコンの機種によっては、MS-DOSモードで再起動するとパソコンが動作しなくなることがあります。 MS-DOSモードでの再起動を実行しないでください。
Windows 2000で接続するポートを変更するとモデムが増える	Windows 2000で接続するポートを変更するとモデムが増える	パソコンのUSBポートはAtermをインストールしたときに使用していたポートをお使いください。インストールしたときに使用していたポート以外のUSBポートに接続すると新規にモデムが作成されますが、動作に問題はありません。
例外エラーが発生する	-	スタンバイ、サスペンド機能をサポートしているパソコンでスタンバイ、サスペンドを実行すると、例外エラーが発生する場合があります。スタンバイ、サスペンドを実行しないでください。

こんなとき	症状	原因と対策
インターネットに接続できない	バージョンアップしたあとにインターネットに接続できない	<p>USBのCOMポートの割り当てが変更された</p> <p>『らくらくアシスタント』で再度USBドライバのアップデートを実行します。</p> <p>添付CD-ROMの「データ通信ガイド」を参照し、USBドライバを手動でインストールします。</p>
通信中にパソコンの画面表示が遅くなる	通信中にパソコンの画面表示が遅くなったり、マウスポインタが動かなくなる	<p>お使いのパソコンによっては、3Dマウスを使用すると、画面表示が遅くなったり、マウスポインタが動かなくなります。標準のマウスポインタを使用すると解消する場合があります</p> <p>(1) コントロールパネルの [マウス] をダブルクリックし、 [ポインタ] タブをクリックします。</p> <p>(2) 「デザイン」を「なし」にして、 <input type="button" value="OK"/> ボタンをクリックします。</p> <p>Windows 98の場合は次の手順で画面の設定を変更すると解消する場合があります</p> <p>(1) コントロールパネルの [システム] をダブルクリックし、 [パフォーマンス] タブをクリックします。</p> <p>(2) <input type="button" value="グラフィックス"/> ボタンをクリックして [グラフィックスの詳細設定] 画面を表示します。</p> <p>(3) ハードウェアアクセラレータのスライダーを「なし」に移動し、 <input type="button" value="OK"/> ボタンをクリックします。</p> <p>(4) <input type="button" value="OK"/> ボタンをクリックした後、Windowsを再起動します。</p>
ファイルをダウンロードしている途中で止まる	ファイルをダウンロードしている状態で長時間放置するとダウンロードが止まる	<p>パソコンの機種によっては省電力機能により、USBの使用が制限される</p> <p>コントロールパネルの [パワーマネジメント] または [電源の管理] の省電力機能を停止させてください。またパソコンによっては起動時のBIOS設定で省電力の設定をおこなうものもあります。ご使用のパソコンの取扱説明書を参照し、省電力の機能を停止させてください。</p>
電子メール着信通知でエラーになる	電子メール着信通知で「メール通知情報」の読み出しをしているときに、「実行時エラー:5」が発生する	<p><input type="button" value="OK"/> ボタンをクリックしてエラー表示を解除し、再度「メール通知情報」を実行してください。</p>
USBケーブルをパソコンに接続したとき	[「レジストリエディタ」で削除する] に記載されている、右記のキーが見つからない	<p>HKEY_LOCAL_MACHINE¥Enum¥USB¥VID409&PID_0012</p> <p>見つからない場合は、削除しなくても問題ありません。コントロールパネルの [ユニバーサル シリアルバス コントローラ] から [Aterm IT-USB Port Adapter] を削除したときにこのキーが削除されます。</p>
Windows95をインストールしたあとにインターネットに接続できない	らくらくアシスタントでダイヤルアップネットワークアイコンを作成してインターネット接続したが接続できない	<p>左記の条件でダイヤルアップネットワークアイコンを作成した場合、USBポートが割り当てられないことがあります。</p> <p>ポートのプルダウンボタンをクリックして表示される「Aterm IT-USB COMPort Adapter」を選択してください。</p>

こんなとき	症状	原因と対策
パソコンがAtermを認識しない	「COM1ポートにはAtermが正しく接続されていません」と表示される	コントロールパネルの[システム]をダブルクリックし、[デバイスマネージャ]タブ内の[ポート(COM & LPT)]をダブルクリックします。[Aterm IT-USB COMPort Adapter]が割り当てられているCOM番号を選択します。
通信や通信の切断に時間がかかる	ダイヤルアップネットワークの切断が遅い、またはブラウザが起動してデータの表示が遅くなる	お使いのパソコンによっては[アクティブデスクトップ]が表示されていて、そのために動作が遅くなる場合があります コントロールパネルの[画面]をダブルクリックし、[Web]タブ内の「Active DesktopをWebページとして表示」をクリックして にしてください。
通信相手によって通信速度が遅くなる	-	インターネットプロバイダやゲームサーバーなど通信相手によっては、回線が混雑していて、通信速度が遅くなる場合があります。また通信データがショートパケットになるなどの通信条件によってCOMポート(シリアルポート)接続に比べて通信速度が遅くなる場合があります。

Macintosh

こんなとき	症状	原因と対策
USBドライバをインストールしたとき	「USB by Aterm」と表示されない	<p>システムフォルダ内の機能拡張フォルダに「USB Aterm」と「SerialShimLib」がコピーされている必要があります。「USBドライバ」フォルダごと入っている場合は有効になりません。2つのファイルが機能拡張フォルダにコピーされていることを確認してください。</p> <p>RS20のディップスイッチ「1」をONにします。変更後、RS20の電源プラグをいったん抜いてから、再度差し込んでください。</p> <p>AtermをUSBハブなどに接続し、複数のUSB機器を使用している</p> <p>USBハブを外してMacintosh本体のUSBポートに直接接続してください。</p>
USBポートを認識できない	USBポートで通信できない	<p>Macintoshシステムフォルダ内の[機能拡張]フォルダにある[USB Aterm]アイコンが文書になっていると、USBポートが使用できません。</p> <p>USBポートが使用できるように、OSをアップグレードしてください。</p>
インターネットに接続できない	—	<p>Atermの他の機種種のUSBドライバがMacintoshシステムフォルダ内の[機能拡張]フォルダに入っている場合は、正しく接続できません。</p> <p>下記のフォルダが入っている場合は、それらを削除してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・USB AtermIT ・USB AtermITX

USB ネットワークを使用するとき (IWX70 のみ)

こんなとき	症状	原因と対策
USB ネットワークで接続するとき	USB ネットワークに接続しようとしているのにINSネット64に接続される	<p>「所在地」で設定している市外局番や国番号と、ダイヤルアップネットワークの接続先で設定した市外局番や国番号が違っている</p> <p>コントロールパネルの [モデム] (Windows 2000 は [電話とモデムのオプション]) で [所在地] 情報の「市外局番」「国番号」をUSB ネットワーク用の接続先の設定と同じにしてください。</p>
	ダイヤルアップ接続のパスワードを忘れてしまった	ダイヤルアップサーバーのパスワードを解除し、新しいパスワードを設定します。
	ダイヤルアップサーバーで「着信する」を選択できない	<p>他のアプリケーションがAtermを使用している</p> <p>ほかのアプリケーションを使用しているときはダイヤルアップサーバーを動作させることはできません。またダイヤルアップサーバーが動作中は『らくらくアシスタント』などのユーティリティソフトからAtermにアクセスできません。</p>
	ハイパーターミナルなどの通信ソフトを起動しようとするとき「COMポートをオープンできません」とエラーが出る	<p>ダイヤルアップサーバーが着信をおこなうため、常に指定されたモデムやターミナルアダプタがオープンし、モデムやターミナルアダプタが接続されているCOMポートは常に使用中となります。</p> <p>COMポートを直接開く形式の通信ソフトを使用する場合は、ダイヤルアップサーバーを「着信しない」設定に変更してください。</p>
	接続しても [ネットワークコンピュータ] にサーバーパソコンが表示されない	<p>サーバパソコンのアイコンが表示されるまでに時間がかかることがあります。</p> <p>サーバパソコンを検索してみてください。表示されれば動作は正常です。</p> <p>サーバパソコン側で共有設定が正しく設定されていない</p> <p>共有設定を正しく設定してください。</p>
	共有フォルダを開こうとすると何度もユーザー名とパスワードを入力するように表示され、フォルダを開くことができない	<p>入力したパスワードが間違っている</p> <p>正しいパスワードを入力してください。パスワードを忘れた場合は、サーバの共有フォルダを右クリックし、メニューから [共有] を選択します。 [共有名のプロパティ] で新しいパスワードを設定します。</p> <p>サーバがWindows 2000、クライアントがWindows 98/Windows 95の場合にこの現象が起こる場合は、サーバ側で以下の設定をしてみてください。ただしこの設定ではGUESTのアカウントが有効になるので、セキュリティが充分ではなくなります。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) コントロールパネルの [管理ツール] をダブルクリックします。 (2) [コンピュータの管理] をダブルクリックします。 (3) [システムツール] [ローカルユーザーとグループ] [ユーザー] を選択します。 (4) 「GUEST」を選択し、プロパティ ボタンをクリックします。 (5) [全般] タブをクリックし、「アカウントを無効にする」を にします。

7-2 . IWX70・RS20 を購入したときの状態にもどす

『らくらくアシスタント』や『らくらくテレホン設定』で設定した内容はIWX70、RS20に内蔵されている不揮発性メモリに書き込まれるので、IWX70またはRS20の電源を切っても設定は記憶されています。この設定内容を消去し、工場出荷時と同じ状態にもどすことができます。設定を間違えてIWX70やRS20が正しく動作しなくなった場合やはじめから設定をやり直したいときなどに初期化します。

なお、初期化してもRS20などの子機の増設登録は消去されません。

IWX70の初期化

パソコン、電話機、IWX70前面のファンクションボタンを使って初期化します。

パソコンで初期化する

『らくらくアシスタント』を使って初期化します。らくらくアシスタントで初期化した場合、次の設定は消去されません。

電話帳
着信番号 / 通知番号
内線指定番号
自己サブアドレス
累積通信料金
着信転送アドレス
受話音量
時刻設定
増設登録

以降の説明はWindows98搭載のパソコンにIWX70を接続した場合を例に説明します。Windows2000/Windows95/WindowsNT4.0、Macintoshを接続した場合の手順も一部をのぞいて同様です。

1 『らくらくアシスタント』を起動します。

2 [らくらくアシスタントメニュー]で[IWX70&RS20の詳細設定]を選択します。

[ターミナルアダプタの詳細設定]画面が表示されます。

Macintoshの場合は、[IWX70らくらくアシスタント]画面で[設定値の初期化]を選択し、**4**に進みます。

3 IWX70の[全体設定]をクリックし、[設定値の初期化]を選択します。



初期化される項目が表示されます。

4 表示されている内容を確認し、 ボタンをクリックします。



設定した内容が消去されます。

「契約者回線番号のグローバル着信を再設定…」という画面が表示されます。

5 ボタンをクリックします。



[電話番号テーブル]画面が表示されます。

6 i・ナンバーや契約者回線番号、ダイヤルイン番号の設定をします。

設定内容の詳細は「5-2 電話機能」(P.180、183)を参照してください。

電話機で初期化する

IWX70 のアナログポートに接続された電話機のプッシュボタンで初期化します。増設登録をのぞいてすべての設定が初期化されます。

1 IWX70 のアナログポートに接続した電話機の受話器を上げます。

2 電話機のプッシュボタンで **[*]** **[*]** **[9]** **[8]** **[*]** と押します。

[IWX70 液晶ディスプレイ]

シヨキカシマス

3 受話器を置きます。
初期化が終了します。

ファンクションボタンで初期化する

IWX70 前面のファンクションボタンを使って初期化します。増設登録をのぞいてすべての設定が初期化されます。

1 IWX70 前面の **[MENU]** ボタンを押します。

[IWX70 液晶ディスプレイ]

1 : チャクシンリレキ

2 **[SELECT]** ボタンを 3 回押します。

4 : シヨキカ

3 **[ENTER]** ボタンを押します。

シヨキカメニューラ
センタクシマス

4 **[SELECT]** ボタンを押します。

2 : コウシ' ヨウシュッカ
シ' ニシヨキカ

5 **[ENTER]** ボタンを押します。

コウシ' ヨウシュッカシ'
ニシヨキカシマスカ?

初期化しないときは、**[MENU]** ボタンを押して通常表示にもどします。

6 **[ENTER]** ボタンを押します。

シヨキカチュウ

初期化が終了します。



AT コマンドを使ってパソコンで初期化することもできます。AT コマンドについては添付 CD-ROM に収録されている「データ通信ガイド」(「4 . AT コマンド」)を参照してください。

無線ポートに登録されている PHS 電話機の機種や電波の状態によっては、操作実行後 30 秒 ~ 1 分程度 PHS 電話機が使用できないことがあります。



通信中に初期化をおこなうとすべての通信が切断されるので、通信が終了してから実行してください。

RS20 の初期化

パソコン、電話機、RS20背面のディスプレイスイッチを使って初期化します。

パソコンで初期化する (Windows)

『らくらくアシスタント』を使って初期化します。らくらくアシスタントで初期化した場合は、増設登録と受話音量は消去されません。

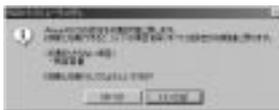
以降の説明は Windows98 搭載のパソコンに RS20 を接続した場合を例に説明します。Windows 2000/Windows95/WindowsNT4.0 を接続した場合の手順も同様です。

- 1 『らくらくアシスタント』を起動します。
- 2 [らくらくアシスタントメニュー] で [IWX70&RS20の詳細設定] を選択します。
[ターミナルアダプタの詳細設定]画面が表示されます。
- 3 RS20の[全体設定]をクリックし、[設定値の初期化]を選択します。



初期化される項目が表示されます。

- 4 表示されている内容を確認し、[はい] ボタンをクリックします。



設定した内容が消去されます。

パソコンで初期化する (Macintosh)

『RS20らくらくユーティリティ』を使って初期化します。らくらくユーティリティで初期化した場合、増設登録と受話音量は消去されません。

- 1 『RS20らくらくユーティリティ』を起動します。
- 2 [初期化] ボタンをクリックします。



初期化の確認画面が表示されます。

- 3 表示されている内容を確認し、[はい] ボタンをクリックします。



設定した内容が消去されます。

電話機で初期化する

RS20のアナログポートに接続された電話機のプッシュボタンで初期化します。増設登録をのぞいてすべての設定が初期化されます。

- 1 RS20のアナログポートに接続した電話機の受話器を上げます。
- 2 電話機のプッシュボタンで **[*]** **[*]** **[9]** **[8]** **[*]** と押します。
- 3 受話器を置きます。
初期化が終了します。

ディップスイッチで初期化する

RS20背面のディップスイッチと底面のTESTスイッチを組み合わせで初期化します。

- 1 電源プラグをコンセントから抜いて、電源をOFFにします。
- 2 ディップスイッチの「1」と「2」をOFFにします。
- 3 TESTスイッチを押しながら、電源プラグをコンセントに差し込みます。
液晶ディスプレイに「シヨキカチュウ」と表示されます。
- 4 TESTスイッチから手をはなします。
初期化が開始されます。
- 5 ディップスイッチをもとにもどし、電源プラグをいったん抜いてから再度差し込みます。
初期化が終了します。



ATコマンドを使ってパソコンで初期化することもできます。ATコマンドについては添付CD-ROMに収録されている「データ通信ガイド」(「4. ATコマンド」)を参照してください。

7-3 . ハイパーターミナルで接続を確認する

Windows2000/Windows98/Windows95に添付されている『ハイパーターミナル』という通信ソフトを使って、IWX70またはRS20とパソコンとの接続の確認ができます。

接続を確認する

IWX70やRS20からインターネットに接続できないときなど、IWX70またはRS20とパソコンが正しく接続されているか確認します。

以降の手順はWindows98を搭載したパソコンにIWX70を接続した場合を例に説明します。お使いの環境によって手順や画面が異なることがあります。RS20を接続した場合の手順も同様です。

- 1 パソコンを起動します。
- 2 **スタート** [プログラム] [アクセサリ] [通信] [ハイパーターミナル] を選択します。

Windows95の場合は **スタート** [プログラム] [アクセサリ] [ハイパーターミナル] を選択します。

[Hyper Terminal] ウィンドウが表示されます。

- 3 [Hypertrm.exe] アイコンをダブルクリックします。



Hypertrm.exe

[接続の設定] 画面が表示されます。

- 4 「名前」に任意の名前を入力し、**OK** ボタンをクリックします。

例として「test1」と入力します。



- 5 「電話番号」に任意の数字(例:0)を入力し、「接続方法」で「Aterm IWX70」を選択して **OK** ボタンをクリックします。



RS20を接続している場合は「AtermRS20」を選択します。
[接続] 画面が表示されます。

- 6 **キャンセル** ボタンをクリックします。



[ハイパーターミナル]ウィンドウが表示されます。

- 7 パソコンのキーボードから半角で「ati4」と入力し、を押します。



- 8 IWX70を接続しているときは「Aterm IWX70 NEC Corporation」、RS20を接続しているときは「Aterm RS20 NEC Corporation」と表示されれば、Atermは正しく接続されています。



上記表示が出ないときは「7-1 困ったときのQ & A」(P.292)を参照し、接続を確認してください。

- 9 はい ボタンをクリックします。



- 10 いいえ ボタンをクリックします。



ハイパーターミナルが終了します。



7 で入力したコマンドを「ATコマンド」といいます。ATコマンドについては添付CD-ROMに収録されている「データ通信ガイド」(「4 . ATコマンド」)を参照してください。MacintoshでATコマンドを実行する場合は、ATコマンドが入力できるフリーウェアなどを利用してください。

7-4 . 自己診断

自己診断機能を使用してIWX70またはRS20に異常がないか確認することができます。ハードウェアのブロックごとに試験します。

IWX70

IWX70 前面のファンクションボタンで操作します。

- 1 MENU ボタンを押します。
- 2 SELECT ボタンを 4 回押します。

[IWX70 液晶ディスプレイ]

5 : シンタ'ン

- 3 ENTER ボタンを押します。
ブザーが「ピピピ…」と鳴ったあとに MSG ランプが緑色に点滅します。

- 4 診断結果が液晶ディスプレイに 5 秒間表示されます。

正常なとき

A term IWX70
シンタ'ン テスト OK

異常があるとき

次のいずれかが表示されます。

被試験ブロック名	試験内容	異常があったときのディスプレイ表示
FLASH	フラッシュメモリの読み込みが正常か確認します	Error FLASH
RAM	RAMの読み込み / 書き込みが正常か確認します	Error RAM
INT	割込制御ユニットが正常か確認します	Error INT
LINE	ISDNインタフェースを制御するS点インタフェース制御部が正常か確認します	Error LINE
HDLC	通信送受信データの制御部が正常か確認します	Error HDLC
OPTION	S点ユニット制御部が正常か確認します	Error OPTION
BBLSI	ベースバンドLSIが正常か確認します	Error BBLSI
ADPCM	ADPCM LSIが正常か確認します	Error ADPCM
USB	USBポート制御部が正常か確認します	Error USB

異常があった場合は「8-7 . お問い合わせ・アフターサービス」(P.344)を参照の上、修理を依頼してください。

5 IWX70 の電源をいったん切ってから、再度電源を入れます。



自己診断を実行中はIWX70の電源を切らないでください。電源を切るとIWX70に記憶されている設定内容が正しく保持されないことがあります。

RS20 背面のディップスイッチで操作します。

- 1 ディップスイッチの「1」「2」をOFFにします。
- 2 底面のTESTスイッチを細い棒で1～2秒押し、前面の液晶ディスプレイに「シンタ[®]ンテスト」と表示されたらはなします。

[RS20液晶ディスプレイ]

シンタ[®]ンテスト

A term RS20
シンタ[®]ン テスト

自己診断が開始されます。

- 3 PHSランプとMSGランプが点灯し、診断結果が液晶ディスプレイに5秒間表示されます。

正常なとき

A term RS20
シンタ[®]ン テスト OK

異常があるとき

次のいずれかが表示されます。

被試験ブロック名	試験内容	異常があったときのディスプレイ表示
RAM	RAMの読み込み / 書き込みが正常か確認します	Error RAM
INT	割込制御ユニットが正常か確認します	INT NG
BBLSI	ベースバンドLSIが正常か確認します	BBLis NG
DMA	データ転送ユニットが正常か確認します。	DMA NG
USB	USBポート制御部が正常か確認します	Error USB

異常があった場合は「8-7 お問い合わせ・アフターサービス」(P.344)を参照の上、修理を依頼してください。

すべてのランプが消灯したあと通常の表示にもどります。

- 4 ディップスイッチをもどします。

お願い

自己診断を実行中はRS20の電源プラグをコンセントから抜かないでください。電源が切れると、RS20に記憶されている設定内容が正しく保持されないことがあります。

8

付録

アフターサービスや液晶ディスプレイの表示など、IWX70とRS20を使う上で参考にさせていただきたいことを掲載しています。

液晶ディスプレイの表示

切断理由 / 生成源 / 診断情報の表示

AtermIWX70&RS20ワイヤレスセット製品仕様

ホームテレホン / ビジネスホンとの接続

別売オプション

ターミナルアダプタの増設

お問い合わせ・アフターサービス

8-1 . 液晶ディスプレイの表示

IWX70とRS20前面の液晶ディスプレイには、設定内容や通信状態などの情報が表示されます。電源を入れたとき、通信状態、お出かけ設定時、INSナンバー・ディスプレイを使用したときの液晶ディスプレイの表示を説明します。

IWX70の表示



↑ A B ⇄ B1 B2 RDY

- 1 行目 使用中の機器や通信状態を絵文字（ピクトグラム）で表示します。
2・3 行目 電話番号や通信料金、機能設定中の案内などを12文字×2行で表示します。
IWX70の液晶ディスプレイはバックライトが点灯します。

絵文字（ピクトグラム）

- ↑ 着信転送が設定してあるときに表示されます。
A B 電話 A ポート、電話 B ポートに接続した通信機器の受話器を上げているときに表示されます。
⇄ データ通信をしているときに表示されます。
⇄ B チャネル 1 つ（64kbps）で通信中
⇄ B チャネル 2 つ（128kbps）で通信中
B1 B2 B1 または B2 チャネルを使用しているときに表示されます。
RDY シリアルポートまたは USB ポートに接続されたパソコンの ER（Equipment Ready）信号が ON のときに表示されます。

電源を入れたとき

動作	液晶ディスプレイの表示	備考
INSネット64と同期がとれているとき	6月15日 22:10	日時は例
INSネット64と同期がとれていないとき	カイセンショウカ'イ レイヤ1タ'ウン	レイヤ1がはずれているとき (P.66)
	カイセンショウカ'イ レイヤ2タ'ウン	レイヤ2がはずれているとき (P.66)

通信状態

アナログポートを使用しているとき

	動作	液晶ディスプレイの表示	備考
発信	電話機の手話器を上げる	 6月15日 9:47	電話Aポートに接続した電話機の手話器を上げた場合
	発信中	 アナログ* A ハッシン XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXは相手の電話番号
	発信後20秒経過	 6月15日 9:47	
	相手応答	 B1 6月15日 9:47	B1チャンネルを使用している場合
着信	着信あり	アナログ* チャクシン XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXは相手の電話番号
	電話機の手話器を上げる	 B1 6月15日 9:47	電話Aポート、B1チャンネルを使用している場合
切断	切断後	アナログ* A セツタ*ン YYY ZZZ円	YYY:切断理由(P.328) ZZZ:通話料金(発信時のみ)
	切断後20秒経過	6月15日 22:10	
着信転送	着信転送を設定していて着信があったとき	 アナログ* チャクシン XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXは相手の電話番号
	転送完了	 テンソウシマシタ	転送失敗時は 「テンソウシッパ イ」
	転送後5秒経過	 6月15日 9:47	
内線転送	内線発信中	 アナログ* ハッシン ナイセン A B	電話Aポートから電話Bポートに発信した場合
	内線通話中	  6月15日 9:47	

データポートを使用しているとき（表示はシリアルポート使用時の例）

動作		液晶ディスプレイの表示	備考
発信	パソコンに発信コマンドを入力	データ ハッソ XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXは相手の電話番号
	発信後20秒経過	6月15日 9:47	
	相手応答	→ B1 ROY 6月15日 9:47	B1チャンネルを使用した場合 無線ポートからの発信の場合は ➡ は表示されません
着信	パソコンに着信あり	データ チャクソ XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXは相手の電話番号
	通信中	→ B1 ROY 6月15日 9:47	B1チャンネルを使用した場合 無線ポートからの発信の場合は ➡ は表示されません
切断	切断後	データ セツクソ YYY ZZZ円	YYY:切断理由 (P.328) ZZZ:通信料金 (発信時のみ)
	切断後20秒経過	6月15日 9:47	

USBポートを使用しているときは一部表示が追加されます。

USBポートを使用しているとき

動作	液晶ディスプレイの表示	備考
USBポートとパソコンを接続しているとき	6月15日 22:10 USB	IWX70用USBドライバがパソコンにインストールされていて、IWX70がUSBポートを認識しているときに表示

でかけるボタンのロック

動作	液晶ディスプレイの表示	備考
でかけるボタンがロックされているとき	テカケルホタンヲ ロックシマシタ	設定時5秒間表示
でかけるボタンのロックを解除したとき	テカケルホタンヲ ロックカイシヨシマシタ	設定時5秒間表示

お出かけ設定時

動作	液晶ディスプレイの表示	備考
おやすみモードを設定しているとき	6月15日 9:47 オヤスミ	
電話着信転送モードを設定しているとき	↑ 6月15日 9:47 テ'ソワテンソウ	
ボイスワープモードを設定しているとき	6月15日 9:47 ホ'イスワープ'	
フラッシュモードを設定しているとき	6月15日 9:47 フラッシュ	

INS ナンバー・ディスプレイを利用しているとき

INS ネット 64 が相手の電話番号を通知してきた場合、IWX70の液晶ディスプレイに着信した電話番号が表示されます。電話番号が表示されるのは次の場合です。

相手がINS ネット 64 に加入していて、発信者番号通知をする設定になっているとき
デジタル携帯電話またはPHSからの着信で、発信者番号通知をする設定になっているとき
INS ナンバー・ディスプレイを契約していて、相手がアナログ電話回線からの発信で番号通知サービスを「184」のダイヤルなどで解除しなかったとき

相手の電話番号が通知されなかったときは、次のいずれかが表示されます。

動作	液晶ディスプレイの表示	備考
相手が「回線ごと非通知」または「184」を付けた場合の着信時	アナロク' チャクシン P:ヒツウチ	
相手が公衆電話からかけた場合の着信時	アナロク' チャクシン C:コウシュウテ'ソウ	
相手がサービス地域以外からかけた場合の着信時	アナロク' チャクシン 0:ヒョウウシ'ケンガ'イ	



IWX70のアナログポートに接続されたナンバー・ディスプレイまたはキャッチホン・ディスプレイ対応通信機器に電話番号を表示させるには、アナログポートの情報通知サービスを「ナンバー・ディスプレイを使用する」に設定します。(「5-2. 電話機能」 P.171)

ディスプレイ表示の切り替え

IWX70の液晶ディスプレイには通常、日付と時刻が表示されています。この表示を機種名の表示に変更することができます。

日付・時刻表示

- ① IWX70のアナログポートに接続した電話機の受話器を上げます。
- ② 電話機のプッシュボタンで *** * 8 1 1** と押します。
- ③ 受話器を置きます。

6月15日 22:10

機種名表示

- ① IWX70のアナログポートに接続した電話機の受話器を上げます。
- ② 電話機のプッシュボタンで *** * 8 1 0** と押します。
- ③ 受話器を置きます。

A t e r m l W X 7 0

RS20 の表示



- 1 行目 使用中の機器や通信状態を絵文字（ピクトグラム）で表示します。
2・3 行目 電話番号や通信料金、機能設定中の案内などを12文字×2行で表示します。

絵文字（ピクトグラム）

- アナログポートに接続した通信機器の受話器を上げているときに表示されます。
 データ通信をしているときに表示されます。
 無線チャネル1つ（32kbps）で通信中
 無線チャネル2つ（64kbps）で通信中
RDY シリアルポートまたはUSBポートに接続されたパソコンのER(Equipment Ready)信号がONのときに表示されます。

電源を入れたとき

動作	液晶ディスプレイの表示	備考
通常の表示		

通信状態

アナログポートを使用しているとき

	動作	液晶ディスプレイの表示	備考
発信	電話機の手話器を上げる	 AtermRS20	
	発信中	 アナログ A ハッシン XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXは相手の電話番号
	相手応答	 ツウシンチュウ XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXは相手の電話番号
着信	着信あり	 アナログ チャクシン XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXは相手の電話番号
	電話機の手話器を上げる	 ツウシンチュウ	
切断	切断後	 アナログ セッタ ン ¥ZZZ YYY	ZZZ：通話料金（発信時のみ） YYY：切断理由（P.328）
	切断後5秒経過	AtermRS20	

データポートを使用しているとき（表示はシリアルポート使用時の例）

動作		液晶ディスプレイの表示	備考
発信	パソコンに発信コマンドを入力	データハッシュ XXXXXXXXXXXX RDY	XXXXXXXXXXXXは相手の電話番号
	相手応答	ツウシンチュウ XXXXXXXXXXXX RDY	32kbpsで通信しているとき
		ツウシンチュウ XXXXXXXXXXXX RDY	64kbpsで通信しているとき
着信	パソコンに着信あり	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXは相手の電話番号
	通信中	ツウシンチュウ XXXXXXXXXXXX RDY	32kbpsで通信しているとき XXXXXXXXXXXXは相手の電話番号
		ツウシンチュウ XXXXXXXXXXXX RDY	64kbpsで通信しているとき XXXXXXXXXXXXは相手の電話番号
切断	切断後	データセッターン ¥ZZZ YYY	ZZZ：通信料金（発信時のみ） YYY：切断理由（P.328）
	切断後5秒経過	AtermRS20 RDY	

USBポートを使用しているときは一部表示が追加されます。

USBポートを使用しているとき

動作		液晶ディスプレイの表示	備考
USBポートとパソコンを接続しているとき		AtermRS20 USB by Aterm	RS20用USBドライバがパソコンにインストールされていて、RS20がUSBポートを認識したときに表示

8-2 . 切断理由 / 生成源 / 診断情報の表示

切断理由の表示

INS ネット64との接続を切断したときの切断理由をIWX70、RS20の液晶ディスプレイにコードで表示します。コードは[らくらくアシスタントメニュー]から[IWX70&RS20の詳細設定] [全体設定] [通信情報・通信料金の参照]を選択するか、またはATコマンドの「AT#C」を実行したときにも確認することができます。

	コード	理由
正常クラス	001	欠番
	002	中継網ルートなし
	003	相手ルートなし
	006	チャンネル不許可
	007	設定済みのチャンネルへ着呼
	016	正常切断
	017	着ユーザビジー
	018	着ユーザ応答なし
	019	相手ユーザ呼出中、応答なし
	020	加入者不在
	021	相手ユーザ通信拒否
	022	相手加入者端末番号変更
	026	選択されなかったユーザの切断復旧
	027	相手端末故障中
	028	無効番号フォーマット(不完全番号)
リソース使用不可クラス	034	利用可回線 / チャンネルなし
	038	網故障
	041	一時的故障
	042	交換機輻輳
	043	アクセス情報破棄
	044	要求回線 / チャンネル利用不可
	047	その他
サービス提供不可クラス	049	QOS利用不可
	050	要求されたファシリティ未契約
	057	伝達能力不許可
	058	現在利用不可伝達能力
	063	その他

	コード	理由
サービス未提供クラス	065	未提供伝達能力指定
	066	未提供チャンネル種別指定
	069	未提供ファシリティ要求
	070	制限デジタル情報能力のみ可能
	079	その他
無効メッセージクラス	081	無効呼番号使用
	082	無効チャンネル番号使用
	083	指定された中断呼識別番号未使用
	085	中断呼なし
	086	指定された中断呼は既に切断復旧済み
	087	ユーザはCUGのメンバーではない
	088	端末属性不一致
	091	無効中継網選択
	095	その他
手順誤りクラス	096	必須情報要素不足
	097	メッセージ種別未定義
	098	呼状態とメッセージ不一致、またはメッセージ種別未定義
	099	情報要素未定義または未提供
	100	情報要素の内容が無効
	101	呼状態とメッセージ不一致
	102	タイマ満了の回復
	111	その他
インタワーキング	127	その他

回線を切断した場所の表示（生成源）

回線が切断された場所を『らくらくアシスタント』、またはATコマンドの「AT#C」を実行したときにコードで表示します。

コード	場所
00	ユーザ自身
01	ユーザが直接接続する私設網
02	ユーザが直接接続する国内網
03	中継網
04	相手ユーザが直接接続する国内網
05	相手ユーザが直接接続する私設網
07	国際網
10	インタワーキング先の網

着信拒否理由の表示（診断情報）

着信を拒否した理由を『らくらくアシスタント』、またはATコマンドの「AT¥L1」を実行したときにコードで表示します。

コード	診断情報
000	本ポートは正常に着信を受け付けました。
201	本ポートは使用中のため着信を受け付けませんでした。
211	本ポートの着信番号設定とINSネット64からの宛先番号が一致していないため、着信を受け付けませんでした。着信番号設定を確認してください。
212	本ポートのグローバル着信設定が「着信しない」に設定されているため、グローバル着信を受け付けませんでした。グローバル着信設定を確認してください。
213	本ポートの自己サブアドレス設定とINSネット64からの宛先サブアドレスが一致していないため、着信を受け付けませんでした。自己サブアドレス設定を確認してください。
214	本ポートのサブアドレスなし着信設定が「着信しない」に設定されているため、サブアドレスなし着信を受け付けませんでした。サブアドレスなし着信設定を確認してください。
215	本ポートの識別着信設定が「着信する」になっており、識別番号設定に相手からの発信番号と一致するものがなかったため着信を受け付けませんでした。識別着信設定、および識別番号設定を確認してください。
221	着信があったポートのHLC設定がINSネット64からの着信通知の中のHLCと一致しませんでした。HLCの設定を確認してください。
231	パケット端末からの着信がありましたが、着信を拒否しました。
301	スティルスコールバック要求の着信がありましたが、着信を受けることができませんでした。スティルスコールバックが「使用する」になっているか設定を確認してください。
302	スティルスコールバック要求に対してサーバ側がかけ直しているときに別の着信がありましたが、その着信を拒否しました。
311	INSネット64からの着信通知の中の伝達能力情報転送速度が64kbps以外の着信でした。
312	INSネット64からの着信通知の中の伝達能力ユーザ情報レイヤ1プロトコルが違っていました。
313	INSネット64からの着信通知の中の伝達能力ユーザ速度が56kbpsだったので、着信を拒否しました。
321	INSネット64からの着信通知の中にLLC速度情報が含まれていなかったため、着信を拒否しました。
322	INSネット64からの着信通知の中のLLCユーザ速度が本TAの受けられない速度でした。通信相手機器を確認してください。
323	INSネット64からの着信通知の中のLLCユーザ速度が本TAの速度設定と不一致でした。「着信速度チェックしない」に設定し、通信速度が異なるパソコン同士でも通信できるようにしてください。
324	INSネット64からの着信通知の中のLLC同期 / 非同期が同期であるが、速度が64kbps以外の着信のため拒否しました。
325	INSネット64からの着信通知の中のLLC中間速度が本TAの受けられない速度のため拒否しました。

コード	診断情報
326	INSネット64からの着信通知の中のLLCフロー制御が本TAの設定と不一致でした。本TAのフロー制御方式の設定をしてください。
327	INSネット64からの着信通知の中のLLCストップビット長、データビット長、パリティ情報が本TAの設定と不一致でした。通信相手と設定を合わせてください。
331	G4ファクシミリからの着信でした。相手側の装置を確認してください。
341	データポート通信中、またはアナログポート通信中で2チャンネル使用中のため、着信が受け付けられませんでした。
361	応答平均化機能が「使用する」に設定されており、着信できる順番でないため着信を無視しました。
371	電子メール着信通知またはUUIメール通知がありました。
401	停電時のアナログ着信設定が「着信しない」になっているため、着信を受け付けませんでした。停電時着信設定を確認してください。
402	停電中のため電話Bポートへの着信は受け付けませんでした。
411	アナログポートの設定が「使用しない」になっているため着信を受け付けませんでした。アナログポート設定を確認してください。
421	内線通話中にチャンネルなしの着信を受けました。チャンネルなしの着信はキャッチホン中のアナログポートに対してのみ受け付けます。
422	使用していないアナログポートにチャンネルなしの着信を受けました。チャンネルなしの着信は、キャッチホン中のアナログポートに対してのみ受け付けます。
423	疑似キャッチホン設定ポートにチャンネルなしの着信を受けました。チャンネルなしの着信は、キャッチホン中のアナログポートに対してのみ受け付けます。
424	キャッチホンなしの設定ポートにチャンネルなしの着信を受けました。チャンネルなしの着信は、キャッチホン中のアナログポートに対してのみ受け付けます
431	優先着信ポートの設定がされているため、優先着信ポートが着信を受けました。そのため優先着信ポートでないアナログポートには着信しませんでした。
999	その他の理由

8-3 . AtermIWX70&RS20 ワイヤレスセット製品仕様

IWX70 仕様

項目		諸元	備考	
接続回線		INSネット64またはINSネット64・ライト		
交換形態		データポート： 回線交換 アナログポート： 回線交換		
使用チャンネル		Bチャンネル		
インタフェース形態及びレイヤ1起動種別		P-MP常時またはP-MP呼毎契約	INSネット64接続の場合	
回線インタフェース	コネクタ形状	6ピンモジュラジャック (RJ-11)	DSU内蔵	
	伝送方式	2線、時分割伝送方式		
	伝送路速度	320kbps		
	伝送路符号	AMI符号		
	DSU折り返し機能	あり		
パソコンインタフェース	呼接続機能		ATコマンド	
	シリアルポート (RS-232C)	機械的条件	D-Sub 9ピンコネクタ	()はV.110規格外 同期は同期PPP変換 128kはMPのみ
		電気的条件	V-28	
		回路定義	V-24	
		通信速度 (kbps)	非同期：1.2, 2.4, 4.8, 9.6, 14.4, 19.2, (28.8, 38.4, 57.6) 同期 / 非同期PPP変換：64 128kマルチリンクPPP：128 PIAFS：32, 64	
		パソコン速度 (kbps)	非同期：1.2, 2.4, 4.8, 9.6, 14.4, 19.2, (28.8, 38.4, 57.6, 115.2, 230.4)	()はV.28規格外
	USBポート	ポート数	1	()はV.110規格外 INSネット64のみ
		通信速度 (kbps)	非同期：1.2, 2.4, 4.8, 9.6, 14.4, 19.2, (28.8, 38.4, 57.6) 同期 / 非同期PPP変換：64 128kマルチリンクPPP：128 PIAFS：32, 64	
		パソコン速度 (kbps)	12Mbps	
	速度整合方式		ITU-T V.110方式	

8-3 AtermIWX70&RS20 ワイヤレスセット製品仕様

付録

項目		諸元	備考
アナログ装置 インタフェース	コネクタ形状	6ピンモジュラジャック (RJ-11)	
	基本操作	ポート数： 2ポート 受信ダイヤル：PBのみ ブランチ接続：可 (*1) 供給電圧： 約48V (無付加時)	*1 ナンバー・ディスプレイ対応機器の ブランチ接続は不可 1つのポートに3台 まで接続可 (合計容量： 3μF/2k 以下)
無線端末イン タフェース	無線プロトコル	RRCR-STD28 3版	
	登録可能子機数	最大6 (同時通話：最大2)	
	データ通信プロトコル	PIAFS (32kbps/64kbps)	
	圧縮機能	V.4.2bisデータ圧縮機能内蔵	PIAFS3.2K通信時のみ
停電モード	アルカリ乾電池	待ち受け時間：約8時間 通話： 約4時間	
	ニカド電池	待ち受け時間：約1時間 通話： 約30分 5日で満充電	
診断機能		自己診断試験	
ヒューマンインタフェース		バックライト液晶ディスプレイ 状態表示LED x4 でかけるボタン ファンクションボタン ディップスイッチ INS回線リバーススイッチ	
電源		AC100V ±10V、50/60Hz	
使用条件	温度湿度	0～40 10～90%	結露しないこと
外形寸法 (W × D × H)		約136mm × 96mm × 176mm	突起部分を除く
質量		約0.6kg	
消費電力		約9.5W (最大)	

RS20仕様

項目		諸元	備考	
無線端末インタフェース	無線プロトコル	RCR-STD28 2標準拠		
	データ通信プロトコル	PIAFS (無線実効速度: 29.2kbps)		
	圧縮機能	V.42bisデータ圧縮機能内蔵		
パソコンインタフェース	呼続機能		ATコマンド	
	シリアルポート (RS-232C)	機械的条件	D-Sub 9ピンコネクタ	
		電気的条件	V.28	
		回路定義	V.24	
	パソコン速度 (kbps)	非同期: 1.2, 2.4, 4.8, 9.6, 14.4, 19.2 (28.8, 38.4, 57.6, 115.2)	()はV.28規格外	
	USBポート	ポート数	1	
		通信速度 (kbps)	非同期: 1.2, 2.4, 4.8, 9.6, 14.4, 19.2, (28.8, 38.4, 57.6) 同期 / 非同期PPP変換: 64	()はV.110規格外
パソコン速度 (kbps)		12Mbps		
速度整合方式		ITU-T V.110方式		
アナログ装置インタフェース	コネクタ形状	6ピンモジュラジャック (RJ-11)		
	基本操作	ポート数: 1ポート 受信ダイヤル: PBのみ ブランチ接続: 可 (最大3台) 供給電圧: 約 - 48V (無負荷時)		
診断機能		自己診断試験		
電源		AC100V ±10V、50/60Hz		
使用条件	温度	0 ~ 40	結露しないこと	
	湿度	10 ~ 90%		
外形寸法 (W × D × H)		約135mm × 43mm × 110mm	突起部分を除く	
質量		約0.5kg		
消費電力		約5.0W (最大)		

ディップスイッチ

IWX70

IWX70背面の電池ホルダーの中にディップスイッチがあり、「強制ダウンロードモード」を実行するときに変更します。強制ダウンロードモードは『らくらくバージョンアップ』が正しく動作しないときに実行します。

- ① IWX70の電源スイッチをOFFにします。
- ② 背面の電池カバーを外して電池を取り出し、ディップスイッチの「1」「2」「3」をONにします。
- ③ 電源スイッチをONにします。
液晶ディスプレイに「ローダ`モード` A」と表示されます。
- ④ らくらくバージョンアップを実行します。
（「5-5 . IWX70・RS20をバージョンアップする」 P.243）
- ⑤ バージョンアップが終了したら、ディップスイッチをもとにもどします。
- ⑥ 電源スイッチをいったんOFFにしてから、再度ONにします。

RS20

RS20背面のディップスイッチと底面のTESTスイッチの組み合わせで次の設定をおこなうことができます。TESTスイッチは細長い棒などで押します。

ディップスイッチの設定

1	2	内容	備考
OFF	OFF	設定値を初期化する	工場出荷時
OFF	OFF	自己診断する	
ON	ON	強制ダウンロードを実行する	
ON	OFF	MacintoshでUSBポートを使用する	
		Windows2000でバージョンアップするとき	

初期化

設定値を初期化し、工場出荷時の設定にもどします。

- ① 電源プラグをコンセントから抜いて、電源をOFFにします。
- ② ディップスイッチの「1」「2」をOFFにします。
- ③ TESTスイッチを押しながら、電源プラグをコンセントに差し込みます。
液晶ディスプレイに「ショキカチュウ」と表示されます。
- ④ TESTスイッチから手をはなします。
初期化が開始されます。
初期化が完了すると、通常の状態にもどります。

自己診断

装置に異常がないか確認します。(「7-4 . 自己診断」 P.315)

- ① 電源を ON にしておきます。
- ② ディップスイッチの「1」「2」を OFF にします。
- ③ TEST スイッチを押します。
液晶ディスプレイに「シ` コシタ` ン」と表示されます。
- ④ TEST スイッチから手をはなします。
自己診断が開始されます。
自己診断が完了すると、通常の状態にもどります。

強制ダウンロードモード

『らくらくバージョンアップ』が正しく動作しないときに使用します。

- ① 電源プラグをコンセントから抜いて、電源を OFF にします。
- ② ディップスイッチの「1」「2」を ON にします。
- ③ TEST スイッチを押しながら、電源プラグをコンセントに差し込みます。
液晶ディスプレイに「ロータ` モート` A」と表示されます。
- ④ TEST スイッチから手をはなします。
- ⑤ ディップスイッチをもとの設定にもどします。
- ⑥ らくらくバージョンアップを実行します。
(「5-5 . IWX70・RS20 をバージョンアップする」 P.243)
- ⑦ ディップスイッチをもとにもどし、電源プラグをいったん抜いてから再度差し込みます。

Macintosh USB モード

Macintosh で USB ポートを使用するときに変更します。

- ① ディップスイッチの「1」を ON、「2」を OFF にします。
Macintosh で USB ポートが使用できるようになります。
電源は ON/OFF のどちらの状態でもできます。
ディップスイッチをもとにもどすと、Windows で USB を使用する設定になります。

Windows2000 でバージョンアップするとき

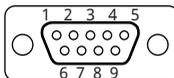
Windows2000 搭載のパソコンで RS20 のファームウェアをバージョンアップするときに変更します。

- ① ディップスイッチの「1」を ON、「2」を OFF にします。
電源は ON/OFF のどちらの状態でもできます。
強制ダウンロードモードを実行するときは、上記「強制ダウンロードモード」の⑤のときに、ディップスイッチの「1」を ON、「2」を OFF にします。
バージョンアップを実行するとき以外はディップスイッチの「1」「2」の両方を OFF にしてください。

D-SUB9 ピンインタフェース

コネクタ形状

9 ピンコネクタ (メス型)



パソコンインタフェースの信号線

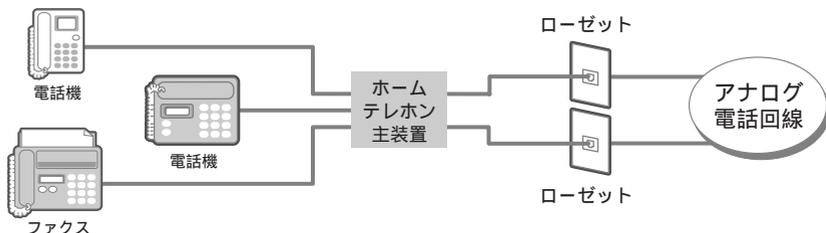
ピン番号		信号方向		名称	機能
シェル	(FG)			保安用接地	装置のフレームアース
1	CD	パソコン	Aterm	キャリア検出	Atermがパソコンにデータ受信を要求していることを示す ON : パソコンにデータ受信を要求する OFF : パソコンにデータ受信を要求しない
2	RD	パソコン	Aterm	受信データ	Atermからパソコンへ送られるデータ
3	SD	パソコン	Aterm	送信データ	パソコンからAtermへ送られるデータ
4	ER	パソコン	Aterm	データ端末レディ	パソコンの動作準備ができているかどうかを示す ON : パソコンがデータ授受の準備ができていることを示す OFF : パソコンがデータ授受の準備ができていないことを示す
5	SG			信号用接地	相互接続回路に基準電位を与える
6	DR	パソコン	Aterm	データセットレディ	Atermが動作準備ができているかどうかを示す ON : パソコンとデータ授受をおこなう準備ができていることを示す OFF : パソコンとデータ授受をおこなう準備ができていないことを示す
7	RS	パソコン	Aterm	送信要求	データ送信許可を要求する ON : データ送信許可を要求する OFF : データ送信許可を要求しない
8	CS	パソコン	Aterm	送信可	データ送信可能かどうかを示す ON : データ送信可能 OFF : データ送信不可
9	CI	パソコン	Aterm	被呼表示	パソコンに着信していることを示す ON : 着信があることを示す OFF : 着信がないことを示す

8-4 . ホームテレホン / ビジネスホンとの接続

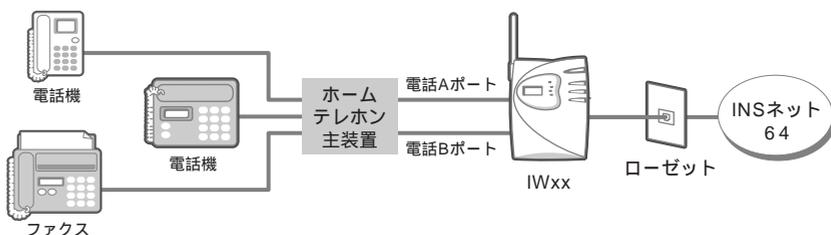
ホームテレホンやビジネスホン（ボタン電話装置）をIWXX70に接続することができます。

ホームテレホンの接続方法

INS ネット 64 の 1 回線分の契約で、アナログ電話回線 2 本分を収容することができます。
アナログ電話回線の場合



INS ネット 64 回線の場合



設定

- 1 使用していないアナログポートを「使用しない」に設定します。
- 2 優先着信するポートを指定します。
- 3 機器をダイヤルインで使用する場合は、「モデム・ダイヤルイン」または「アナログ・ダイヤルイン」を設定します。

ホームテレホンの内線呼び分けことができます。

各設定は「5-2 . 電話機能」(P.229, 231)を参照してください。



お知らせ

優先着信ポートを指定しないと、1つの着信があったときにホームテレホン/ビジネスホンで2本分の着信ランプが点滅します。

停電モードのときは、電話Aポートのみ動作します。ホームテレホンなどの主装置が停電対策されている場合は、停電モードのときにホームテレホンを使用することができます。

8-5 . 別売オプション

IWX70、RS20 のオプションとして次の製品を別売しています。

AtermITX 用 Ni-Cd バッテリーパック (PC-IT/B02)

IWX70 にセットする停電モード用充電式ニカド電池パックです。

S 点ユニット (PC-IT/U03)

ターミナルアダプタや ISDN 通信機器を増設したいときに使用します。

Sバス延長ケーブル 10m(PC-IT/K11) \ Sバス延長ケーブル 25m(PC-IT/K12)

S 点ユニットに ISDN 通信機器を接続するときに使用する延長ケーブルです。

落雷プロテクタ (PC-IT/SP01)

INS ネット 64 のモジュラージャックと IWX70 の間に接続し、落雷から IWX70 を保護します。

USB ケーブル (PC-IT/K02)

USB ポートに接続するためのケーブルです。ワイヤレスセットに同梱されている USB ケーブルは 1 本です。足りない場合は別売のケーブルをご用意ください。

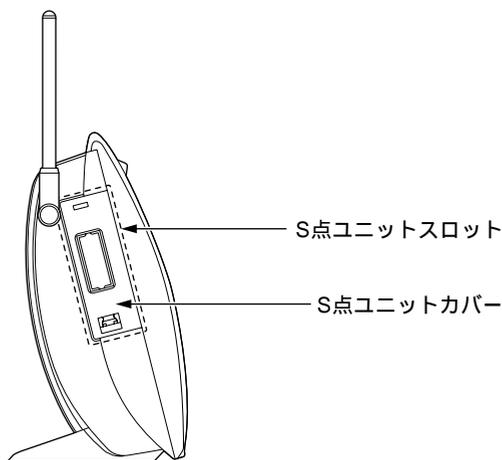
8-6 . ターミナルアダプタの増設 (S 点ユニット)

IWX70 に他のターミナルアダプタやISDN 通信機器を接続する場合は、別売の「S 点ユニット」を取り付けます。IWX70 側面のS 点ユニットスロットに別売の「S 点ユニット」を装着してISDN 通信機器などを接続したり、IWX70 本体のDSU を切り離して他のDSU を使用することができます。

S 点ユニットの取り付けかた、使用方法についてはS 点ユニットに添付の取扱説明書を参照してください。

S 点ユニットカバーの取り外しかた

IWX70 側面のS 点ユニットカバーのツメを押し下げながらカバーを取り外します。



S 点ユニットカバーを取り外したときに、スロット内部に異物を入れないようにしてください。
スロット内部のはんだ面にふれないようにしてください。けがをするおそれがあります。

8-5
別売オプション

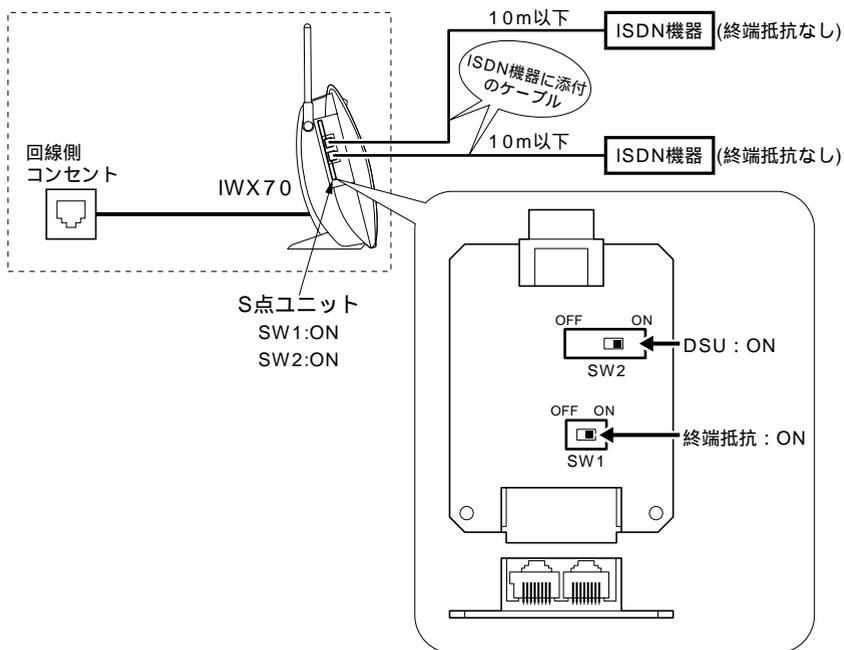
8-6
ターミナルアダプタの増設 (S 点ユニット)

付録

ISDN 通信機器を増設する場合

IWX70 に S 点ユニットを装着し、最大 7 台までの ISDN 通信機器を接続することができます。ISDN 機器を 1 台または 2 台増設するときの手順は次のとおりです。

- 1 S 点ユニットのスイッチの SW1 (終端抵抗)、SW2 (DSU) の両方を ON (工場出荷時の状態) にします。
- 2 S 点ユニットカバーを取り外し、S 点ユニットスロットに S 点ユニットを装着します。

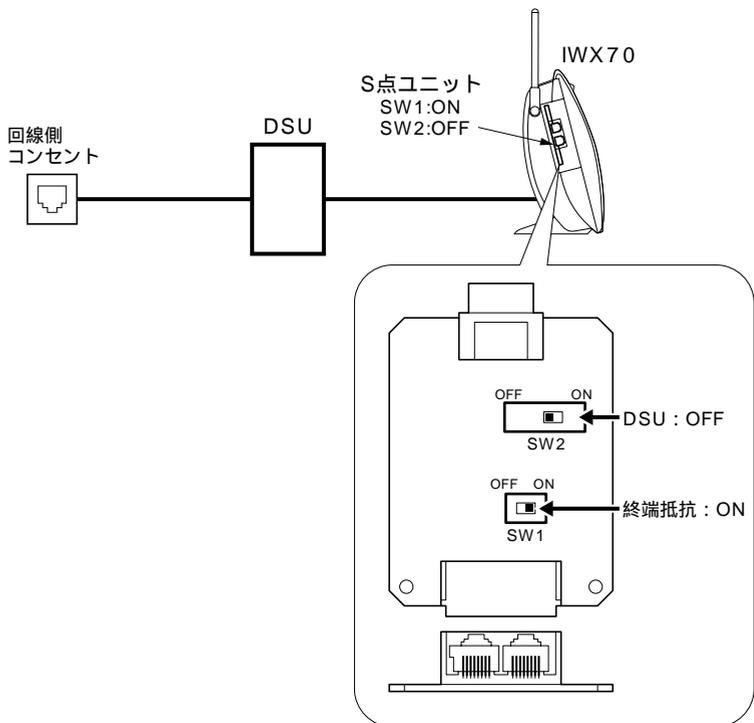


- 3 S 点ユニットのモジュラジャックに ISDN 機器を接続します。

DSU を切り離す場合

INS ネット 64 回線と接続するには 1 回線あたり 1 台の DSU が必要です。IWX70 は DSU を内蔵していますが、この DSU を無効にして他の DSU を使用することができます。

- 1 S 点ユニットのスイッチの SW1 (終端抵抗) を ON、SW2 (DSU) を OFF にします。
- 2 S 点ユニットカバーを取り外し、S 点ユニットスロットに S 点ユニットを装着します。



- 3 IWX70 の INS 回線コネクタと DSU を INS 回線ケーブルで接続します。

8-7 . お問い合わせ・アフターサービス

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

索引

記号・数字

発信 72, 147, 276
184/186 の付加 167
25 ピン変換コネクタ 76, 80

A

A/ROSE 295
ADPCM 315
AtemIWX70 シリーズユーティリティ集
..... 20, 32, 83, 84, 110, 236
AtermStation 37, 101, 122, 344
AT コマンド 131, 293

B

B1、B2 24, 42, 98, 121, 297
BBLSI 315, 317
BIGLOBE 38, 93, 116, 233
235, 282
B チャンネル 42

C

CD-ROM 20, 32, 40, 298
COM ポート 75, 76, 80, 290

D

D-SUB9 ピンインタフェース 338
DATA ランプ 42
DMA 317
DNS 94, 119, 293
DSU 24, 341
DSU を切り離す 343
D チャンネル 24

E

ENTER ボタン 42
ER 信号 42, 46

F

FLASH 315

G

G3 ファクス 59

H

HDLC 315
HLC 135, 226, 273
HLC コード 227

I

ID 登録 67
INS 回線ケーブル 62
INS 回線コネクタ 44, 62
INS 回線の電話番号の設定 141
INS 回線リバーススイッチ 45, 66
INS キャッチホン 134, 159, 174
INS なりわけサービス 210, 213
216, 222
INS なりわけ選択キャッチホン
..... 135, 216
INS ナンバー・ディスプレイ ... 134, 171
174, 178, 210, 213, 220
INS ナンバーディスプレイ表示 323
INS ナンバー・リクエスト 134, 171
INS ネット 64 24, 48, 62, 129
167, 134, 235
INS ネット 64 のお申し込み 49
INS ネット 64 の接続 62
INS ネット 64 付加サービス 27, 50
INS ボイスワープ 135, 198
INS ボイスワープ・セレクト ... 135, 198
INT 315, 317
Internet Explorer 54, 101, 122
ISDN 24
ISDN 通信機器を増設する 342
ITMUX 28, 95
i・ナンバー 90, 115, 135
180, 260, 276
i・ナンバー情報 180, 261, 272

L

LCR 284
LINE 315

M		R	
Mac OS	117	RAM	315, 317
Macintosh	76, 80, 107, 140	RAS	295
	241, 247, 303, 307	RDY	42, 46, 297
Mac 変換ケーブル	76, 80	RS-232C ケーブル	75
MENU ボタン	42		
MSG ランプ	42, 46, 233		
	282, 315, 317		
N		S	
NEC パーソナルコミュニケーション		S/T 点	69
インフォメーションセンター	344	SELECT ボタン	42
NEC フィールディングサービス	349	SMTP	118
NEC 保守サービス受付拠点	350	S 点ユニット	341, 340
NEFS	349	S 点ユニットカバー	44, 341
Netscape Navigator	54, 101, 122	S 点ユニットスロット	44, 341
NTT 東日本・NTT 西日本 ..	27, 66, 349	S バス延長ケーブル	340
		SD / RD ランプ	46
		T	
		TEST スイッチ	47
		U	
O		USB	300, 315, 317
OPTION	315	USB ケーブル	40, 73
Outlook Express	54, 95	USB ドライバ	73, 87
		USB ネットワーク	308
		USB ポート	44, 47, 73
			77, 111, 300
		UUI メール	234, 282
		UUI メール EX	233, 236, 282
		UUI メール変換サービス	234
		W	
P		Windows	82, 138, 239, 303
PB	59, 71	Windows2000	99, 101, 245
PC クリーンスポット	345	Windows95	97, 101, 245, 304
PHS	129, 148, 150, 286	Windows98	97, 101, 102
PHS でインターネットに接続	296		245, 304
PHS で電話を受ける	149	WindowsNT4.0	97, 101, 245
PHS で電話をかける	149		
PHS 電話機の機種	148		
PHS の登録	148		
PHS ランプ	42, 46, 67, 287		
PHS をご使用の前に	148		
PIAFS32K/PIAFS64K	128, 148		
PIAFS32K 通信	131		
PIAFS64K 通信	131		
PIAFS スルーモード	129		
PIAFS データ	129		
PIAFS ネット	296		
POP アカウント	118		
POWER ランプ	42, 282, 291, 297		
PWR (電源) ランプ	46		
PPP	119		
PTE アクセスポイント	296		

ア

アース線接続端子	45, 47, 63
アース線の接続	63
相手に知らせる電話番号を指定する	169, 274
圧縮	291
アナログ・ダイヤルイン	135, 231
アナログ通信機器	59
アナログポート	44, 47, 60, 141 113, 259, 273, 321
アナログポートの設定	89, 113, 138, 139, 259
アナログポート/無線ポート個別設定	273
アフターサービス	344
アンインストール	85
安全に正しくお使いいただくために	10
アンテナ	42, 46, 58
アンテナホルダー	47
アンテナマーク	149

イ

異常があるとき	315, 317
インジケータ	100
インストール	83, 84, 109
インストールサービス	346
インターネットあんしんバック	346
インターネットがうまくいかない	293
インターネット設定	93, 116
インターネットに接続	97, 121
インフォメーションサービス	344

ウ

ウィルスチェックサービス	346
受けたくない電話の着信を拒否する	217

エ

液晶ディスプレイ	42, 46, 66, 269 297, 320
絵文字	42, 46, 320, 325

オ

お出かけ設定	194
お出かけ設定ができない	288
お出かけ設定表示	323
お出かけモード	268, 276
お問い合わせ先	344
オフィスモード	148, 286
オプション	340
おやすみモード	135, 193
オンラインサインアップ	93

カ

海外での使用	299
回線側コンセント	48, 57
カイセンショウガイ	66, 283
回線の極性	283
解凍	245, 247
各部の名前とはたらき	41
かけてきた相手の電話番号を見る	178
ガスの自動検針器	66, 283
カレンダー	68

キ

疑似キャッチホン	134, 159, 174
疑似三者通話	134, 162
疑似識別着信	135, 210
疑似識別着信転送	135, 222
疑似選択キャッチホン	135, 216
疑似着信転送	135, 196, 204
疑似なりわけ	135, 213
機種名表示	68, 324
機能一覧	33
キャッチホン	159, 267, 273
キャッチホン・ディスプレイ	134, 174, 274
強制切断タイマ	141
強制ダウンロードモード	337
共通設定	141
切替モード	162

ク

グローバル着信	183, 266, 273
---------------	---------------

ケ

契約者回線番号	91, 183, 263, 309
契約電話番号	200
現地調整	348

コ

高位レイヤ整合性	226
工場出荷状態	255, 299, 309
高度な設定	192, 223
構内モード	148
子機が使えないとき	286
子機を接続するには	53
異なる呼出音	213
コネクタ	73, 77
コンセント	63

サ

サービスコンセント	64, 282
再発信	98, 100, 122
サブアドレス	135, 178, 190 224, 274
サブアドレスセパレータ	178
サブアドレスなし着信	273
サポートご利用料金	346
三者通話	134, 162, 165, 275
三人で同時に話す	162

シ

識別着信	135, 210, 223, 273
識別着信転送	135, 222
識別リングング	135, 213, 274, 277
時刻表示	68
自己診断	315, 337
自動着信	289
自分の電話番号を相手に知らせる	167
修理	348
受話音量	274
受話音量調節	134, 155
仕様一覧	333, 335
使用するツール	236
情報通知サービス	172, 274
情報の表示	320
初期化	299, 309, 336
シリアルコネクタ	75, 76, 79, 80
シリアルポート	44, 47, 75, 79, 290
シリアルポートドライバ	294
診断情報	331

ス

スイッチ設定値	279
---------------	-----

セ

生成源	330
製造番号	37, 44
製品仕様	333
セカンダリ DNS	94, 118
セキュリティ	277
設置場所	57
設定	82, 108
設定内容の記録	239
設定の初期化	255, 269, 279
設定ポートの選択	272
設定を依頼する	345
セットアップサービス	346
接続	56, 58, 62
接続機器	89, 259, 273
接続するが通信がおかしい	297
切断	98, 100, 247
切断理由	328
選択キャッチホン	216, 277
選択着信転送	275
前面	40, 46

ソ

増設登録	53, 67, 148
増設登録料	347
側面	43

タ

ターミナルアダプタの増設	341
ダイヤルアウト	295
ダイヤルアップでの発信	131
ダイヤルアップネットワーク	97
ダイヤルインサービス	90, 114 135, 183, 231, 263, 274
ダイヤルイン番号	91, 183, 263
ダイヤル桁間タイマ	72, 146, 166 273, 284
ダイヤル方式	59
ダウンロード	245
タスクトレイ	100
単 3 アルカリ乾電池	69, 70
短縮・識別番号	275
短縮ダイヤル	134, 148, 157
端末審査協会	59

チ

着信音	285
着信音を鳴らさずに着信を知らせる	202
着信拒否理由の表示	331
着信した電話番号を表示する	171
着信する電話機の優先順位をつける	188
着信転送	135, 196, 204, 276
着信転送先アドレス	275
着信転送元アドレス	275
着信番号	276
着信番号選択	274
着信ポート	274
着信履歴先発信	134, 178, 251
着信履歴表示	134, 178, 250
着信履歴を消去	179

ツ

追加番号	91
通信	128
通信状態表示	321, 326
通信速度の切り替え	254
通信中転送	135, 275
通信中転送機能	162
通信モードを指定する	256
通信料金	71
通話中受話音量調整	274
通信中着信通知	235
通信中転送	207, 275
通話・通信が終了したとき	297

テ

データセツダン	296
データ通信ができない	292
データポート	128, 141, 288
データポートの設定	138, 139
停電したとき	69
停電時の着信	275
停電時の動作	138, 297
停電対策	70
底面	45
ディスプレイ表示	320
ディスプレイ表示の切り替え	324
ディップスイッチ	44, 47, 311, 336
でかけるボタン	42, 194, 288
でかけるボタンロック	322
でかけるボタンロック解除	288
適合マーク	59

デュアルリンクワイヤレス通信

デュアルリンクワイヤレス通信	128, 133
テレホン UUI メール	236
テレホン遊遊メール	236
電源	11, 63, 282
電源コード	44, 47, 282
電源スイッチ	44, 65, 282
電源を入れる	65
電源を切ったとき	297
電子メール	54, 95
電子メール着信通知	233
転送トーク	204, 276
転送元トーク	204
電池	69, 70, 298
電池カバー	44, 69
電池ホルダー	44, 69
電波	31
添付 CD-ROM の内容	20, 21
電話	284
電話 A ポート	60
電話 B ポート	60
電話が使えないとき	283
電話機	58, 71
電話機接続コード	58, 61
電話機で操作する	259, 278
電話機でダイヤルインを使う	229
電話機能一覧	134
電話機を接続する	60
電話着信転送モード	196, 205
電話帳機能の設定	141
電話番号テーブル	181, 186
電話番号転送先メールアドレス	275
電話番号の設定	90
電話番号の通知 / 非通知	167
電話番号の登録	263
電話番号の割り当て	262, 264
電話を受ける	72
電話をかける	71
電話を転送する	204

ト

トーン	59, 71, 117, 148
同期	129, 297
同期 64K 通信	297
登録機器	273
特定の電話機に着信させる	190
特定の電話だけ着信する	210
特定の電話の着信音を変える	213

特定の電話を別の電話番号に転送する	222
取扱説明書	40

ナ

内線通話	134, 150, 275
内線データ通信	130
内線転送	134, 152, 275
内線番号	130
なりわけ選択キャッチホン	216
ナンバー・ディスプレイ	171, 267
ナンバー・リクエスト	171, 267

ニ

ニカド電池パック	69, 70, 334
ニカド電池パック接続用コネクタ	44
ニュースアカウント	95
ニュースサーバー	118
認証番号	44

ノ

ノイズ	17, 62
-----	--------

ハ

ハイパーターミナル	313
背面	43, 47
箱の中身	40
パスワード	94, 99, 296
パソコンインタフェースの信号線	338
パソコンを接続	73
バックライト	269
発信時アドレス表示	275
発信者通知番号	262, 265
発信者番号指定	134, 169, 265
発信者番号通知	134, 167, 273, 323
話し中にかかってきた特定の	
電話だけを受ける	216
話し中に別の電話番号に転送する	207
話し中に別の電話を受ける	159
電話番号の割り当て	262

ヒ

ピクトグラム	42, 46, 320, 325
日ごろのお手入れ	17
ビジネスホン	339
日付・時刻の設定	68
日付表示	68
非同期	129, 297
秘話回路	285
品名ラベル	44

フ

ファームウェア	244, 255
ファームウェアのダウンロード	
	245, 247
ファームウェアのバージョンアップ	244
ファームウェアのバージョン表示	255
ファイルやプリンタの共有	132
ファクス通信ができない	289
ファクスの接続	58
ファンクションボタン	179, 250
	282, 310
不揮発性メモリ	243
複数の電話番号を使い分ける	183
フッキング	144, 151, 159
	162, 207
フッキング検出タイマ	144, 273
ブラウザソフト	101, 102, 122
フラッシュモード	135, 202
ブランチ接続	61
プリンタポート	76, 80
フレックスホン	159, 162, 174
	196, 204, 207
プロトコル	120
プロトコル変換モード	129
プロバイダ	38, 54, 93, 97, 116

ヘ

別売オプション	340
別の電話番号に転送する	196

ホ

ホームテレホン	339
ホームページ	37, 54, 101, 122
ボイスワープ	198, 268
ボイスワープ・セレクト	198, 268
ボイスワープ転送モード	199, 276
ボイスワープ番号設定	277
訪問サポート	345
保護シート	42, 46
保守区分	349
保守形態とサービス内容	349
保守契約	348
保守サービス受付拠点一覧	350
保証書	348
本書の読み方	18

マ

マイプライベート着信 ..	135, 220, 276
待ち受けモードの設定	148
マニュアルBOD	254

ミ

ミキシングモード	164
----------------	-----

ム

無線区間	94, 117
無線端末識別用 ID 番号	44
無線通信	128
無線ポート	185
無線ポート個別設定	273
無線ポートに接続する機器の設定	260
無線ポートのグローバル着信	191
無線ポートの設定	89, 138 262, 264
無線ポート呼出	275
無鳴動着信機能	289

メ

メールオプション	233, 235
メール機能	233
メール機能を利用するには	235
メールサービス	233
メール着信通知	282
迷惑電話おことわりサービス ..	135, 217
迷惑電話の登録	270
迷惑電話防止	135, 217

モ

申込票	51
モジュラコンセント	48, 57
持ち込み修理先一覧	350
モデム	58, 59, 133, 290
モデム情報	295
モデム・ダイヤルイン	135, 229
モデム通信	133, 289
モデム通信ができない	289
モデム定義ファイル	294
モデムポート	76, 80, 290

ユ

ユーザ ID	97, 99, 293
ユーザ名	97, 99, 296
優先着信ポート	275
優先着信ポート指定	135, 188
遊遊メール	234

ラ

落雷プロテクタ	62, 340
らくらくアシスタント	32, 83, 86 112, 138, 140, 290
らくらくテレホン設定	259, 278
らくらくバージョンアップ	244, 245 247, 290
らくらくユーティリティ	141
ランプ	42, 46

リ

リザルトコード	293
リソースBOD	254
リバーススイッチ	283
リバースパルス送出	274
リモートアクセス	122
リモートステーション	90, 133
履歴先発信	251
履歴先発信する電話機を指定する	252

ル

累積料金	298
累積料金の初期化	253
累積料金の表示	252, 270, 275
留守番電話機	286

レ

レイヤ 66, 283, 320

ロ

ローゼット 61, 339

ローダモード A 291

ロック 194

ロックを解除 194

ワ

ワイヤレスセット 1, 26

ワイヤレス通信機能 128

ワイヤレスデータ通信 128

NEC BIGLOBE カスタマーサポート

ご注意

BIGLOBEのお問い合わせにつきましては、BIGLOBEの
ホームページ（外部リンク）をご覧ください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

この取扱説明書は、エコマーク認定の再生紙を使用しています。